

新座市日常生活圏域ニーズ調査  
調査結果報告書

平成26年3月

新 座 市



## はじめに

新座市では、高齢者の皆様が住み慣れた地域で安心して生活できる社会を築くため、「新座市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を策定し、事業の推進を図っています。

今後、高齢社会がますます進展し、団塊の世代が全て75歳以上となる2025（平成37）年を展望する中で、介護サービスの基盤整備とともに、介護・医療・住まい・生活支援・介護予防が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」を構築することが求められています。

このような中、このたび、新座市では、高齢者の状態像・ニーズ及び地域やその地域に居住する高齢者ごとの課題、更には必要となるサービスを把握・分析するため、全ての高齢者を対象とした「日常生活圏域ニーズ調査」を実施いたしました。

この調査結果報告書は、調査の結果を取りまとめ、分析し、高齢者の生活実態や心身の状況等を集約したものであり、第6期新座市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（平成27年度～平成29年度）を策定する上での貴重な資料として活用させていただきたいと考えております。

また、この調査結果は、個々の高齢者の皆様の介護予防にも役立つ内容となっており、今後の介護予防事業を推進する上で重要な指針とさせていただきたいと考えております。

終わりに、日常生活圏域ニーズ調査に御協力いただきました皆様に、深く御礼申し上げます。

平成26年3月

新座市長 須田 健 治



## <目 次>

<b>I 日常生活圏域ニーズ調査</b> .....	<b>1</b>
<b>1 調査概要</b> .....	<b>1</b>
(1) 調査目的 .....	1
(2) 調査対象 .....	1
(3) 調査方法 .....	1
(4) 調査期間 .....	1
(5) 調査項目 .....	1
(6) 回収状況 .....	1
(7) 報告書を見る際の留意点 .....	2
<b>2 回答者の属性</b> .....	<b>3</b>
(1) 年齢構成 .....	3
(2) 認定状況 .....	4
(3) 住宅の所有関係 .....	5
(4) 世帯構成 .....	5
(5) 日常生活圏域 .....	6
<b>3 二次予防事業該当状況</b> .....	<b>8</b>
(1) 二次予防事業対象者 .....	8
(2) 運動機能低下リスク .....	10
(3) 低栄養リスク .....	12
(4) 口腔機能低下リスク .....	14
(5) 生活機能全般低下リスク .....	16
(6) 閉じこもりリスク .....	19
(7) 認知機能低下リスク .....	23
(8) うつリスク .....	26
<b>4 その他の生活機能</b> .....	<b>29</b>
(1) 転倒リスク .....	29
(2) 足のケア .....	31
(3) 認知機能障害程度 .....	33
<b>5 日常生活</b> .....	<b>37</b>
(1) 手段的自立度（I ADL） .....	37
(2) 日常生活動作（ADL） .....	39
<b>6 社会生活</b> .....	<b>41</b>
(1) 知的能動性 .....	41
(2) 社会的役割 .....	43
(3) 老研式活動能力指標総合評価 .....	51
(4) 仕事 .....	53
<b>7 疾病</b> .....	<b>54</b>
(1) 高血圧 .....	54

(2) 脳卒中	55
(3) 心臓病	57
(4) 糖尿病	58
(5) 筋骨格の病気	59
(6) 目の病気	60
(7) 受診	61
<b>8 健康・生活習慣</b>	<b>63</b>
(1) 主観的健康感	63
(2) 健診受診	65
(3) 肥満	66
(4) 飲酒	68
(5) 喫煙	70
(6) 運動習慣	72
(7) 携帯電話・スマートフォンの利用	75
<b>9 介護保険やボランティア</b>	<b>76</b>
(1) 介護・介助の必要性	76
(2) 介護・介助の原因	77
(3) 介護者	77
(4) 利用している在宅サービス	78
(5) 介護保険料	79
(6) 介護保険料と介護保険サービスに関する考え方	80
(7) 有償ボランティアの利用意向	80
(8) 高齢者相談センターの認知	81
<b>10 介護予防・健康づくり</b>	<b>82</b>
(1) 介護予防や健康づくりへの関心度	82
(2) 介護予防のために取り組みたいこと	83
<b>11 住まい</b>	<b>84</b>
(1) 所有関係	84
(2) 介護が必要となった場合の住まいの希望	85
<b>12 圏域別の概況</b>	<b>86</b>
(1) 二次予防事業対象者	86
(2) 疾病	87
(3) 認知症リスク	88
<b>13 調査結果からみた現状と課題</b>	<b>89</b>
<b>14 自由記述</b>	<b>91</b>
(1) 介護保険制度全般	91
(2) 介護保険料	123
(3) 在宅サービス	136
(4) 施設サービス	140
(5) 介護予防	147

(6) 医療関係 .....	152
(7) 生活支援サービス .....	154
(8) 認知症 .....	156
(9) 住宅 .....	158
(10) 相談窓口 .....	159
(11) 広報 .....	161
(12) 地域活動 .....	163
(13) 街づくり（バリアフリー） .....	169
(14) 年金 .....	172
(15) その他 .....	175
<b>参考資料 調査票 .....</b>	<b>189</b>
<b>II 介護者アンケート調査 .....</b>	<b>201</b>
<b>1 調査概要 .....</b>	<b>201</b>
(1) 調査目的 .....	201
(2) 調査対象 .....	201
(3) 調査方法 .....	201
(4) 調査時期 .....	201
(5) 調査項目 .....	201
(6) 回収状況 .....	201
<b>2 介護者について .....</b>	<b>202</b>
(1) 性別 .....	202
(2) 年齢 .....	203
(3) 仕事 .....	204
(4) 体調 .....	204
(5) 持病 .....	205
(6) 要介護認定 .....	205
<b>3 介護について .....</b>	<b>206</b>
(1) 介護している者 .....	206
(2) 介護されている者の要介護度 .....	206
(3) 介護されている者の認知症 .....	207
(4) 介護サービスの利用 .....	207
(5) 介護期間 .....	208
(6) 同居・別居 .....	208
(7) 他の介護者 .....	209
(8) 代替りの介護者 .....	210
<b>4 困りごとについて .....</b>	<b>211</b>
(1) 困りごとの相談相手 .....	211
(2) 困りごと .....	212
(3) 介護者への支援 .....	213

(4) 交流の場への参加.....	213
(5) 高齢者相談センター（地域包括支援センター）の認知度.....	214
(6) 地域支え合いボランティアの認知度.....	215
(7) 介護マークの認知度.....	216
5 自由記述.....	217
<b>参考資料 調査票.....</b>	<b>225</b>



# I 日常生活圏域ニーズ調査



# I 日常生活圏域ニーズ調査

## 1 調査概要

### (1) 調査目的

新座市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 第6期計画の策定に向け、日常生活圏域ごとに精度の高い高齢者の生活実態を分析することで高齢者のニーズを把握する。

### (2) 調査対象

平成25年12月6日現在の第一号被保険者（施設入所者を除く。）

### (3) 調査方法

郵送による配布・回収（記名式）

### (4) 調査期間

平成26年1月17日～1月31日

### (5) 調査項目

- ① 家族や生活状況
- ② 生活機能
- ③ 外出
- ④ 運動・転倒予防
- ⑤ 栄養・食事・口腔
- ⑥ 記憶
- ⑦ 足のケア
- ⑧ 日常生活動作
- ⑨ 社会参加
- ⑩ 健康
- ⑪ 介護予防や健康づくり
- ⑫ 介護保険やボランティアなど

### (6) 回収状況

区分	調査対象者数 (人)	有効回収数 (人)	有効回収率 (%)	
一般高齢者	31,275	23,555	75.3	
認定者	5,065	3,557	70.2	
	要支援	1,694	1,370	80.9
	要介護	3,371	2,187	64.9
総数	36,340	27,112	74.6	

(7) 報告書を見る際の留意点

本報告書では、以下の表記を用いて記述している。

- ①表中の「n」は、設問への回答者数を表す。
- ②図表中の数値は、特に断りのある場合を除き、その設問の回答者数を基数とした構成比（％）で表示している。
- ③構成比（％）は、すべて小数点以下第二位を四捨五入し、小数点第一位までを表示している。したがって、その合計値は 100.0％にならない場合がある。
- ④回答には、単数回答と複数回答の 2 通りがある。複数回答の場合、その構成比（％）の合計は、通常 100.0％を超える。
- ⑤図表の問のタイトルおよび回答の選択肢は、簡略化して表現している場合がある。

## 2 回答者の属性

### (1) 年齢構成

上段：構成比／下段：人数

性別	65～74 歳			75 歳以上					総数
	65～69 歳	70～74 歳	計	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90 歳以上	計	
男性	27.3% 3,349	30.8% 3,775	58.1% 7,124	23.3% 2,856	12.8% 1,567	4.4% 543	1.4% 170	41.9% 5,136	100.0% 12,260
女性	26.7% 3,961	29.9% 4,443	56.6% 8,404	21.6% 3,208	11.9% 1,773	6.2% 915	3.7% 552	43.4% 6,448	100.0% 14,852
総数	27.0% 7,310	30.3% 8,218	57.3% 15,528	22.4% 6,064	12.3% 3,340	5.4% 1,458	2.7% 722	42.7% 11,584	100.0% 27,112

注：上段は構成比で、四捨五入の関係で合計が 100%にならない場合がある(以下同じ。)

### <参考>性別・年齢階級別回収率

年齢階級	男性			女性			総数		
	配布(人)	回収(人)	率(%)	配布(人)	回収(人)	率(%)	配布(人)	回収(人)	率(%)
65～69 歳	4,884	3,349	68.6%	5,498	3,961	72.0%	10,382	7,310	70.4%
70～74 歳	5,154	3,775	73.2%	5,798	4,443	76.6%	10,952	8,218	75.0%
計	10,038	7,124	71.0%	11,296	8,404	74.4%	21,334	15,528	72.8%
75～79 歳	3,601	2,856	79.3%	4,035	3,208	79.5%	7,636	6,064	79.4%
80～84 歳	1,970	1,567	79.5%	2,341	1,773	75.7%	4,311	3,340	77.5%
85～89 歳	735	543	73.9%	1,264	915	72.4%	1,999	1,458	72.9%
90 歳以上	234	170	72.6%	826	552	66.8%	1,060	722	68.1%
計	6,540	5,136	78.5%	8,466	6,448	76.2%	15,006	11,584	77.2%
総数	16,578	12,260	74.0%	19,762	14,852	75.2%	36,340	27,112	74.6%

## (2) 認定状況

上段：構成比／下段：人数

性別	一般	認定者								総数
	高齢者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	
男性	89.8% 11,010	2.5% 312	1.0% 120	2.6% 319	1.6% 197	0.8% 96	0.7% 91	0.9% 115	10.2% 1,250	100.0% 12,260
女性	84.5% 12,545	4.3% 643	2.0% 295	3.6% 542	1.7% 256	1.3% 186	1.4% 201	1.2% 184	15.5% 2,307	100.0% 14,852
総数	86.9% 23,555	3.5% 955	1.5% 415	3.2% 861	1.7% 453	1.0% 282	1.1% 292	1.1% 299	13.1% 3,557	100.0% 27,112

## &lt;調査票配布数と回収率&gt;

要介護度	男性			女性			総数		
	配布	回収	回収率	配布	回収	回収率	配布	回収	回収率
要支援1	384	312	81.3%	781	643	82.3%	1,165	955	82.0%
要支援2	156	120	76.9%	373	295	79.1%	529	415	78.4%
計	540	432	80.0%	1,154	938	81.3%	1,694	1,370	80.9%
要介護1	469	319	68.0%	797	542	68.0%	1,266	861	68.0%
要介護2	269	197	73.2%	405	256	63.2%	674	453	67.2%
要介護3	153	96	62.7%	305	186	61.0%	458	282	61.6%
要介護4	158	91	57.6%	329	201	61.1%	487	292	60.0%
要介護5	170	115	67.6%	316	184	58.2%	486	299	61.5%
計	1,219	818	67.1%	2,152	1,369	63.6%	3,371	2,187	64.9%
総数	1,759	1,250	71.1%	3,306	2,307	69.8%	5,065	3,557	70.2%

## (3) 住宅の所有関係

上段：構成比／下段：人数

性別	持家	民間 賃貸住宅	公営 賃貸住宅	借間	サービス付き 高齢者住宅	その他	無回答	総数
男性	75.3% 9,234	6.1% 748	3.3% 399	0.2% 20	0.6% 68	1.0% 120	13.6% 1,671	100.0% 12,260
女性	74.6% 11,075	5.3% 781	3.6% 532	0.3% 45	0.5% 76	1.1% 160	14.7% 2,183	100.0% 14,852
総数	74.9% 20,309	5.6% 1,529	3.4% 931	0.2% 65	0.5% 144	1.0% 280	14.2% 3,854	100.0% 27,112

## (4) 世帯構成

上段：構成比／下段：人数

性別	一人暮らし	配偶者と 二人暮らし	配偶者以外 と二人暮らし	同居 (三人以上)	無回答 不明	総数
男性	8.6% 1,058	39.9% 4,890	3.8% 472	33.6% 4,117	14.1% 1,723	100.0% 12,260
女性	15.0% 2,232	29.4% 4,361	10.6% 1,570	31.7% 4,706	13.4% 1,983	100.0% 14,852
総数	12.1% 3,290	34.1% 9,251	7.5% 2,042	32.5% 8,823	13.7% 3,706	100.0% 27,112

## ○世帯構成別年齢構成

上段：構成比／下段：人数

世帯構成	65～74 歳			75 歳以上					総数
	65～69 歳	70～74 歳	計	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90 歳以上	計	
一人暮らし	22.0% 723	28.4% 933	50.3% 1,656	24.4% 802	15.0% 494	7.4% 242	2.9% 96	49.7% 1,634	100.0% 3,290
配偶者と 二人暮らし	28.8% 2,667	33.6% 3,111	62.5% 5,778	23.8% 2,199	10.6% 981	2.8% 256	0.4% 37	37.5% 3,473	100.0% 9,251
配偶者以外 と二人暮らし	21.6% 442	28.3% 578	50.0% 1,020	24.4% 498	15.4% 315	6.8% 138	3.5% 71	50.0% 1,022	100.0% 2,042
同居 (三人以上)	28.7% 2,533	30.6% 2,697	59.3% 5,230	20.7% 1,826	11.7% 1,031	5.5% 485	2.8% 251	40.7% 3,593	100.0% 8,823
無回答 不明	25.5% 945	24.3% 899	49.8% 1,844	19.9% 739	14.0% 519	9.1% 337	7.2% 267	50.2% 1,862	100.0% 3,706

## (5) 日常生活圏域

上段：構成比／下段：人数

性別	東部第一	東部第二	西部	南部	北部第一	北部第二	市外	総数
男性	15.5% 1,902	15.6% 1,910	19.7% 2,414	15.5% 1,898	17.1% 2,095	16.4% 2,012	0.2% 29	100.0% 12,260
女性	14.8% 2,201	15.1% 2,239	19.6% 2,918	15.8% 2,343	17.5% 2,596	16.7% 2,476	0.5% 79	100.0% 14,852
総数	15.1% 4,103	15.3% 4,149	19.7% 5,332	15.6% 4,241	17.3% 4,691	16.6% 4,488	0.4% 108	100.0% 27,112

## ○圏域別年齢構成

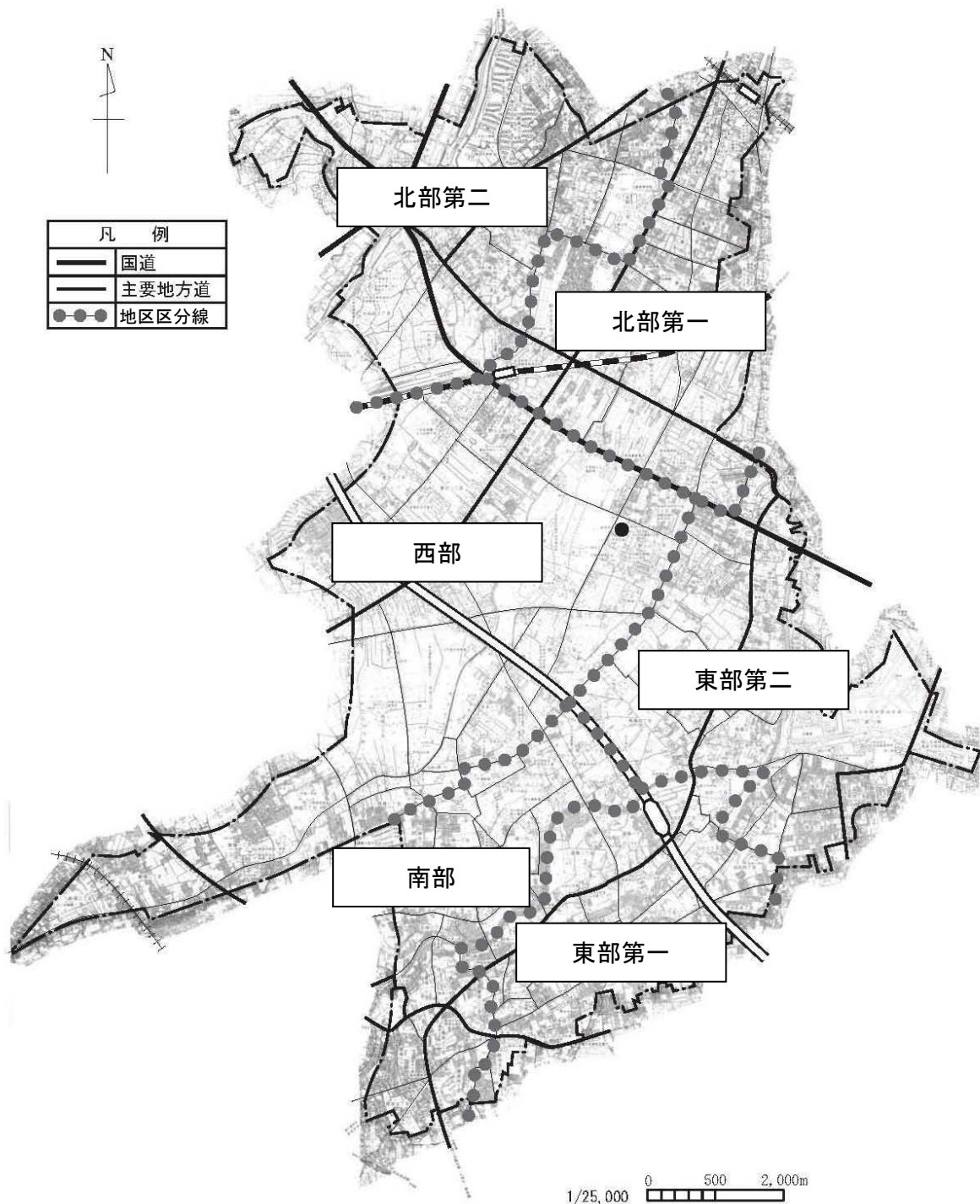
上段：構成比／下段：人数

日常生活 圏域	65～74 歳			75 歳以上					総数
	65～69 歳	70～74 歳	計	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90 歳以上	計	
東部第一	26.1% 1,071	32.3% 1,326	58.4% 2,397	22.4% 921	12.3% 505	4.6% 187	2.3% 93	41.6% 1,706	100.0% 4,103
東部第二	27.5% 1,143	31.7% 1,317	59.3% 2,460	21.2% 878	11.8% 488	5.4% 225	2.4% 98	40.7% 1,689	100.0% 4,149
西部	28.2% 1,503	30.0% 1,597	58.1% 3,100	21.3% 1,135	11.9% 634	5.7% 305	3.0% 158	41.9% 2,232	100.0% 5,332
南部	27.2% 1,153	30.5% 1,292	57.7% 2,445	21.7% 922	12.3% 522	5.7% 243	2.6% 109	42.3% 1,796	100.0% 4,241
北部第一	27.0% 1,265	29.2% 1,369	56.2% 2,634	23.9% 1,121	11.8% 555	5.3% 247	2.9% 134	43.8% 2,057	100.0% 4,691
北部第二	26.1% 1,171	29.1% 1,305	55.2% 2,476	23.9% 1,072	13.5% 605	5.0% 223	2.5% 112	44.8% 2,012	100.0% 4,488
市外	3.7% 4	11.1% 12	14.8% 16	13.9% 15	28.7% 31	25.9% 28	16.7% 18	85.2% 92	100.0% 108
総数	27.0% 7,310	30.3% 8,218	57.3% 15,528	22.4% 6,064	12.3% 3,340	5.4% 1,458	2.7% 722	42.7% 11,584	100.0% 27,112



○圏域別地区

圏域	地区
東部第一	池田、道場、片山、野寺
東部第二	畑中、馬場、栄、新塚
西部	新堀、西堀、本多、あたご、菅沢、野火止一～四丁目
南部	石神、栗原、堀ノ内
北部第一	東北、東、野火止五～八丁目
北部第二	中野、大和田、新座、北野



### 3 二次予防事業該当状況

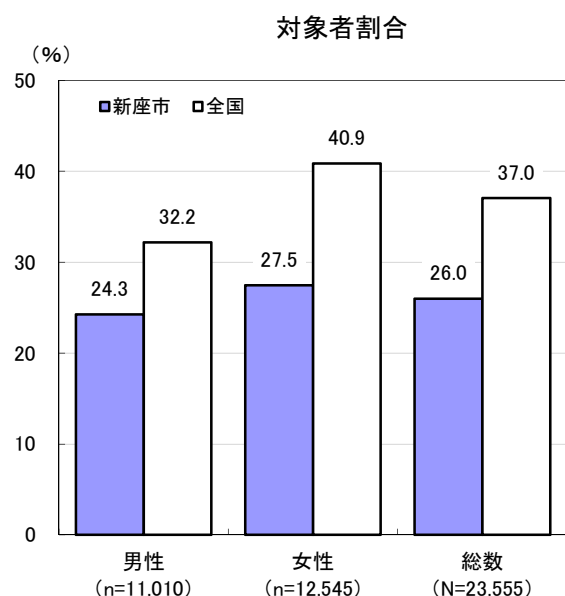
#### (1) 二次予防事業対象者

日常生活圏域ニーズ調査には、介護予防事業（二次予防事業）の対象者選定のための基本チェックリストの設問項目が含まれていることから、ここではその評価項目（運動、栄養、口腔、生活機能全般、閉じこもり、認知機能、うつ）について結果をまとめている。

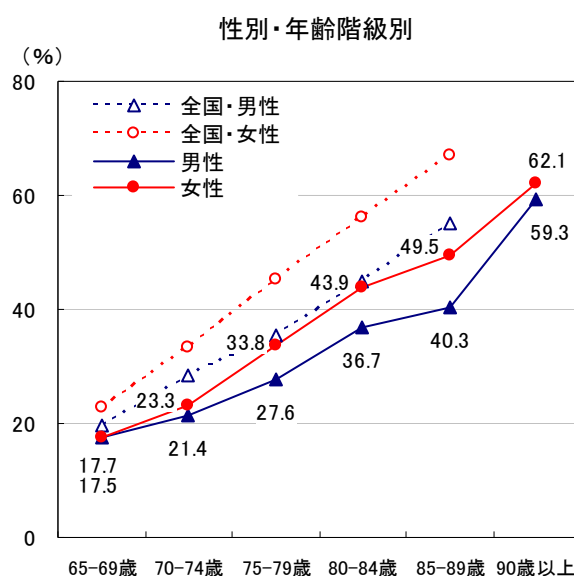
介護予防事業では、基本チェックリストの運動、栄養、口腔、生活機能全般のいずれかに該当した場合、二次予防事業の対象者になるが、今回の調査結果から要介護・要支援認定を受けていない一般高齢者全体で6,117人、26.0%（男性24.3%、女性27.5%）が二次予防事業対象者であることがわかっている。男性より女性で、また年齢が高いほど対象者割合が高くなっている。

全国の調査結果と比較すると、男女ともに全国の値を大幅に下回っている。

図表 二次予防事業対象者割合



注: 要介護・要支援認定者を除いて集計(以下、基本チェックリストの評価項目については、同様に集計)



注: 全国の数値は、平成22年度に全国で行われた日常生活圏域ニーズ調査結果(モデル事業)による。なお、全国の85-89歳には90歳以上を含む。

図表 二次予防事業該当者数・割合（一般高齢者）

上段：構成比／下段：人数

日常生活 圏域	二次予防 事業対象	運動器の 機能低下	低栄養	口腔機能 の低下	生活機能 全般低下	閉じ こもり	認知機能 低下	うつ	全体
東部第一	26.3% 942	12.8% 459	0.9% 33	18.5% 664	4.8% 173	5.8% 206	29.1% 1,042	17.1% 614	100.0% 3,582
東部第二	26.1% 951	13.5% 490	0.9% 34	18.1% 657	5.3% 192	6.0% 220	29.1% 1,060	19.1% 693	100.0% 3,637
西部	25.7% 1,186	12.6% 582	0.9% 42	18.5% 854	5.4% 250	5.8% 270	29.6% 1,368	17.8% 824	100.0% 4,620
南部	27.4% 1,015	12.9% 478	0.8% 31	19.7% 730	5.5% 203	5.4% 200	30.7% 1,135	19.0% 703	100.0% 3,702
北部第一	24.5% 999	11.6% 472	0.9% 37	17.5% 713	4.7% 193	5.0% 205	29.4% 1,198	17.4% 709	100.0% 4,073
北部第二	26.1% 1,019	12.1% 471	1.2% 48	18.5% 721	4.8% 186	5.2% 201	30.6% 1,195	18.4% 718	100.0% 3,902
市外	12.8% 5	5.1% 2	0.0% 0	7.7% 3	7.7% 3	5.1% 2	15.4% 6	5.1% 2	100.0% 39
総数	26.0% 6,117	12.5% 2,954	1.0% 225	18.4% 4,342	5.1% 1,200	5.5% 1,304	29.7% 7,004	18.1% 4,263	100.0% 23,555

注：閉じこもり、認知機能低下、うつには二次予防事業対象者以外でそれぞれの項目に該当した者を含む。

## (2) 運動機能低下リスク

### ア 設問と評価

基本チェックリストでは、下の5つの設問に対する回答から、足腰を中心とした高齢者の運動機能に関してリスク判定をしている（厚生労働省『地域支援事業実施要綱』）。

具体的には、5問中3問以上に該当した場合に運動器の機能低下ありと判断され、二次予防事業の「運動器の機能向上」プログラムの対象者となる（以下「該当者」という。）。

図表 運動器に関する設問（基本チェックリスト）

問番号	設 問	該当する選択肢
設問4・問1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	「2. いいえ」
設問4・問2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	「2. いいえ」
設問4・問3	15分位続けて歩いていますか	「2. いいえ」
設問4・問5	この1年間に転んだことがありますか	「1. はい」
設問4・問6	転倒に対する不安は大きいですか	「1. はい」

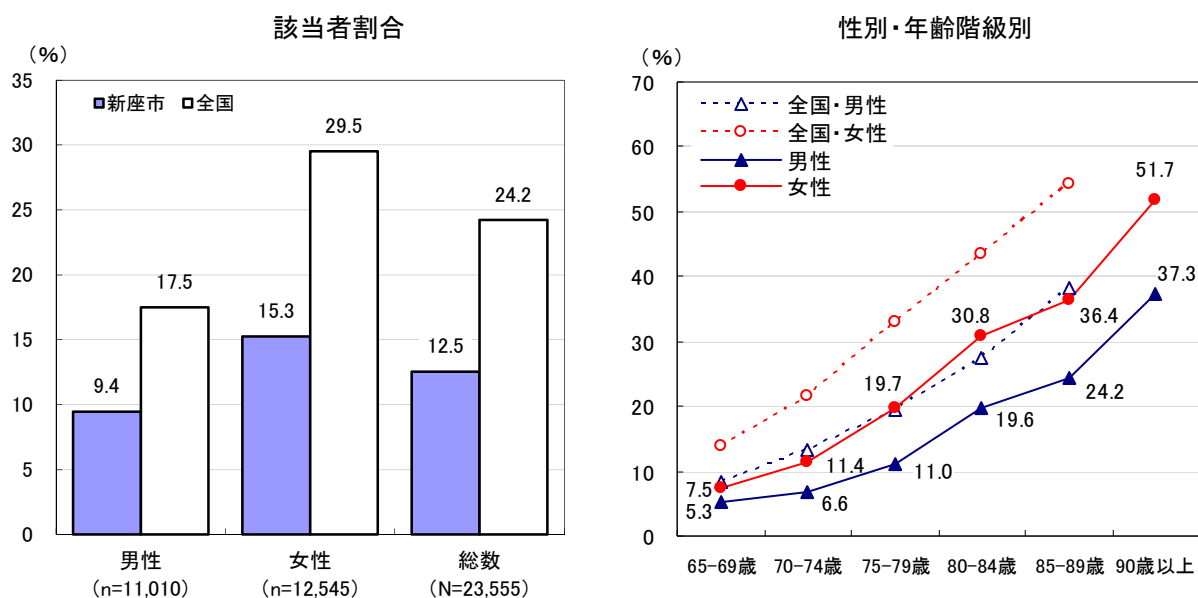
注:問番号は本調査で使用した調査票の問番号(以下同じ。)

### イ 評価結果

評価結果をみると、回答のあった要介護・要支援認定を受けていない高齢者23,555人のうち2,954人、12.5%（男性9.4%、女性15.3%）が該当者と判定された。男性より女性で、また年齢が高いほど該当者割合が高くなっている。

これを平成22年度に全国で行われた日常生活圏域ニーズ調査結果と比較すると、該当者割合は全国調査結果を11.7ポイント下回っている。調査時点も古く、単純な比較はできないが、全国的にみれば総じて該当者は少ないことがうかがえる。

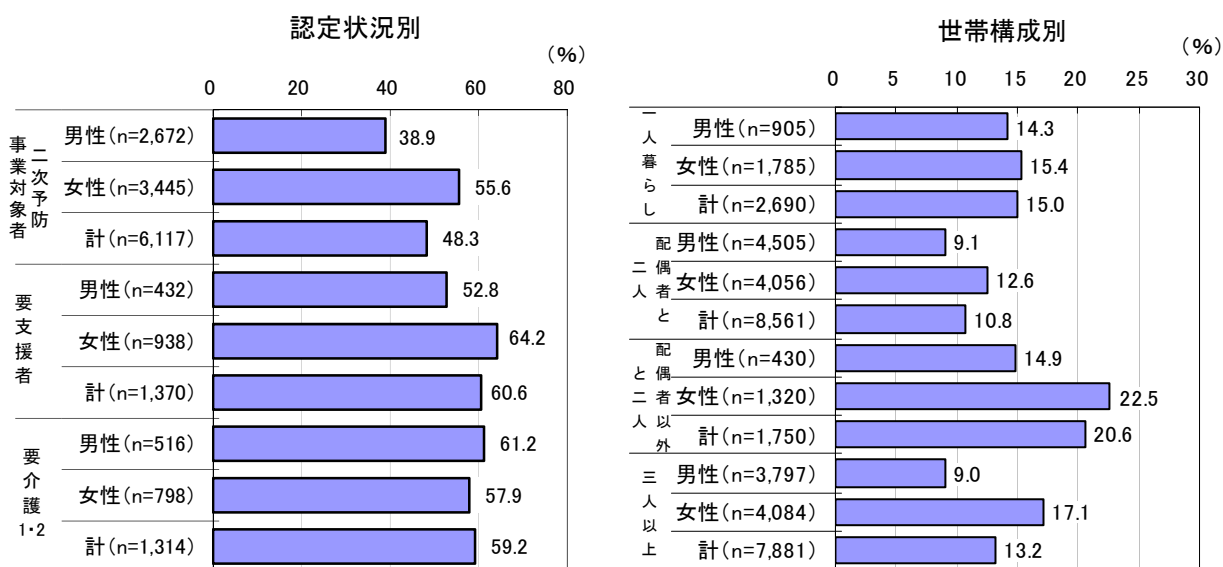
図表 該当状況－運動器の機能低下



今回の調査で二次予防事業対象者と判定された高齢者と要支援者、要介護1・2の認定者の該当状況を比較すると、二次予防事業対象者では全体の48.3%が、要支援者では60.6%が、要介護1・2では59.2%が該当者になっており、認定者のほうが足腰を中心とした運動機能が低下していると考えられる高齢者が多くなっていることがわかる。

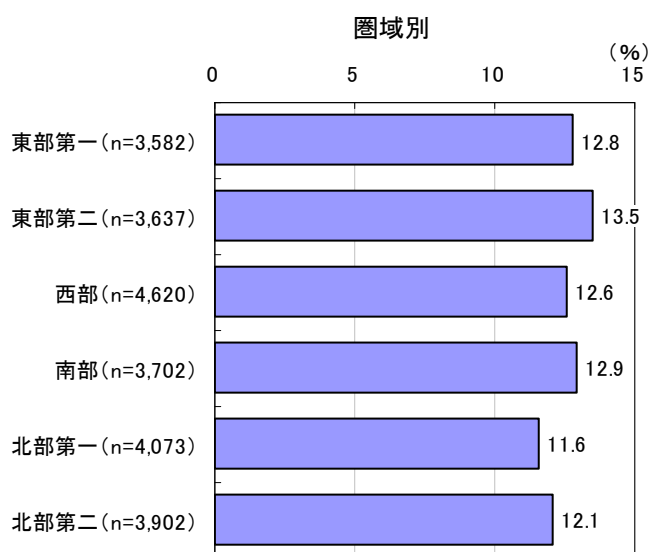
世帯構成別では、配偶者以外と二人暮らし世帯で該当者割合が比較的高くなっている一方、配偶者と二人暮らし世帯では低くなっている。配偶者と二人暮らし世帯の年齢構成が比較的若いことを反映しているものと考えられる。

図表 該当状況－認定状況別、世帯構成別



日常生活圏域別にみると、東部第二で該当者割合が13.5%と、他圏域に比べて高くなっている一方、北部第一では11.6%と、比較的低くなっている。

図表 該当状況－圏域別



### (3) 低栄養リスク

#### ア 設問と評価

基本チェックリストでは、下の2つの設問に対する回答から、高齢者の低栄養リスクの判定がなされる。

具体的には、2問中2問に該当した場合（BMI＝体重(kg)／身長(m)／身長(m)が18.5未満で、ここ6か月間で2～3kg以上の体重減少があった場合）に低栄養状態と判断され、二次予防事業の「栄養改善」プログラムの対象者(該当者)となる。

図表 栄養に関する設問（基本チェックリスト）

問番号	設問	該当する選択肢
設問5・問1	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	「1. はい」
設問5・問2	身長（ ）cm、体重（ ）kg	BMI※<18.5

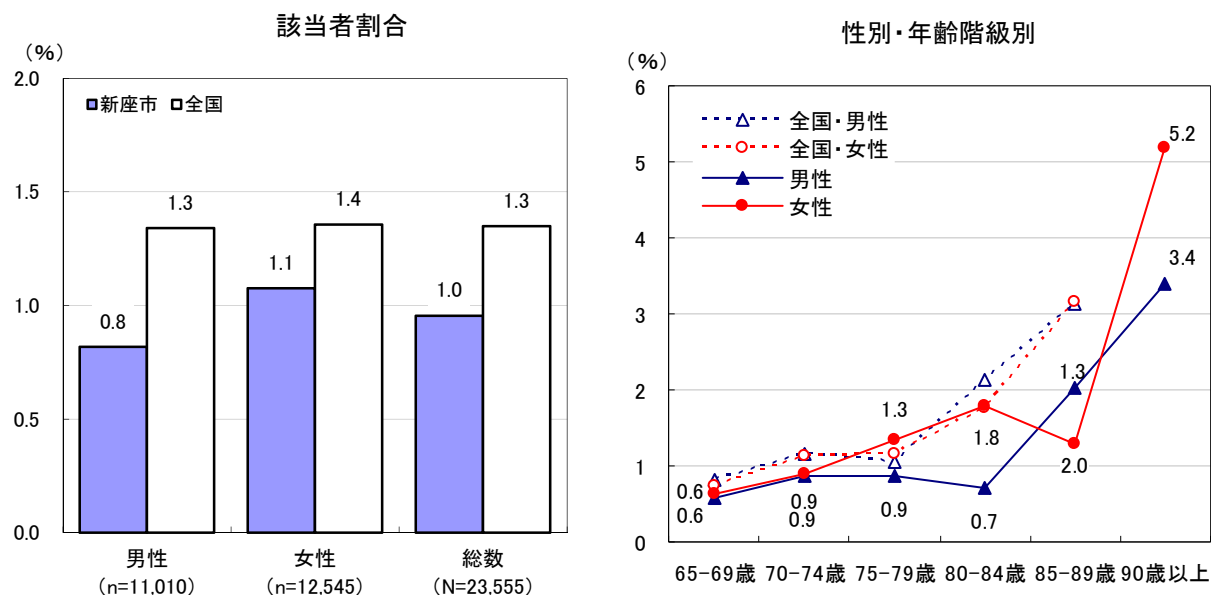
※BMI(肥満指数):体重(kg)／身長(m)／身長(m)によって求められる値。18.5未満が「やせ」、25以上が「肥満」。

#### イ 評価結果

結果をみると、一般高齢者全体で225人、1.0%（男性0.8%、女性1.1%）が該当者となっており、他の項目と比較して該当者が非常に少なくなっている。年齢階級別では、年齢が高いほど該当者割合が高くなる傾向がみられる。

全国調査結果と比較すると、男女ともに該当者割合が全国より低くなっている。年齢階級別にみても、男性ではいずれの年代でも全国の値を下回っている。

図表 該当状況－低栄養

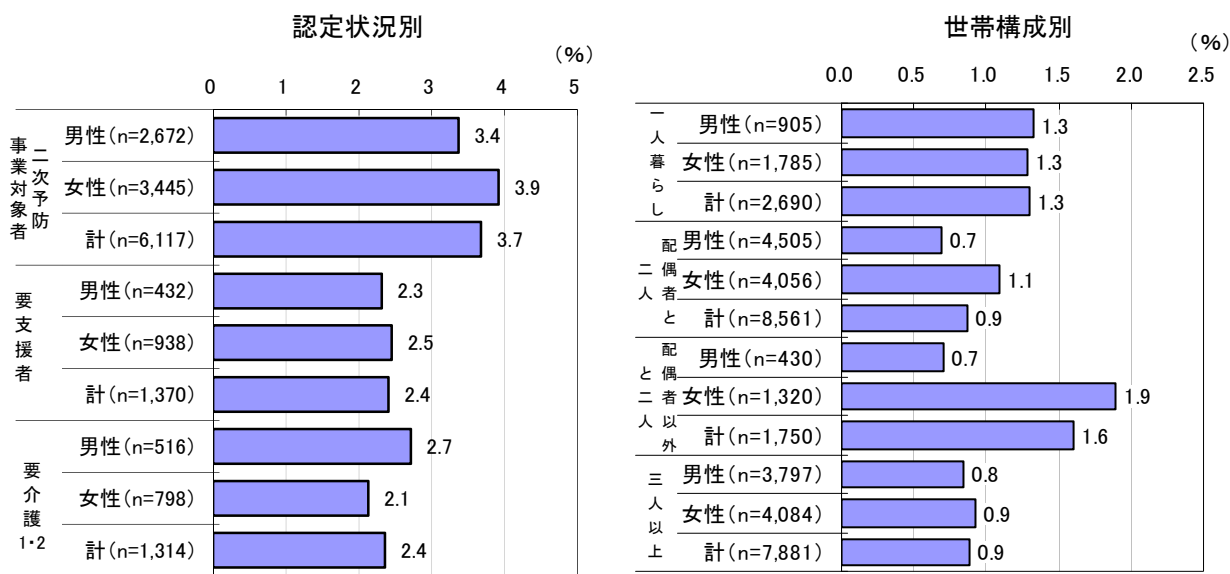


二次予防事業対象者と要支援者、要介護1・2の該当状況とを比較すると、二次予防事業対象者では全体の3.7%が、要支援者、要介護1・2ではそれぞれ2.4%が栄養で該当している。

認定者のほうが該当者割合が低いのは、介護（予防）サービスを受ける中で、一定の栄養面のケアがされていることが影響していることが考えられる。

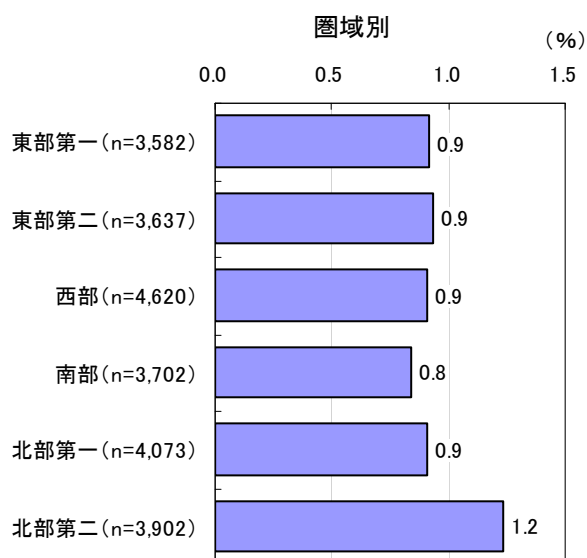
世帯構成別では、一人暮らし世帯や配偶者以外と二人暮らし世帯の該当者割合が若干高くなっている。

図表 該当状況－認定状況別、世帯構成別



圏域別では、北部第二で該当者割合が1.2%と比較的高くなっている。

図表 該当状況－圏域別



#### (4) 口腔機能低下リスク

##### ア 設問と評価

基本チェックリストでは、下の3つの設問に対する回答から、栄養と関連する指標として口腔機能のリスク判定がなされている。

具体的には、3問中2問以上に該当した場合に口腔機能の低下ありと判断され、二次予防事業の「口腔機能向上」プログラムの対象者(該当者)となる。

図表 口腔機能に関する設問 (基本チェックリスト)

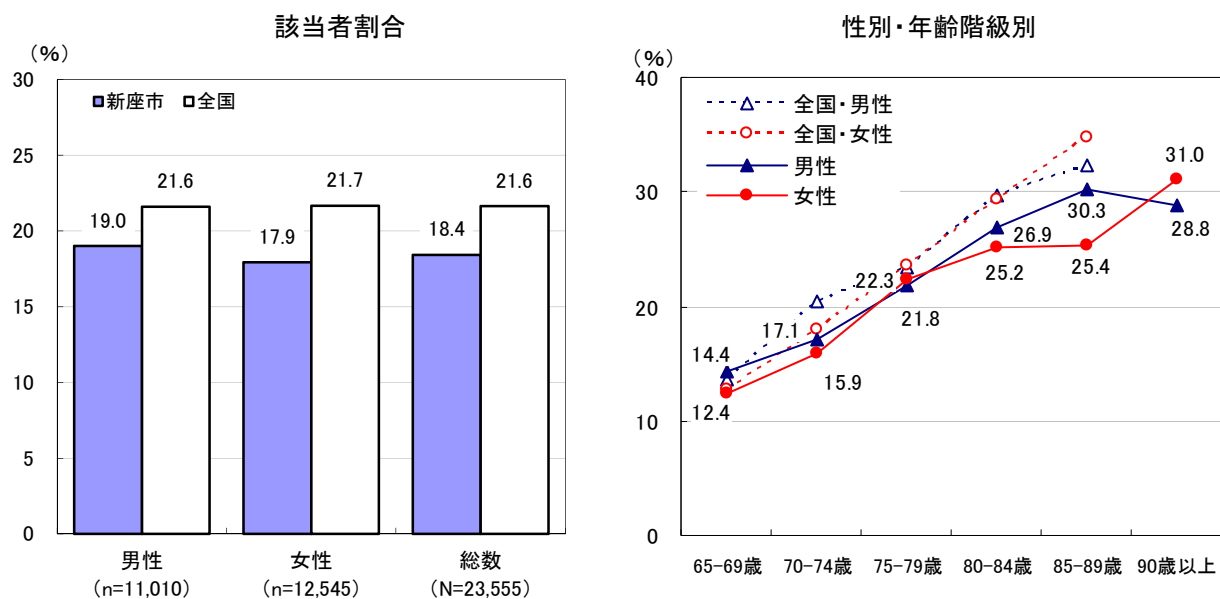
問番号	設 問	該当する選択肢
設問5・問8	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「1. はい」
設問5・問9	お茶や汁物等でむせることがありますか	「1. はい」
設問5・問10	口の渇きが気になりますか	「1. はい」

##### イ 評価結果

結果をみると、全体で4,342人、18.4% (男性19.0%、女性17.9%)が該当者と評価されている。年齢階級別では、年齢が高いほど該当者割合が高くなっている。

全国調査結果との比較では、男性で2.6ポイント、女性で3.8ポイント全国の値を下回っている。

図表 該当状況—口腔機能低下



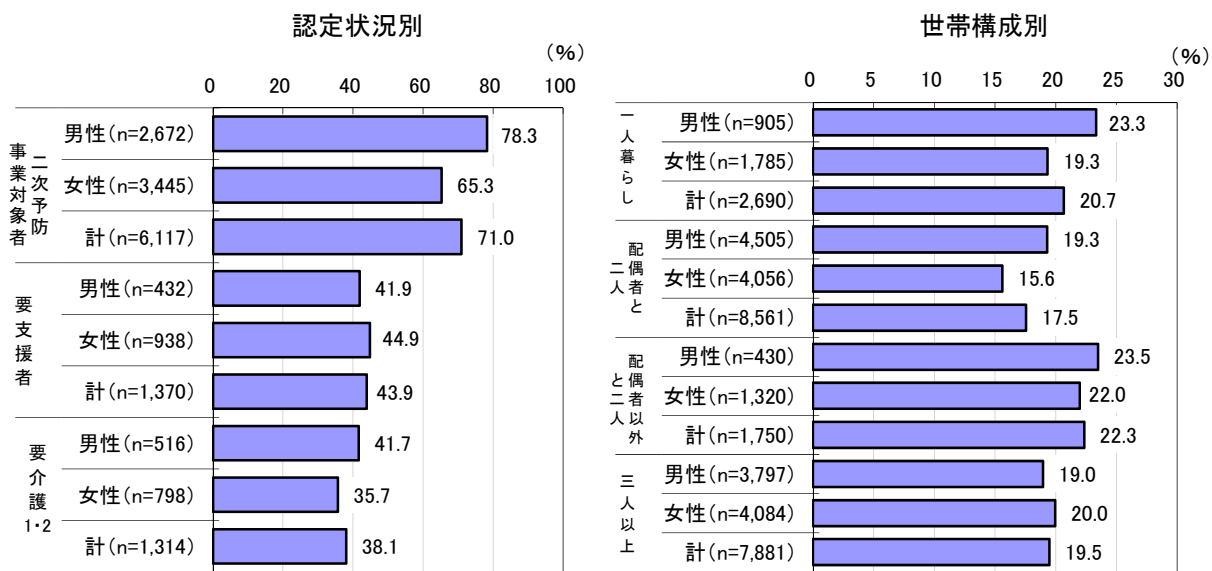


二次予防事業対象者と要支援者、要介護1・2の該当状況とを比較すると、二次予防事業対象者では71.0%が該当者となっているのに対し、要支援者、要介護1・2ではそれぞれ43.9%、38.1%と、二次予防事業対象者のほうが該当者割合が高くなっている。

認定者では、介護（予防）サービスを利用する中で、一定の口腔ケアも受けていることを反映した結果と推測される。

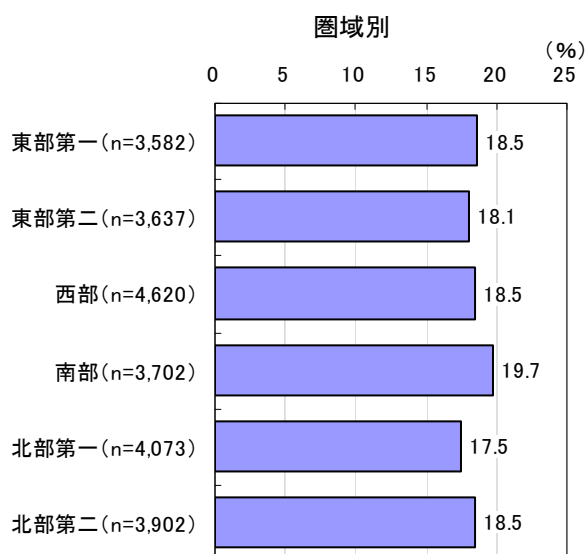
世帯構成別では、配偶者と二人暮らし世帯で該当者割合が比較的低くなっている。

図表 該当状況－認定状況別、世帯構成別



圏域別では、南部で該当者割合が19.7%と比較的高い一方、北部第一で低くなっている。

図表 該当状況－圏域別



(5) 生活機能全般低下リスク

ア 設問と評価

基本チェックリストでは、うつ予防に関する5問を除いた20問中10問以上に該当した場合、二次予防事業の対象者(該当者)となる。

この項目は、運動や栄養などの個別の評価項目にIADLや社会生活に関する設問を加えた生活機能の総合評価としての位置づけになる。

図表 生活機能全般に関する設問(基本チェックリスト)

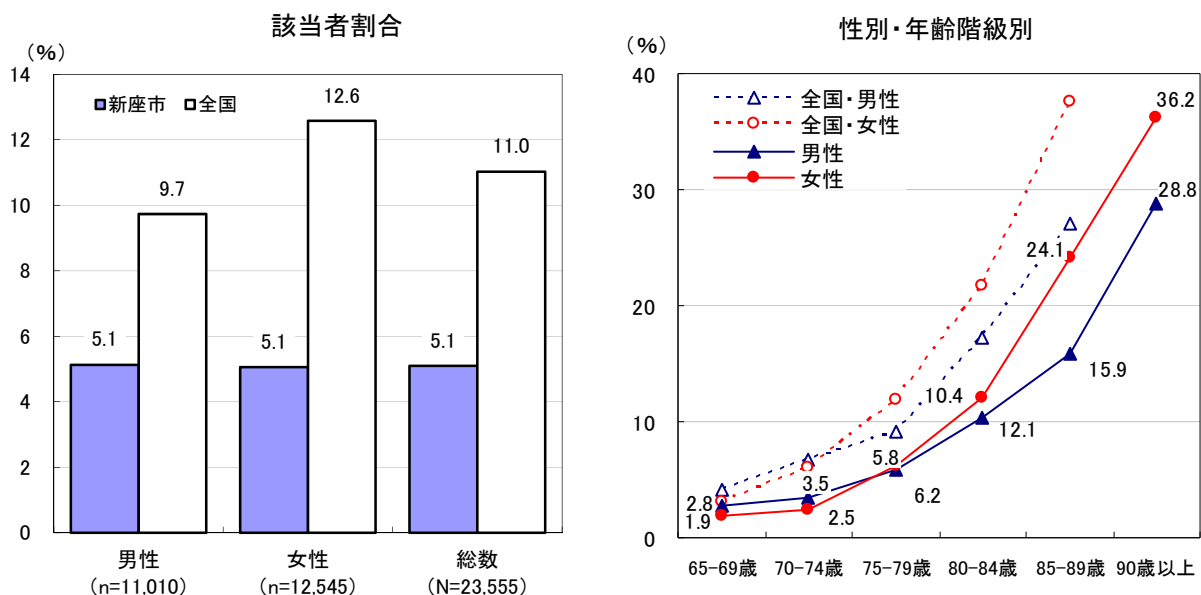
問番号	設問	該当する選択肢
設問2・問1	バスや電車で一人で外出していますか(自家用車でも可)	「2. できるだけしていない」 または「3. できない」
設問2・問2	日用品の買物をしていますか	「2. できるだけしていない」 または「3. できない」
設問2・問5	預貯金の出し入れをしていますか	「2. できるだけしていない」 または「3. できない」
設問2・問10	友人の家を訪ねていますか	「2. いいえ」
設問2・問11	家族や友人の相談にのっていますか	「2. いいえ」
設問4・問1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	「2. いいえ」
設問4・問2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	「2. いいえ」
設問4・問3	15分位続けて歩いていますか	「2. いいえ」
設問4・問5	この1年間に転んだことがありますか	「1. はい」
設問4・問6	転倒に対する不安は大きいですか	「1. はい」
設問5・問1	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	「1. はい」
設問5・問2	身長( )cm、体重( )kg	BMI < 18.5
設問5・問8	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「1. はい」
設問5・問9	お茶や汁物等でむせることがありますか	「1. はい」
設問5・問10	口の渴きが気になりますか	「1. はい」
設問3・問1	週に1回以上は外出していますか	「2. いいえ」
設問3・問2	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	「1. はい」
設問6・問1	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると 言われますか	「1. はい」
設問6・問2	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	「2. いいえ」
設問6・問3	今日が何月何日かわからないときがありますか	「1. はい」

## イ 評価結果

評価結果をみると、一般高齢者全体で1,200人、5.1%（男性5.1%、女性5.1%）が該当者となっている。年齢階級別では、年齢が高いほど該当者割合が高くなっている。

これを全国調査結果と比較すると、男女ともに該当者割合は全国の値を大きく下回っている。年齢階級別にみても、男女ともに全国の値を全年代で下回っている。

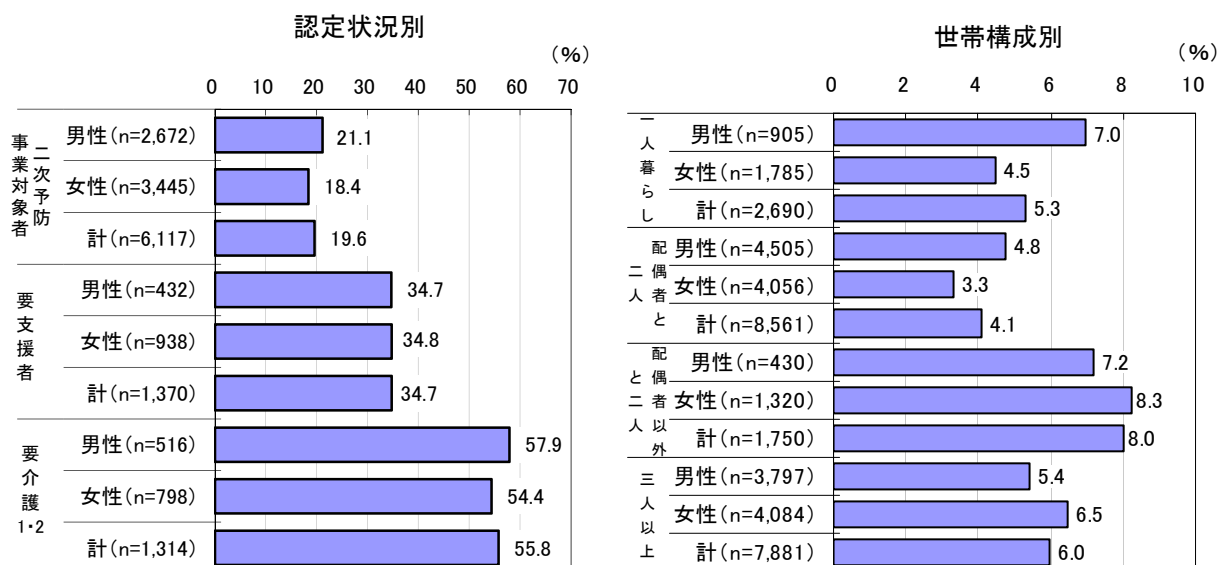
図表 該当状況—生活機能全般



二次予防事業対象者と要支援者、要介護1・2の該当状況とを比較すると、二次予防事業対象者では19.6%が該当者となっているのに対し、要支援者、要介護1・2ではそれぞれ34.7%、55.8%が該当者で、要介護度が重くなるほど該当者割合が高くなっている。

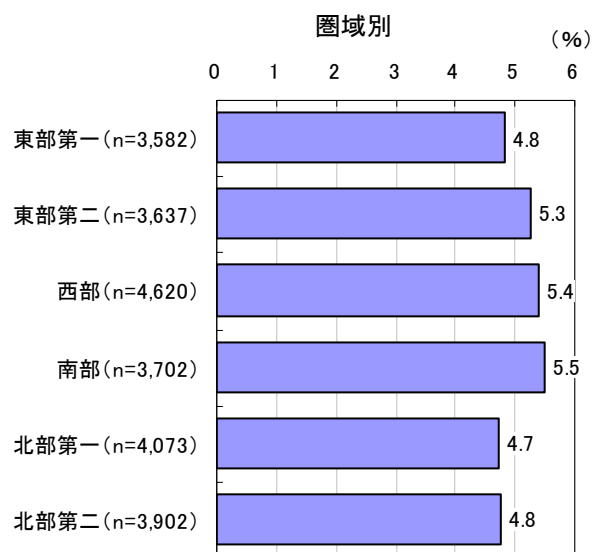
世帯構成別では、配偶者以外と二人暮らし世帯で該当者割合が高くなっている。

図表 該当状況—認定状況別、世帯構成別



圏域別では、南部、西部、東部第二で該当者割合が5%を超えて他の圏域に比べて若干高くなっている。

図表 該当状況－圏域別



## (6) 閉じこもりリスク

### ア 設問と評価

基本チェックリストには、運動に関連する指標として、閉じこもりのリスクに関する設問が2問含まれている（下表参照）。

具体的には、二次予防事業対象者が設問3・問1に該当した場合、閉じこもりと判断され、閉じこもりの予防にも配慮した二次予防事業を行うことになる。さらに設問3・問2にも該当している場合は、より注意が必要という評価になる。

ただ、二次予防事業対象者でなくとも、外出回数が週1回未満の場合には、寝たきりの要因の一つといわれる閉じこもりリスクがあると考えられるため、ここでは週1回以上外出していないと回答している場合をリスク者としてみなしている。

図表 閉じこもりに関する設問（基本チェックリスト）

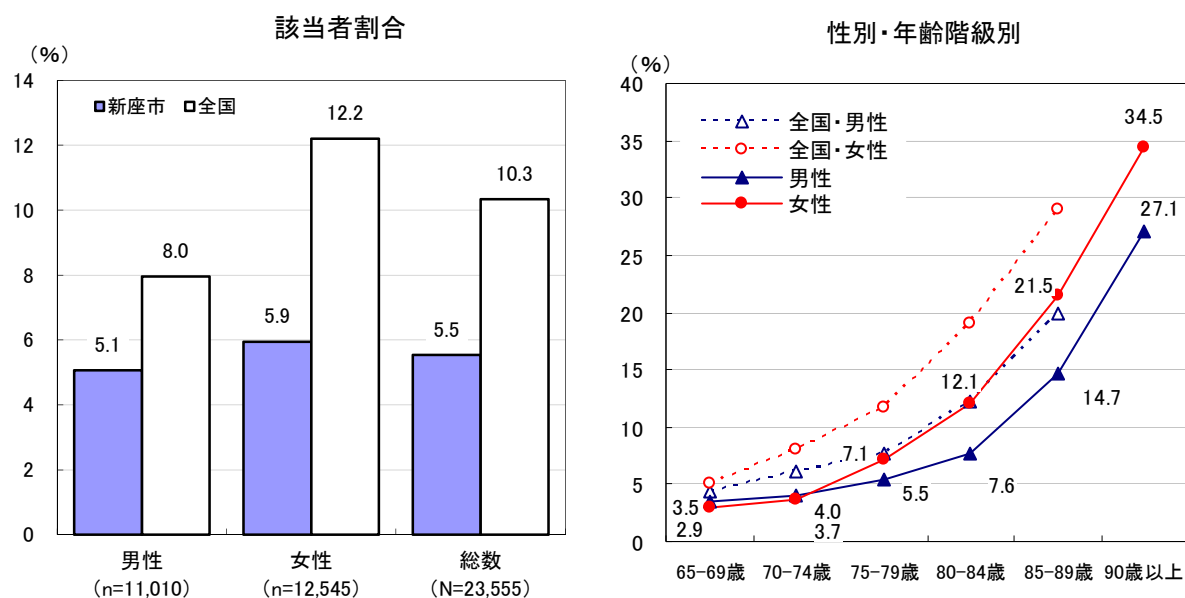
問番号	設 問	該当する選択肢
設問3・問1	週に1回以上は外出していますか	「2. いいえ」
設問3・問2	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	「1. はい」

### イ 評価結果

評価結果をみると、全体で1,304人、5.5%（男性5.1%、女性5.9%）が該当者となっており、性別では女性のほうが、また年齢が高いほど該当者割合が高くなっている。

これを全国調査結果と比較すると、特に女性が全国の値を大きく下回っている。

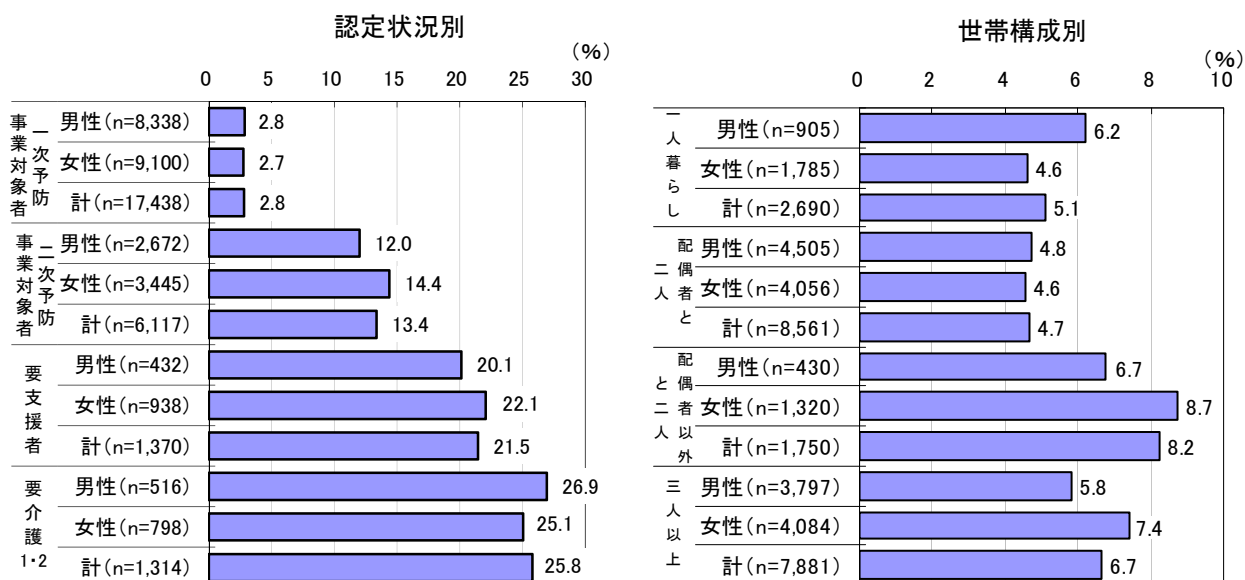
図表 該当状況－閉じこもり



二次予防事業対象者と要支援者、要介護1・2の該当状況とを比較すると、二次予防事業対象者では13.4%が該当者になっているのに対し、要支援者、要介護1・2ではそれぞれ21.5%、25.8%と、要介護度が重くなるほど該当者割合が高くなっている。なお、二次予防事業対象者にならない一次予防事業対象者でも2.8%が閉じこもりに該当している。

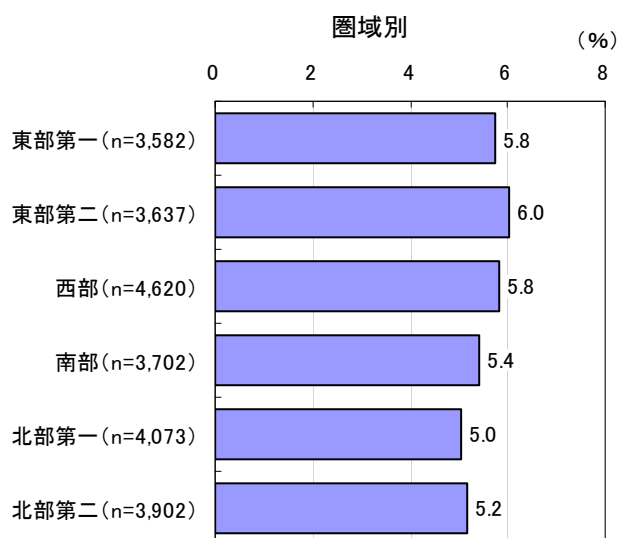
世帯構成別にみると、配偶者以外と二人暮らし世帯で該当者割合が8.2%と、比較的高くなっている。

図表 該当状況－認定状況別、世帯構成別



圏域別では、東部第二が該当者割合が6.0%と比較的高い一方、北部第一は5.0%と低くなっている。

図表 該当状況－圏域別



## ウ 二次予防事業対象者

運動、栄養、口腔、生活機能全般のいずれかで二次予防事業対象者に該当した高齢者について、それぞれの閉じこもり該当の状況が下の図表になる。

全体で閉じこもりに該当する高齢者は 1,304 人（全体の 5.5%）となっているが、そのうち二次予防事業の対象者は 817 人で、閉じこもり該当者の 62.7%、二次予防事業対象者全体（6,117 人）の 13.4%になっている。

図表 二次予防事業対象者の閉じこもり該当状況

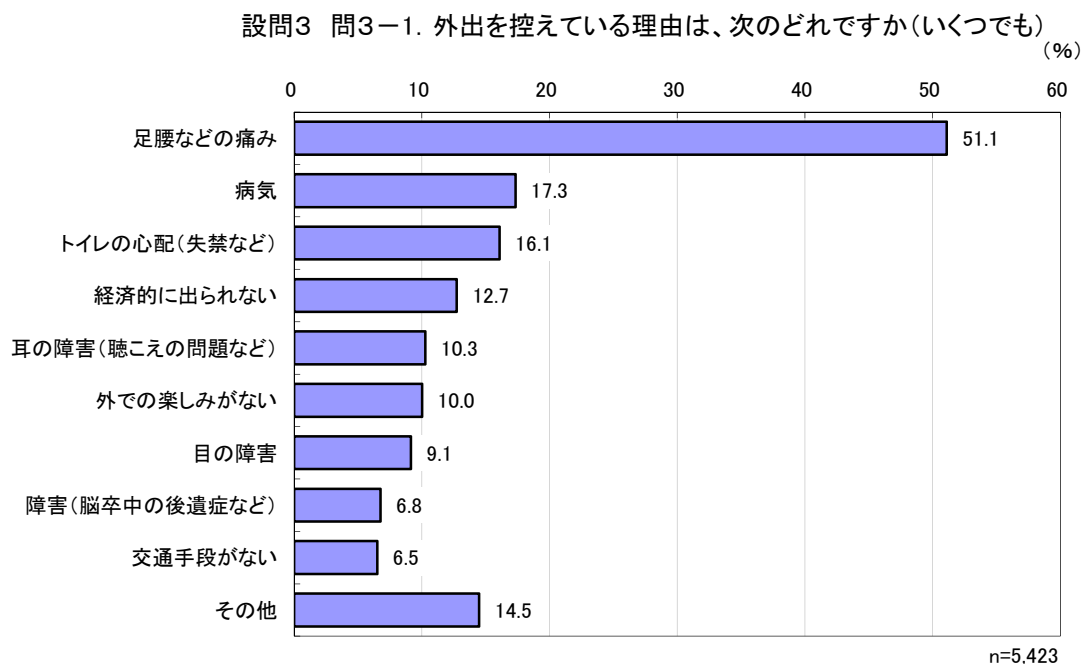
主要 評価項目	主要評価項目		うち閉じこもり該当		
	該当者数 (人)	割合 (対全体)	該当者数 (人)	割合 (対全体)	割合 (対該当者)
全体	23,555	100.0%	1,304	100.0%	5.5%
二次予防	6,117	26.0%	817	62.7%	13.4%
生活機能全般	1,200	5.1%	549	42.1%	45.8%
運動	2,954	12.5%	619	47.5%	21.0%
栄養	225	1.0%	44	3.4%	19.6%
口腔	4,342	18.4%	477	36.6%	11.0%

注：主要評価項目の該当者数には、重複して該当している者を含んでいる。

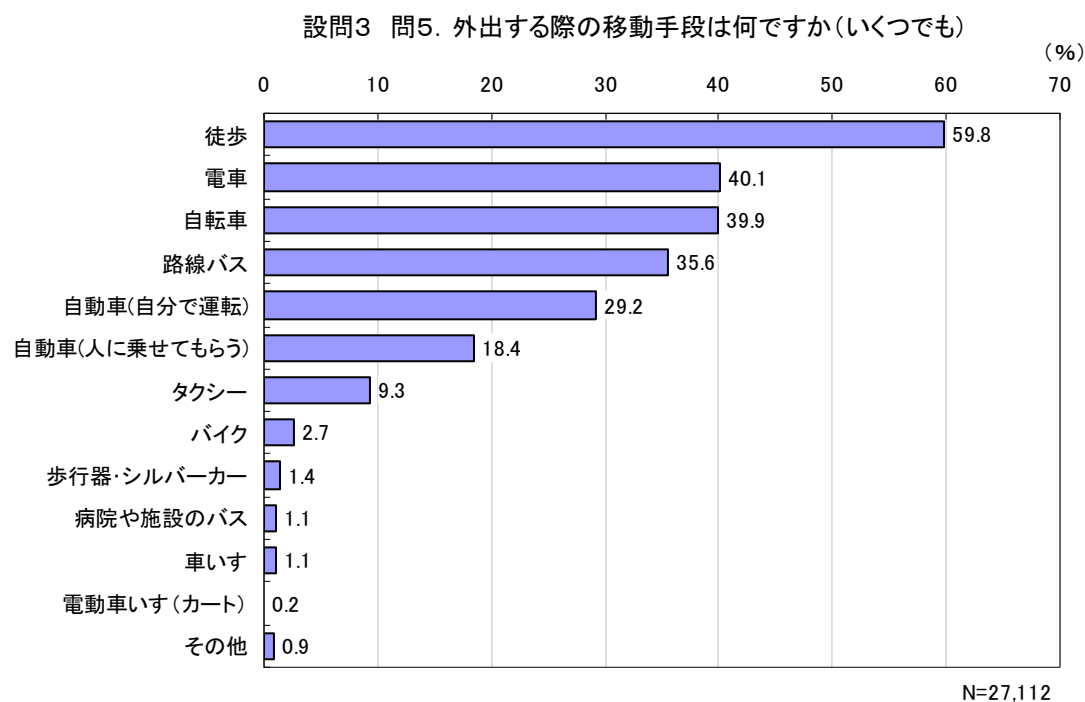
外出を控えていると回答した 5,423 人にその理由を質問したところ、最も多いのは「足腰などの痛み」が 51.1%と過半数となっており、以下「病気」（17.3%）、「トイレの心配」（16.1%）、「経済的に出られない」（12.7%）などが続いている。

また、外出する際の移動手段としては、「徒歩」が 59.8%で最も多く、次いで「電車」（40.1%）「自転車」（39.9%）、「路線バス」（35.6%）、「自家用車（自分で運転）」（29.2%）などが続いている。

図表 外出を控えている理由



図表 外出の際の移動手段





## (7) 認知機能低下リスク

### ア 設問と評価

基本チェックリストでは、下の3つの設問に対する回答から、認知機能低下のリスクがあるかの判定がなされる。

具体的には、3問中1問以上に該当する二次予防事業対象者は、認知機能低下ありと判断され、認知機能低下予防にも配慮した二次予防事業を実施する必要がある。

図表 認知機能に関する設問（基本チェックリスト）

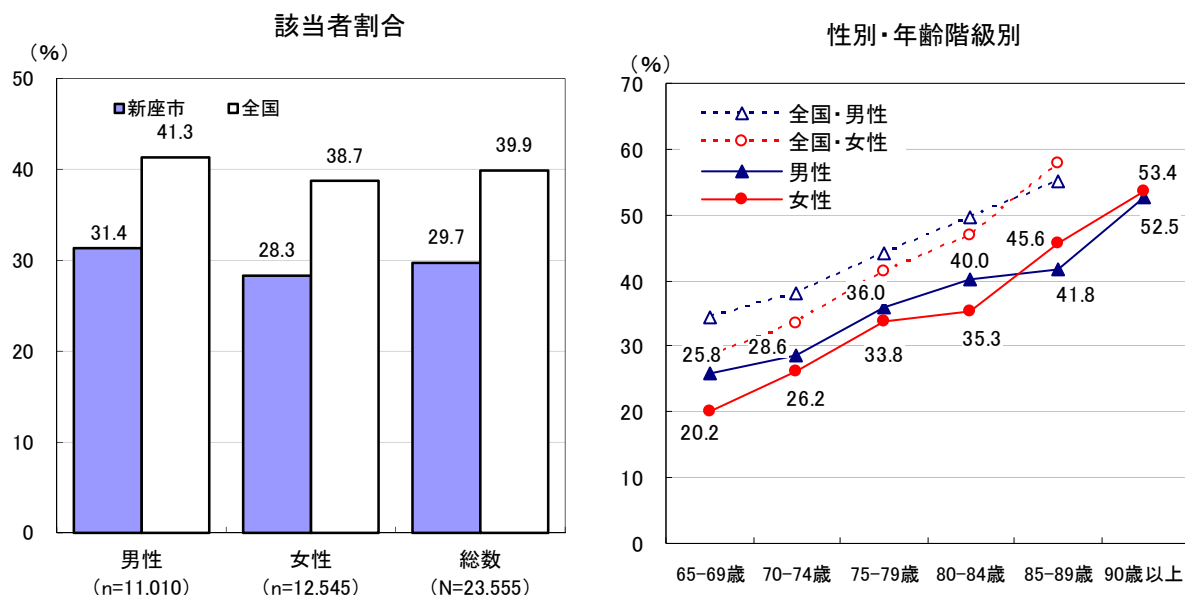
問番号	設 問	該当する選択肢
設問6・問1	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか	「1. はい」
設問6・問2	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	「2. いいえ」
設問6・問3	今日が何月何日かわからないときがありますか	「1. はい」

### イ 評価結果

結果をみると、全体で7,004人29.7%（男性31.4%、女性28.3%）が該当者となっている。性別では、女性より男性のほうが該当者割合が高くなっている。年齢別では、年齢が高いほど該当者割合が高くなっている。

これを全国調査結果と比較すると、男女ともに全国の値を大きく下回っており、年齢階級別にみても同様な傾向となっている。

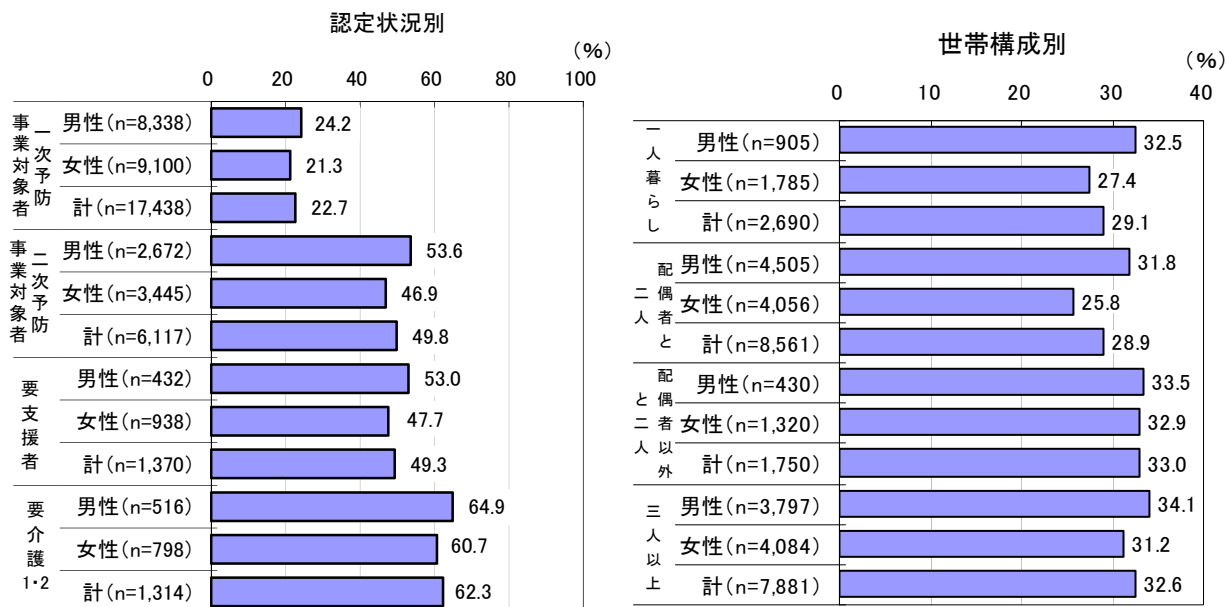
図表 該当状況－認知機能低下



二次予防事業対象者と要支援者、要介護1・2の該当状況とを比較すると、二次予防事業対象者では49.8%が該当者になっているのに対し、要支援者、要介護1・2ではそれぞれ49.3%、62.3%が該当者で、要介護者でその割合が高くなっている。

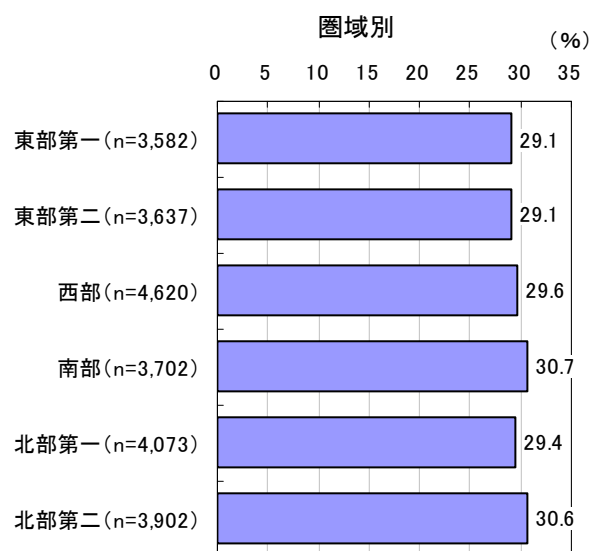
世帯構成別にみると、配偶者以外と二人暮らし世帯、三人以上の同居世帯で比較的該当者割合が高くなっている。

図表 該当状況－認定状況別、世帯構成別



圏域別では、いずれの圏域も30%前後で、ほとんど差がない結果になっている。

図表 該当状況－圏域別



## ウ 二次予防事業対象者

閉じこもりと同様に、運動、栄養、口腔、生活機能全般のいずれかで二次予防事業対象者に該当した高齢者が、認知機能でも該当した場合は、認知機能低下予防にも考慮したプログラムが必要となる。

そこで、認知機能低下予防も考慮した二次予防事業の対象になる高齢者数を、運動、栄養、口腔、生活機能全般の主要4項目の該当者ごとにみたのが下の図表となる。

認知機能低下に該当する高齢者は一般高齢者全体で7,004人（全体の29.7%）となっているが、そのうち二次予防事業の対象者は3,049人で、認知機能該当者の43.5%、二次予防事業対象者全体（6,117人）の49.8%となっている。

これを主要評価項目ごとにみると、評価の基礎になる設問が重複している生活機能全般の該当者では83.4%が認知機能低下でも該当している。それ以外の項目では概ね50%前後が認知機能低下にも該当している。

図表 二次予防事業対象者の認知機能低下該当状況

主要 評価項目	主要評価項目		うち認知機能低下該当		
	該当者数 (人)	割合 (対全体)	該当者数 (人)	割合 (対全体)	割合 (対該当者)
全体	23,555	100.0%	7,004	100.0%	29.7%
二次予防	6,117	26.0%	3,049	43.5%	49.8%
生活機能全般	1,200	5.1%	1,001	14.3%	83.4%
運動	2,954	12.5%	1,591	22.7%	53.9%
栄養	225	1.0%	107	1.5%	47.6%
口腔	4,342	18.4%	2,269	32.4%	52.3%

## (8) うつリスク

### ア 設問と評価

基本チェックリストでは、下の5つの設問に対する回答から、うつ予防・支援の対象者になるかの判定がなされている。

具体的には、5問中2問以上に該当した二次予防事業対象者は、うつ予防・支援にも配慮した二次予防事業を実施することになる。

図表 うつに関する設問（基本チェックリスト）

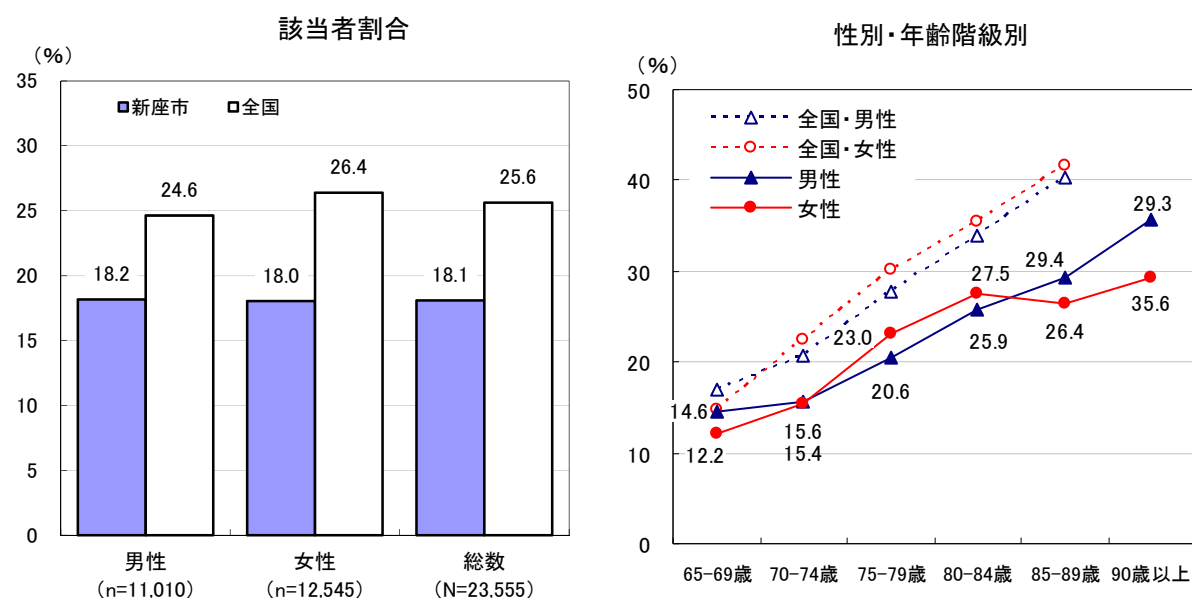
問番号	設問	該当する選択肢
設問10・問18	(ここ2週間)毎日の生活に充実感がない	「1. はい」
設問10・問19	(ここ2週間)これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	「1. はい」
設問10・問20	(ここ2週間)以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる	「1. はい」
設問10・問21	(ここ2週間)自分が役に立つ人間だと思えない	「1. はい」
設問10・問22	(ここ2週間)わけもなく疲れたような感じがする	「1. はい」

### イ 評価結果

評価結果をみると、全体で4,263人、18.1%（男性18.2%、女性18.0%）が該当者となっており、年齢が高くなるほど該当者割合が高くなっている。

全国の調査結果と比較すると、男女とも全国の数値を大きく下回っている。年齢階級別にみると、年齢が高くなるほど全国との差が大きくなっている。

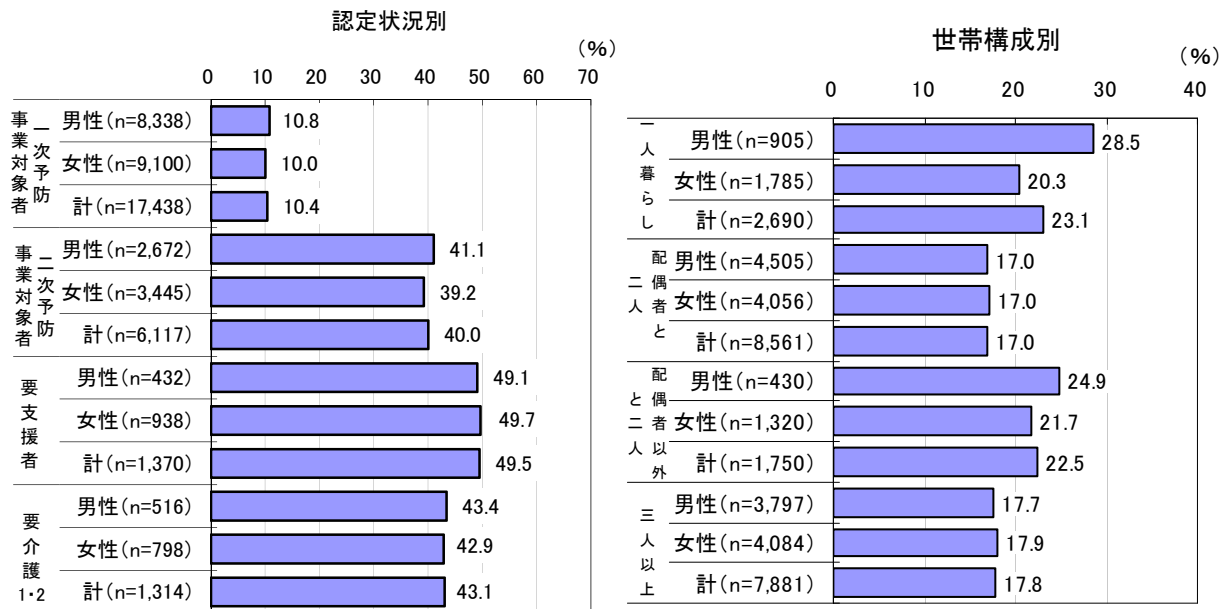
図表 該当状況ーうつ



二次予防事業対象者と要支援者、要介護1・2の該当状況とを比較すると、二次予防事業対象者では40.0%が該当者となっているのに対し、要支援者、要介護1・2ではそれぞれ49.5%、43.1%と、要支援者で該当者割合が高くなっている。

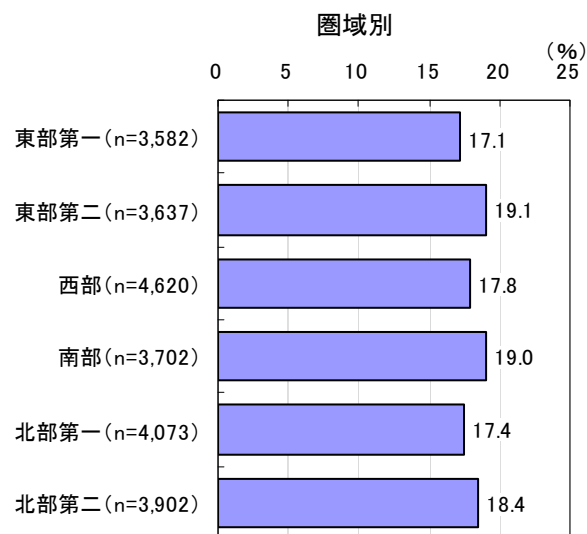
世帯構成別にみると、一人暮らし世帯や配偶者以外と二人暮らし世帯で該当者割合が比較的高くなっている。

図表 該当状況－認定状況別、世帯構成別



圏域別にみると、東部第二や南部で該当者割合が比較的高い一方、東部第一や北部第一で低くなっている。

図表 該当状況－圏域別



#### ウ 二次予防事業対象者

うつ予防も考慮した二次予防事業の対象になる高齢者数を、運動、栄養、口腔、生活機能全般の主要4項目の該当者ごとにみたのが下の図表となる。

全体でうつに該当する高齢者は4,263人(全体の18.1%)になっているが、そのうち二次予防事業の対象者は2,449人で、うつ該当者の57.4%、二次予防事業対象者全体(6,117人)の40.0%となっている。

これを主要評価項目ごとにみると、生活機能全般の該当者では68.9%がうつにも該当している。それ以外の項目では、40%台がうつにも該当している。

図表 二次予防事業対象者のうつ該当状況

主要 評価項目	主要評価項目		うちうつ該当		
	該当者数 (人)	割合 (対全体)	該当者数 (人)	割合 (対全体)	割合 (対該当者)
全体	23,555	100.0%	4,263	100.0%	18.1%
二次予防	6,117	26.0%	2,449	57.4%	40.0%
生活機能全般	1,200	5.1%	827	19.4%	68.9%
運動	2,954	12.5%	1,425	33.4%	48.2%
栄養	225	1.0%	105	2.5%	46.7%
口腔	4,342	18.4%	1,787	41.9%	41.2%

## 4 その他の生活機能

### (1) 転倒リスク

#### ア 設問と評価

日常生活圏域ニーズ調査では、基本チェックリストの運動機能の評価に加え、転倒リスクについても別に評価ができるよう、設問が設けられている。

具体的には、簡易式の転倒チェックシートの設問で、調査票の設問4・問5・7～9、設問10・問4の5問が該当する。

内容としては、転倒経験（基本チェックリストと重複）、背中の変化、歩行速度の変化、杖の使用、多剤服用の有無となっている。

評価における各設問に対する配点は下の図表のとおりで、転倒経験が5点、その他が各2点で、13点満点のスコアとして評価が可能となっている。

評価としては、介護予防も前提に6点以上を転倒リスクありとしてみなしている。

図表 転倒リスクに関する設問

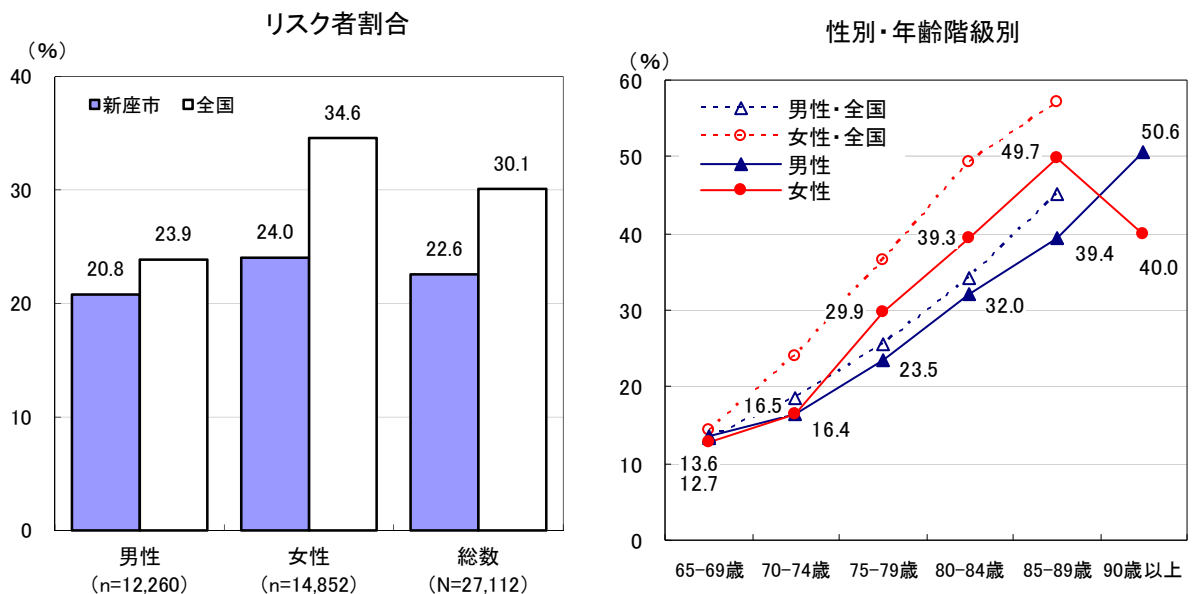
問番号	設 問	配点と選択肢
設問4・問5	この1年間に転んだことがありますか	5:「1. はい」 0:「2. いいえ」
設問4・問7	背中が丸くなってきましたか	2:「1. はい」 0:「2. いいえ」
設問4・問8	以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか	2:「1. はい」 0:「2. いいえ」
設問4・問9	杖を使っていますか	2:「1. はい」 0:「2. いいえ」
設問10・問4	現在、医師の処方した薬を何種類飲んでますか	2:「5. 5種類以上」 0:5以外

#### イ 評価結果

結果をみると、要介護・要支援認定者を含めた全体で6,117人、22.6%（男性20.8%、女性24.0%）がリスク者となっている。認定者を含んでいることもあり、運動器の判定よりリスク者は多くなっている。年齢階級別にみると、男女とも年齢が高いほどリスク者割合が高くなっている。

これを全国の調査結果と比較すると、特に女性で全国の値を大きく下回っている。年齢階級別にみても、女性では全年代で全国の値より低くなっている。

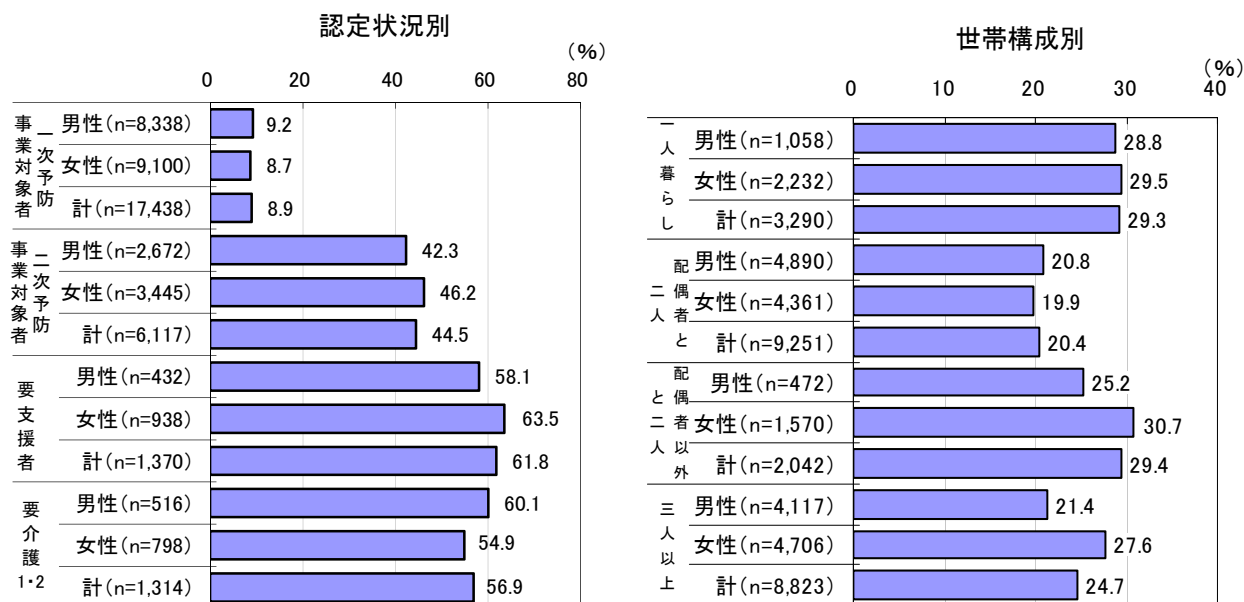
図表 リスク状況－転倒リスク



認定を受けていない一般高齢者と要支援者・要介護1・2のリスク状況とを比較すると、一次予防事業対象者では8.9%がリスク者となっているのに対し、二次予防事業対象者、要支援者、要介護1・2ではそれぞれ44.5%、61.8%、56.9%とリスク者割合が高くなっている。

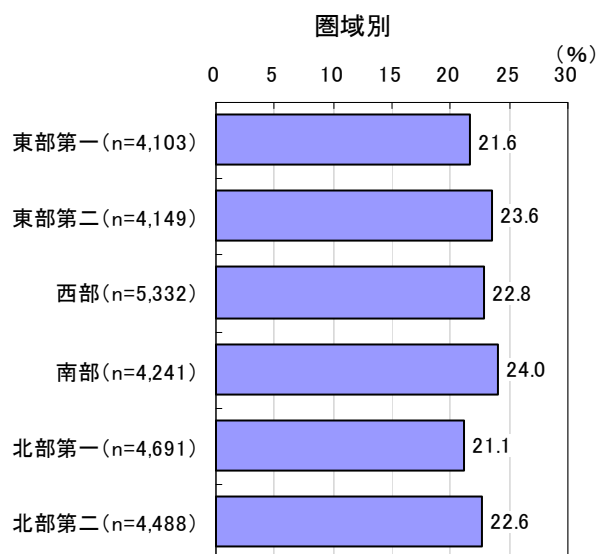
世帯構成別にみると、配偶者と二人暮らし世帯でリスク者割合が低くなっている。

図表 リスク状況－認定状況別、世帯構成別



圏域別にみると、南部でリスク者割合が24.0%と比較的高くなっている一方、北部第一では21.1%と低くなっている。

図表 リスク状況－圏域別





## (2) 足のケア

### ア 設問と評価

今回の調査では、日常生活圏域ニーズ調査の設問に加え、足や爪のケアに関する設問を設けている。これは、高齢期に増える足の指や爪のトラブルから歩きづらくなったり、つまずいて転倒しやすくなったりすることを予防することについて評価できるよう設けられている設問になる。

具体的には、以下の4問について、合計点が5点以上となった場合を足のケアのリスクありとしてみなしている。

図表 足のケアに関する設問

問番号	設 問	配点と選択肢
設問7・問1	足や爪に水虫がありますか	2:「1. はい」 0:「2. いいえ」
設問7・問2	足の皮膚の炎症、又はむくみや変色がありますか	3:「1. はい」 0:「2. いいえ」
設問7・問3	爪の肥厚※・変形などがありますか	3:「1. はい」 0:「2. いいえ」
設問7・問4	足の指の血流が悪い、又は機能障害などがありますか	3:「1. はい」 0:「2. いいえ」

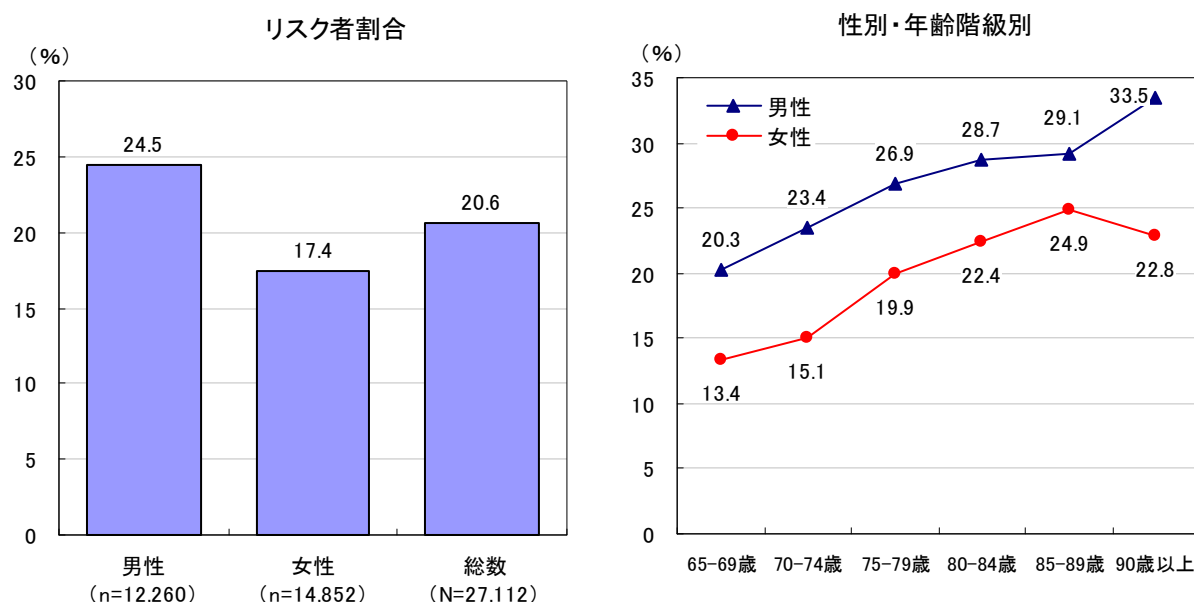
※爪の肥厚…爪が圧迫されたりすることで分厚くなった状態のこと

### イ 評価結果

評価結果をみると、全体で5,588人、20.6%（男性24.5%、女性17.4%）が足のケアに注意が必要なリスク者となっている。女性より男性でリスク者割合が高くなっている。

年齢階級別にみると、他の項目ほど顕著ではないものの、やはり年齢が高くなるほどリスク者割合も高くなる傾向がみられる。

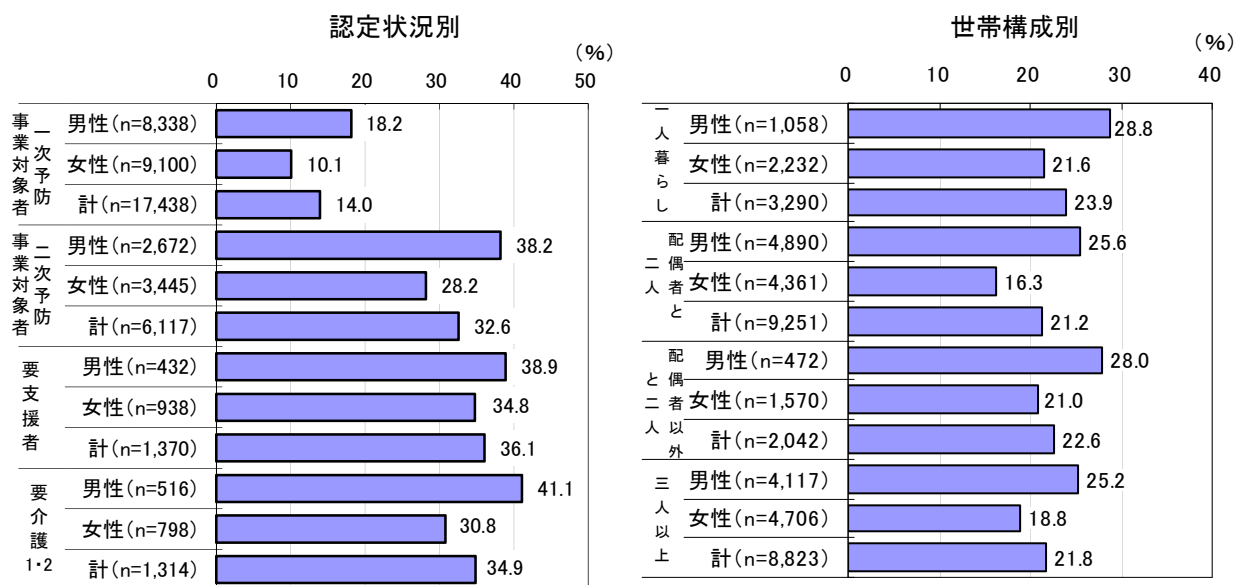
図表 リスク状況－足のケア



一般高齢者と要支援・要介護1・2のリスク状況とを比較すると、一次予防事業対象者、二次予防事業対象者ではそれぞれ14.0%、32.6%がリスク者となっているのに対し、要支援者、要介護1・2ではそれぞれ36.1%、34.9%と、二次予防事業対象者と認定者でリスク者割合に顕著な差がない結果になっている。

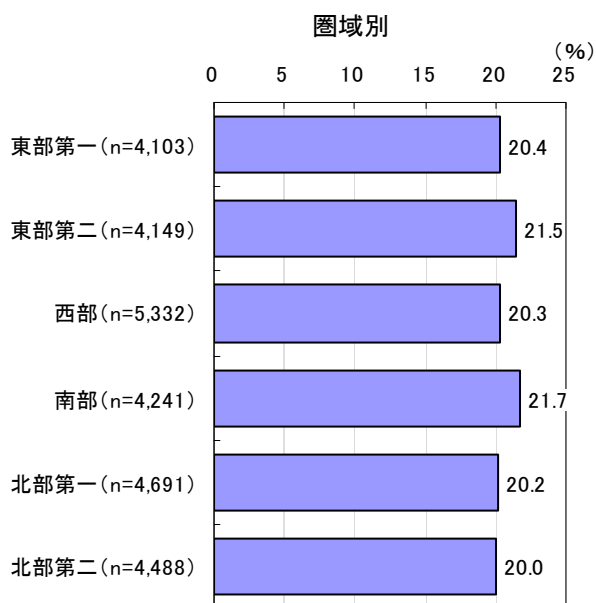
世帯構成別にみると、一人暮らし世帯や配偶者以外と二人暮らし世帯の男性で高くなっている。

図表 リスク状況－認定状況別、世帯構成別



圏域別にみると、南部や東部第二でリスク者割合が若干高くなっている。

図表 リスク状況－圏域別



### (3) 認知機能障害程度

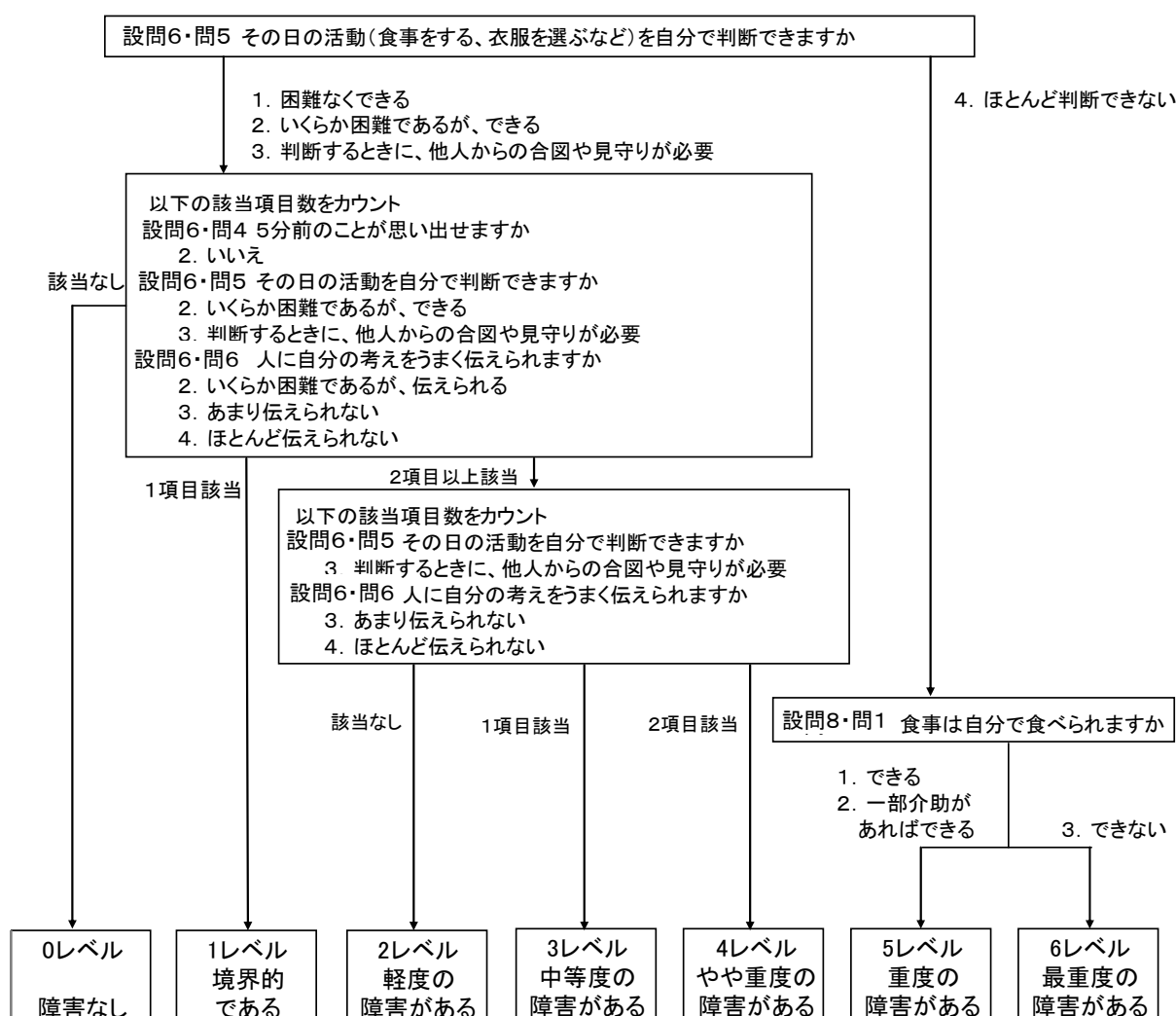
#### ア 設問と評価

今回の調査票には、認知機能の障害程度の指標として有用とされるC P S (Cognitive Performance Scale) に準じた設問が含まれている。

設問としては、調査票の設問6・問4～6及び設問8・問1で認知機能の障害程度の評価が可能であることからニーズ調査票に盛り込まれている。

設問に対する回答により、0レベル（障害なし）から6レベル（最重度の障害がある）までの評価が可能となっている。

図表 認知機能障害程度に関する評価フロー



## イ 評価結果

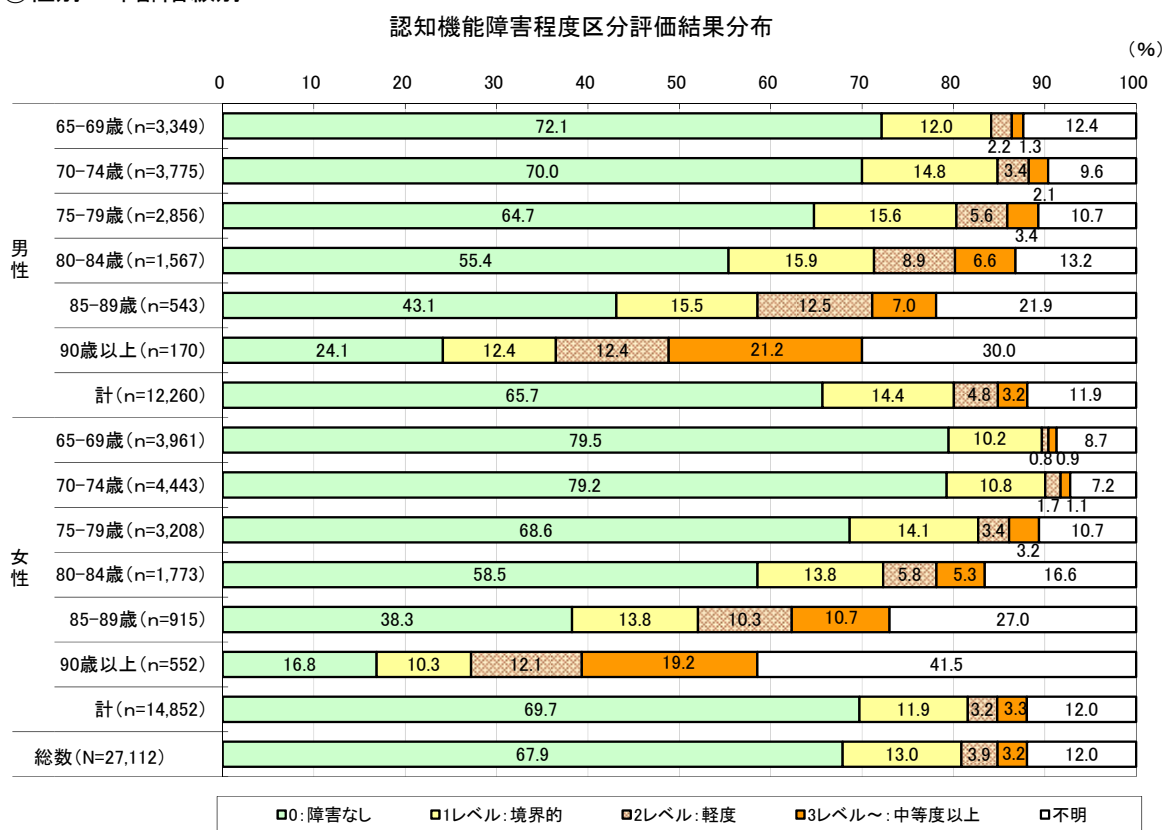
評価結果をみると、1レベル（境界的）と評価されるリスク者は全体で13.0%、2レベル（軽度）が3.9%、3レベル（中等度）以上が3.2%となっている。年齢が高いほどリスク者割合が高くなっている。

これを認定状況別にみると、一次予防事業対象者では3レベル以上のリスク者は0.5%（89人）にとどまっているのに対し、二次予防事業対象者では3.4%、要支援者で3.9%、要介護1・2で21.8%、要介護3～5で27.7%となっている。

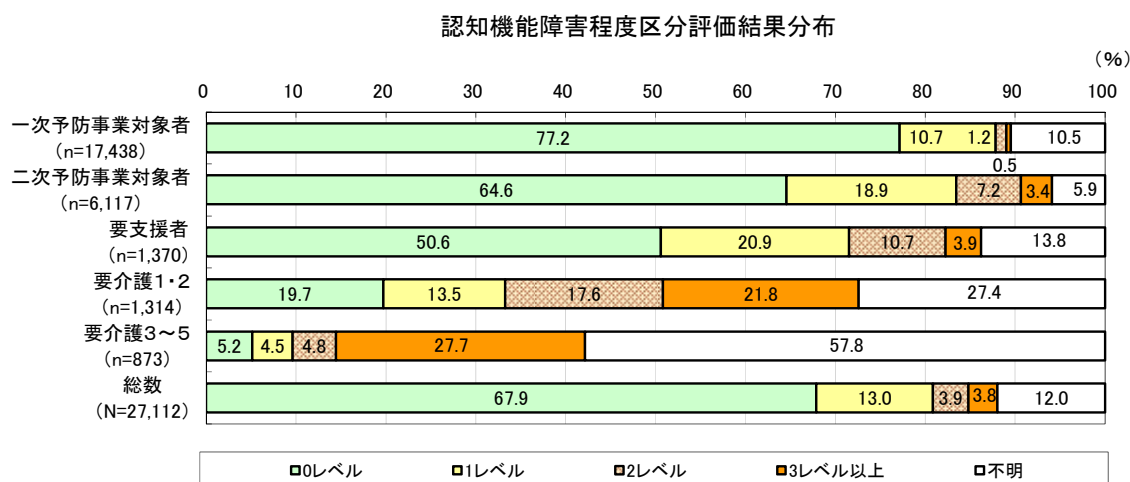
認定を受けていない中等度以上のリスク者については早期に状態の把握等が必要と考えられる。

図表 認知機能障害程度区分評価結果

### ①性別・年齢階級別

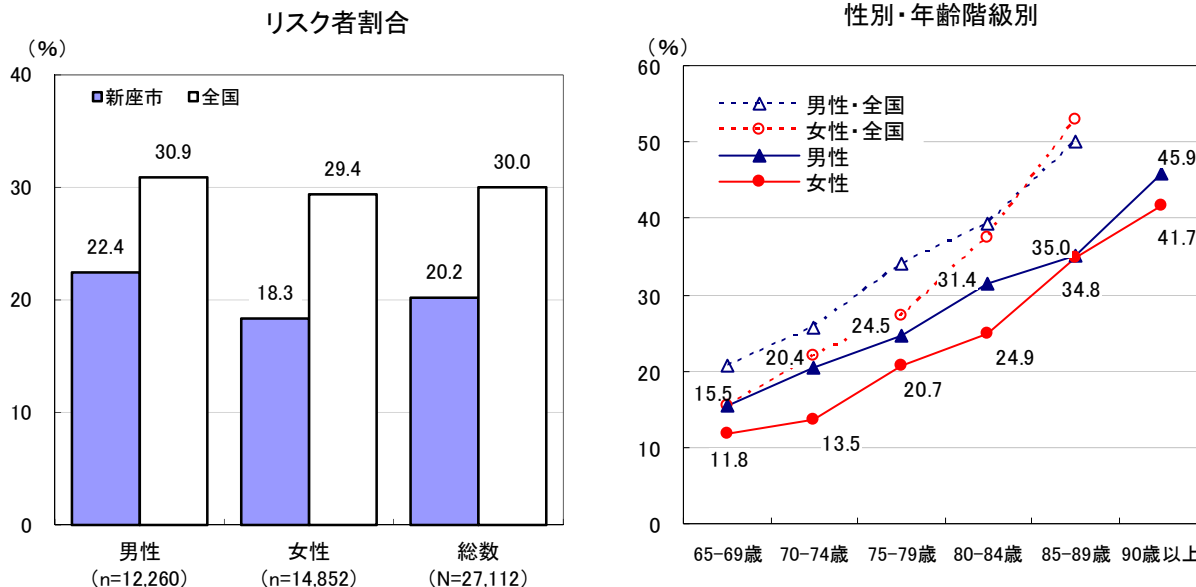


### ②認定状況別



1 レベル以上のリスク者と評価された高齢者の割合を全国の調査結果と比較すると、男女ともに全国の結果を大きく下回っている。年齢階級別でも、同様に全国の値を大きく下回っている。

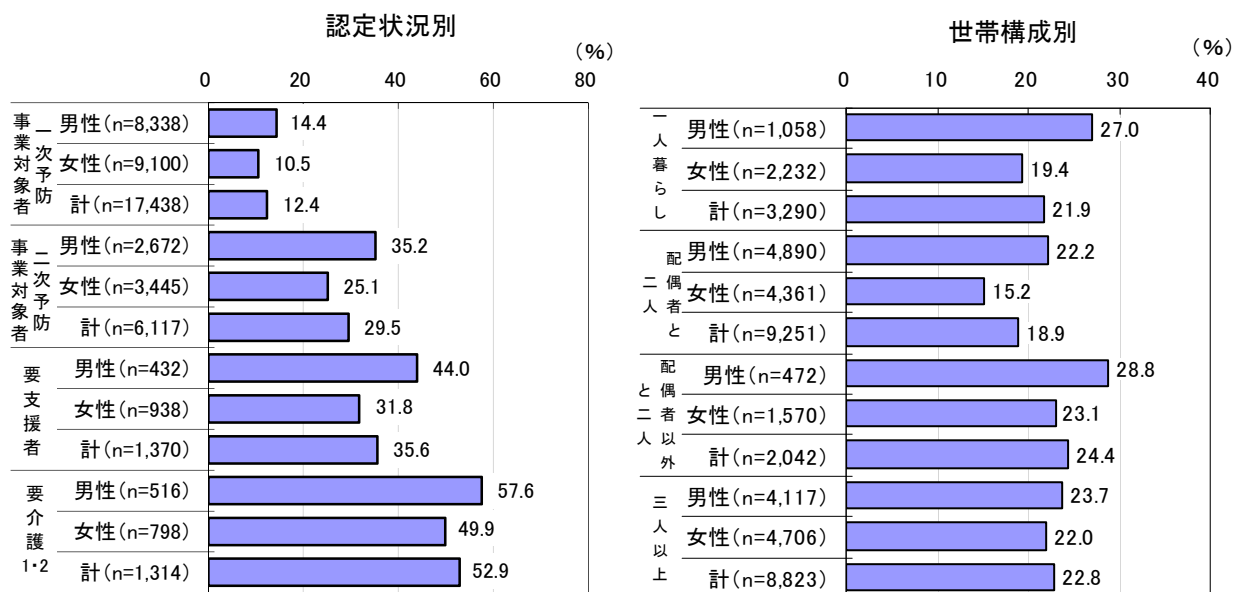
図表 リスク状況－認知機能障害程度



認定状況別にリスク者割合をみると、一次予防事業対象者 12.4%、二次予防事業対象者 29.5%、要支援者 35.6%、要介護1・2 52.9%と、要介護者でリスク者割合が顕著に高くなっている。

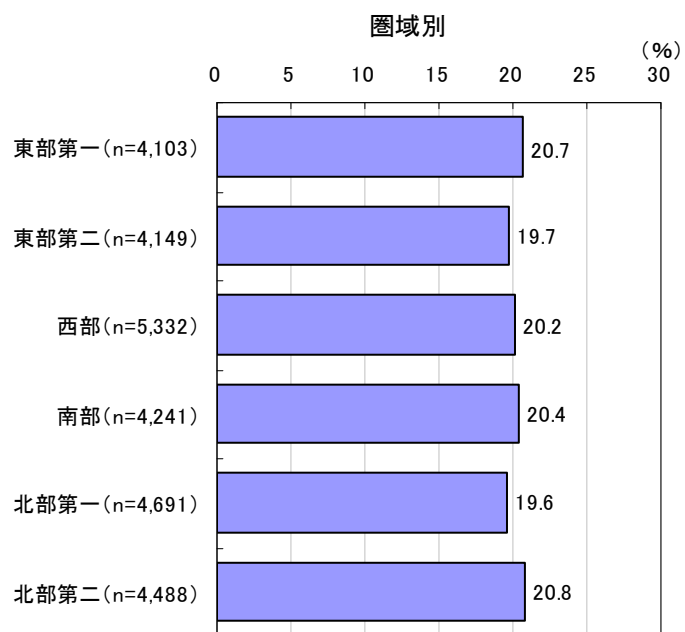
世帯構成別では、配偶者と二人暮らし世帯でリスク者割合が比較的低くなっている。

図表 リスク状況－認定状況別、世帯構成別



圏域別にみると、各圏域ともリスク者割合は20%前後で、ほとんど差がない結果になっている。

図表 リスク状況－圏域別



## 5 日常生活

### (1) 手段的自立度 (IADL)

#### ア 設問と評価

日常生活圏域ニーズ調査では、高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標<sup>1</sup>に準じた設問を設けている（設問2・問1～13）。

このうち、手段的自立度 (IADL) については、各設問に「している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」として評価している。

図表 手段的自立度に関する設問（老研式活動能力指標）

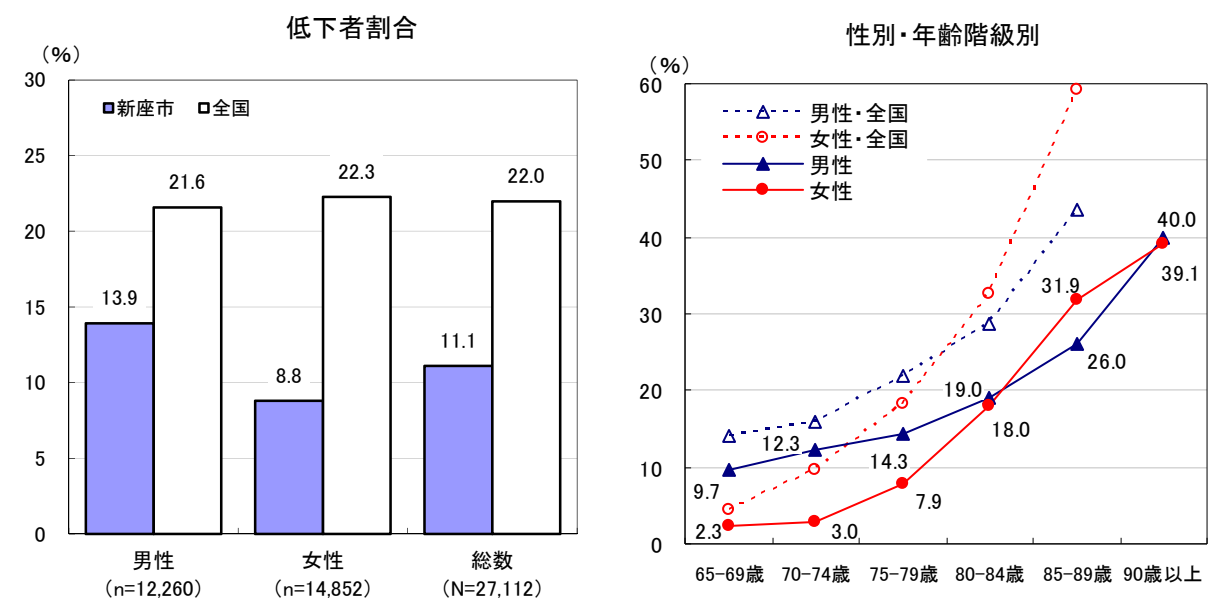
問番号	設問	配点と選択肢
設問2・問1	バスや電車で一人で外出していますか (自家用車でも可)	1:「1. している」または「2. できるけどしていない」
設問2・問2	日用品の買物をしていますか	1:「1. している」または「2. できるけどしていない」
設問2・問3	自分で食事の用意をしていますか	1:「1. している」または「2. できるけどしていない」
設問2・問4	請求書の支払をしていますか	1:「1. している」または「2. できるけどしていない」
設問2・問5	預貯金のお出し入れをしていますか	1:「1. している」または「2. できるけどしていない」

#### イ 評価結果

4点以下を低下者とした評価結果をみると、全体で3,012人、11.1%（男性13.9%、女性8.8%）が低下者となっている。年齢階級別にみると、年齢が高いほど低下者割合が高くなっている。

これを全国の調査結果と比較すると、男女ともに全国の値を大きく下回っている。年齢階級別にみても、いずれの年代でも低下者割合が全国の値より低くなっている。

図表 低下者割合－手段的自立度

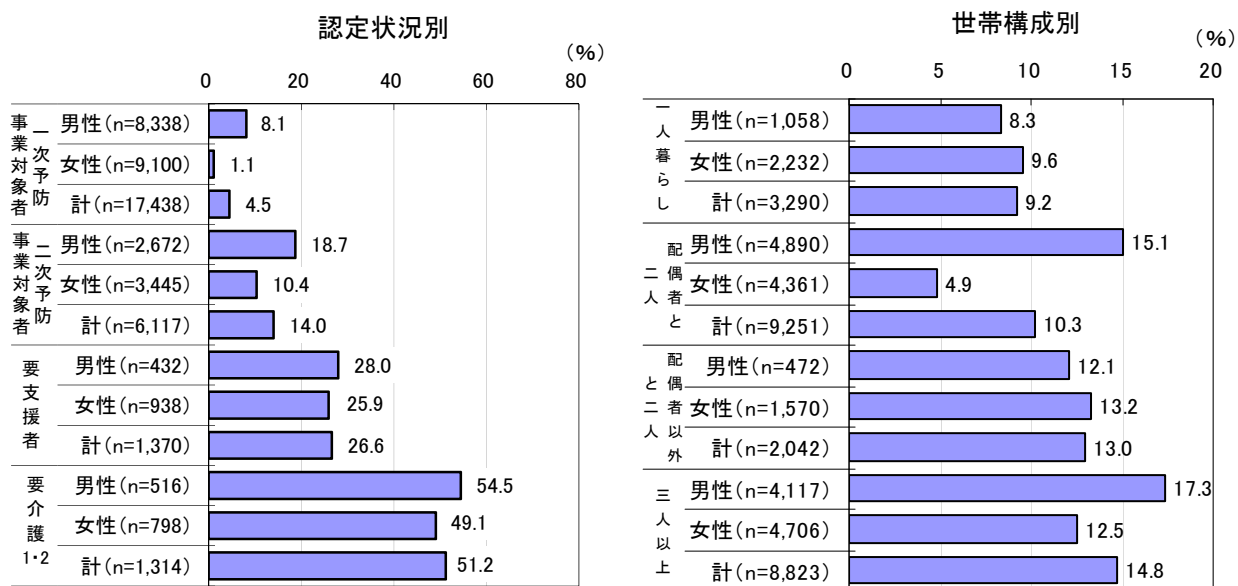


<sup>1</sup>老研式活動能力指標 社会的に自立した生活を送るために必要な比較的高次の活動能力の指標で、「手段的自立度(IADL)」「知的能動性」「社会的役割」の3つの尺度から構成されている13項目の質問表のこと。このうち、手段的自立度(IADL)については、買物や掃除、洗濯など、日常生活を送るための活動で比較的高次の活動が自立して行えるかの尺度になっている。

認定を受けていない一般高齢者と要支援者、要介護1・2の結果を比較すると、一次予防事業対象者で4.5%、二次予防事業対象者で14.0%が低下者となっているのに対し、要支援者、要介護1・2ではそれぞれ26.6%、51.2%と、要介護者で低下者割合が顕著に高くなっている。

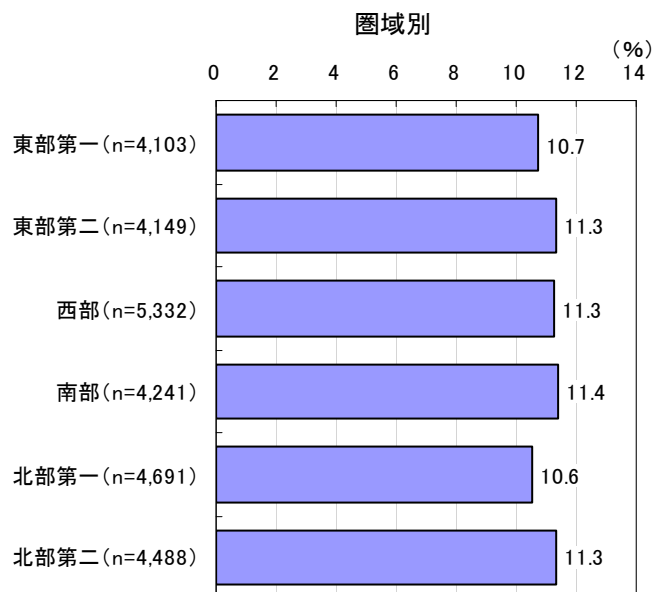
世帯構成別にみると、一人暮らし世帯で低下者割合が低くなっている。

図表 低下者割合－認定状況別、世帯構成別



圏域別にみると、各圏域とも11%前後で、ほとんど差がない結果になっている。

図表 低下者割合－圏域別





## (2) 日常生活動作（ADL）

### ア 設問と評価

日常生活圏域ニーズ調査では、調査項目に日常生活動作（ADL<sup>2</sup>）に関する設問が含まれている。

内容としては、食事、寝床への移動、整容、トイレ動作、入浴、歩行、階段昇降、着替え、排便、排尿の10項目で（設問8・問1～2・4～11）、ADL評価指標として広く用いられているバーセルインデックスに準じた設問内容となっている。

各設問の配点は、バーセルインデックスの評価方法に従って、各設問で自立を5～15点とし10項目の合計が100点満点となるよう評価している。

図表 日常生活動作に関する設問と評価

問番号	項目	配点	選択肢
設問8・問1	食事	10	「1. できる」
		5	「2. 一部介助（おかずを切ってもらなど）があればできる」
		0	「3. できない」
設問8・問2	寝床への移動	15	「1. 受けない」
		10	「2. 一部介助があればできる」
		5	「3. 全面的な介助が必要」 （設問8・問3の回答が「1. できる」または「2. 支えが必要」の場合）
		0	「3. 全面的な介助が必要」 （設問8・問3の回答が「3. できない」の場合）
設問8・問4	整容	5	「1. できる」
		0	「2. 一部介助があればできる」または「3. できない」
設問8・問5	トイレ動作	10	「1. できる」
		5	「2. 一部介助（他人に支えてもらう）があればできる」
		0	「3. できない」
設問8・問6	入浴	5	「1. できる」
		0	「2. 一部介助（他人に支えてもらう）があればできる」 または「3. できない」
設問8・問7	歩行	15	「1. できる」
		10	「2. 一部介助（他人に支えてもらう）があればできる」
		0	「3. できない」
設問8・問8	階段昇降	10	「1. できる」
		5	「2. 介助があればできる」
		0	「3. できない」
設問8・問9	着替え	10	「1. できる」
		5	「2. 介助があればできる」
		0	「3. できない」
設問8・問10	排便	10	「1. ない」
		5	「2. とどきある」
		0	「3. よくある」
設問8・問11	排尿	10	「1. ない」
		5	「2. とどきある」
		0	「3. よくある」

<sup>2</sup> ADL Activities of Daily Living の略。日常生活動作能力ともいい、食事や移動、排せつなど、生活を営む上で不可欠の基本的な行動のこと。バーセルインデックスは、このADL評価方法のひとつで、食事から排尿まで、10項目の動作が自立しているかで能力を評価する尺度

## イ 評価結果

結果をみると、全項目自立（100点）の割合は、一次予防事業対象者で76.4%、二次予防事業対象者で54.7%、要支援者32.7%、要介護者1・2が15.0%、要介護3～5が1.0%となっている。要支援者のほぼ1/3、要介護1・2の15%が全項目自立となっている。

一方、何らかの介護・支援が必要と考えられる80点以下は、二次予防事業対象者で225人（3.7%）見つかっている。こうした高齢者は、点数の低い方から状態を把握する必要があると考えられる。

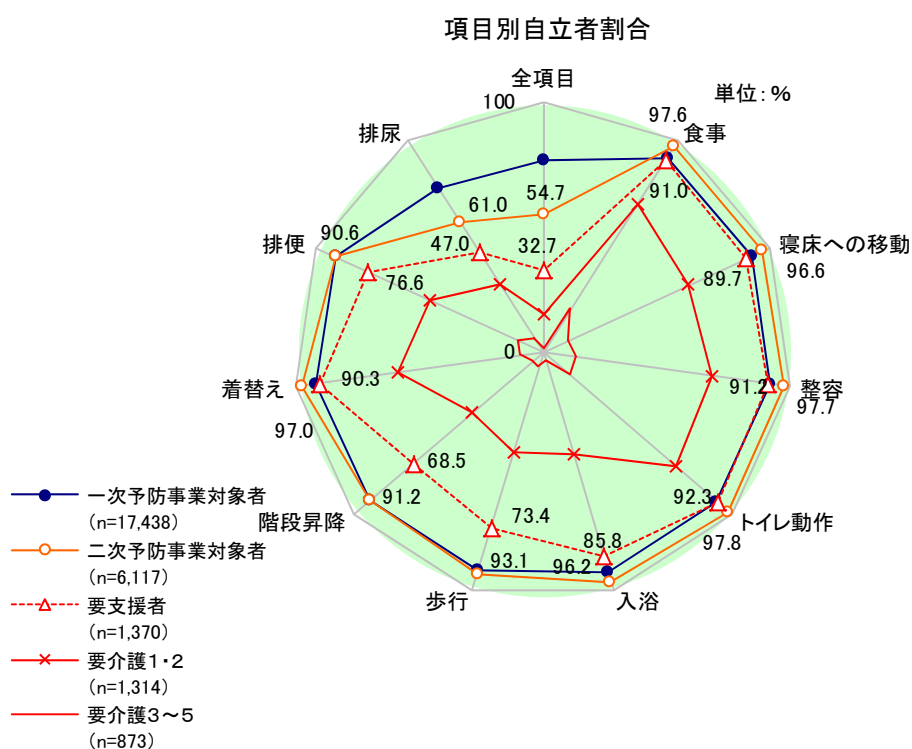
また、項目別に自立者割合をみたのが下の図表になる。要支援者で自立者割合が比較的低い項目は、排尿、階段昇降、歩行、排便、入浴となっており、こうした動作から身体機能の低下が始まっていることがうかがえる。

図表 ADL得点分布

単位：人

認定状況	全項目自立 (100点)	85～95点	65～80点	60点以下	不明	総数
一次予防事業対象者	76.4% 13,323	14.2% 2,478	0.1% 10	0.0% 4	9.3% 1,623	100.0% 17,438
二次予防事業対象者	54.7% 3,348	37.1% 2,271	2.7% 164	1.0% 61	4.5% 273	100.0% 6,117
要支援者	32.7% 448	42.6% 583	9.1% 125	1.7% 23	13.9% 191	100.0% 1,370
要介護1・2	15.0% 197	24.0% 315	17.4% 229	15.4% 203	28.2% 370	100.0% 1,314
要介護3～5	1.0% 9	2.7% 24	5.6% 49	29.3% 256	61.3% 535	100.0% 873
総数	63.9% 17,325	20.9% 5,671	2.1% 577	2.0% 547	11.0% 2,992	100.0% 27,112

図表 項目別自立者割合



## 6 社会生活

### (1) 知的能動性

#### ア 設問と評価

老研式活動能力指標には、高齢者の知的活動に関する設問が4問設けられ、「知的能動性」として尺度化されている（設問2・問6～9）。

評価は、各設問に「はい」と回答した場合を1点として、4点満点の4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価している。

図表 知的能動性に関する設問（老研式活動能力指標）

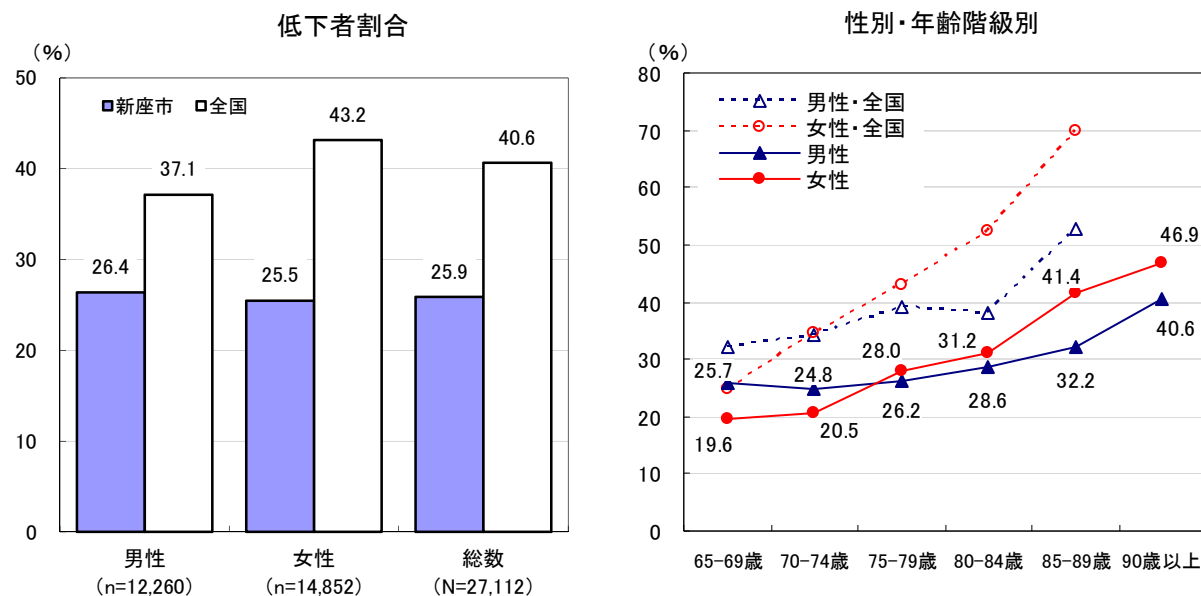
問番号	設 問	配点と選択肢
設問2・問6	年金などの書類(役所や病院などに出す書類)を書けますか	1:「1. はい」
設問2・問7	新聞を読んでいますか	1:「1. はい」
設問2・問8	本や雑誌を読んでいますか	1:「1. はい」
設問2・問9	健康についての新聞記事やテレビ番組に関心がありますか	1:「1. はい」

#### イ 評価結果

3点以下を低下者とした評価結果をみると、全体で7,015人、25.9%（男性26.4%、女性25.5%）が低下者となっており、男女差はほとんどない結果になっている。女性では、年齢が高いほど低下者割合が高くなる傾向が顕著になっている。

全国の調査結果と比較すると、全体で14.7ポイント全国の値を下回っている。年齢階級別にみても、いずれの年代でも全国の値を大きく下回っている。

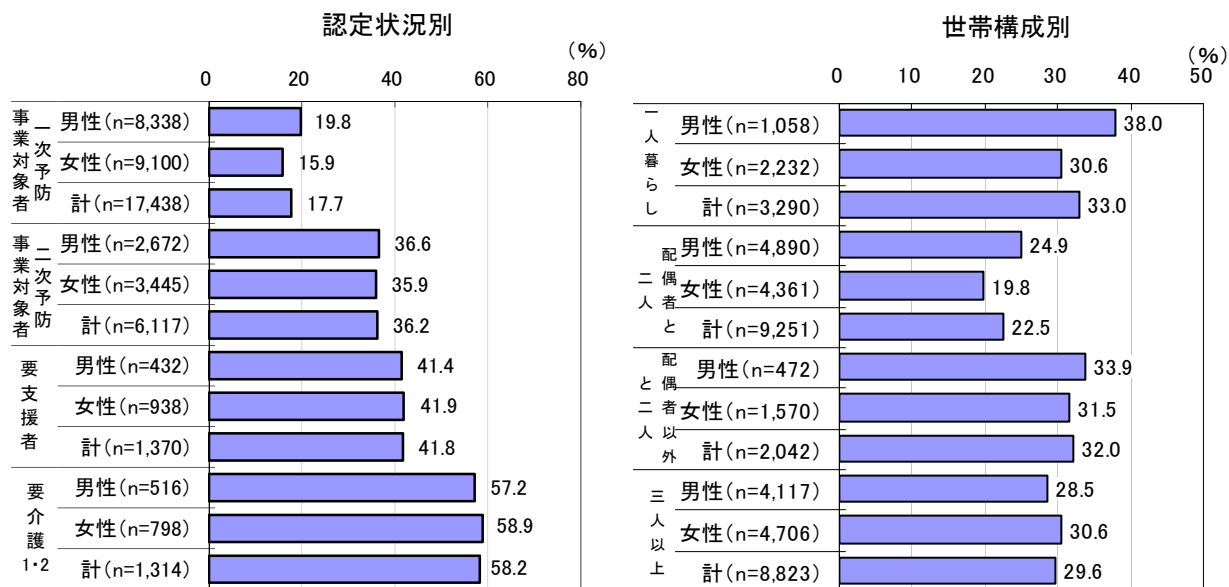
図表 低下者割合－知的能動性



一般高齢者と要支援者、要介護1・2の状況を比較すると、一次予防事業対象者では17.7%、二次予防事業対象者では36.2%が低下者となっているのに対し、要支援者、要介護1・2ではそれぞれ41.8%、58.2%と、要介護1・2で半数以上が低下者となっている。

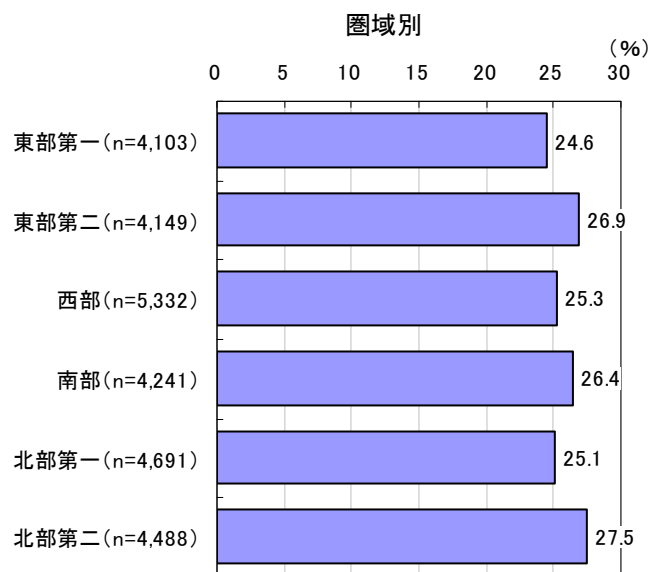
世帯構成別にみると、配偶者と二人暮らし世帯で低下者割合が顕著に低くなっている。

図表 低下者割合－認定状況別、世帯構成別



圏域別にみると、北部第二で低下者割合が比較的高い一方、東部第一で低くなっている。

図表 低下者割合－圏域別



## (2) 社会的役割

### ア 設問と評価

老研式活動能力指標には、高齢者の社会活動に関する設問が4問設けられ、「社会的役割」として尺度化されている（設問2・問10～13）。

評価は、知的能動性と同様に4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価している。

図表 社会的役割に関する設問（老研式活動能力指標）

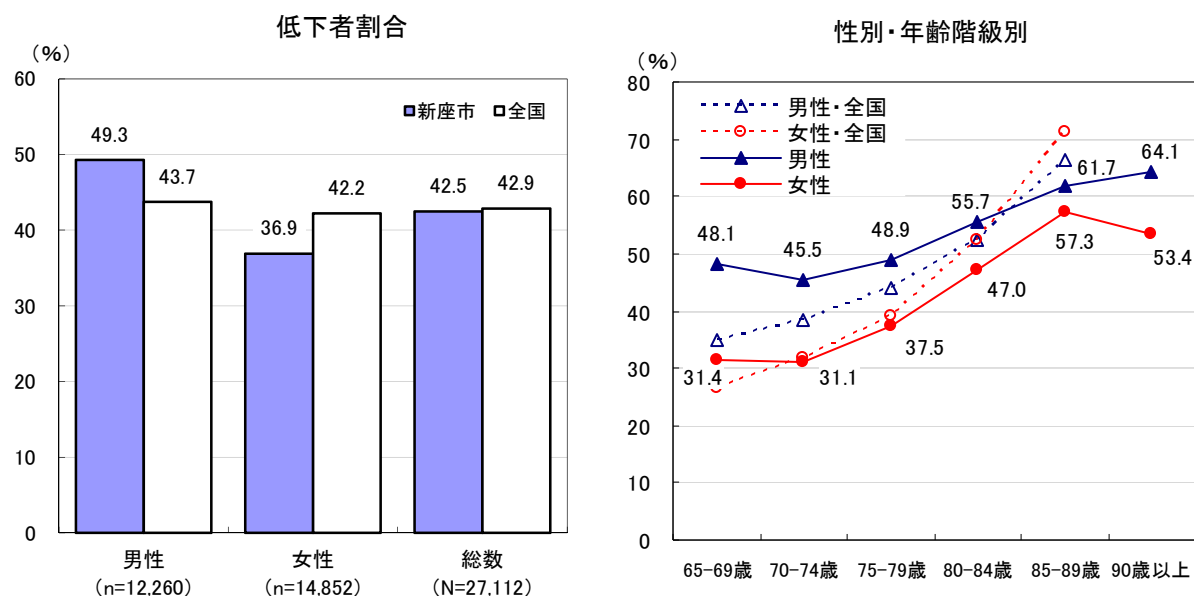
問番号	設 問	配点と選択肢
設問2・問10	友人の家を訪ねていますか	1：「1. はい」
設問2・問11	家族や友人の相談にのっていますか	1：「1. はい」
設問2・問12	病人を見舞うことができますか	1：「1. はい」
設問2・問13	若い人に自分から話しかけることがありますか	1：「1. はい」

### イ 評価結果

3点以下を低下者とした評価結果をみると、全体で11,518人、42.5%（男性49.3%、女性36.9%）が低下者となっている。女性より男性で、また年齢が高いほど低下者割合が高い傾向がある。

全国の調査結果との比較では、男性は全国の値を5ポイント以上上回っている一方、女性は逆に5ポイント以上下回っている。年齢階級別にみても、男性では85歳以上を除く全年代で全国の値を上回っている。

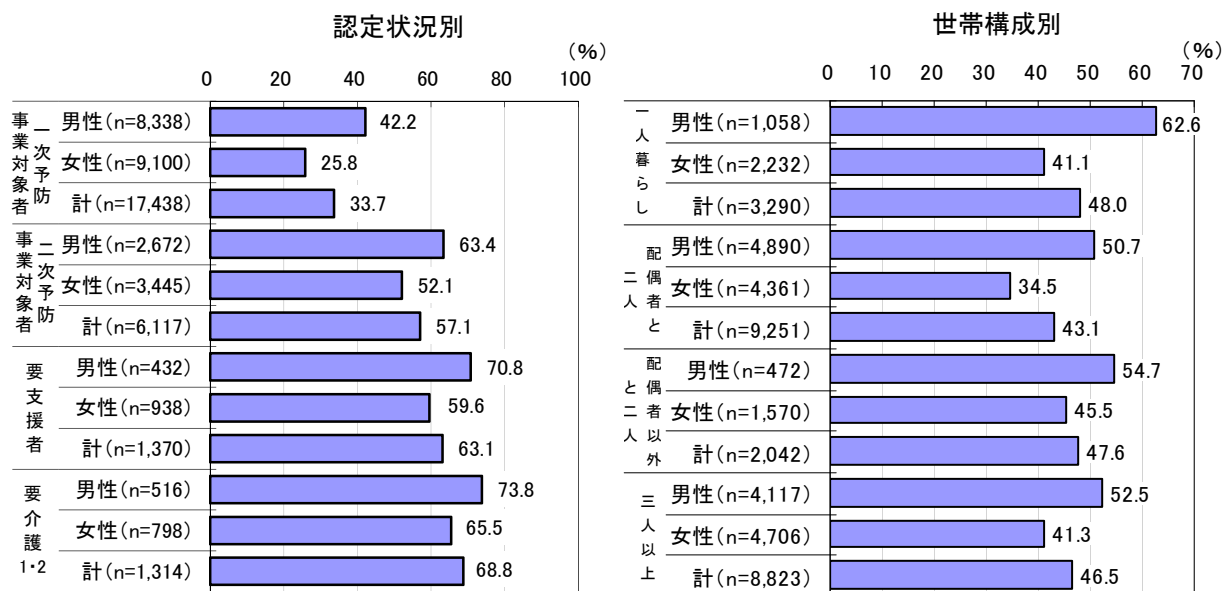
図表 低下者割合－社会的役割



一般高齢者と要支援者、要介護1・2の状況を比較すると、一次予防事業対象者では33.7%、二次予防事業対象者では57.1%が低下者となっているのに対し、要支援者、要介護1・2ではそれぞれ63.1%、68.8%が低下者で、認定者でその割合が高くなっている。

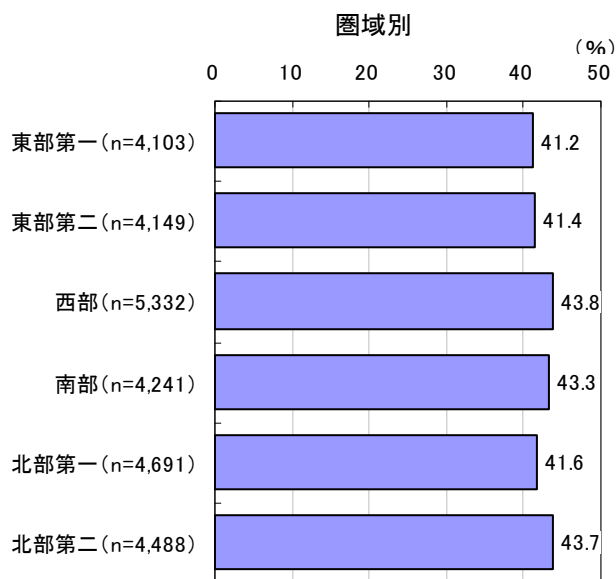
世帯構成別にみると、一人暮らし世帯の男性で低下者割合が60%を超えて高くなっている。

図表 低下者割合－認定状況別、世帯構成別



圏域別にみると、西部や北部第二で低下者割合が比較的高くなっている。

図表 低下者割合－圏域別



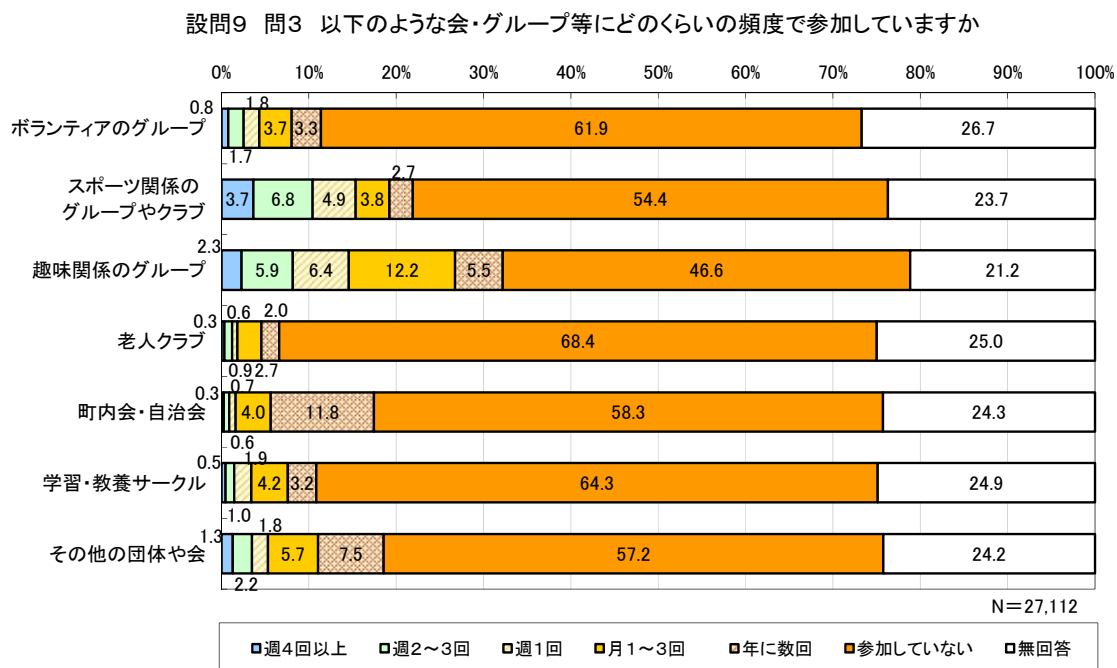
## ウ 関連設問

### ①社会活動

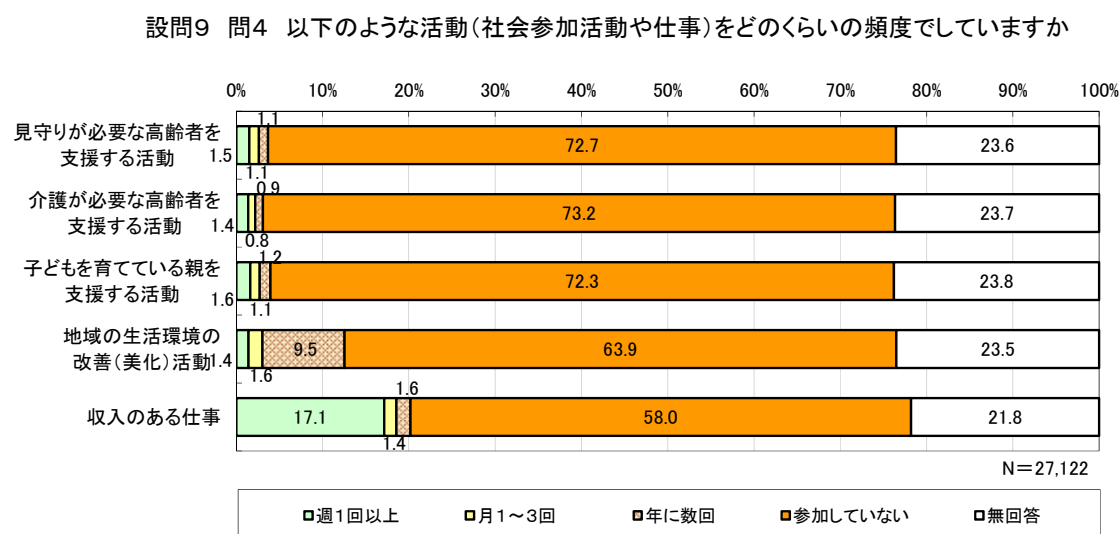
会、グループへの参加状況をみると、「趣味関係のグループ」への参加が最も多く、次いで「スポーツ関係のグループやクラブ」「その他の団体や会」が続いている。

また、その他の社会参加活動等についてみると、最も多いのは「収入のある仕事」で、次いで「地域の生活環境の改善（美化）活動」が続いている。

図表 会、グループへの参加

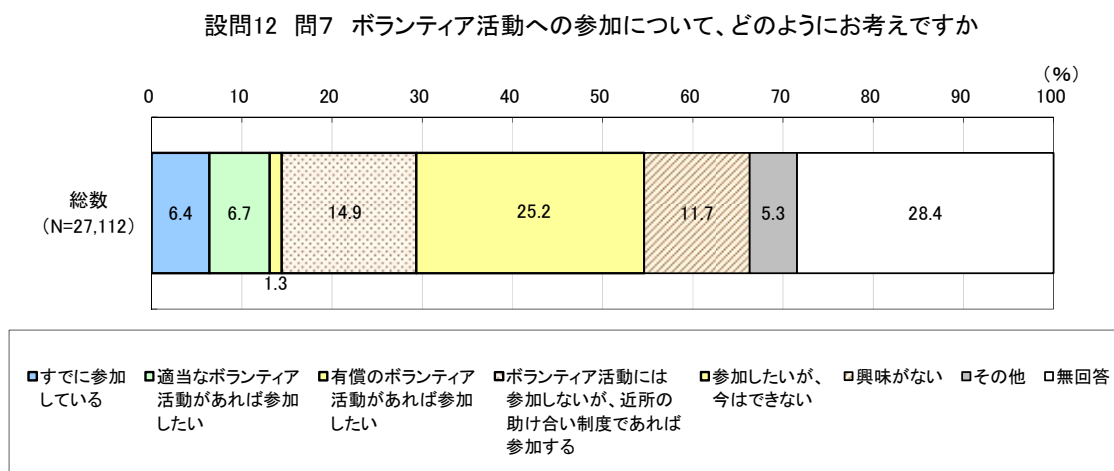


図表 社会参加活動や仕事



なお、ボランティア活動への参加についてみると、「参加したいが、今はできない」が25.2%で最も多く、次いで「ボランティア活動には参加しないが、近所の助け合い制度であれば参加する」（14.9%）、「興味がない」（11.7%）などが続いている（設問12・問7）。

図表 ボランティア活動参加意向



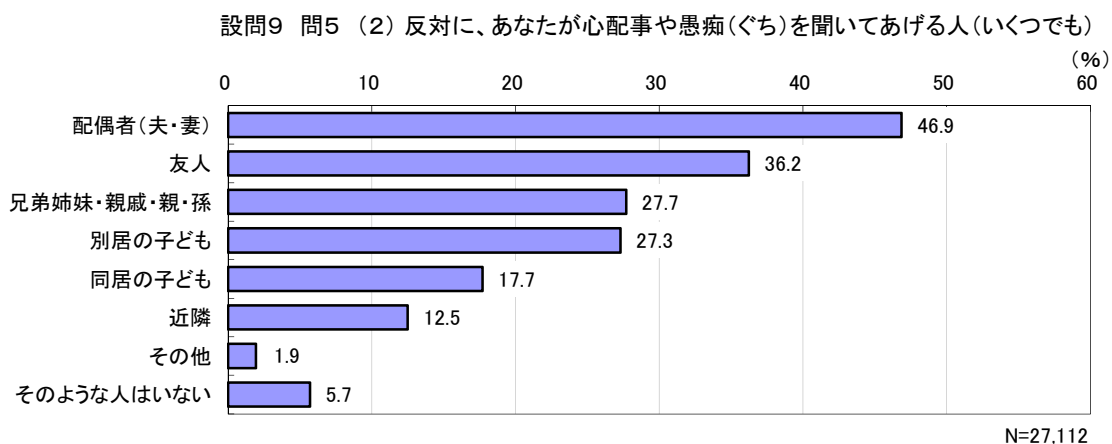
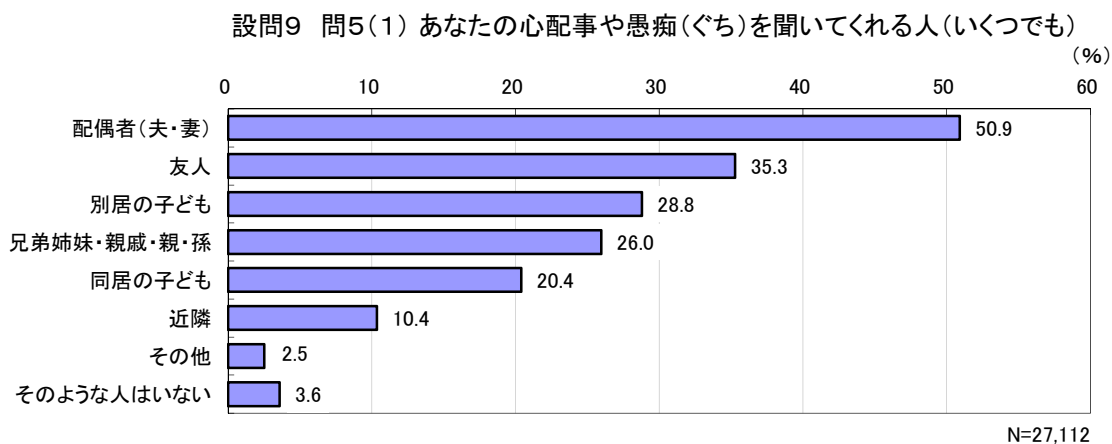


②まわりの人との助け合い

「心配事や愚痴を聞いてくれる人」としては、「配偶者（夫・妻）」が 50.9%と最も多く、次いで「友人」（35.3%）、「別居の子ども」（28.8%）などになっている。

逆に「心配事や愚痴を聞いてあげる人」としては、やはり「配偶者（夫・妻）」が 46.9%で最も多く、次いで「友人」（36.2%）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（27.7%）、「別居の子ども」（27.3%）の順になっている。

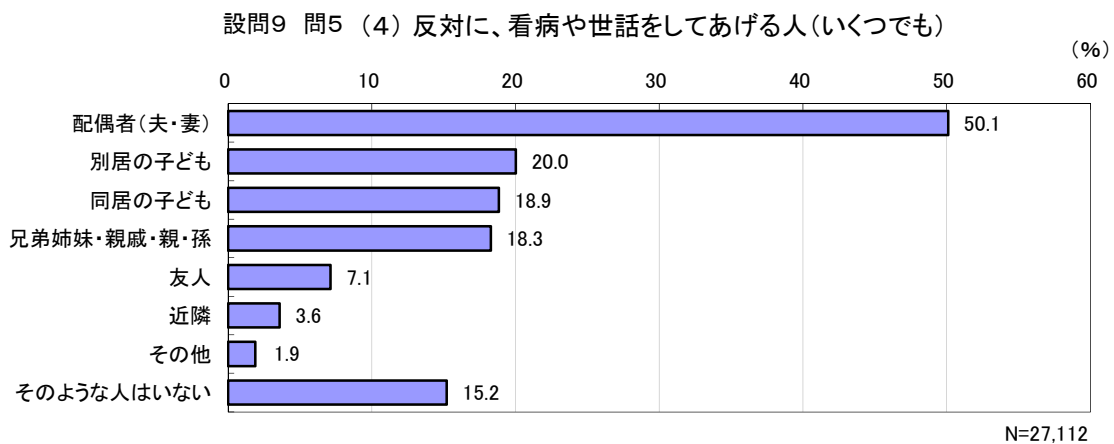
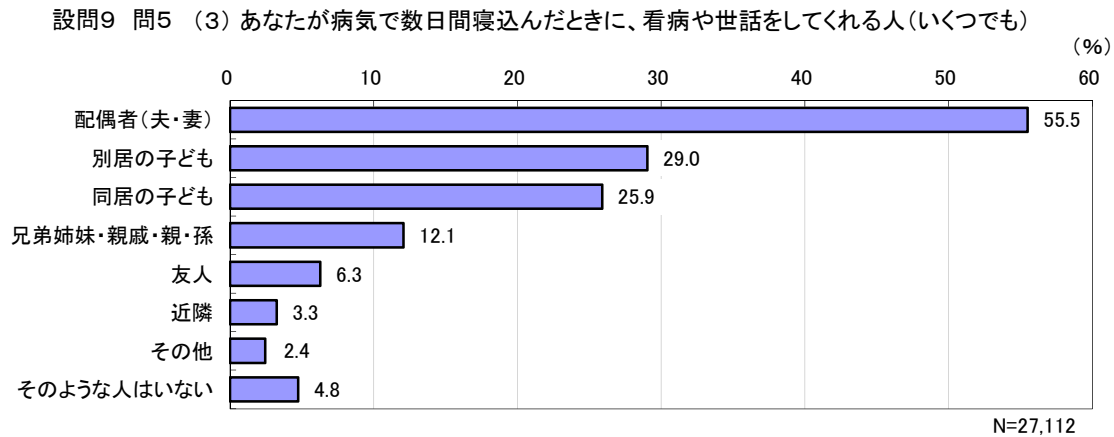
図表 まわりの人との助け合い－ 1



「看病や世話をしてくれる人」としては、「配偶者（夫・妻）」が55.5%で最も多く、次いで「別居の子ども」（29.0%）、「同居の子ども」（25.9%）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（12.1%）が続いている。

逆に「看病や世話をしてあげる人」も、「配偶者（夫・妻）」が50.1%で最も多く、次いで「別居の子ども」（20.0%）、「同居の子ども」（18.9%）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（18.3%）の順になっている。

図表 まわりの人との助け合いー 2



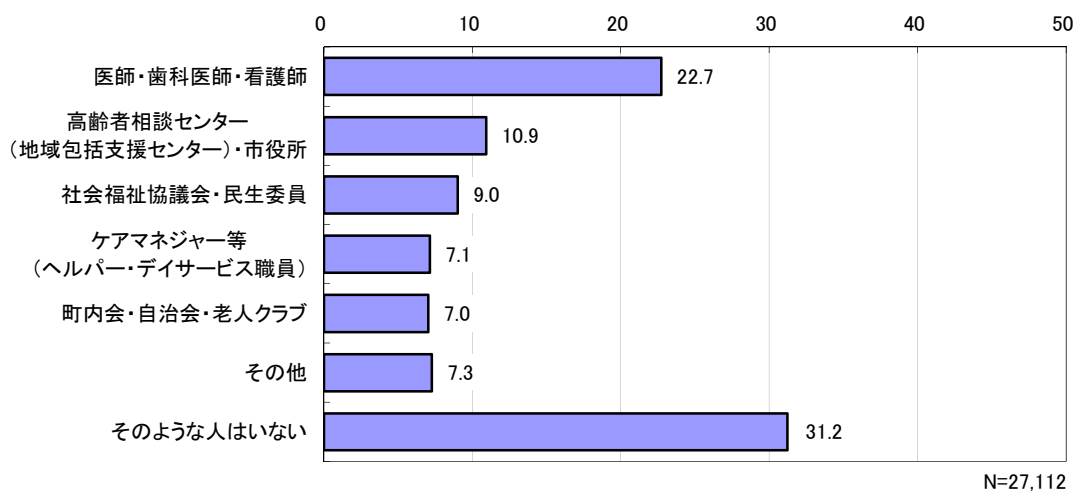
### ③相談相手

家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手としては、「医師・歯科医師・看護師」が22.7%で最も多く、次いで「高齢者相談センター(地域包括支援センター)・市役所」(10.9%)、「社会福祉協議会・民生委員」(9.0%)、「ケアマネジャー等」(7.1%)などが続いている。

家族や友人・知人以外の相談相手として、「そのような人はいない」との回答が31.2%になっている。

図表 何かあったときの相談相手

設問9 問6 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください(いくつでも)  
(%)

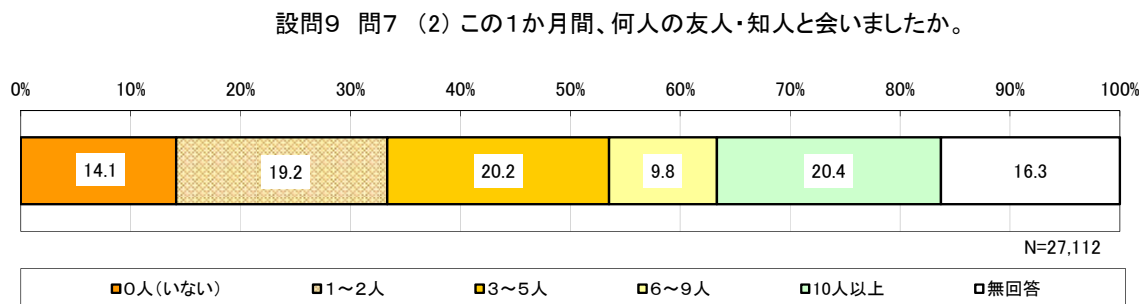
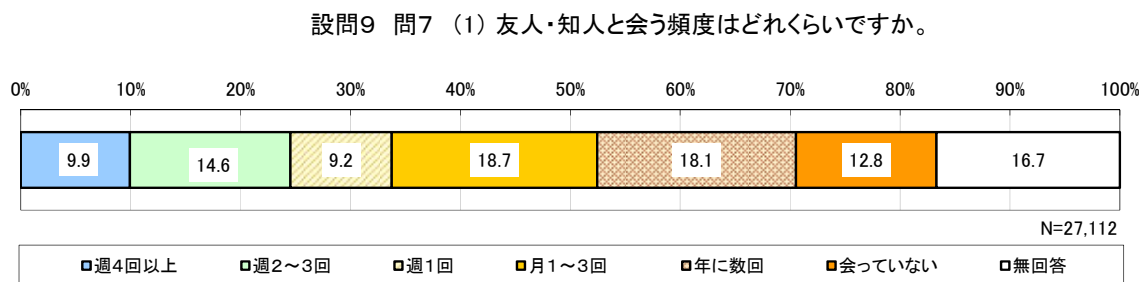


#### ④知人・友人

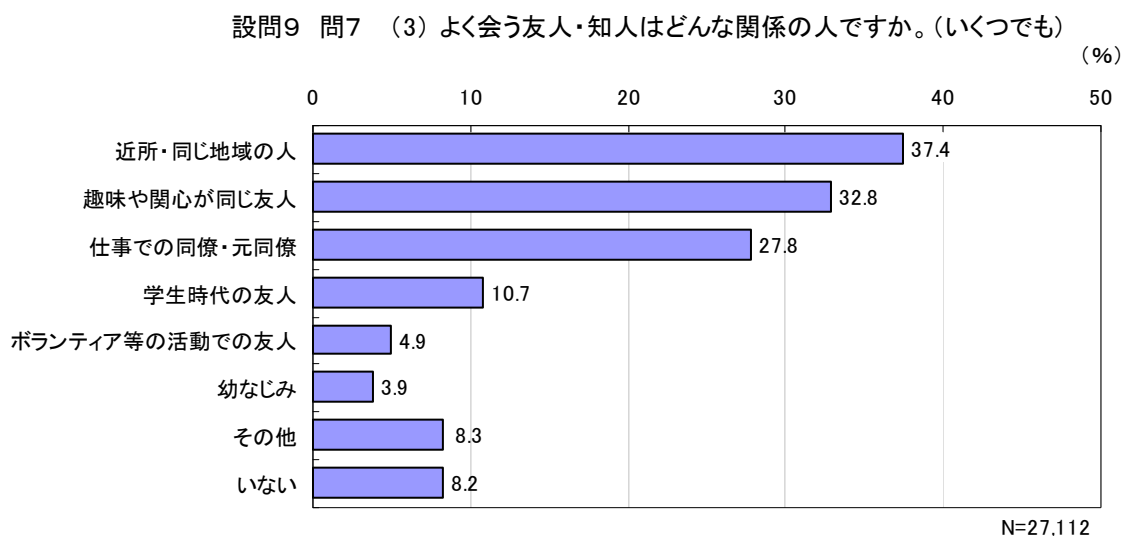
「知人・友人に会う頻度」については、「月1～3回」が18.7%で最も多く、次いで「年に数回」(18.1%)、「週2～3回」(14.6%)の順になっている。「会っていない」との回答も12.8%になっている。

1か月に会った友人・知人の数としては、「10人以上」が20.4%で最も多く、次いで「3～5人」(20.2%)、「1～2人」(19.2%)、「0人(いない)」(14.1%)が続いている。「よく会う友人・知人」としては、「近所・同じ地域の人」が37.4%で最も多く、次いで「趣味や関心が同じ人」(32.8%)、「仕事での同僚・元同僚」(27.8%)などが続いている。

図表 知人・友人と会う頻度・人数



図表 知人・友人の関係



### (3) 老研式活動能力指標総合評価<sup>3</sup>

#### ア 設問と評価

老研式活動能力指標では、手段的自立度、知的能動性、社会的役割に関する全13問の合計得点で生活機能の総合評価ができる（設問2・問1～13）。

評価は13点満点で行っているが、ここでは11点以上を「高い」、9、10点を「やや低い」、8点以下を「低い」として評価している。

図表 老研式活動能力指標総合評価に関する設問

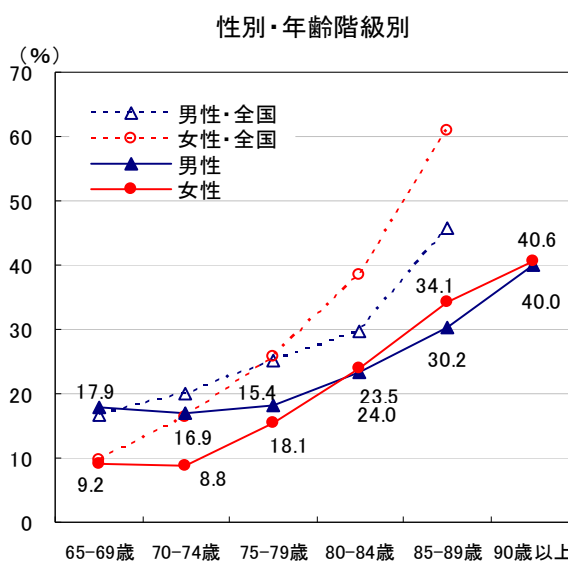
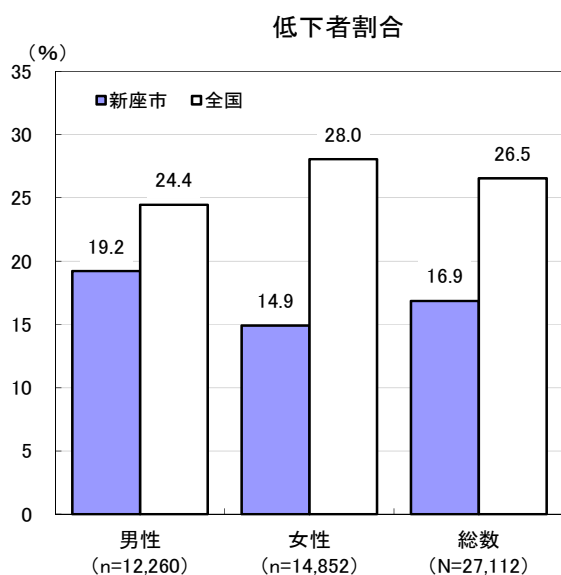
問番号	設問	配点と選択肢
設問2・問1	バスや電車で一人で外出していますか (自家用車でも可)	1:「1. している」または「2. できるけどしていない」
設問2・問2	日用品の買物をしていますか	1:「1. している」または「2. できるけどしていない」
設問2・問3	自分で食事の用意をしていますか	1:「1. している」または「2. できるけどしていない」
設問2・問4	請求書の支払をしていますか	1:「1. している」または「2. できるけどしていない」
設問2・問5	預貯金の出し入れをしていますか	1:「1. している」または「2. できるけどしていない」
設問2・問6	年金などの書類(役所や病院などに出す書類) を書けますか	1:「1. はい」
設問2・問7	新聞を読んでいますか	1:「1. はい」
設問2・問8	本や雑誌を読んでいますか	1:「1. はい」
設問2・問9	健康についての新聞記事やテレビ番組に関心 がありますか	1:「1. はい」
設問2・問10	友人の家を訪ねていますか	1:「1. はい」
設問2・問11	家族や友人の相談にのっていますか	1:「1. はい」
設問2・問12	病人を見舞うことができますか	1:「1. はい」
設問2・問13	若い人に自分から話しかけることがありますか	1:「1. はい」

#### イ 評価結果

10点以下を低下者とした結果をみると、全体で4,569人、16.9%(男性19.2%、女性14.9%)が低下者となっており、女性より男性で低下者割合が高くなっている。

全国の調査結果との比較では、男女ともに全国の値を大きく下回っているが、女性では特にその差が大きくなっている。

表 低下者割合－老研式活動能力指標総合評価

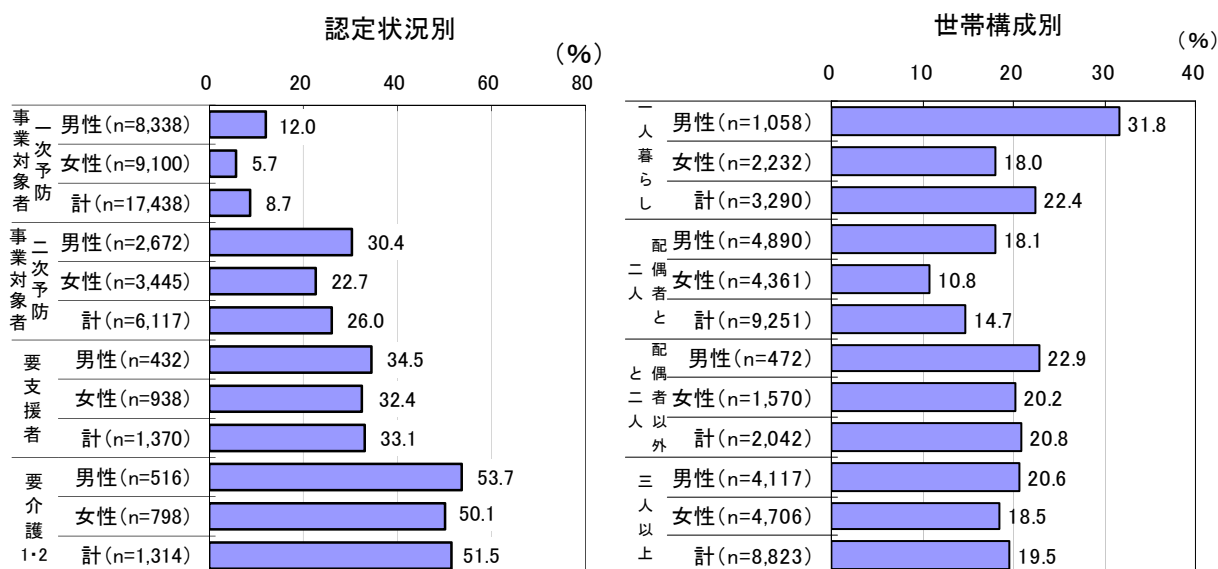


<sup>3</sup>老研式活動能力指標総合評価 社会的に自立した生活を送るために必要な比較的高次の活動能力の総合的な尺度で、全13項目から評価される。

一般高齢者と要支援者、要介護1・2の状況を比較すると、一次予防事業対象者では8.7%、二次予防事業対象者では26.0%が低下者となっているのに対し、要支援者、要介護1・2ではそれぞれ33.1%、51.5%と、要介護者で低下者割合が顕著に高くなっている。

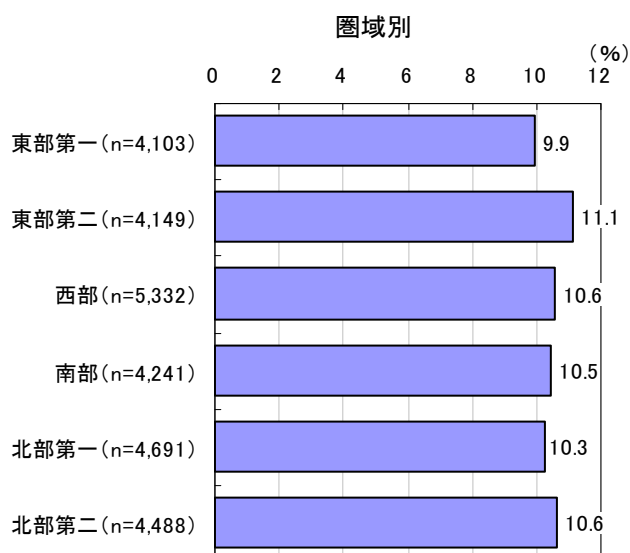
世帯構成別にみると、男性の一人暮らし世帯で低下者割合が30%を超えて高くなっている。

図表 低下者割合－認定状況別、世帯構成別



圏域別にみると、東部第二の低下者割合が11.1%と比較的高くなっている。

図表 低下者割合－圏域別



#### (4) 仕事

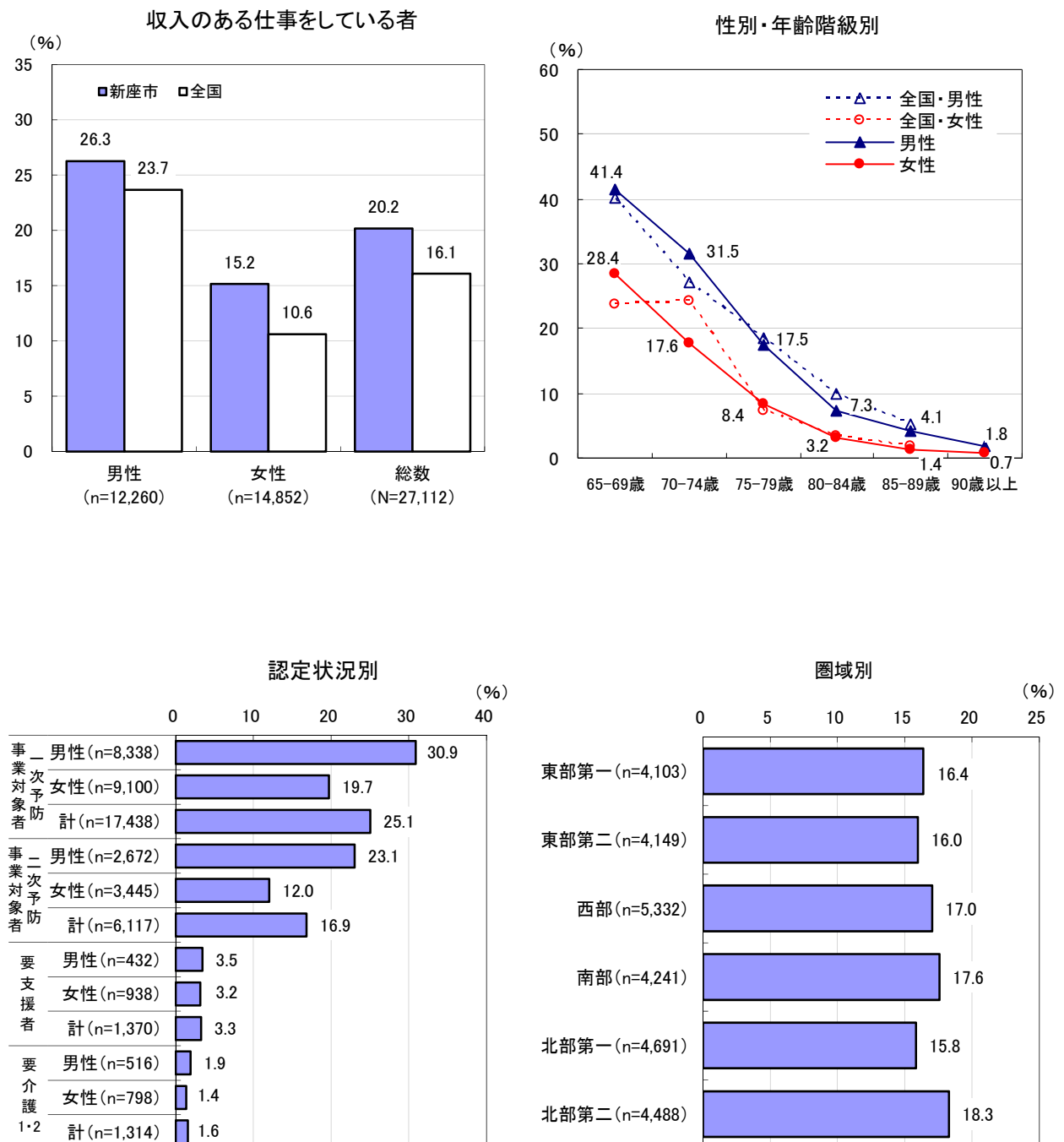
社会参加活動に関する設問（設問9・問4）で、収入のある仕事を「年に数回」以上しているとの回答は、全体で5,471人、20.2%（男性26.3%、女性15.2%）となっている。女性より男性でその割合が高くなっている。年齢階級別にみると、60歳代後半の男性では40%以上が仕事をしているとの結果になっている。

全国の調査結果との比較では、男女ともに全国の値を上回っている。

認定状況別では、一次予防事業対象者25.1%、二次予防事業対象者16.9%、要支援者3.3%、要介護1・2の1.6%が仕事をしていると回答しており、認定者では顕著にその割合が低くなっている。

圏域別では、北部第二が18.3%と他圏域に比べて高くなっている。

図表 収入のある仕事をしている者



## 7 疾病

疾病に関しては、高齢期に多く、また介護が必要になる原因にもなる主な疾病として、高血圧、脳卒中、心臓病、糖尿病、筋骨格の病気、目の病気について概観する。

### (1) 高血圧

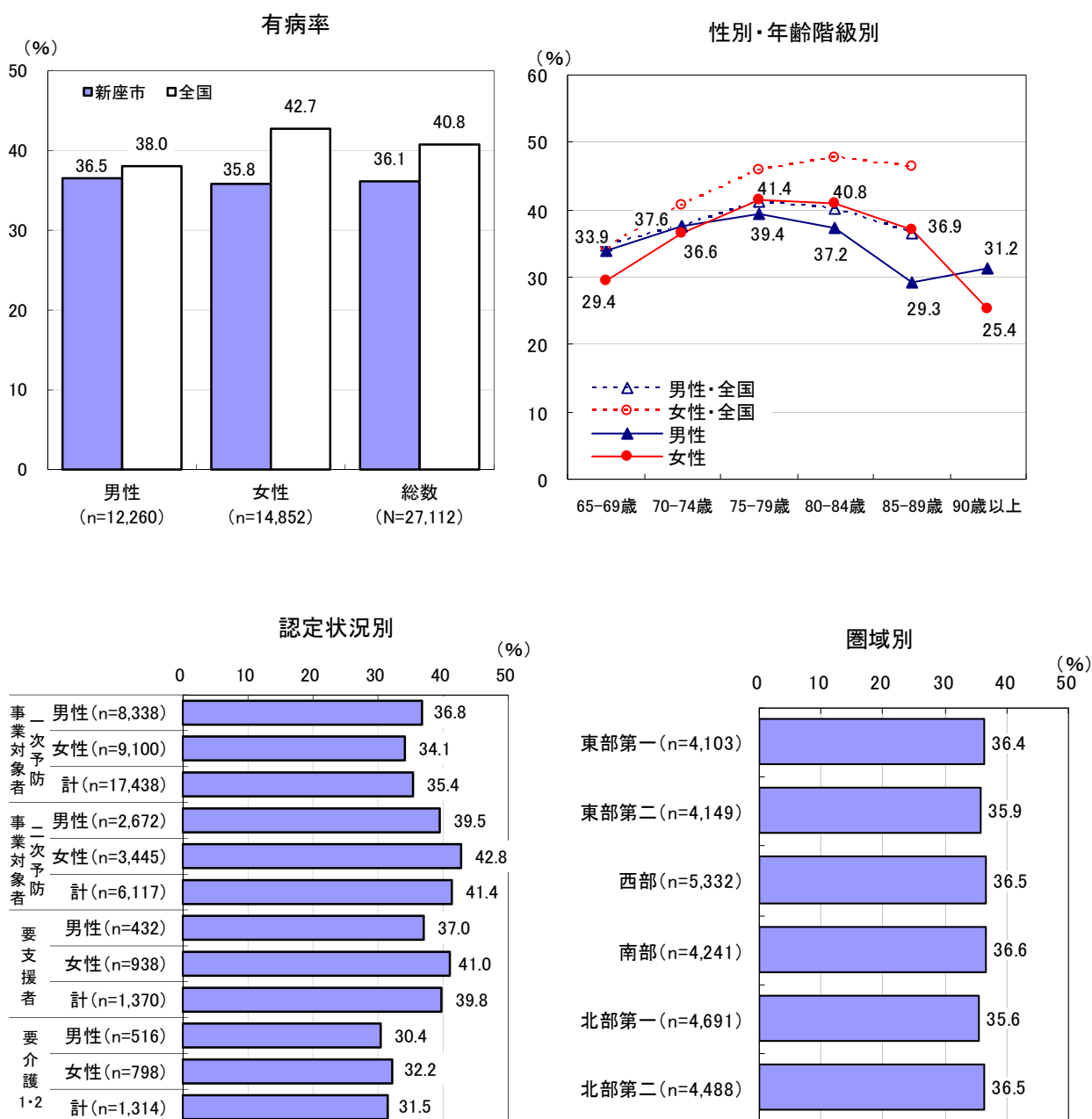
疾病に関する回答をみると、「現在治療中、又は後遺症のある病気」（設問 10・問 3）があるとする割合（有病率）は、最も高いのが「高血圧」で、全体で 36.1%（男性 36.5%、女性 35.8%）となっている。

全国の調査結果と比較すると、男性は 1.5 ポイント、女性は 6.9 ポイント低くなっている。

認定状況別では、二次予防事業対象者、要支援者の有病率がそれぞれ 41.4%、39.8%と、比較的高くなっている。

圏域別にみると、各圏域でほとんど差がない結果になっている。

図表 有病率—高血圧





(2) 脳卒中

介護が必要となった主な原因で最も多いとされる「脳卒中」の有病率は、全体で3.8%（男性5.4%、女性2.5%）で、女性より男性のほうが高くなっている。

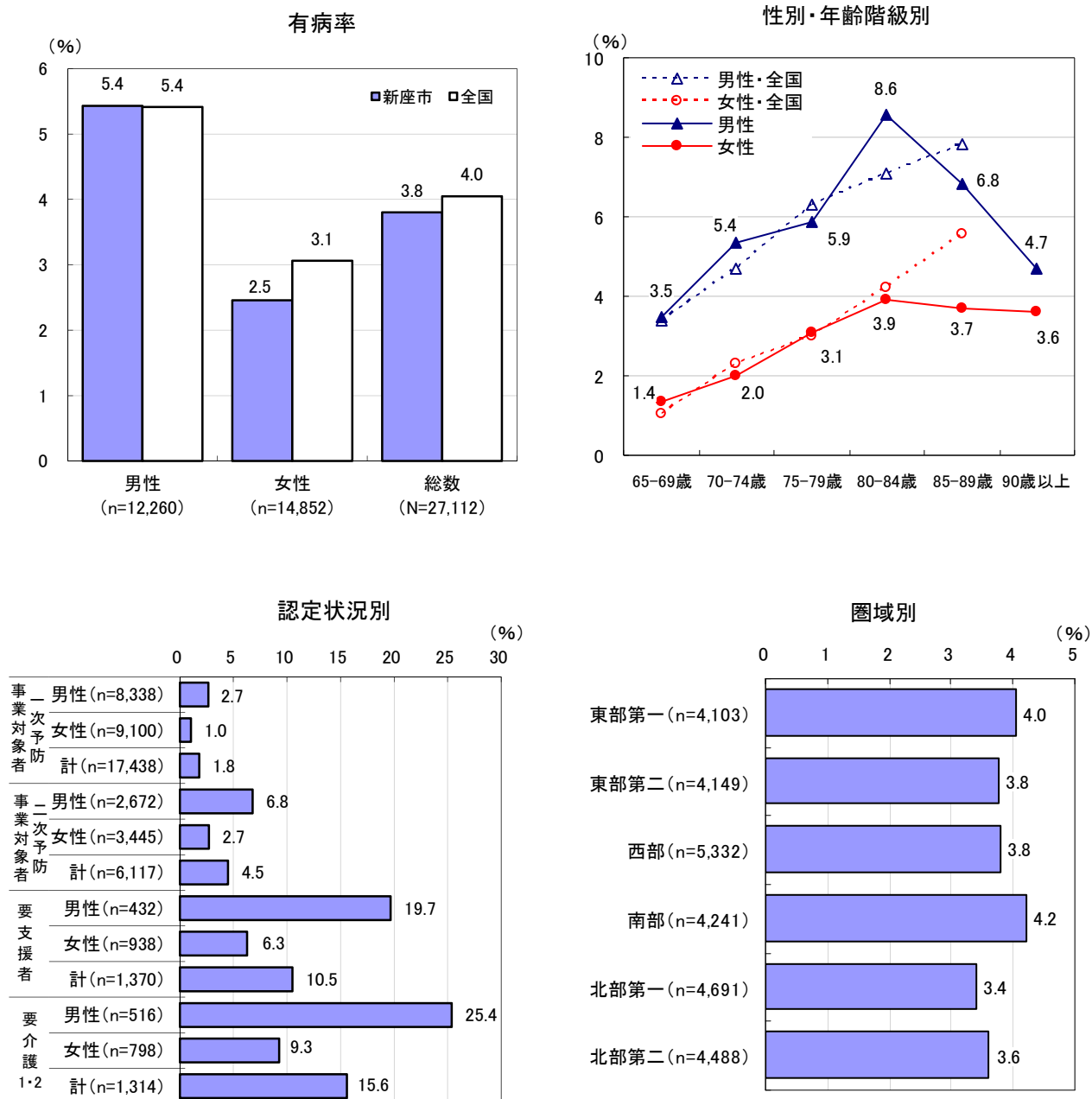
年齢階級別では、男女ともに年齢が高いほど有病率も高くなり、80歳代前半がピークとなっている。

全国の調査結果との比較では、女性の有病率が2.5%で全国の値を0.6ポイント下回っている（男性は5.4%で全国と同じ）。

認定状況別では、要支援者が10.5%、要介護1・2が15.6%と、一次予防事業対象者（1.8%）や二次予防事業対象者（4.5%）に比べて有病率が高くなっている。脳卒中が原因で要支援・要介護認定を受けている高齢者が相当数いることがうかがえる。

圏域別にみると、南部が比較的高く、北部第一が低くなっている。

図表 有病率－脳卒中

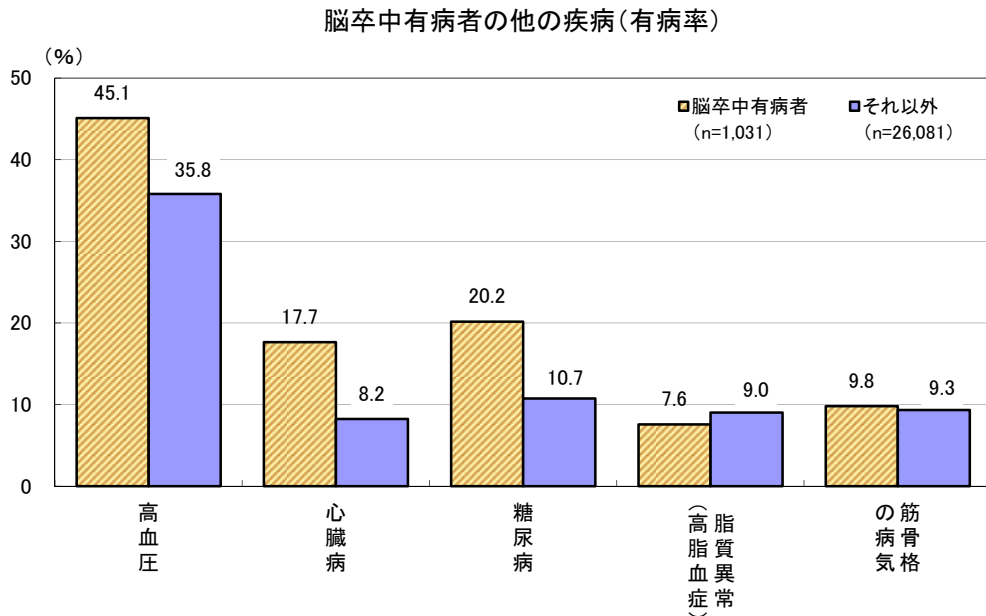


脳卒中については、そのリスク要因として、高血圧、肥満、喫煙などが指摘されている。

今回の調査結果で、「現在治療中、又は後遺症のある病気」として「脳卒中」と回答した高齢者とそれ以外の高齢者それぞれについて、他の病気の有病率をみると、高血圧、心臓病、糖尿病では、明らかに脳卒中有病者で有病率が高くなっている。

こうした疾病と脳卒中との関連が今回の調査結果からもうかがえる。

図表 脳卒中有病者の他の疾病（有病率）



### (3) 心臓病

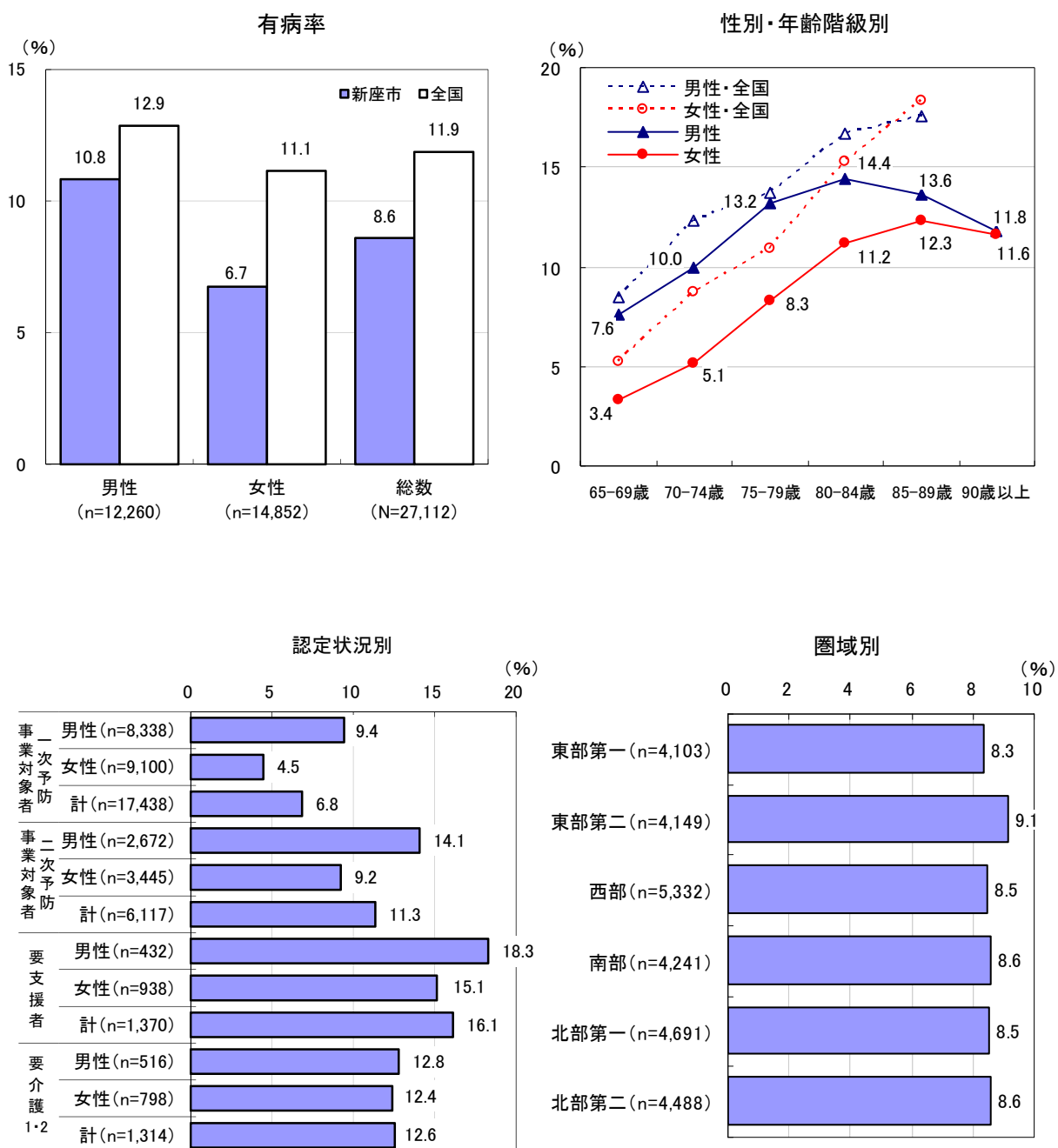
「心臓病」の有病率は、全体で 8.6%（男性 10.8%、女性 6.7%）となっている。女性より男性で有病率が高くなっている。年齢が高くなるほど有病率は高くなっており、男性では 80 歳代前半が、女性では 80 歳代後半がピークになっている。

全国の調査結果との比較では、男女ともに全国の調査結果を大きく下回っている。年齢階級別にみても男女ともに全年代で全国の値を下回っている。

認定状況別では、要支援者、要介護 1・2 の有病率がそれぞれ 16.1%、12.6%と、一次予防事業対象者（6.8%）、二次予防事業対象者（11.3%）に比べて高くなっている。

圏域別にみると、東部第二が 9.1%と、他圏域に比べて高くなっている。

図表 有病率—心臓病



#### (4) 糖尿病

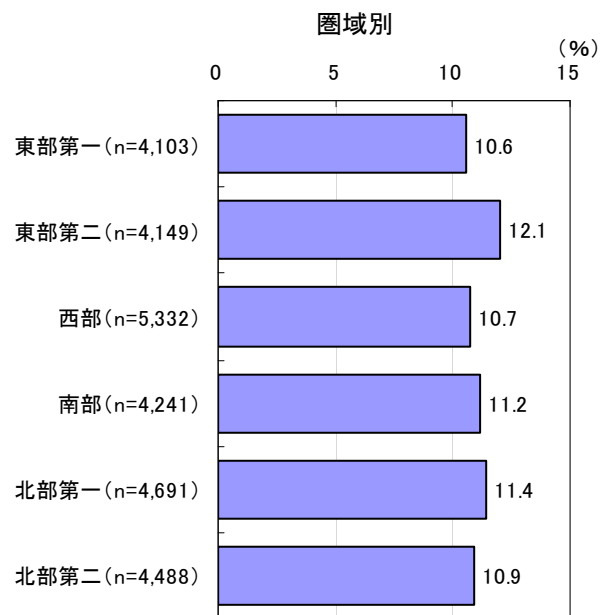
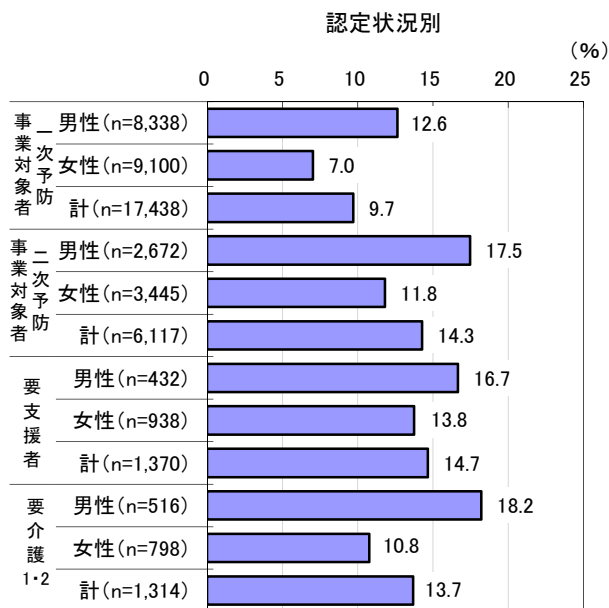
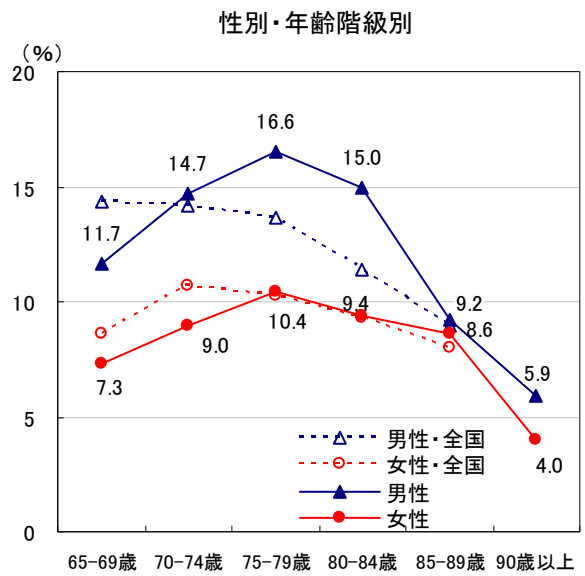
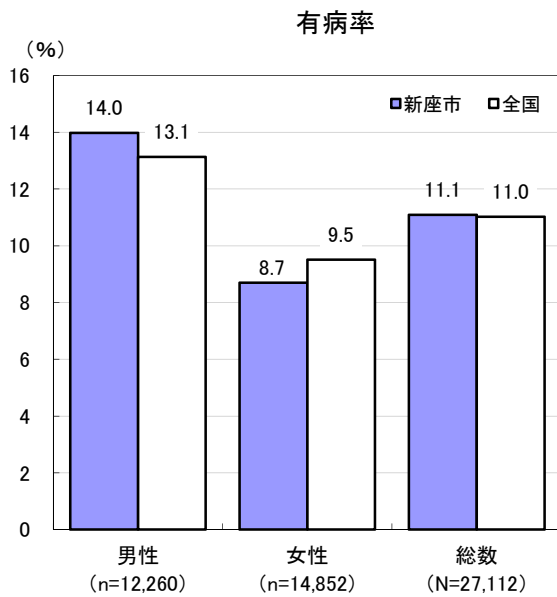
「糖尿病」の有病率は、全体で11.1%（男性14.0%、女性8.7%）で、女性より男性で有病率が高くなっている。年齢階級別では、男女ともに70歳代後半で有病率が最も高くなっている。

全国との比較では、男性の有病率が全国の調査結果より0.9ポイント高くなっている一方、女性は0.8ポイント低くなっている。

認定状況別では、二次予防事業対象者14.3%、要支援者14.7%、要介護1・2が13.7%と、一次予防事業対象者（9.7%）に比較して高くなっている。

圏域別にみると、東部第二が比較的高くなっている一方、東部第一や西部で低くなっている。

図表 有病率－糖尿病



(5) 筋骨格の病気

「筋骨格の病気（骨粗しょう症・関節症等）」の有病率は、全体で9.3%（男性3.1%、女性14.5%）となっており、男性より女性で顕著に高くなっている。

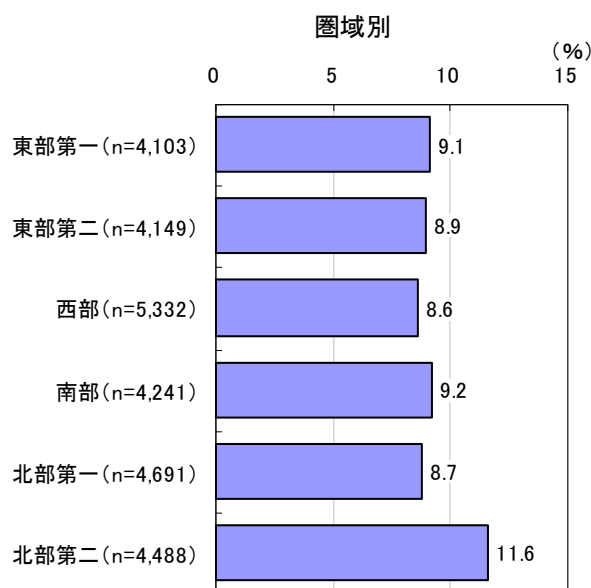
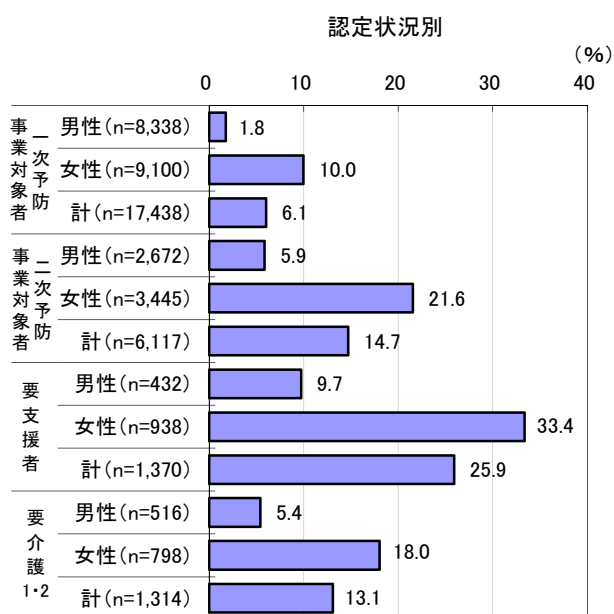
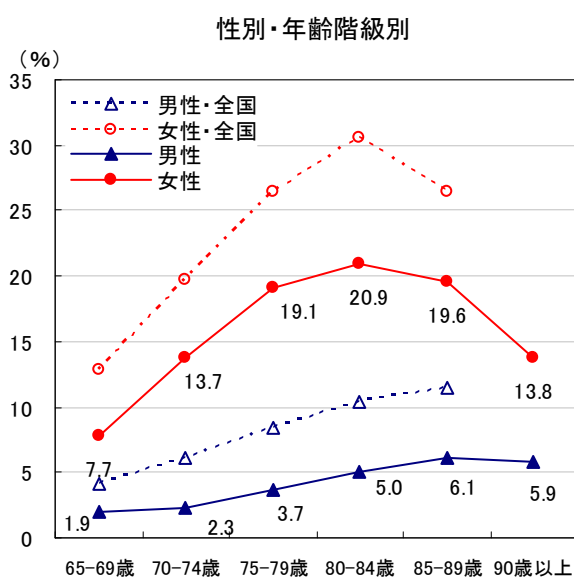
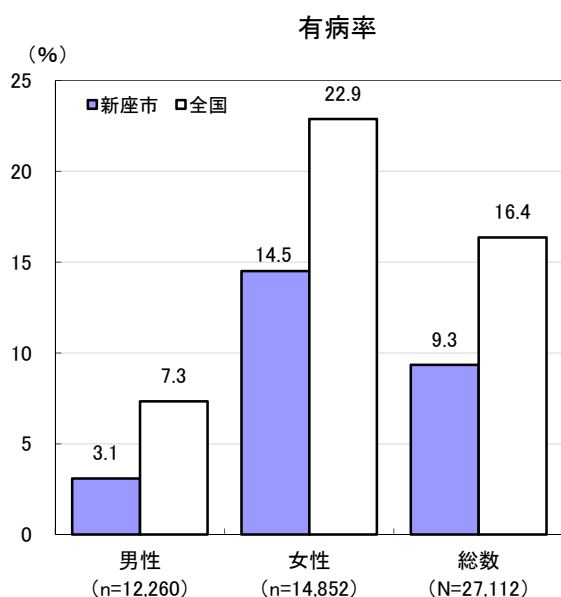
年齢階級別にみると、男女ともに年齢が高いほど有病率が高くなり、男性では80歳代後半、女性では80歳代前半がピークとなっている。

これを全国の調査結果と比較すると、男女とも全国の値を大きく下回っている。

認定状況別では、要支援者が25.9%で最も高く、次いで二次予防事業対象者（14.7%）、要介護1・2（13.1%）となっている。

圏域別にみると、北部第二が11.6%と他圏域に比べて高くなっている。

図表 有病率－筋骨格の病気



(6) 目の病気

「目の病気」の有病率は、全体で 13.4%（男性 11.2%、女性 15.2%）となっており、男性より女性で高くなっている。

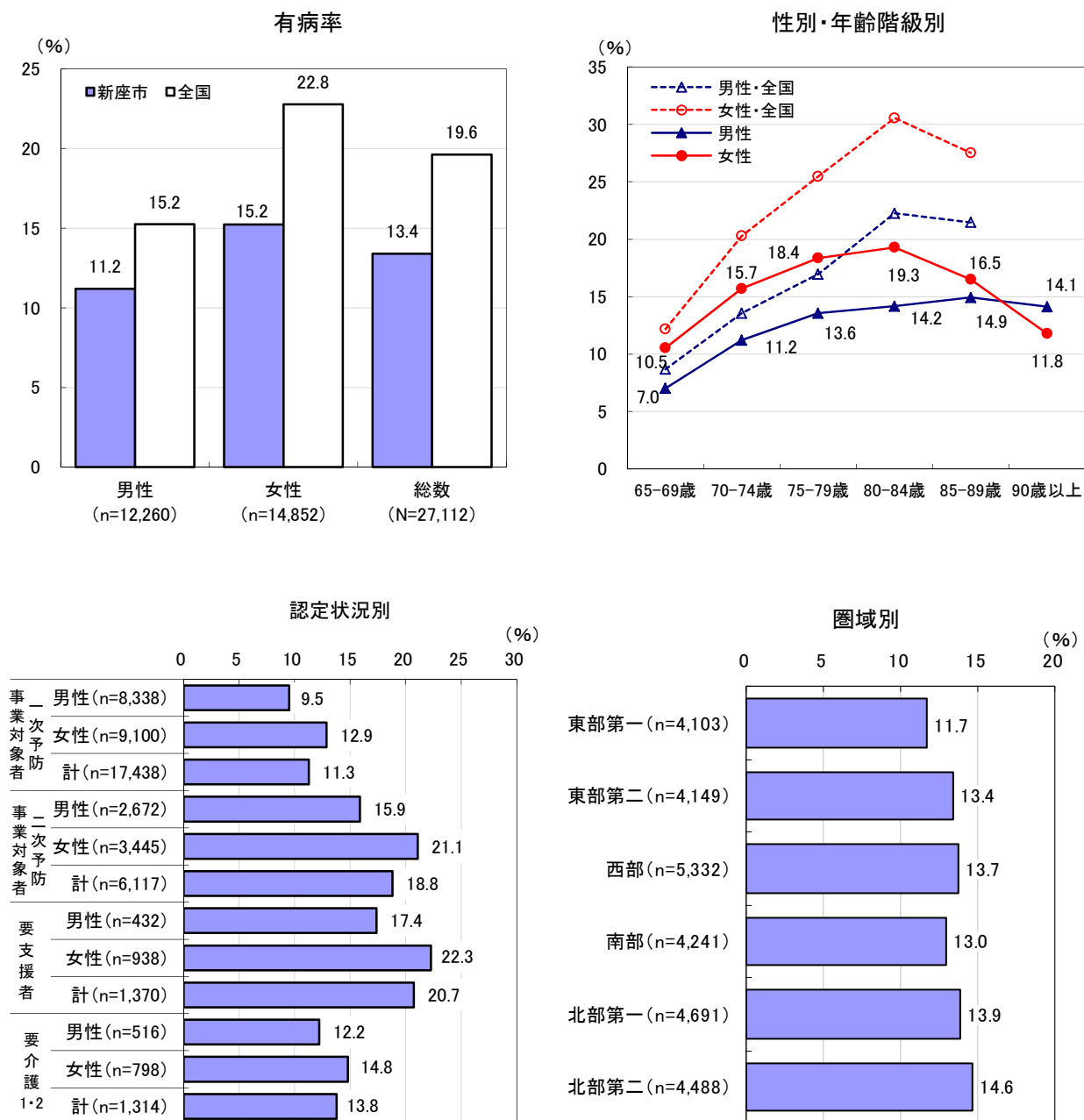
年齢階級別にみると、男女ともに年齢が高いほど有病率が高くなり、男性では 80 歳代の後半、女性では 80 歳代の前半がピークになっている。

全国の調査結果と比較すると、女性では 7.6 ポイント、全国の値を下回っている。

認定状況別では、要支援者が 20.7%で最も高く、次いで二次予防事業対象者（18.8%）、要介護 1・2（13.8%）、一次予防事業対象者（11.3%）となっている。

圏域別にみると、北部第二で 14.6%と他圏域に比べて高くなっている一方、東部第一では 11.7%と低くなっている。

図表 有病率—目の病気



## (7) 受診

病院・医院（診療所、クリニック）での受診についてみる（設問10・問5）。

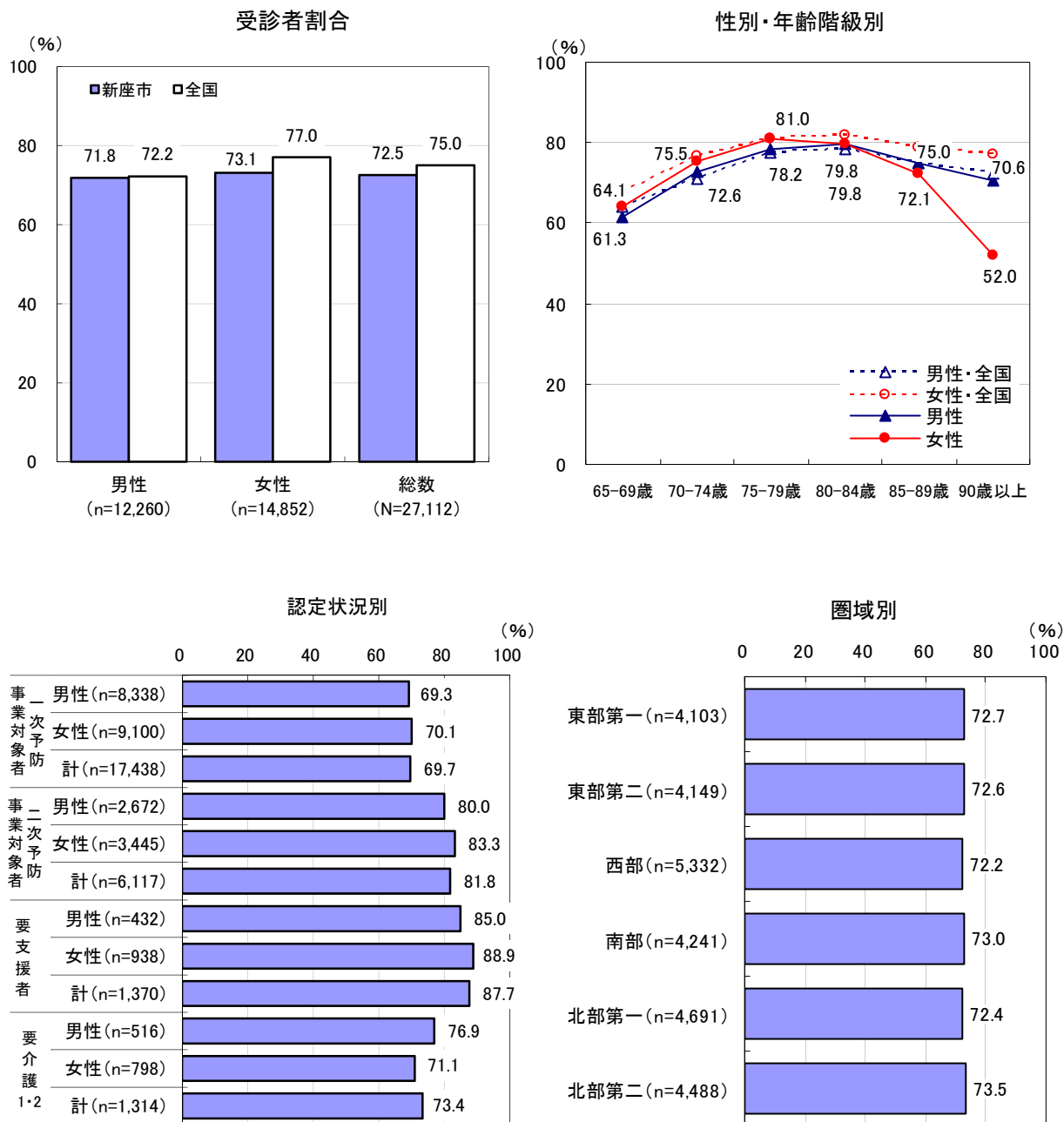
受診者の割合についてみると、全体で72.5%（男性71.8%、女性73.1%）となっており、男女で大きな差はみられない。

これを全国の調査結果と比較すると、女性で全国の値を3.9ポイント下回っている。

認定状況別では、要支援者が87.7%で最も高くなっている。

圏域別にみると、いずれの圏域も73%前後で、顕著な差はない結果になっている。

図表 受診状況

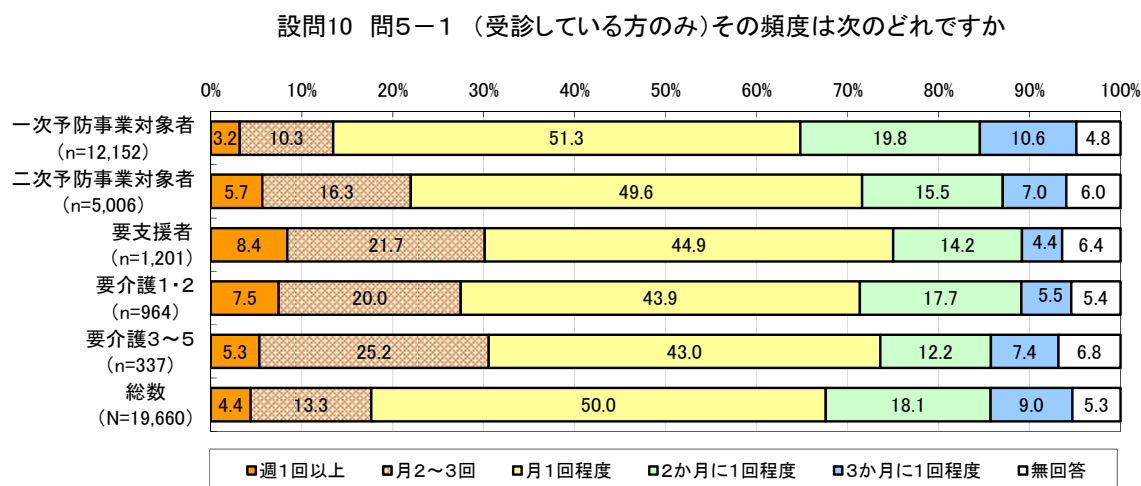


受診の頻度については、「月1回程度」が50.0%を占めており、以下「2か月に1回程度」(18.1%)、「月2～3回」(13.3%)が続いている。

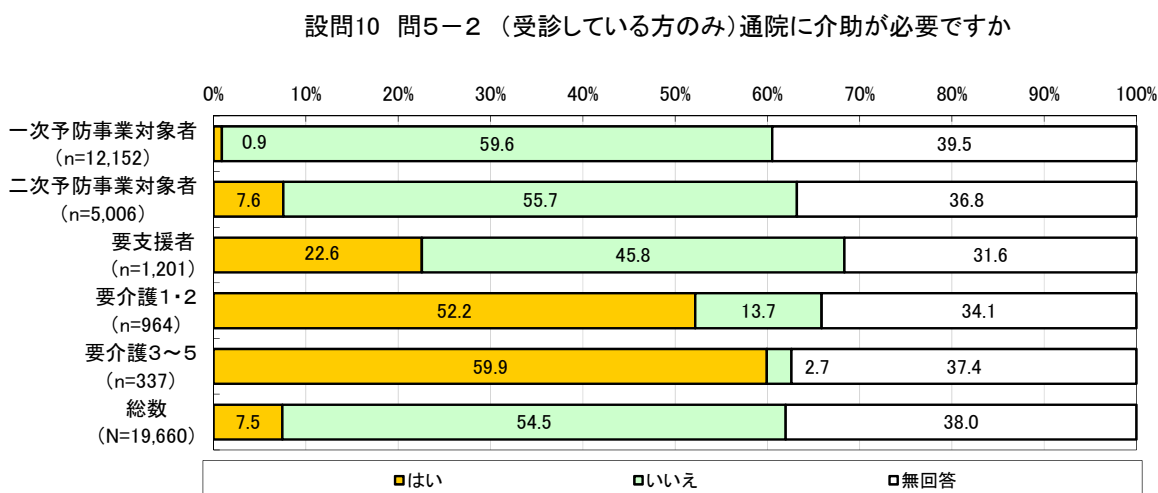
認定状況別にみると、要支援者、要介護者で通院頻度の高い高齢者が多くなっている。

また、通院に介助が必要であるかについては、「はい」(必要)との回答は全体で7.5%になっている。認定状況別では、一次予防事業対象者の0.9%に対し、二次予防事業対象者では7.6%、要支援者22.6%、要介護1・2が52.2%、要介護3～5が59.9%となっており、要介護度が重いほど通院に介助が必要とする高齢者が多くなっている。

図表 受診している頻度－認定状況別



図表 通院への介助の必要性－認定状況別





## 8 健康・生活習慣

### (1) 主観的健康感

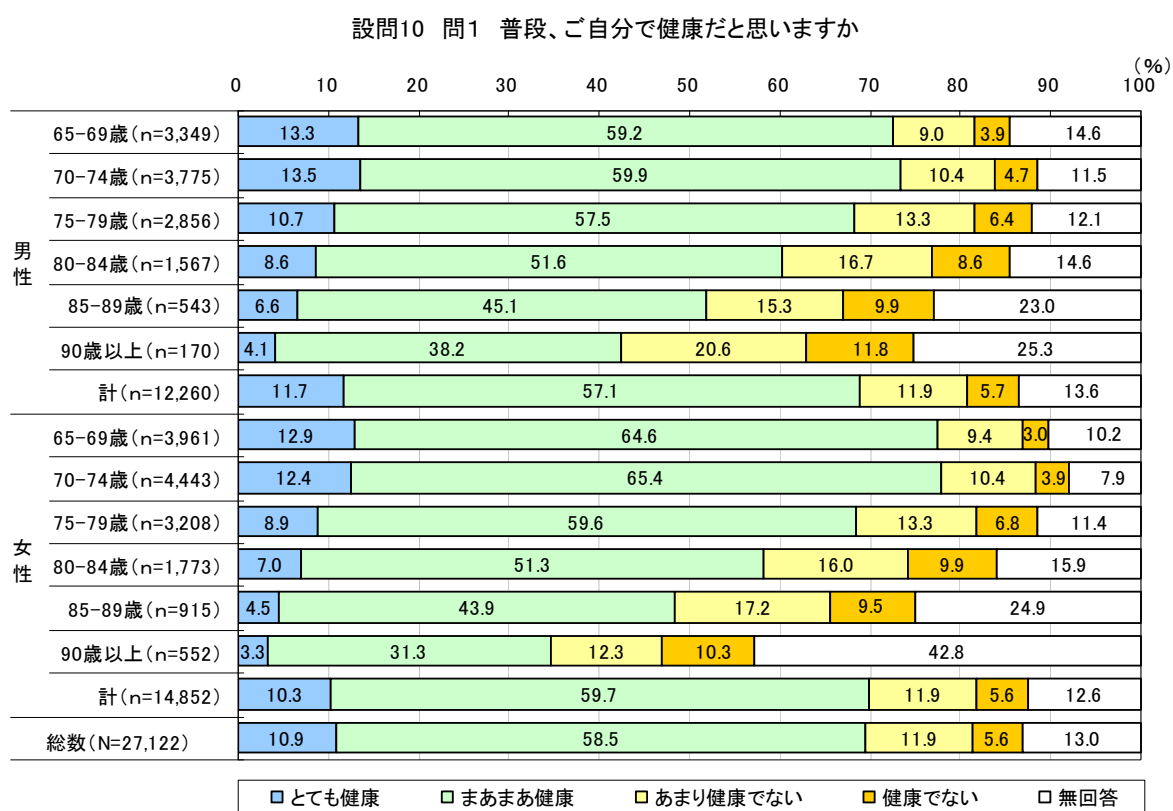
高齢者のQOL（生活の質）の指標ともなっている主観的健康感（設問10・問1）の回答をみると、「(とても・まあまあ)健康」とする肯定的な回答（健康群）は、全体で69.5%（男性68.8%、女性70.0%）、「(あまり)健康でない」とする否定的な回答（不健康群）は、全体で17.5%（男性17.6%、女性17.5%）となっている。

性別では、女性のほうがわずかに健康群の割合が高く、また年齢階級別では、年齢が若いほど健康群の割合が高くなっている。

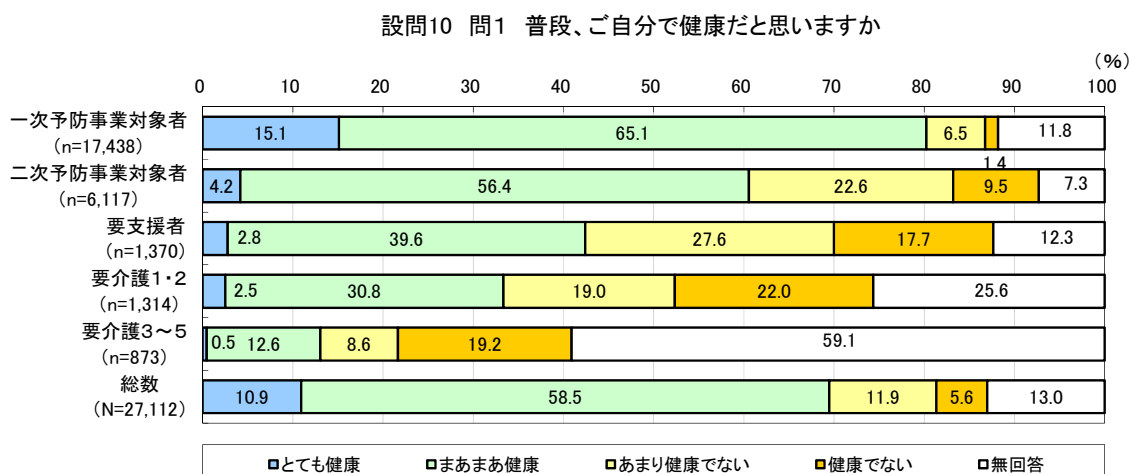
認定状況別では、要介護度が重くなるほど健康群の割合も低くなっている。

図表 主観的健康感

#### ①性別・年齢階級別



#### ②認定状況別

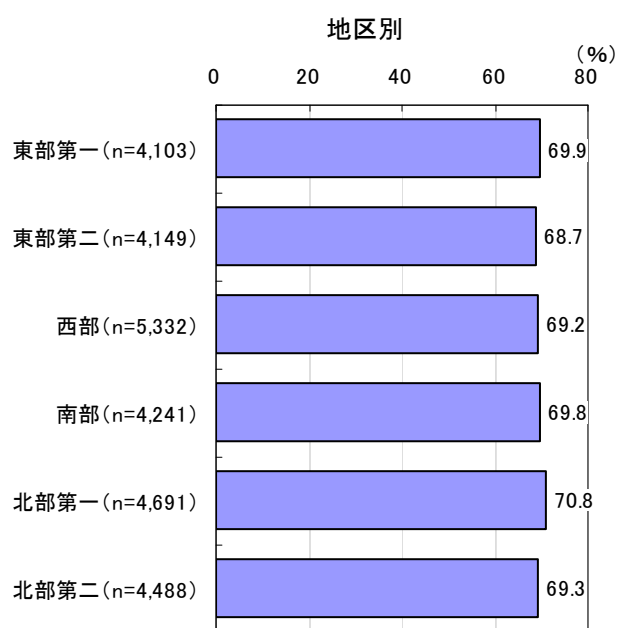
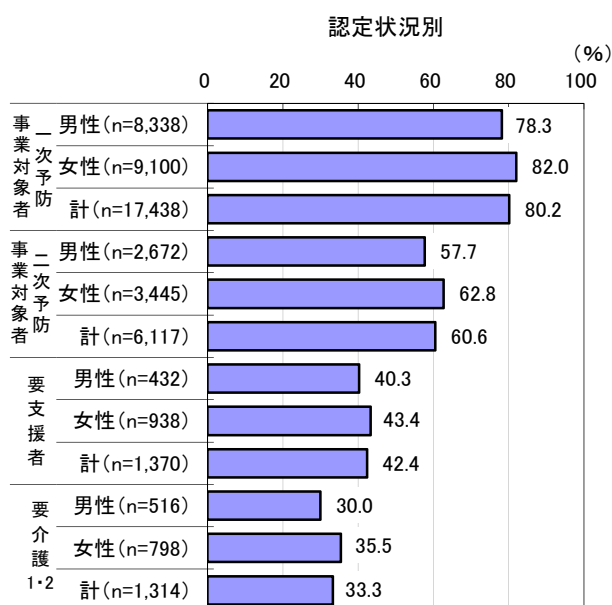
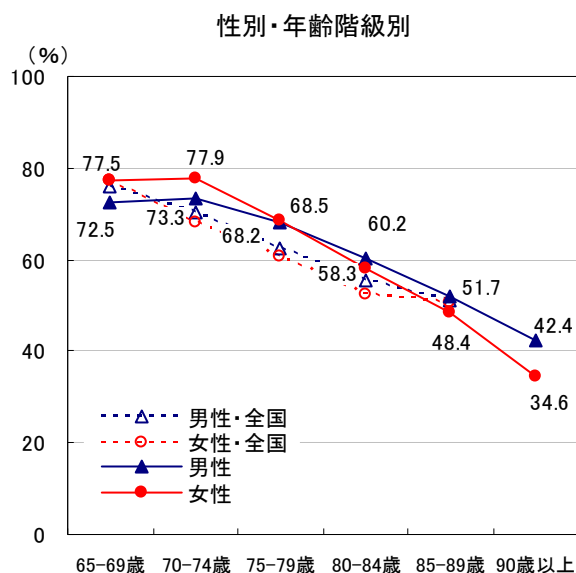
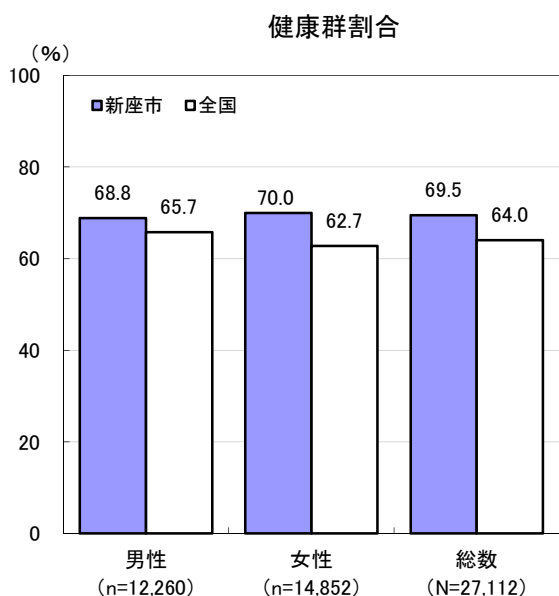


これを全国の調査結果と比較すると、男女ともに健康群の割合が全国の値より高くなっている。

認定状況別にみると、一次予防事業対象者の80.2%、二次予防事業対象者の60.6%、要支援者の42.4%、要介護1・2の33.3%が健康群になっている。

圏域別では、北部第一で健康群が70.8%と比較的高い一方、東部第二は68.7%と、他圏域に比べて低くなっている。

図表 主観的健康感—健康群割合



(2) 健診受診

健診の受診状況についてみる（設問 10・問 2）。

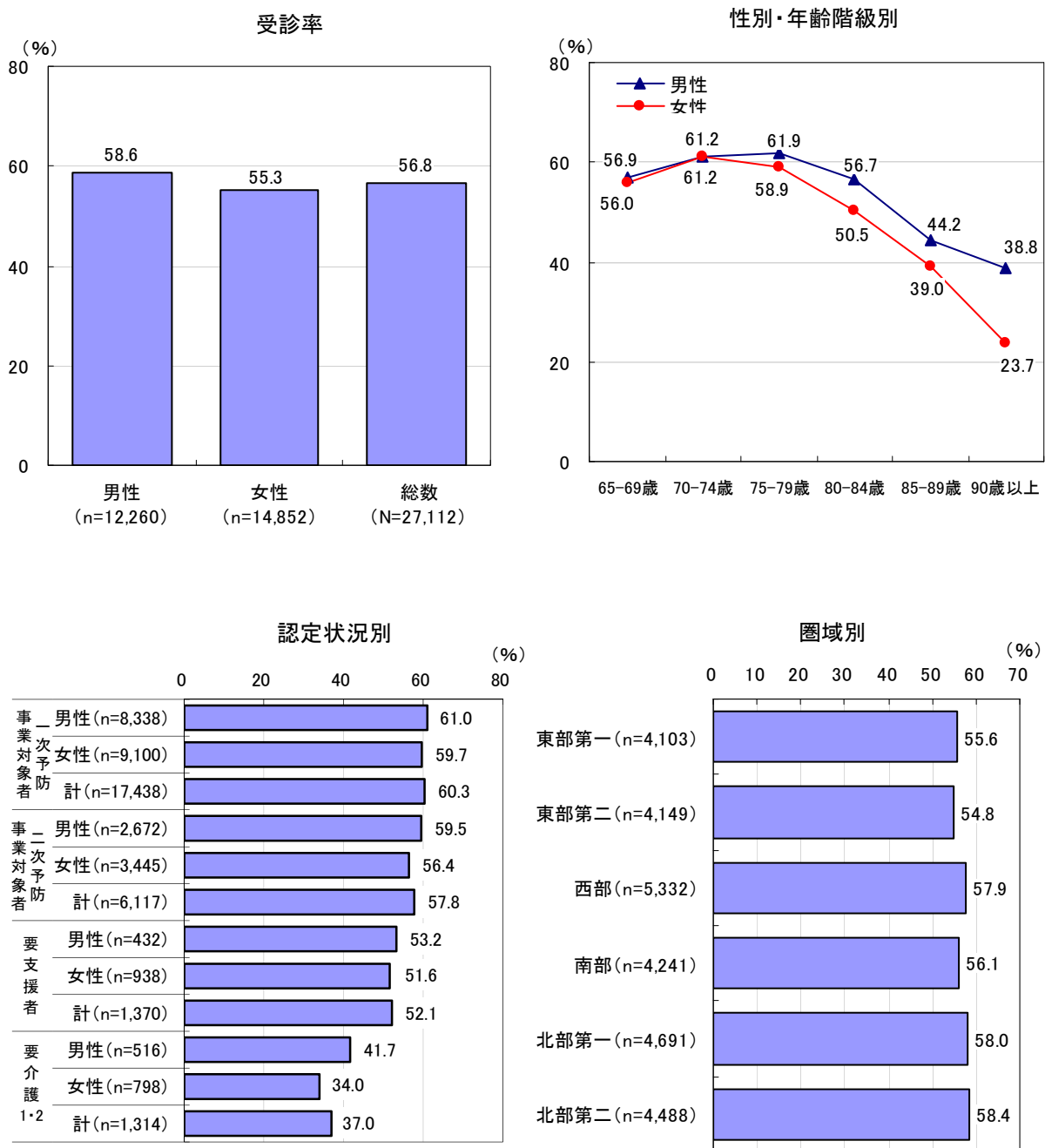
過去 1 年間に健診を受けたとする回答の割合（受診率）は、全体で 56.8%（男性 58.6%、女性 55.3%）になっている。

年齢階級別では、80 歳以降で受診率が低下している。

認定状況別にみると、一次予防事業対象者で 60.3%、二次予防事業対象者 57.8%、要支援者 52.1%、要介護 1・2 が 37.0%と、要介護度が重くなるに従って受診率も低下している。

圏域別にみると、北部第一、北部第二が 58% 台と比較的高い一方、東部第二は 54.8% と他圏域に比べて低くなっている。

図表 健診受診率



### (3) 肥満

生活習慣に関連する項目として、肥満についてみると以下のとおりとなる(設問5・問2)。

肥満者(BMI=体重kg/身長m/身長m $\geq$ 25)の割合は、全体で19.8%(男性21.6%、女性18.2%)となっている。

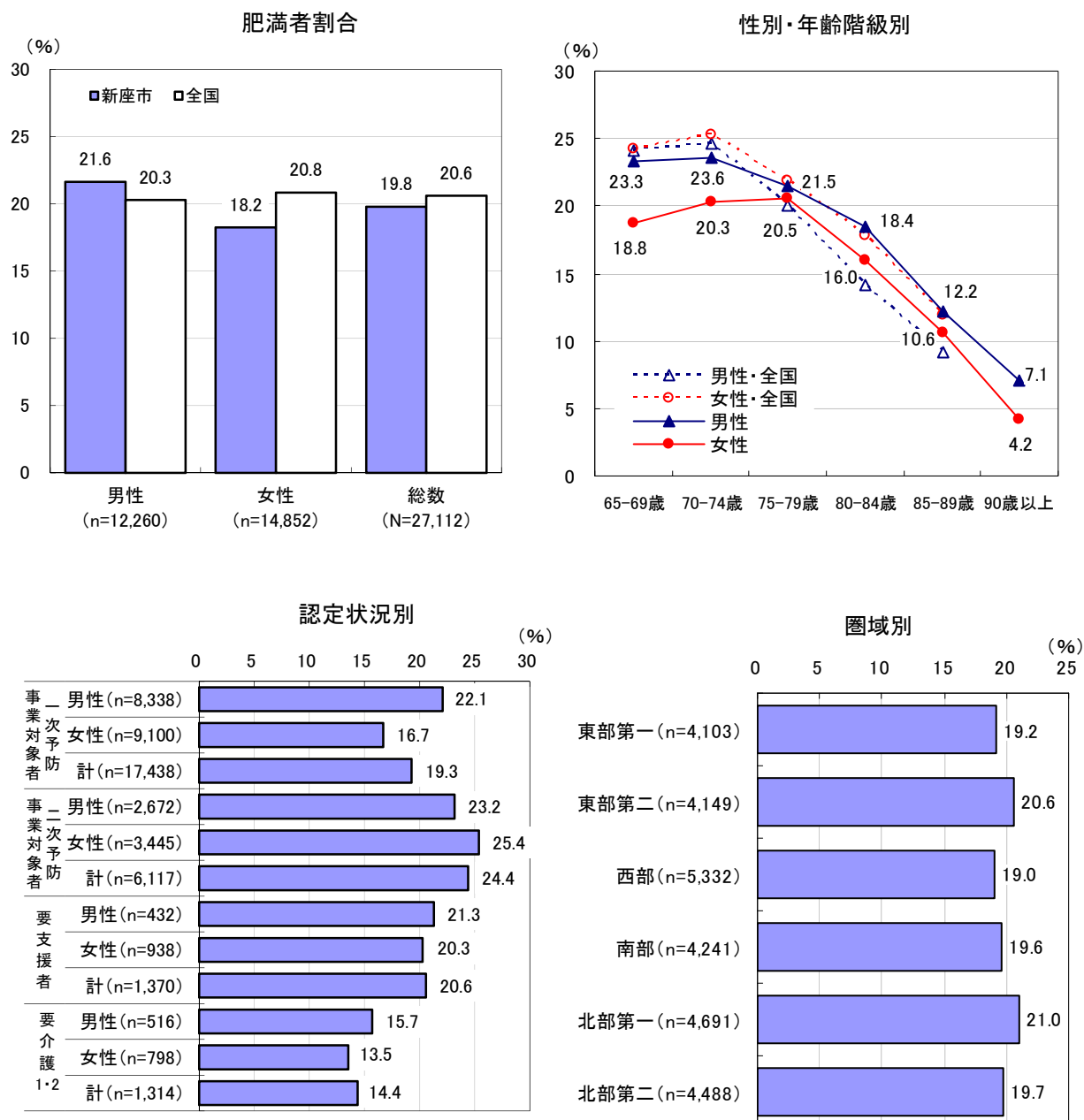
年齢階級別にみると、年齢が高くなるほど肥満者割合は低下している。

全国の調査結果との比較では、男性で全国の値を上回っている一方、女性では肥満者割合が全国より2.6ポイント低くなっている。年齢階級別にみると、女性では全年代で全国の値を下回っている。

認定状況別では、二次予防事業対象者で肥満者割合が24.4%と、比較的高くなっている。

圏域別にみると、北部第一で肥満者割合が21.0%と比較的高い一方、西部では19.0%と低くなっている。

図表 肥満者割合

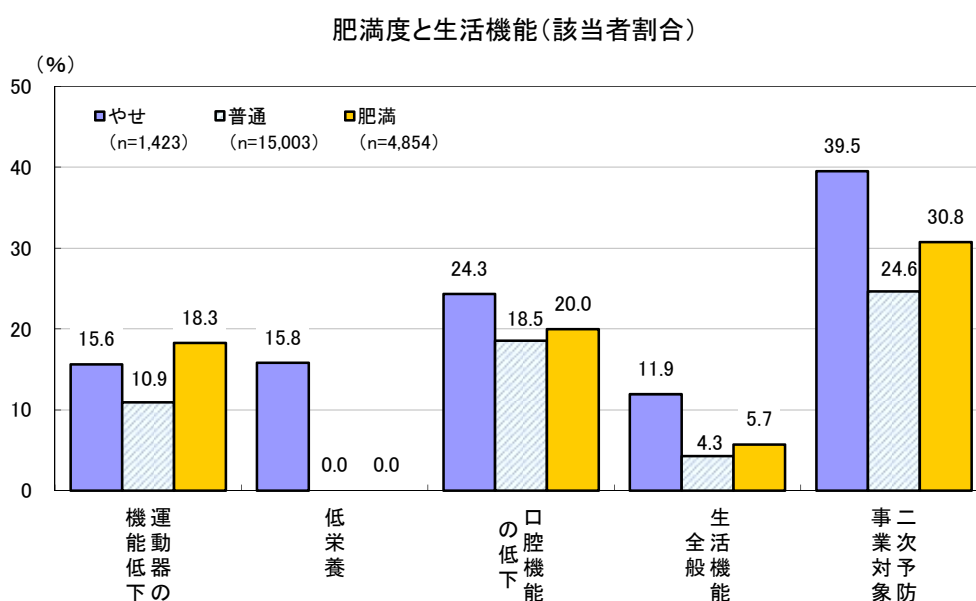


肥満は、生活習慣病など多くの疾病と関連していると言われている。そこで今回の調査結果から、肥満度と生活機能、疾病との関連をみたのが下の図表になる。

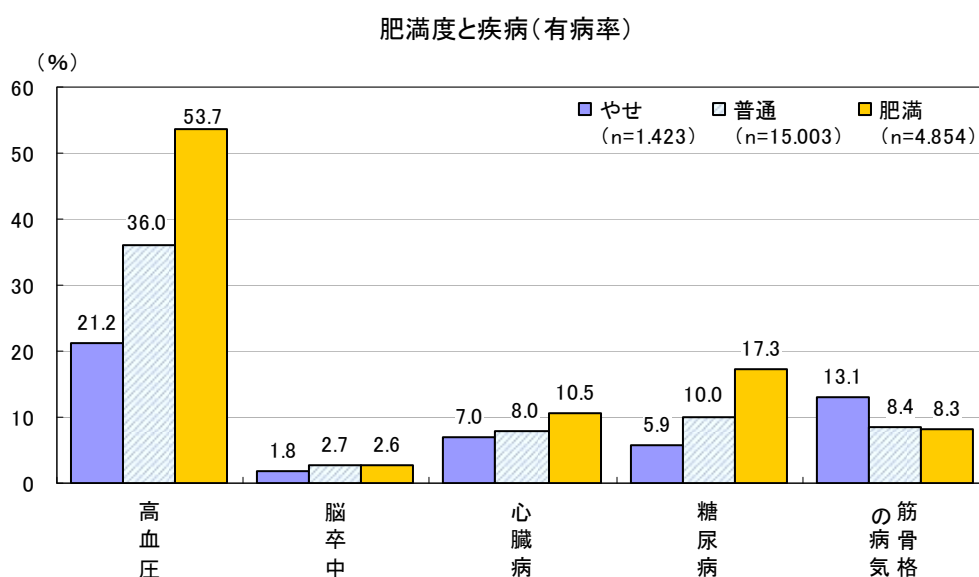
認定を受けていない一般高齢者について生活機能（基本チェックリストの主要評価項目）との関連をみると、運動器では、肥満者の18.3%が該当者となっており、普通体重の者に比べて該当者割合が顕著に高くなっている。

同じ一般高齢者について疾病との関連をみると、典型的な生活習慣病である高血圧、心臓病、糖尿病いずれも肥満者の有病率が最も高くなっている。これらの生活習慣病は、要介護になる原因で最も多い脳卒中のリスク要因にもなっており、介護予防の点からも何らかの肥満対策が必要と考えられる。

図表 肥満度と生活機能



図表 肥満度と疾病



#### (4) 飲酒

飲酒習慣についてみると以下のとおりとなる（設問10・問15）。

全体で最も多いのは「もともと飲まない」（30.4%）で、次いで「ほとんど飲まない」（23.3%）、  
「ほぼ毎日飲む」（19.1%）、「時々飲む」（15.4%）が続いている。

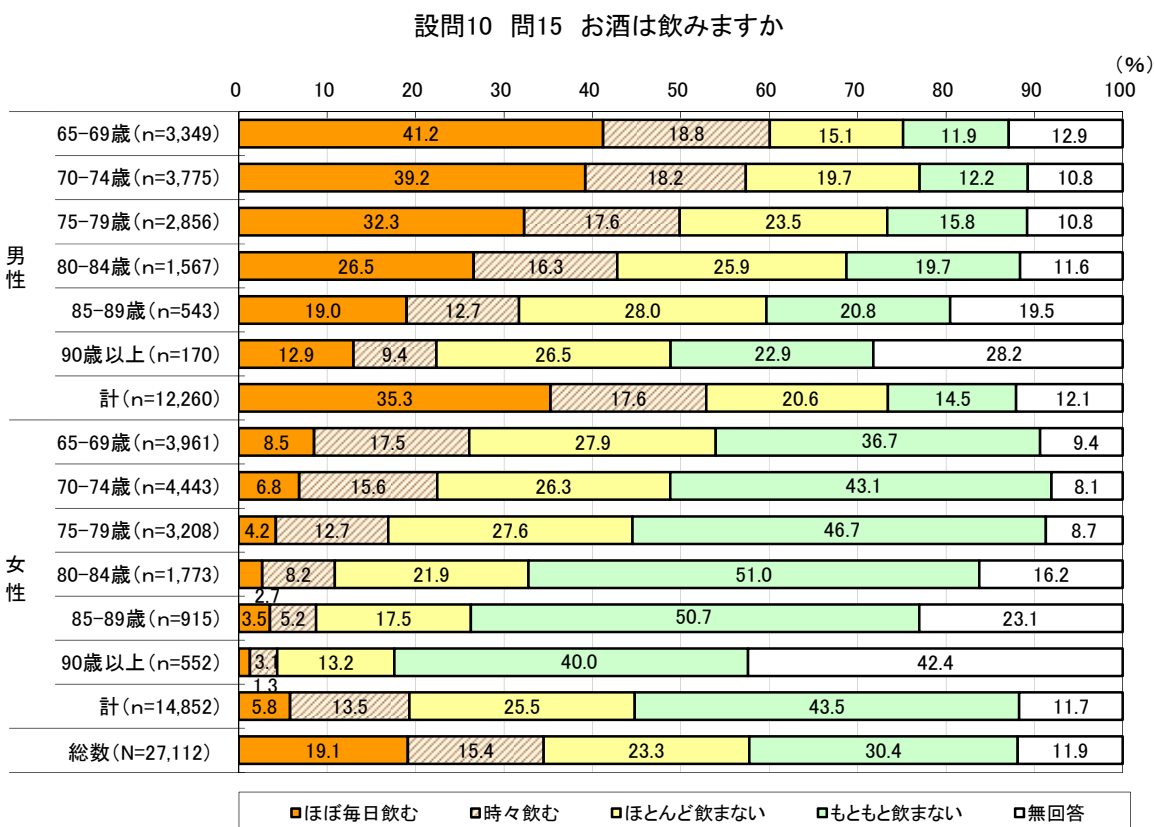
女性より男性で飲酒者が多くなっている。

年齢階級別にみると、男女とも年齢が高いほど飲酒者の割合が低くなっている。

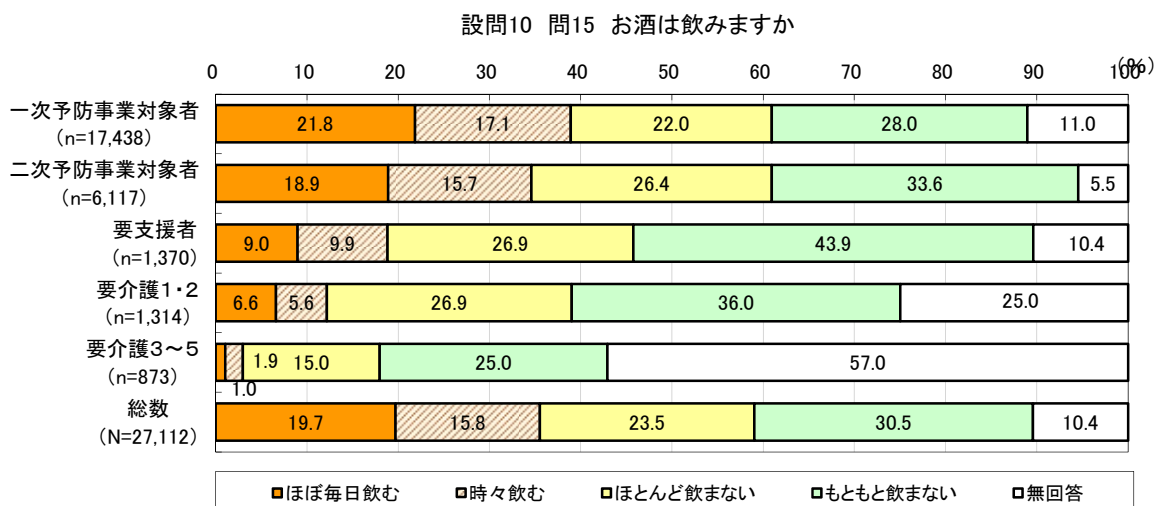
認定状況別にみると、要介護度が重くなるほど飲酒者の割合が低くなっている。

図表 飲酒習慣

##### ①性別・年齢階級別



##### ②認定状況別

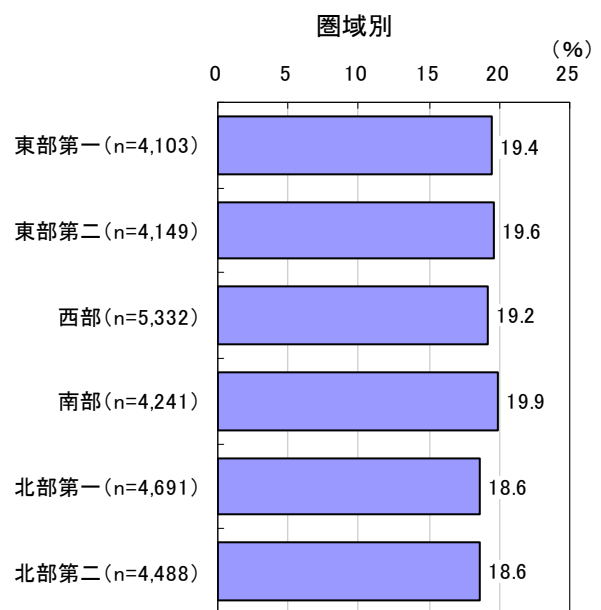
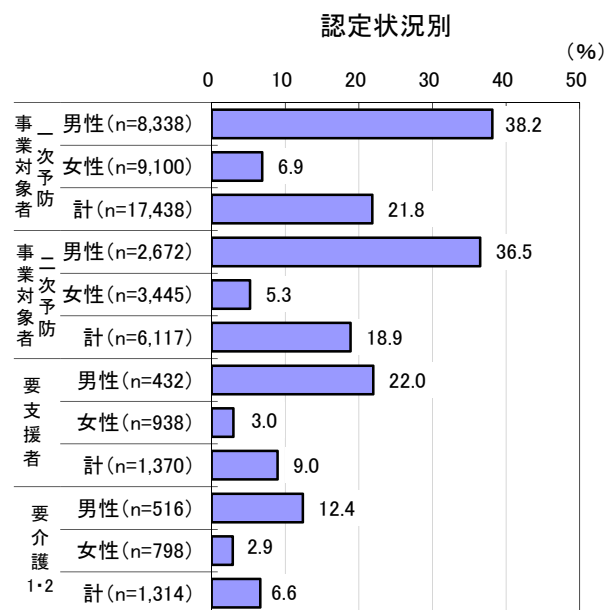
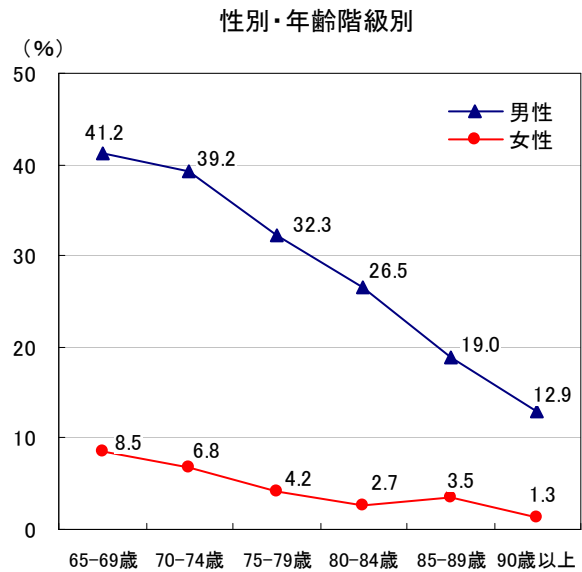
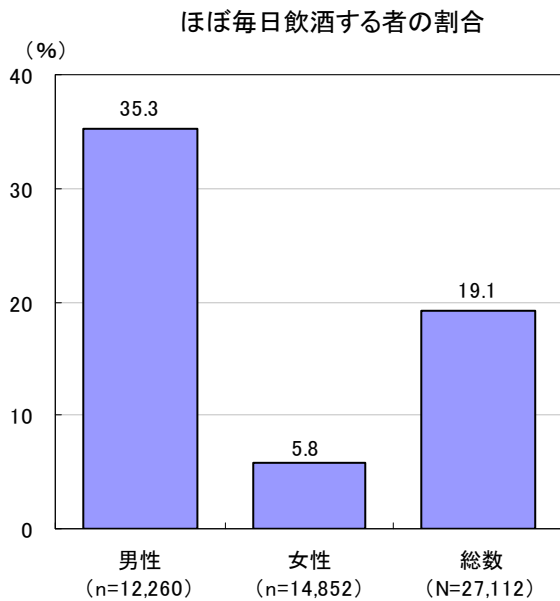


「ほぼ毎日飲む」との回答の割合をみると、男性では全体の 35.3%、女性では 5.8%となっており、男性ではほぼ毎日飲酒する高齢者が多くなっている。

年齢階級別では、年齢が高いほど、また認定状況別では、要介護度が重くなるほどその割合が低くなっている。

圏域別にみると、いずれの圏域でも「ほぼ毎日飲む」との回答は 19%前後で顕著な差はみられない。

図表 飲酒習慣－ほぼ毎日飲む者の割合



(5) 喫煙

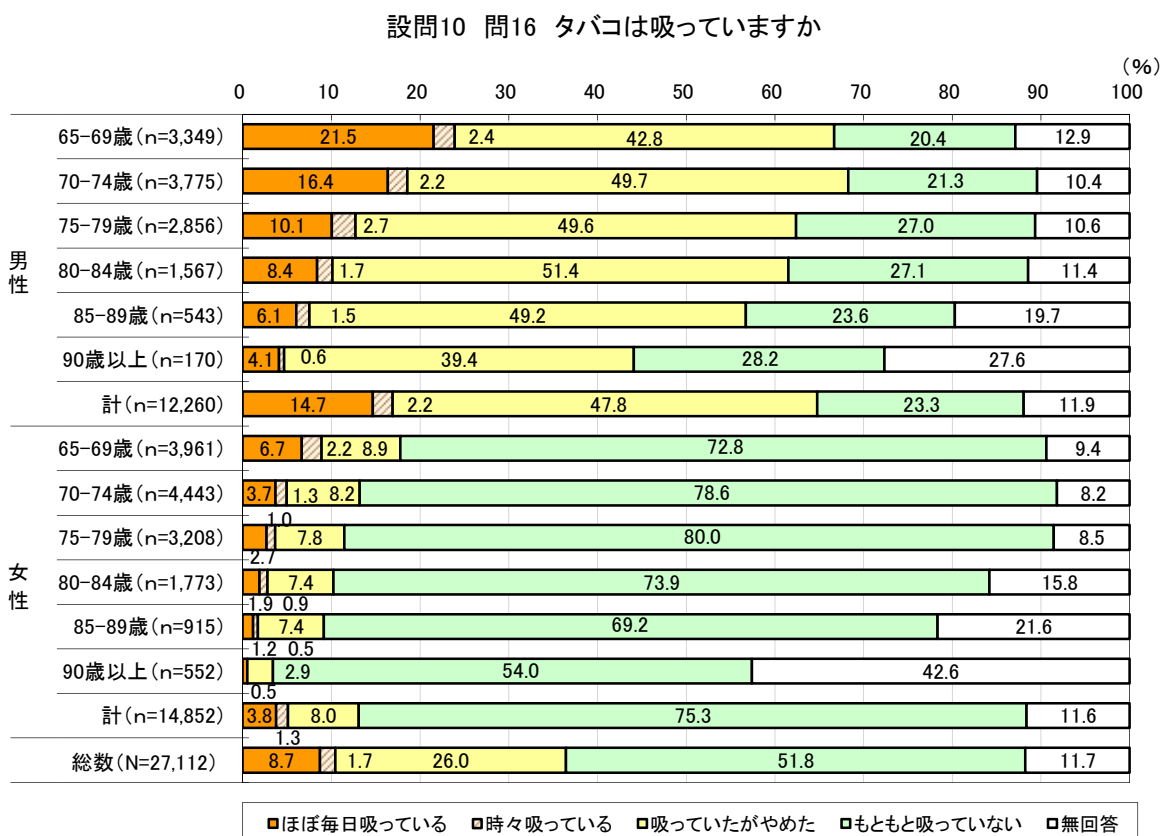
喫煙習慣についてみると以下のとおりとなる（設問10・問16）。

全体で最も多いのは「もともと吸っていない」（51.8%）で、次いで「吸っていたがやめた」（26.0%）、「ほぼ毎日吸っている」（8.7%）、「時々吸っている」（1.7%）が続いている。女性より男性で喫煙者が多くなっている。

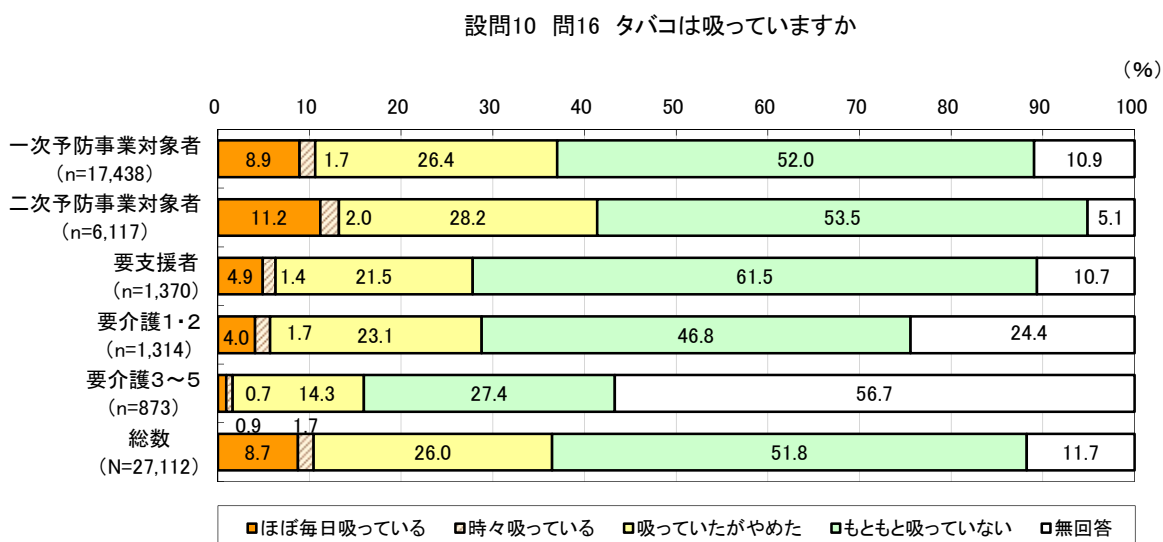
認定状況別にみると、要介護度が重くなるほど「吸っている」との回答の割合が低くなっている。

図表 喫煙習慣

①性別・年齢階級別



②認定状況別





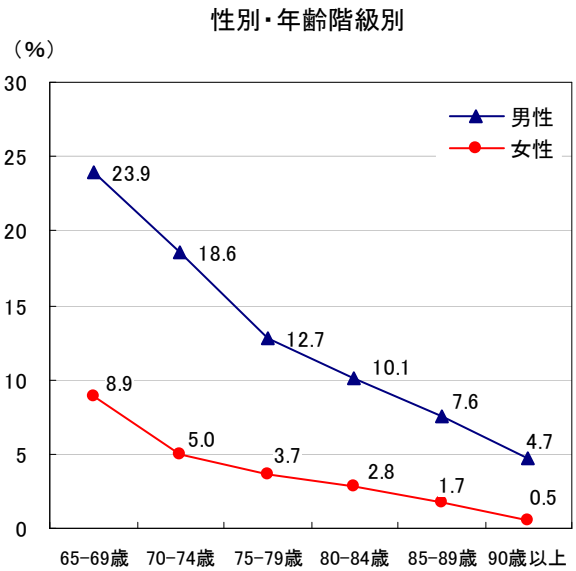
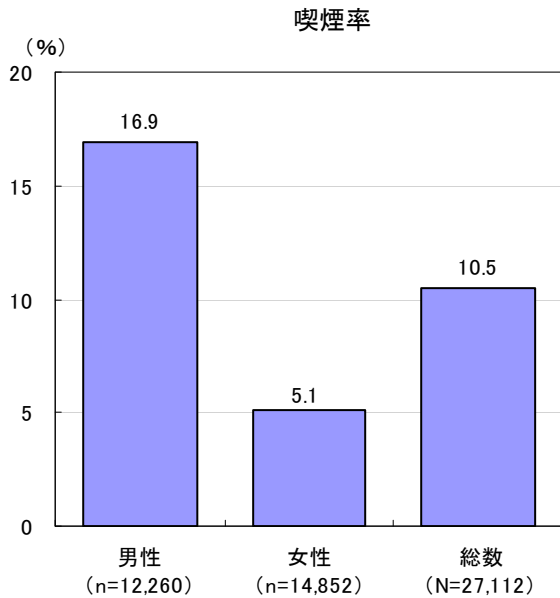
「ほぼ毎日（時々）吸っている」との回答の割合（喫煙率）は、全体で10.5%（男性16.9%、女性5.1%）となっており、飲酒同様、男女差が非常に大きくなっている。

年齢階級別に見ると、年齢が高いほど喫煙率は低くなっている。

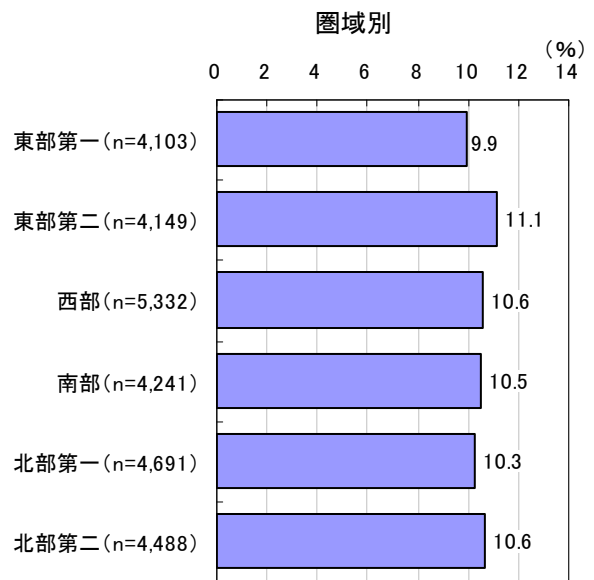
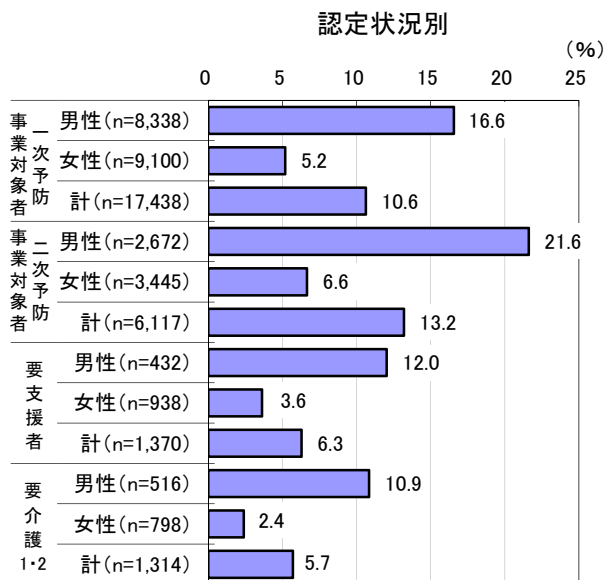
認定状況別では、要支援者、要介護1・2では喫煙率が低くなっている。

圏域別にみると、東部第二で11.1%と若干高くなっている。

図表 喫煙習慣－喫煙率



注:「ほぼ毎日（時々）吸っている」と回答した者の割合



## (6) 運動習慣

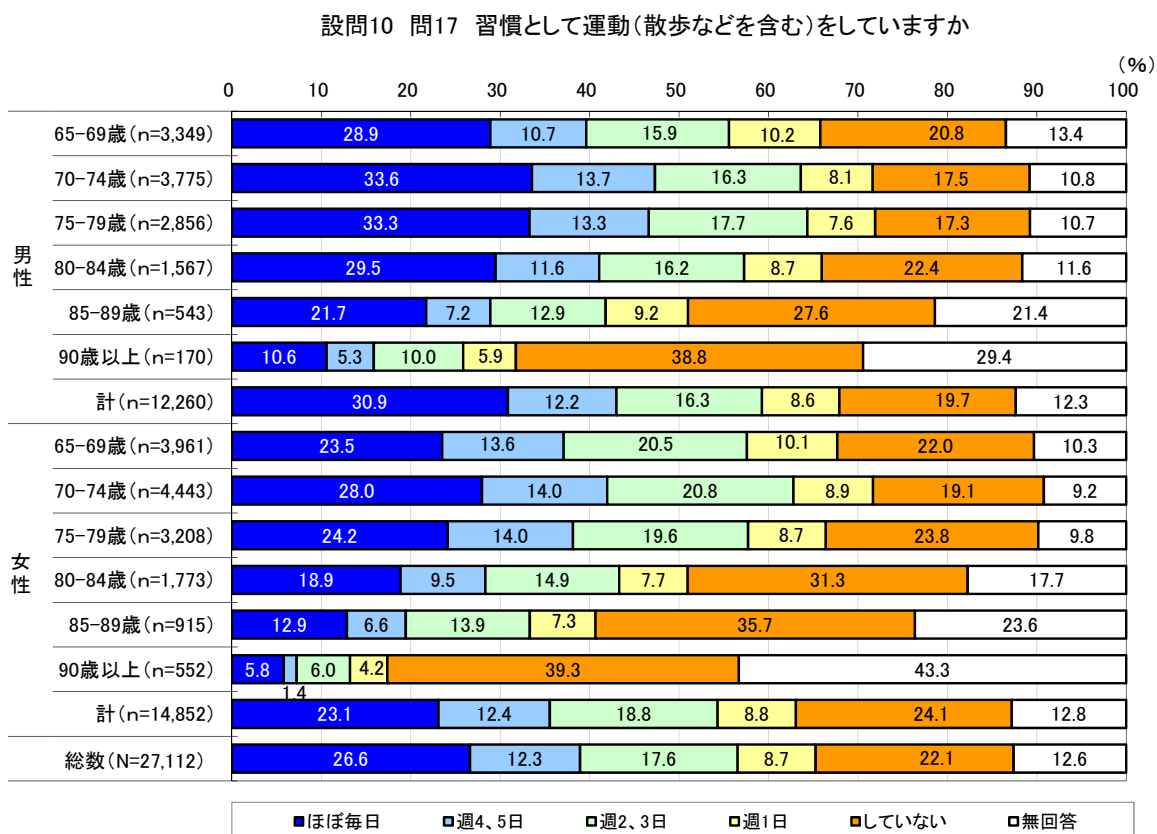
運動習慣についてみると、全体で最も多いのは「ほぼ毎日」で26.6%、次いで「していない」(22.1%)、「週2~3日」(17.6%)、「週4~5日」(12.3%)が続いている(設問10・問17)。

性別では男性のほうが運動習慣があるとする回答が多くなっている。また年齢階級別にみると、男女ともに70歳代前半で「ほぼ毎日」とする回答が最も多くなっている。

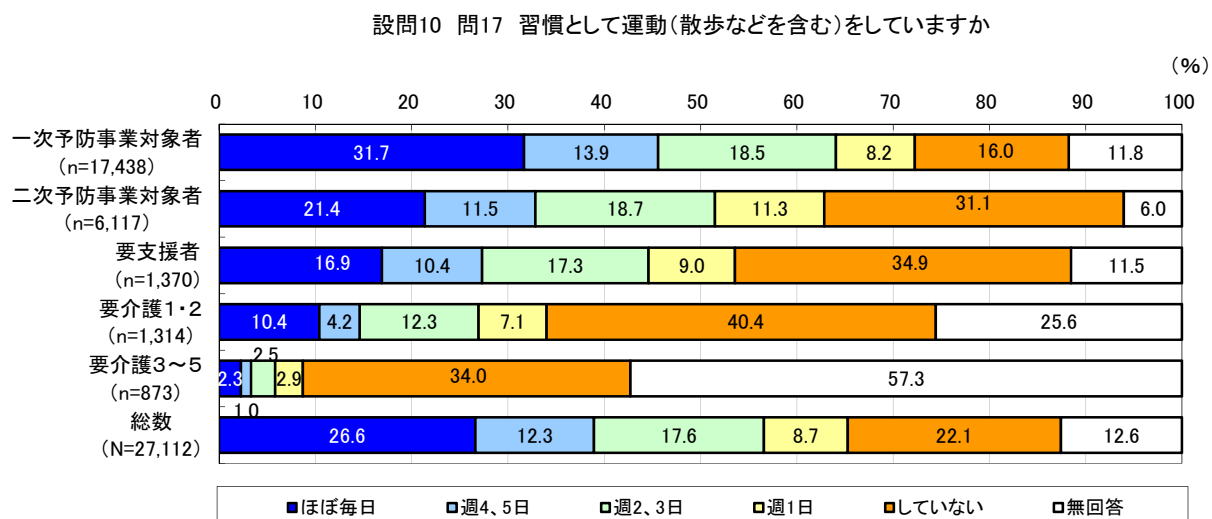
認定状況別にみると、要介護度が重くなるほど運動しているとの回答が少なくなっている。

### 図表 運動習慣

#### ①性別・年齢階級別



#### ②認定状況別



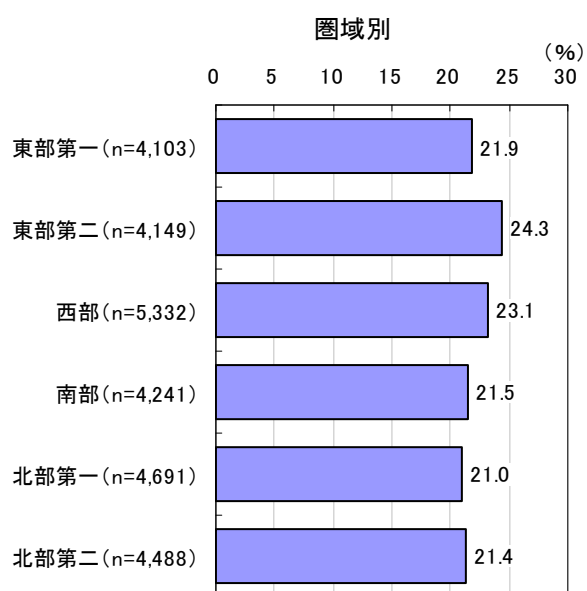
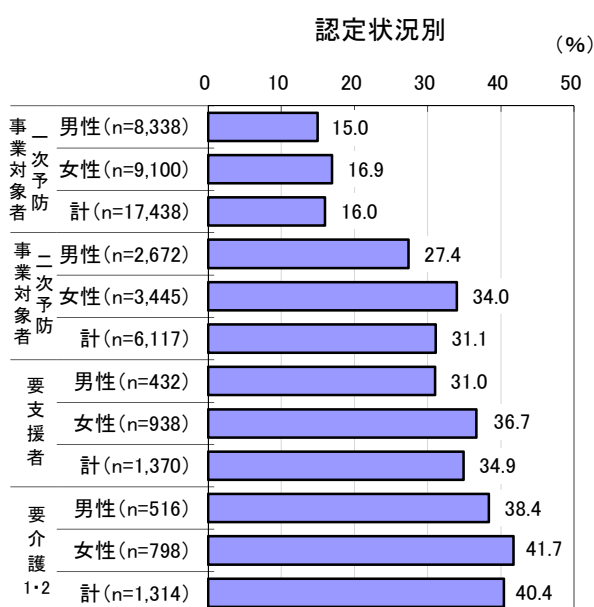
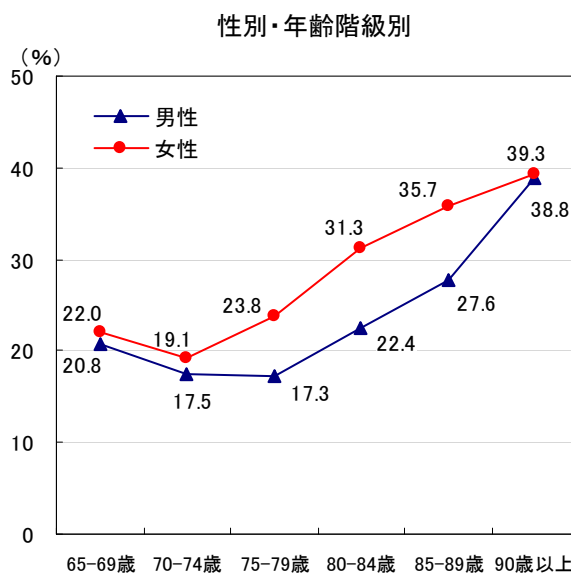
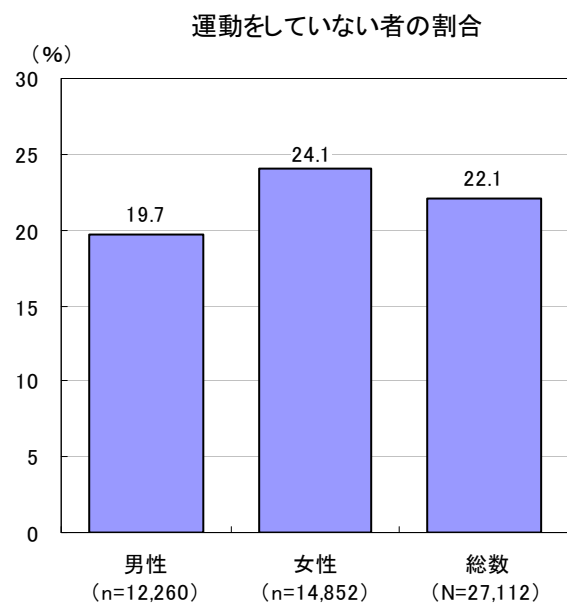
習慣として運動を「していない」とする回答の割合を属性別にみると、性別では女性のほうがその割合が高くなっている。

年齢階級別にみると、男性では70歳代後半、女性では70歳代前半で最もその割合が低くなっている。

認定状況別では、要介護度が重くなるほどその割合は高くなっている。

圏域別にみると、東部第二で24.3%と比較的高くなっている。

図表 運動習慣—運動習慣のない者の割合



運動習慣については、生活機能や生活習慣病と関連していると言われている。

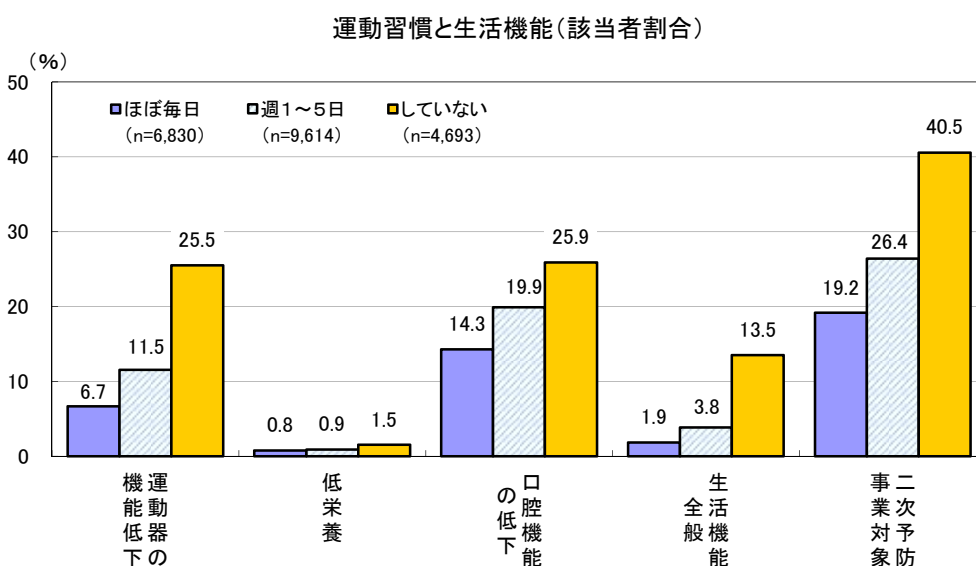
そこで今回の調査結果から、運動習慣と生活機能、疾病との関連をまとめたのが下の図表となる。

認定を受けていない一般高齢者について生活機能（基本チェックリストの主要評価項目）との関連をみると、いずれの評価項目についても運動する日数が多いほうが該当者割合は低くなっている。運動とは直接関係しないと考えられる口腔機能についても、運動習慣があるほうが該当者割合は低くなっている。

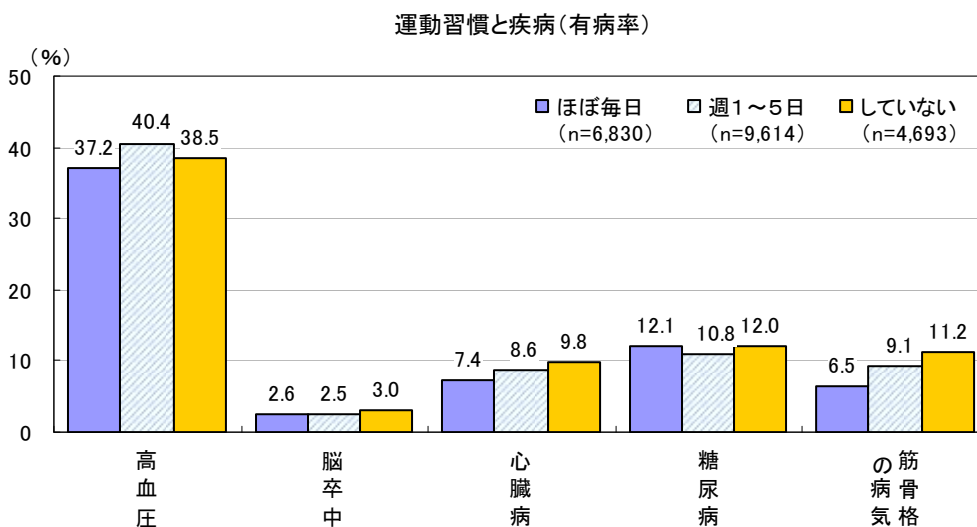
疾病との関連でも、心臓病や筋骨格の病気については、運動する日数が多いほうが有病率が低くなっている。

生活機能、疾病いずれについても運動習慣と関連していることがわかる。

図表 運動習慣と生活機能



図表 運動習慣と疾病



## (7) 携帯電話・スマートフォンの利用

電話をかけることをしていると回答のあった22,277人について、携帯電話・スマートフォンの利用状況をみると、最も多いのは「メール・電話で利用」(40.5%)で、次いで「電話のみ利用」(39.0%)、「未利用」(5.3%)となっており、全体で8割近くの高齢者が携帯電話を利用している(設問6・問2-1)。

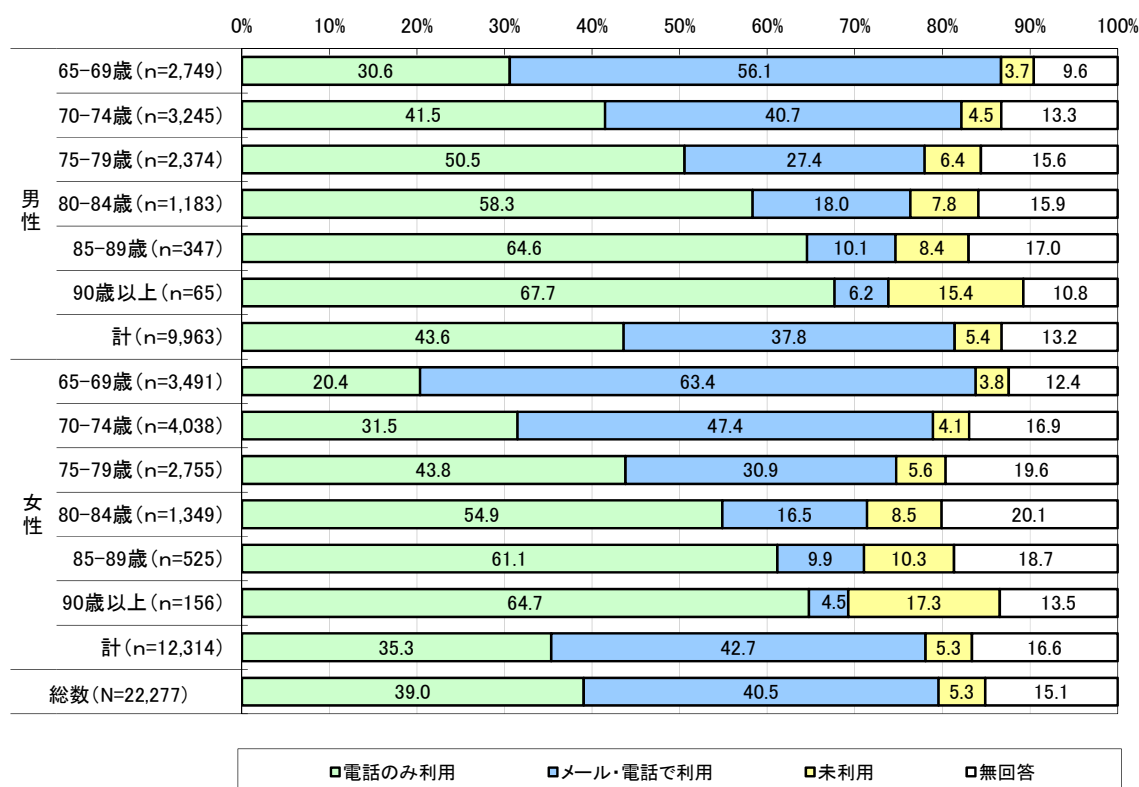
年齢階級別にみると、年齢が高くなるほど利用率が低下しているが、65~69歳では、半数以上が携帯電話やスマートフォンのメールを利用しているとの結果になっている。

認定状況別にみると、要介護者でも電話番号を自分で調べて電話をかけている方では7割以上が携帯電話やスマートフォンを利用していることがわかる。

図表 携帯電話・スマートフォンの利用

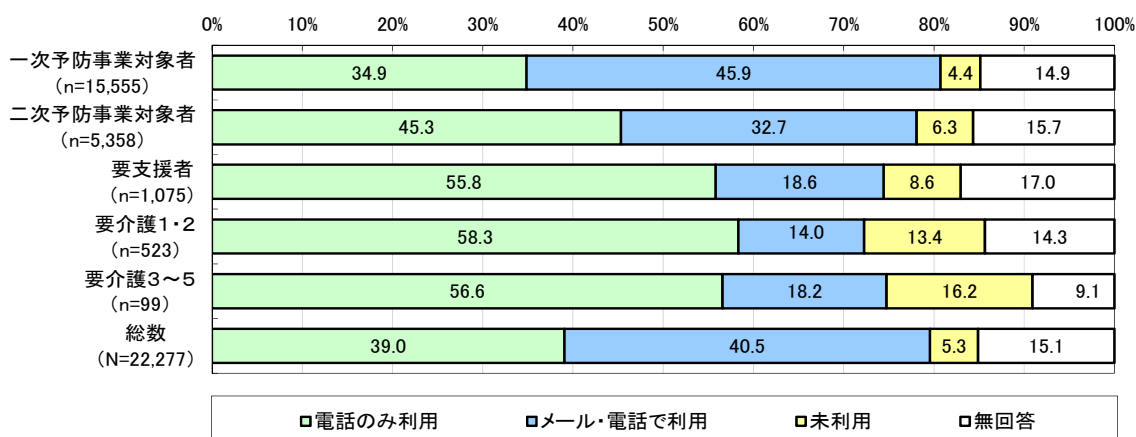
### ①性別・年齢階級別

設問6 問2-1 携帯電話やスマートフォンを利用していますか



### ②認定状況別

設問6 問2-1 携帯電話やスマートフォンを利用していますか



## 9 介護保険やボランティア

### (1) 介護・介助の必要性

介護・介助の必要性に関する設問（設問1・問2）に対する回答をみると、全体の7.7%が「現在、何らかの介護を受けている」、4.4%が「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と回答しており、年齢が高いほど介護・介助を必要とする高齢者が多くなっている。

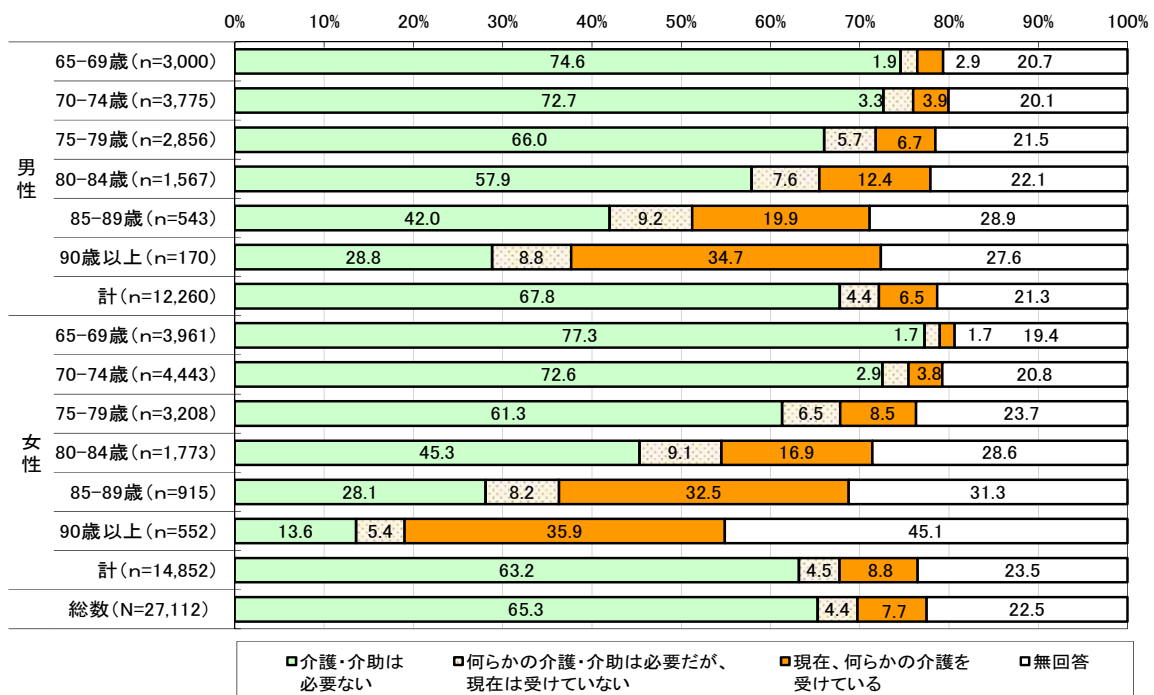
認定状況別にみると、一次予防事業対象者の1.0%、二次予防事業対象者の6.6%が「現在、何らかの介護を受けている」と回答している一方で、要支援者の28.2%、要介護1・2の10.2%、要介護3～5の2.2%は「介護・介助は必要ない」と回答している。

なお、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と回答した1,205人についてその理由を聞くと、「介護保険制度や手続きがよく分からない」が19.6%で最も多く、次いで「経済的理由」（13.9%）、「人との関わりが煩わしい」（9.7%）が続いている。

図表 介護・介助の必要性

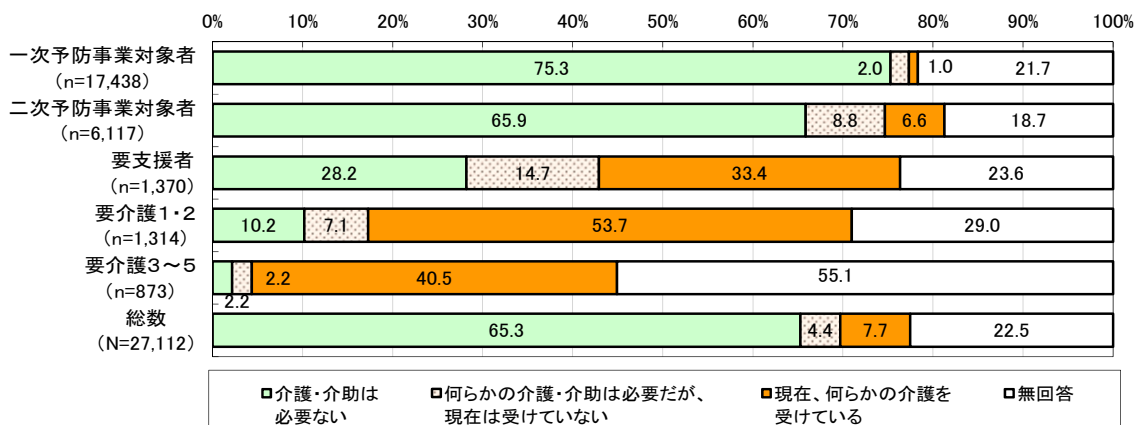
#### ①性別・年齢階級別

設問1 問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか



#### ②認定状況別

設問1 問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

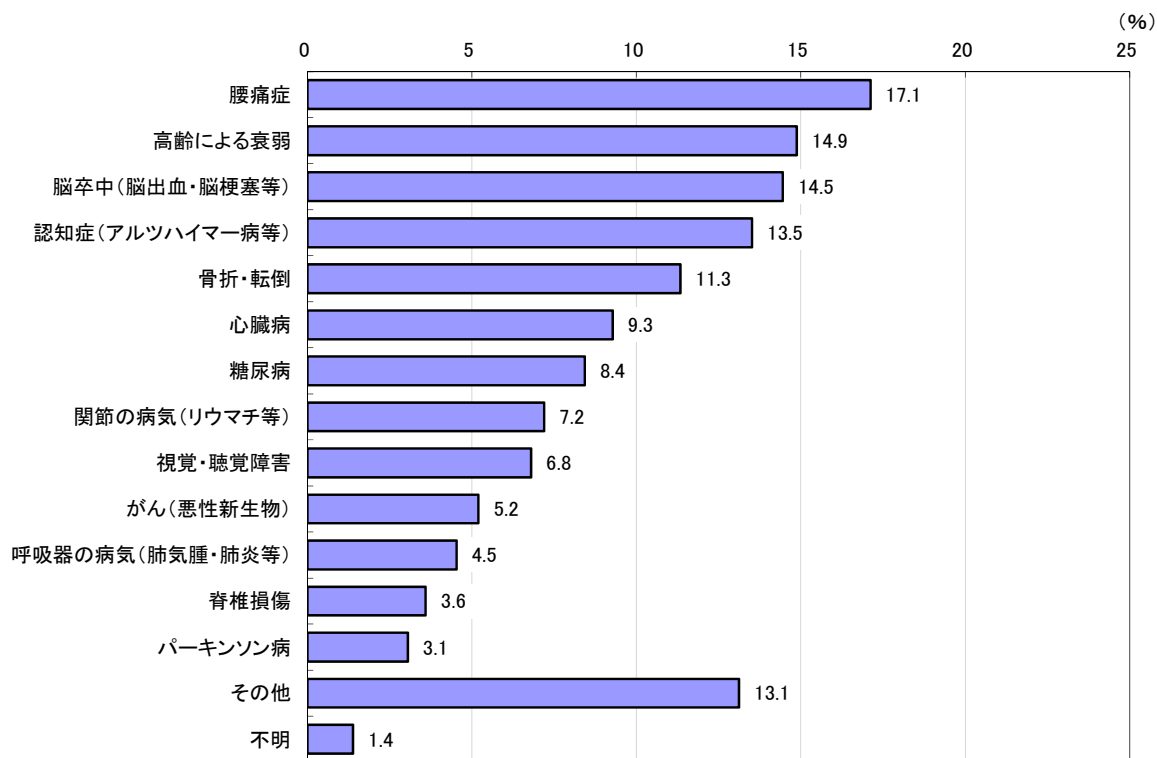


## (2) 介護・介助の原因

「介護・介助は必要」（「介護を受けている」を含む。）と回答した高齢者（3,306人）について、その主な原因をみると、最も多いのは「腰痛症」で17.1%、次いで「高齢による衰弱」（14.9%）、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」（14.5%）、「認知症（アルツハイマー病等）」（13.5%）、「骨折・転倒」（11.3%）、「心臓病」（9.3%）などが続いている。

図表 介護・介助が必要になった原因

設問1 問2-4（介護・介助が必要な方のみ）介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（いくつでも）



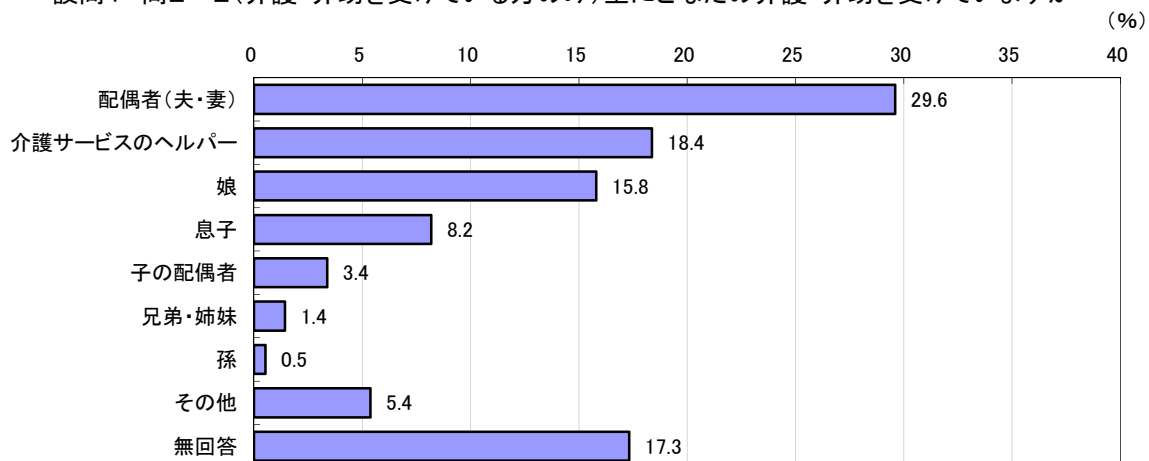
n=3,306

## (3) 介護者

「介護を受けている」と回答している高齢者の介護者は、「配偶者（夫・妻）」（29.6%）が最も多く、次いで「介護サービスのヘルパー」（18.4%）、「娘」（15.8%）、「息子」（8.2%）などとなっている。

図表 主な介護者

設問1 問2-2（介護・介助を受けている方のみ）主にどなたの介護・介助を受けていますか



n=2,101

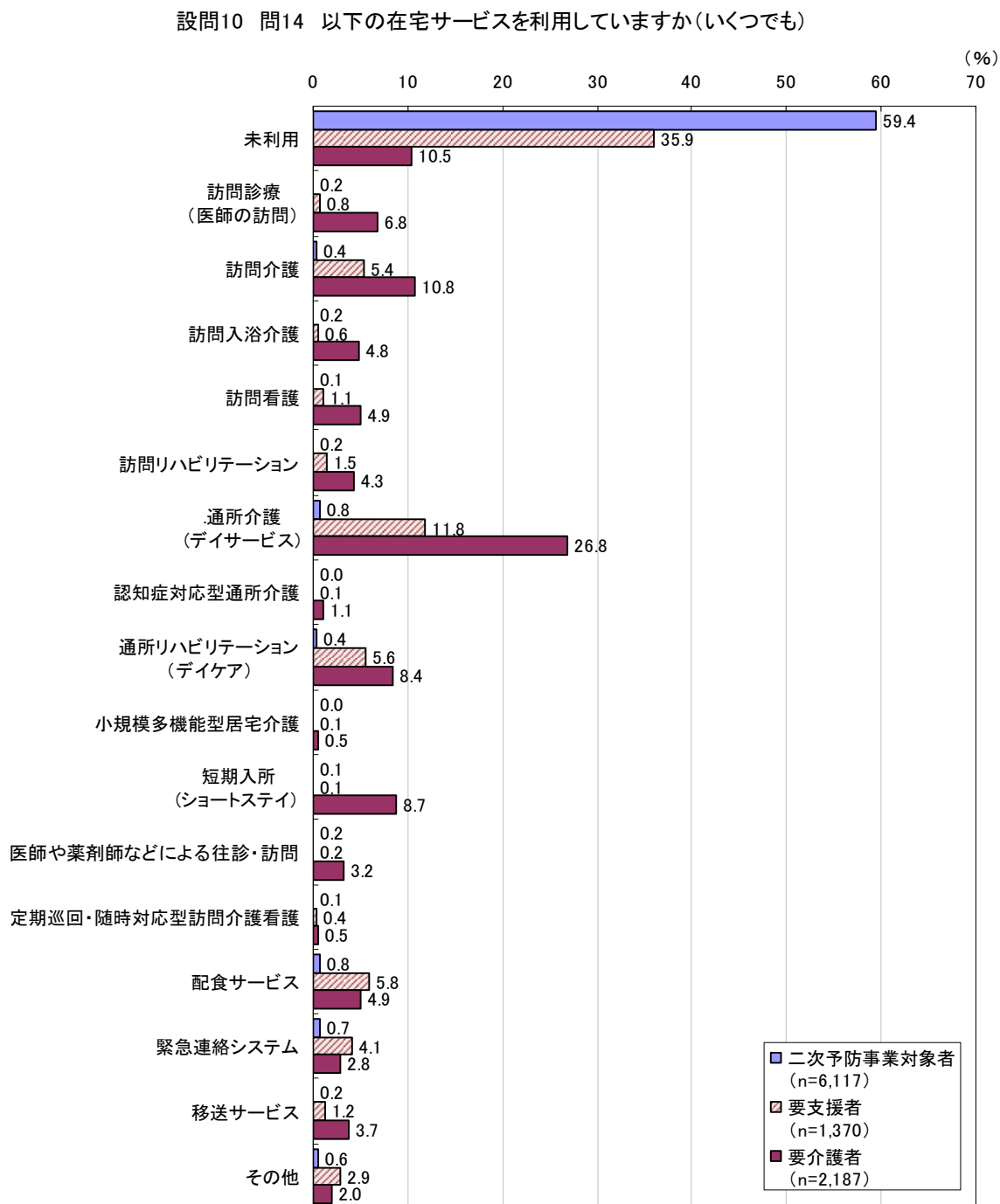
#### (4) 利用している在宅サービス

利用している在宅サービスについてみると、要介護者では「通所介護」が26.8%で最も多く、次いで「訪問介護」(10.8%)、「短期入所」(8.7%)などが続いている。

要支援については、「通所介護」が11.8%で最も多く、次いで「通所リハビリテーション」(5.6%)、「訪問介護」(5.4%)などが続いている。

なお、介護保険外のサービスについては、「配食サービス」は要介護者の4.9%、要支援者の5.8%が利用しており、比較的利用が多い。

図表 利用している在宅サービス

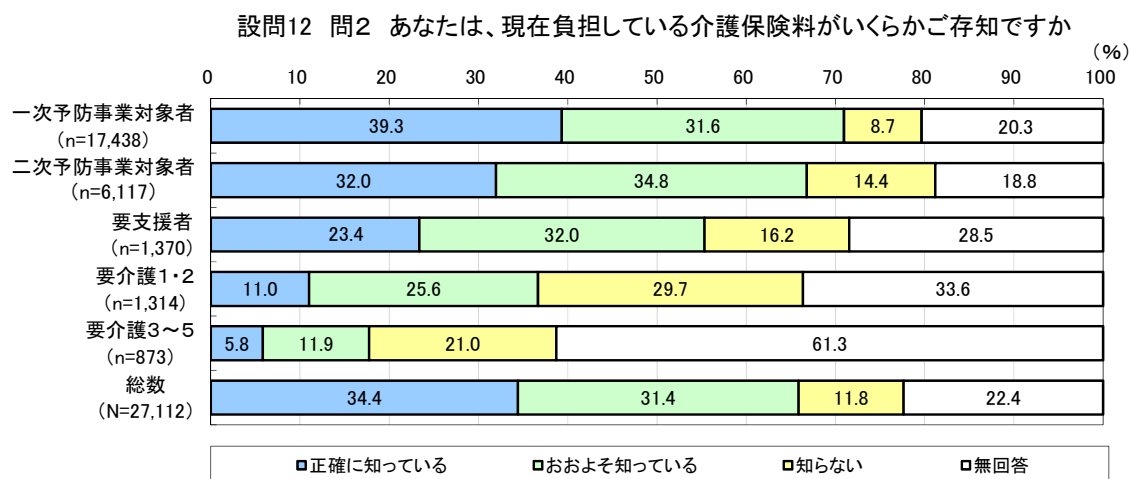




### (5) 介護保険料

現在負担している介護保険料を知っているかについては、全体では「正確に知っている」が34.4%で最も多く、次いで「おおよそ知っている」(31.4%)が続いており、概ね2/3は保険料の額を知っているとの回答になっている。

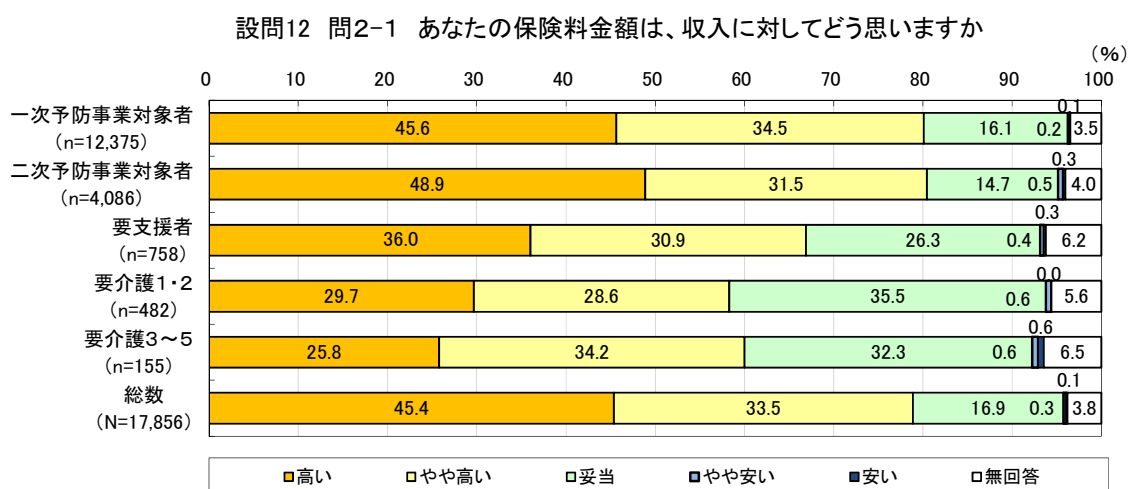
図表 介護保険料の金額の認知



現在負担している介護保険料を「知っている」と回答した者に、保険料は収入に対してどう思うかを聞くと、「高い」との回答が45.4%で最も多く、次いで「やや高い」が33.5%が続いており、全体の8割近くが「(やや)高い」と思っているとの結果になっている。

これを認定状況別にみると、要支援者や要介護1・2、要介護3～5では「妥当」との回答がそれぞれ26.3%、35.5%、32.3%を占めており、一般高齢者に比べるとその割合がかなり高くなっている。

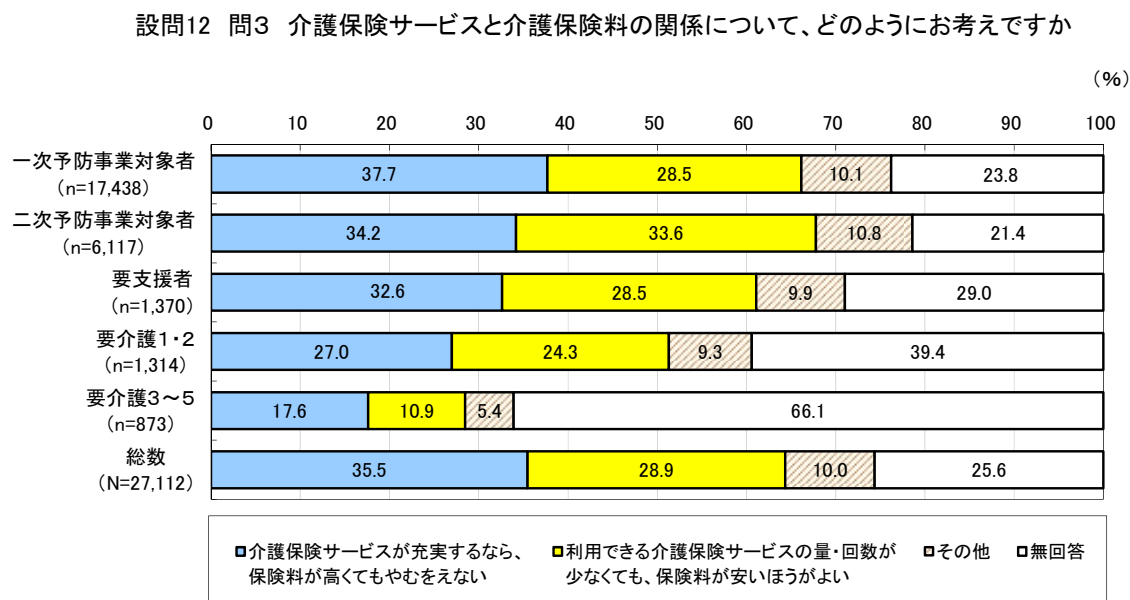
図表 収入に対する保険料金額



(6) 介護保険料と介護保険サービスに関する考え方

介護保険サービスと介護保険料との関係について考えを聞くと、「介護保険サービスが充実するなら、保険料が高くてもやむをえない」が35.5%で最も多く、次いで「利用できる介護保険サービスの量・回数が少なくても、保険料が安いほうがよい」(28.9%)となっている。

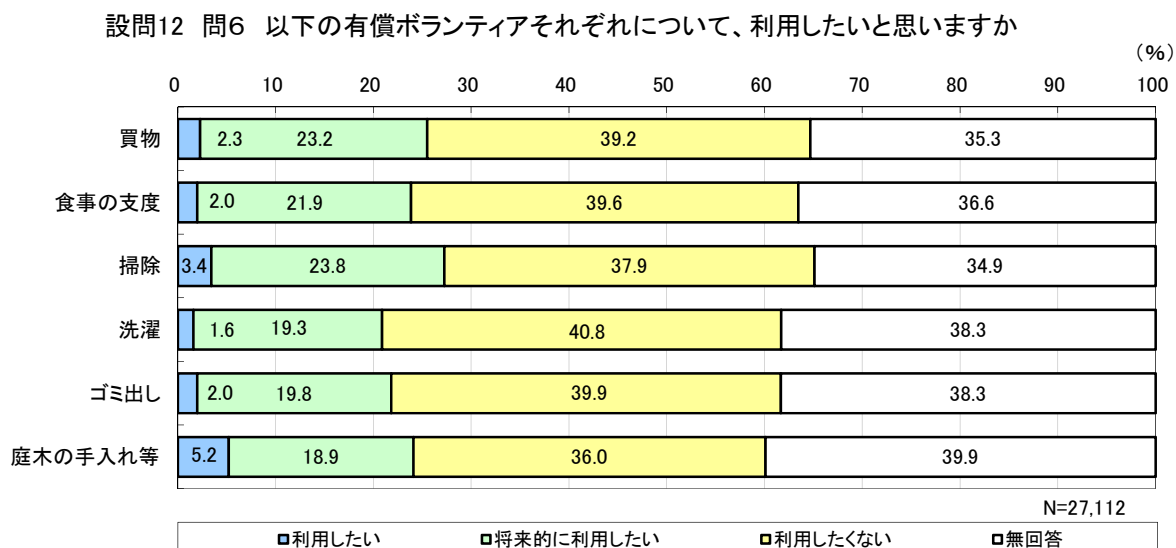
図表 介護保険料と介護保険サービスに関する考え方



(7) 有償ボランティアの利用意向

有償ボランティアを利用したいかについてみると、「利用したい」との回答は「庭木の手入れ」が5.2%で最も多く、次いで「掃除」(3.4%)、「買物」(2.3%)などが続いている。また「将来的に利用したい」との回答は、「掃除」が23.8%で最も多く、次いで「買物」(23.2%)、「食事の支度」(21.9%)などが続いている。

図表 利用したい有償ボランティア



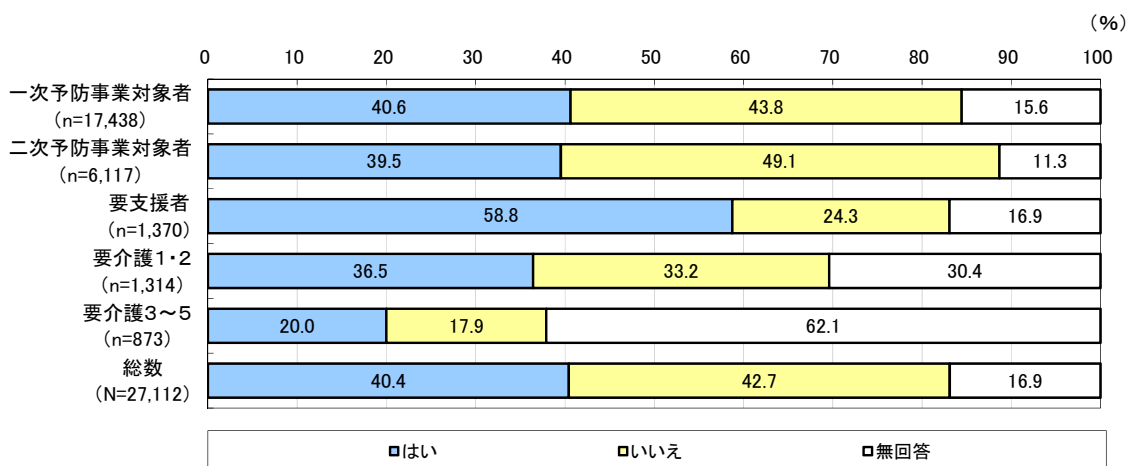
(8) 高齢者相談センターの認知

「高齢者相談センター（地域包括支援センター）」について知っているかについてみると、全体では「いいえ」が42.7%で、「はい」の40.4%を上回っている。

これを日常生活圏域ごとにみると、北部第二で「はい」の割合が37.5%と、他の圏域に比べて低くなっている。

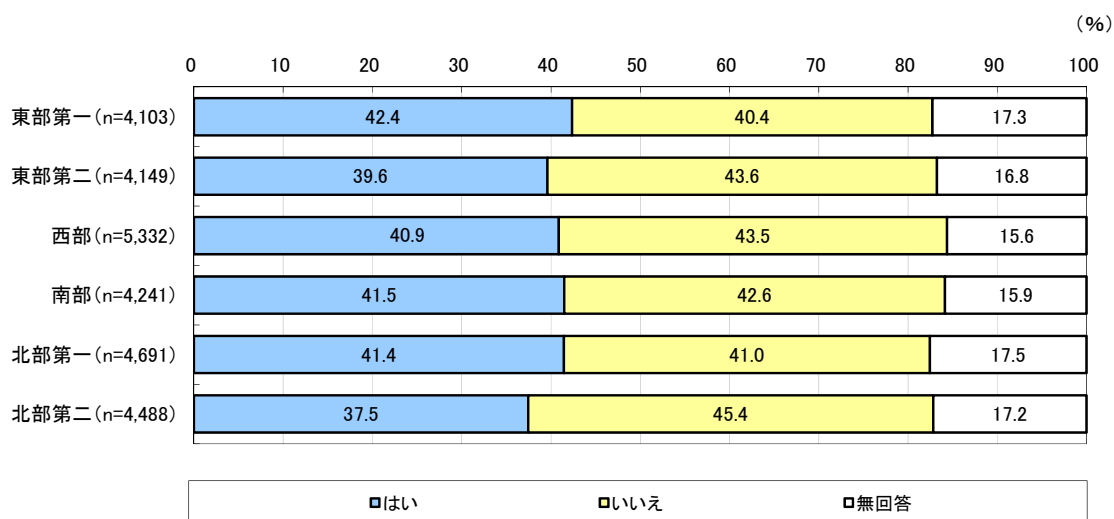
図表 高齢者相談センターの認知－認定状況別

設問12 問5 いまお住まいの地域に「高齢者相談センター（地域包括支援センター）」が設置されていることをご存知ですか



図表 高齢者相談センターの認知－圏域別

設問12 問5 いまお住まいの地域に「高齢者相談センター（地域包括支援センター）」が設置されていることをご存知ですか



## 10 介護予防・健康づくり

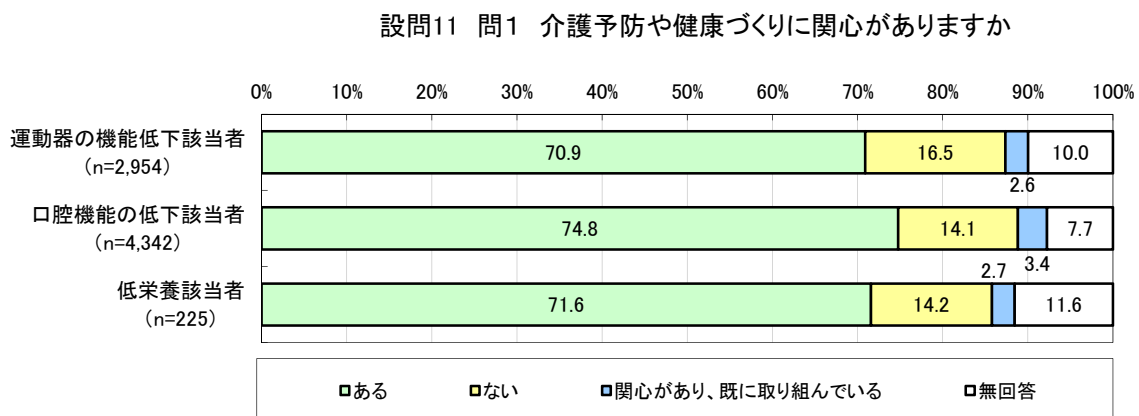
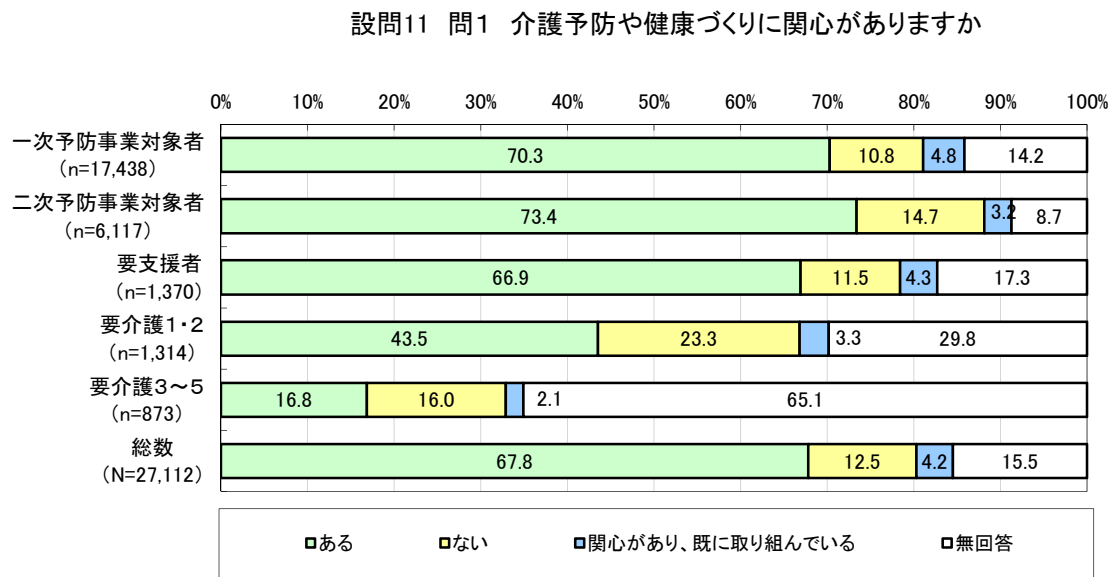
### (1) 介護予防や健康づくりへの関心度

介護予防事業への参加意向と関連する運動や栄養改善への関心度についてみると、全体で「ある」との回答が67.8%となり、「ない」（12.5%）を大きく上回っている。

一般高齢者と要支援者、要介護者を比較すると、要介護者で「ある」との回答が半数以下で比較的少なくなっている。

これを運動器、口腔機能、栄養の該当者ごとにみると、いずれも「ある」との回答が70%台の前半になっている。

図表 運動・栄養改善への関心度－認定・該当状況別

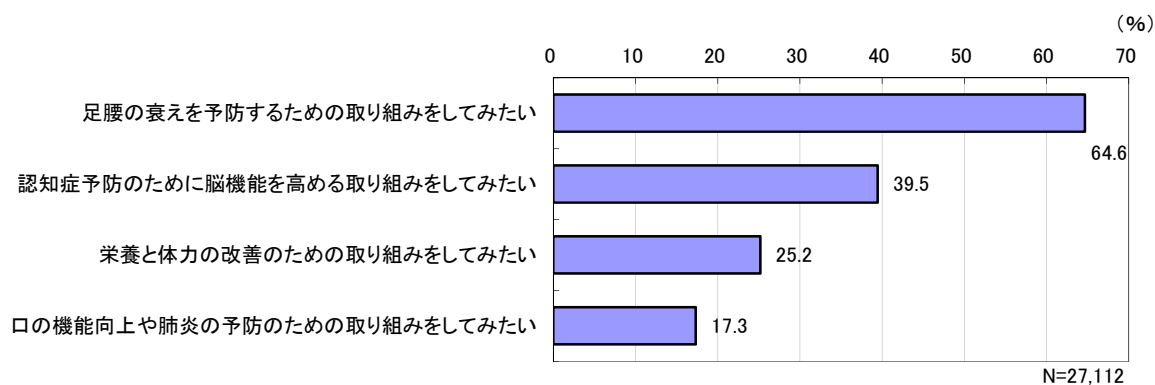


## (2) 介護予防のために取り組みたいこと

介護を必要とする状態にならないようにするために取り組みたいこととしては、「足腰の衰えを予防するための取り組みをしてみたい」が64.6%で最も多く、次いで「認知症予防のために脳機能を高める取り組みをしてみたい」(39.5%)、「栄養と体力の改善のための取り組みをしてみたい」(25.2%)、「口の機能向上や肺炎の予防のための取り組みをしてみたい」(17.3%)の順になっている。

図表 介護予防のために取り組みたいこと

設問11 問2 介護を必要とする状態にならないようにするために、取り組みたいことはありますか(いくつでも)



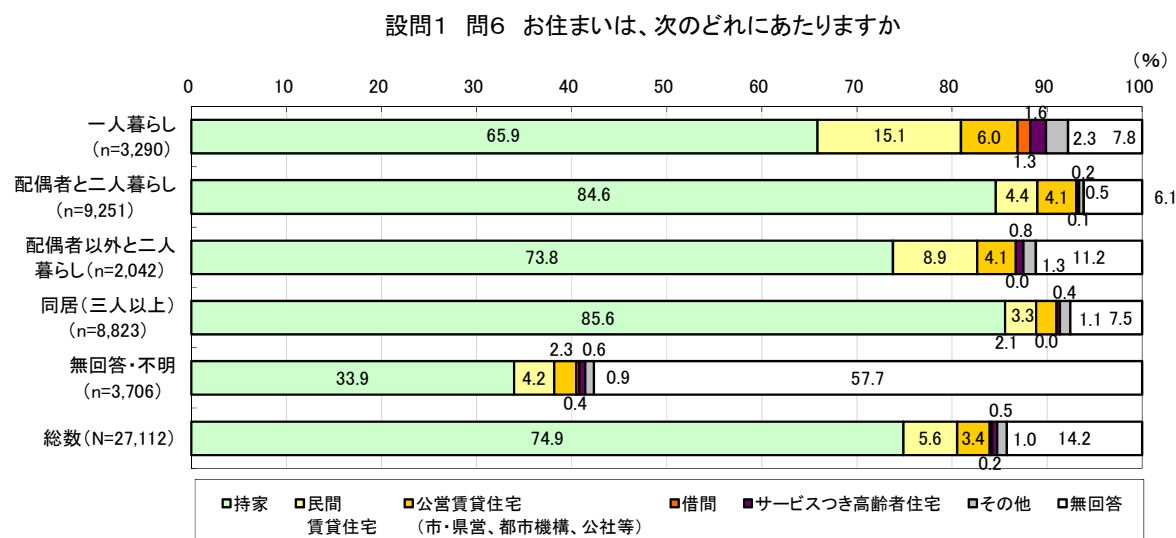
## 11 住まい

### (1) 所有関係

住宅の所有関係をみると、最も多いのは「持家」(74.9%)で、次いで「民間賃貸住宅」(5.6%)、「公営賃貸住宅」(3.4%)の順となっている(設問1・問6)。

世帯構成別では、一人暮らし世帯では「民間賃貸住宅」(15.1%)、「公営賃貸住宅」(6.0%)の割合が高くなっている。

図表 住宅の所有関係



(2) 介護が必要となった場合の住まいの希望

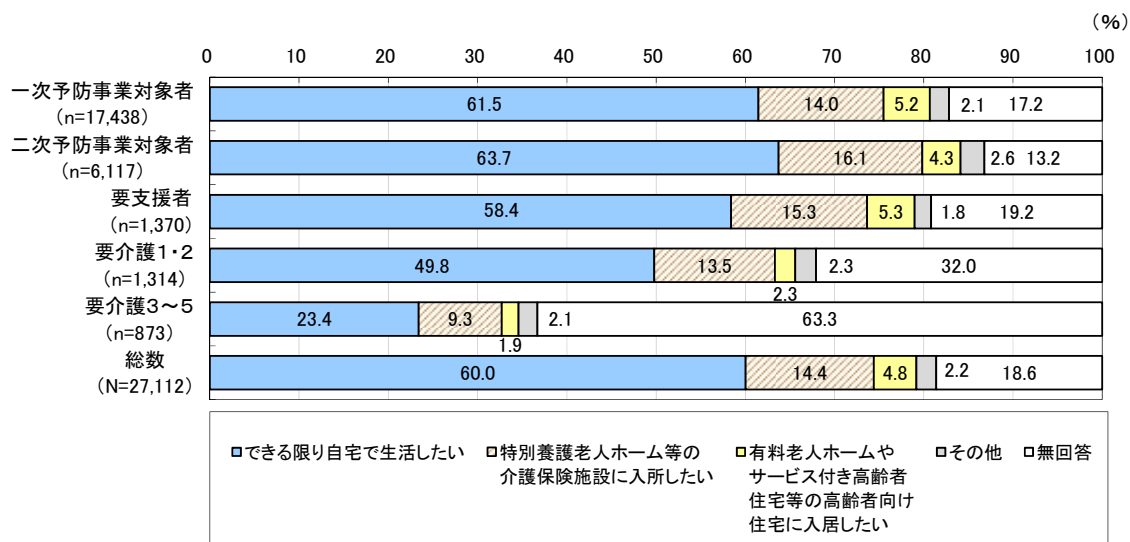
今後介護が必要になった場合等の住まいの希望としては、「できる限り自宅で生活したい」が60.0%で最も多く、次いで「特別養護老人ホーム等の介護保険施設に入所したい」(14.4%)、「有料老人ホームやサービス付き高齢者住宅等の高齢者向け住宅に入居したい」(4.8%)などが続いている。

要介護度別にみると、要介護度が重くなるほど「できる限り自宅で生活したい」の割合が低くなっている。

圏域別では、北部第二で「できる限り自宅で生活したい」の割合が他の圏域より低くなっている。

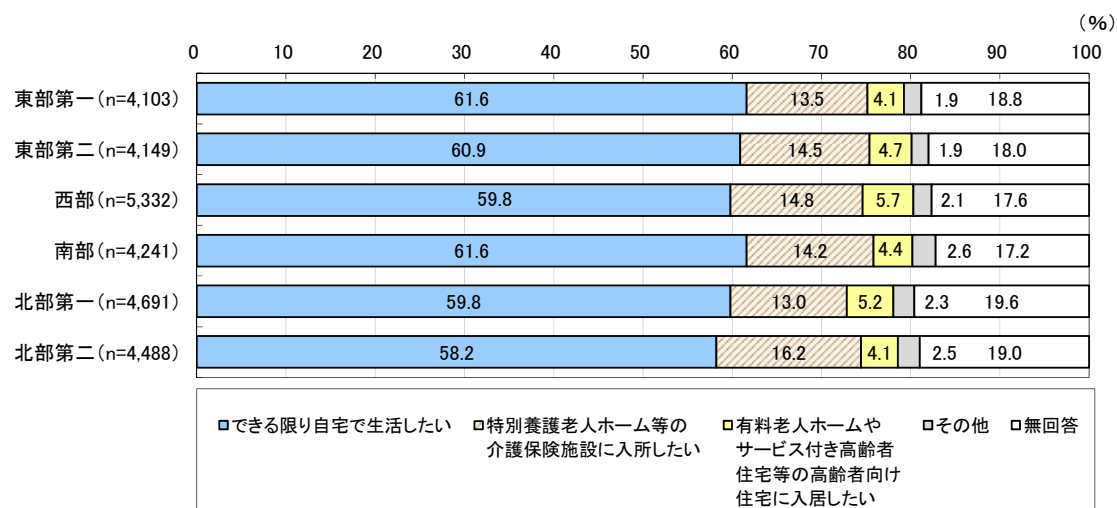
図表 今後の住まいの希望－認定状況別

設問12 問4 今後、介護、介助が必要になったときや、現在以上に在宅での生活が困難になったときに、どのような生活を望みますか



図表 今後の住まいの希望－圏域別

設問12 問4 今後、介護、介助が必要になったときや、現在以上に在宅での生活が困難になったときに、どのような生活を望みますか

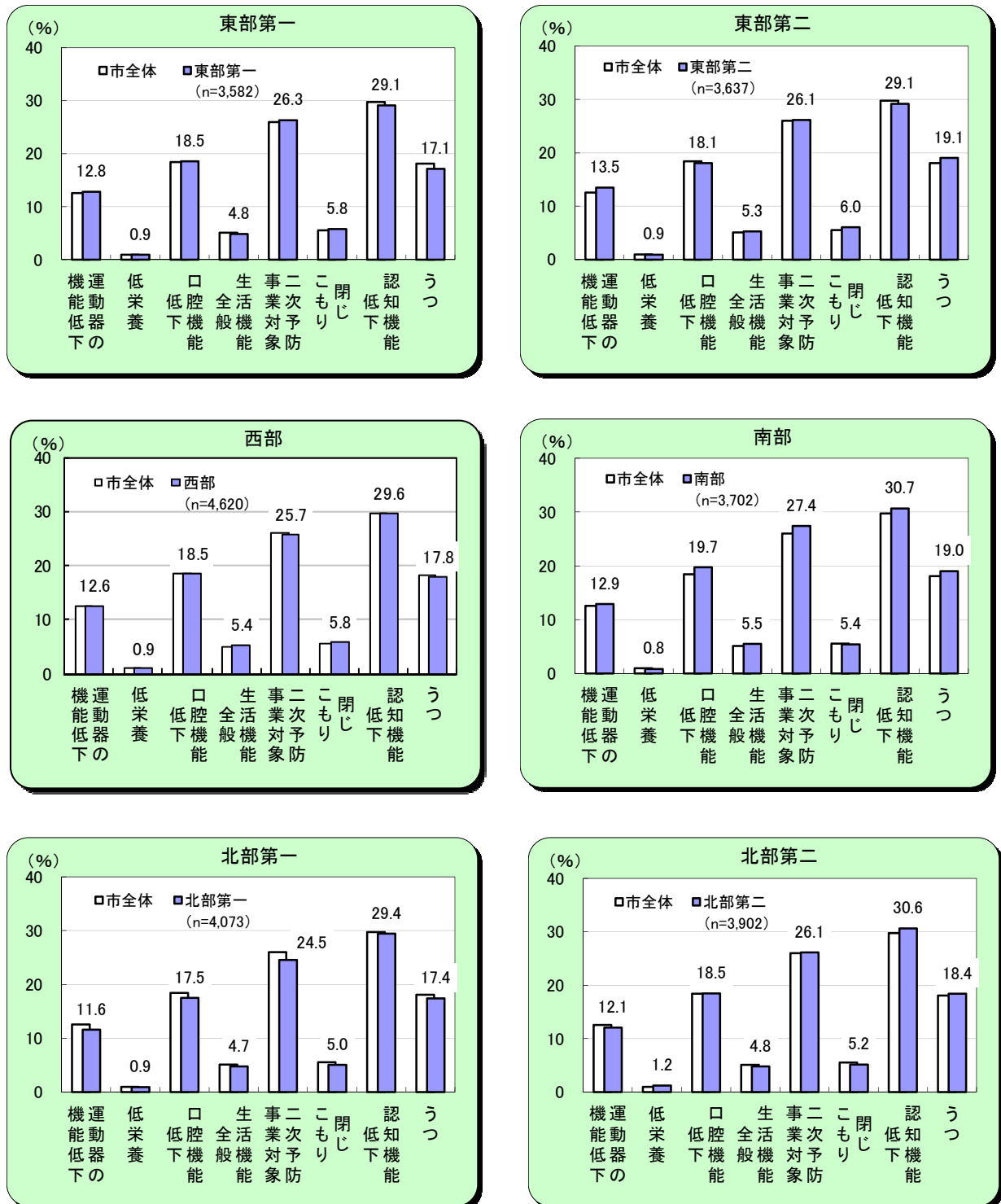


## 12 圏域別の概況

### (1) 二次予防事業対象者

各圏域別に二次予防事業対象者の該当状況についてまとめると下図のとおりとなる。南部で二次予防事業対象者が比較的多くなっている一方、北部第一で少なくなっている。運動器については東部第二で、口腔機能については南部で該当者が多くなっている。

図表 二次予防事業・該当状況



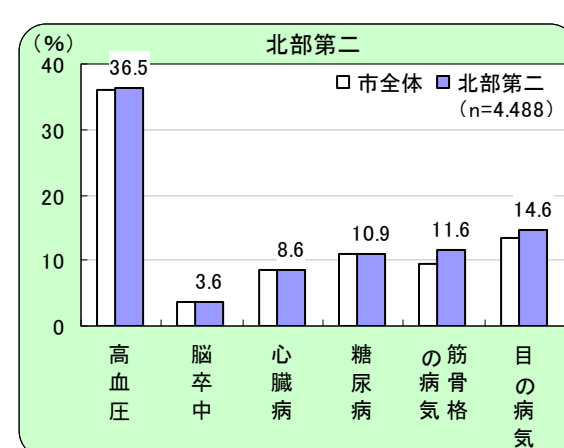
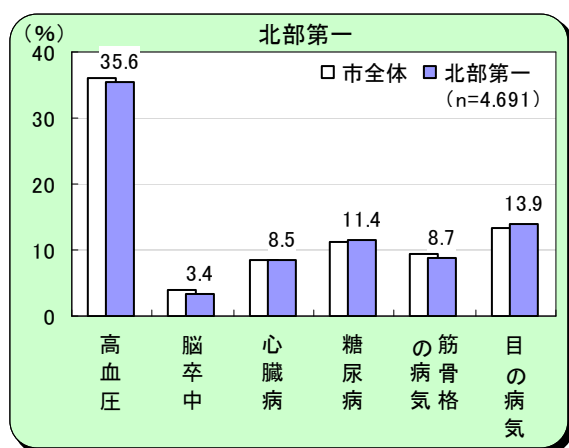
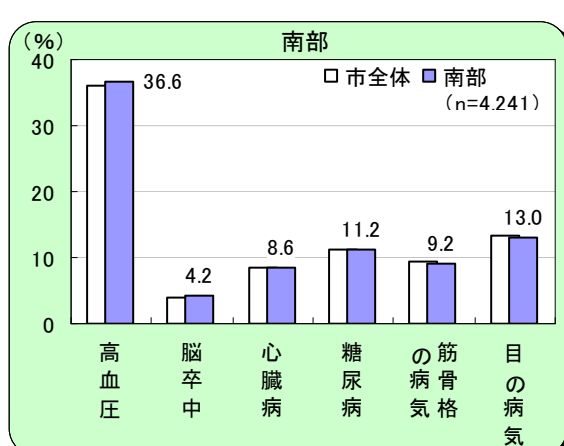
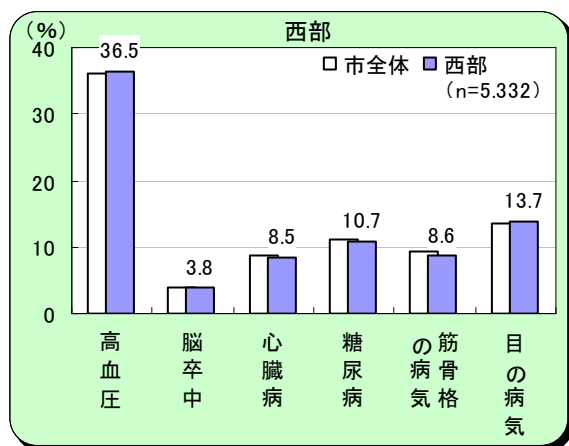
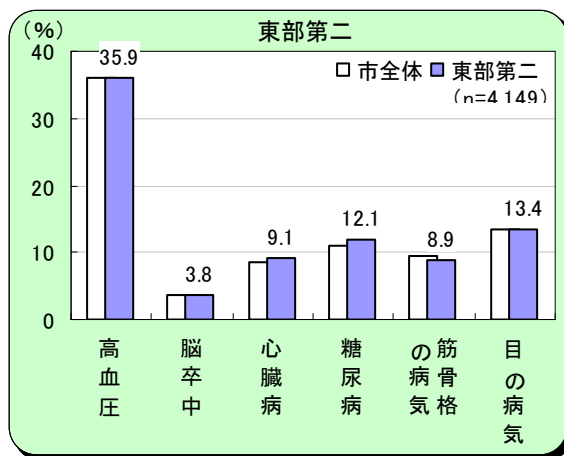
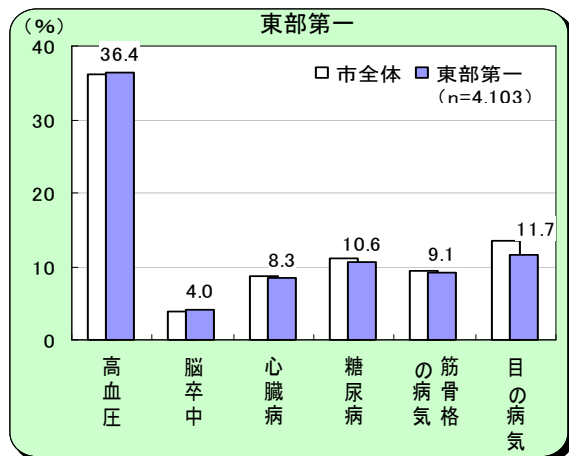


## (2) 疾病

各圏域別に主な疾病の状況についてまとめると下図のとおりとなる。

心臓病、糖尿病は東部第二、筋骨格の病気、目の病気は北部第二で有病者が多くなっている。

図表 主な疾病の状況

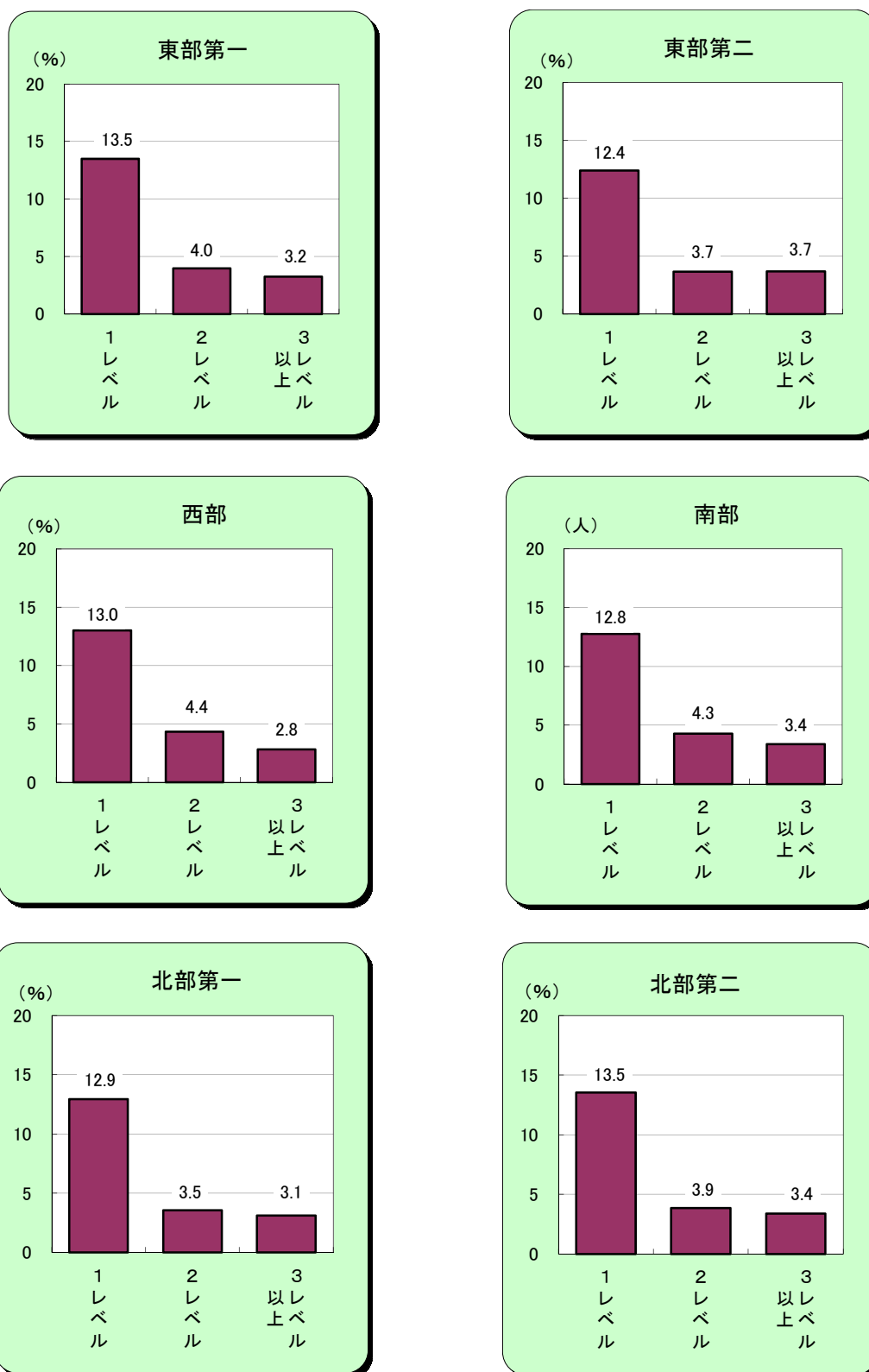


### (3) 認知症リスク

認知症リスク者についてみると、軽度の認知症リスクがあると評価できる認知機能障害程度区分で2レベルの高齢者は、西部で回答者の4.4%と最も高くなっている。

3レベル以上では東部第二が3.7%と最も高く、西部は2.8%で最も低くなっている。

図表 認知機能障害程度区分・リスク者割合



※ 認知機能障害程度区分については、33ページを参照

## 13 調査結果からみた現状と課題

### ①介護予防

本市の要介護・要支援認定を受けていない高齢者のうち 74.0%の高齢者が一次予防事業対象者（元気高齢者）であることから、元気高齢者に対する一次予防事業を更に充実させるとともに、高齢者自ら進んで介護予防の活動に継続的に参加できるような環境づくりが必要である。地域の様々な組織・団体、地域の人とのつながりを通して活動が広がるような地域コミュニティの構築が課題となる。

このため、市が地域資源の掘り起こしや地域コミュニティの支援を行い、高齢者が気軽に参加できる機会の場を作り出すことで、介護予防の取組が増えることが期待される。

また、26.0%の高齢者が、要支援に移行しやすい二次予防高齢者であり、そのうち、75歳以上の後期高齢者の割合が増加していることがわかったため、後期高齢者の生活機能の低下を予防することが課題であるといえる。

### ②認知症対策

今後、本市の高齢者人口はますます増加することから、認知症高齢者の増加も予測されており、地域での見守り等、認知症高齢者をいかに支えていくかが地域福祉における重要な課題となっている。

今回の調査結果から、1レベル（境界的）～2レベル（軽度）と評価されるリスク者は16.9%、3レベル（中等度）以上が3.2%となっており、年齢が高いほどリスク者割合は高まっていることがわかった。また、認定を受けていない3レベル以上のハイリスク者が3.9%いることもわかっており、高齢者の状態を把握し、適切にサービスに繋げることが必要と考える。

あわせて、認知症では早期発見が重要であることから地域全体で認知症に対する理解を深めるなかで早期発見につなげ、適切な医療や介護などのサービス提供を図っていくことが課題となっている。

### ③介護サービス

今回の調査結果から、要介護者は90%近く、要支援者は65%近くが何らかの在宅サービスを利用している。また、介護が必要となったときにどのような生活を望むかとの問いに対して、60.0%が「できる限り自宅で生活したい」と回答している。

こうしたことから、在宅生活を支える介護サービスの基盤整備を引き続き進めていく必要があるが、特に、小規模多機能型居宅介護などの地域密着型サービスについては利用率が低いことから、普及・啓発を図るとともに、より一層の整備促進を検討する必要がある。

また、要支援者に対する介護予防サービスのうち訪問介護と通所介護については、市町村が行う地域支援事業への移行が予定されていることから、サービス提供事業者との調整や受け皿の確保、要支援者のニーズの把握などが今後の課題である。

### ④住まい

今回の調査結果から、住宅の所有状況で持ち家が74.9%であり、また、今後の生活につい

でも「できる限り自宅で生活したい」との回答が 60.0%となっているため、できる限り在宅生活を継続できるよう、地域包括ケアシステムの構築を図りながら、在宅サービスの基盤整備を引き続き進めていく必要がある

一方で、特別養護老人ホーム等の介護保険施設への入所希望（14.4%）や有料老人ホーム等の高齢者向け住宅への入居希望（4.8%）も考慮し、施設入所待機者等の動向を把握し、これらの基盤整備が課題であるといえる。

#### ⑤生活支援

本市では、介護保険外の在宅サービスとして、配食サービスや緊急連絡システムなどのサービスを行っている。

今回の調査結果から、これらのサービスの利用率は低いものの、今後ひとり暮らしや高齢者のみの世帯の増加が見込まれている中で、在宅生活を支えるサービスや介護サービスを補完するサービスの充実、更なる周知が必要である。

また、買物や掃除などの有償ボランティアの需要もあることから、生活支援としての施策展開も課題であるといえる。

## 14 自由記述

### (1) 介護保険制度全般

- 本当に必要とされている人に充分利用できるようになるといいと思う。(女性、75～79歳)
- 現在は困るようなことは少なく、何とか自立できていますが、高齢者に対する福祉内容等、知る機会が少ないように思います。必要になってから知るのではなく、早目に利用内容等を教えてほしいものです。(女性、65～69歳)
- 制度化されても、お金がかかるといっては切り下げたり、高齢者が誇りを持って生きられるような政権の姿勢がほしい。また働く人が、生きがいを持てるようなものに、みんなの目や努力で、育てていきたい。(女性、75～79歳)
- 税金に頼りすぎる制度は止める。(男性、65～69歳)
- 介護保険料をとられるばかりで、保険制度の実態がわかりません。(男性、75～79歳)
- 次世代の人達に負担のかからないような取組をして下さい。(女性、65～69歳)
- 介護保険料を支払っているのだから、必要となったときは、必ず手をさしのべてほしい(元気などに支払ってもいざ必要のときに何もされないでは困る)。(女性、65～69歳)
- もっと国、県、市町村等が制度、福祉にお金をかけ、働く人の賃金等を上げて働く人を多くなるようになったらもっと入居する人も安心だと思います。(女性、75～79歳)
- 実父が介護保険制度がない時に市役所でとてもお世話になり助かりました。今では父が世話になった時のような内容は全部お金が掛かる。預金、年金等の余裕のある方には負担が十分掛っても良いであろうが、年金生活者には大変なことと思う。万引き者に高齢者が多いのも大きく関係している。医者に行きたくてもお金のことを考えるとガマンをしている方が多いと知人からよく耳にします。(女性、70～74歳)
- 介護保険の資格の格差の不満が有ります。寝たきりになりたくない為め努力しています。7年前心臓動脈解離手術中脳梗そくになり今だに右側はしびれ足の動きがやっと。歩きが毎日生活が大変です。リハビリをする病院の受け入れがない。せめて運動して回復したいです。受け入れて下さる施設がありましたら教えて下さい。私は要支援1です。(女性、80～84歳)
- 年寄が多くなっていく状態の中で意見があったとしても現在の私には感謝です。(女性、80～84歳)
- 必要な時いつでも利用出来るようになって欲しい。(女性、70～74歳)
- まだまだ他人事のように思えてしまう。実感がない。でも高齢者を大事にしていだけるように望みます。(女性、75～79歳)
- 介護の充実を望みます。(女性、75～79歳)
- 今、年金から引かれている保険金でどの程度の介護が受けられるのでしょうか？今、元気で働いていますが、将来が不安ですが、息子家族を信じて生きるしかないですね。(女性、65～69歳)
- 介護保険について。利用する時に簡単に利用出来るか心配である。今は認定がきびしいのではないか。(男性、80～84歳)
- 高齢者は収入がないので全ての人を助けてほしい。(男性、70～74歳)
- 国での対応が不十分のため、高額のところでは制度が不十分のためである。北欧にならえます。(男性、65～69歳)
- 介護保険制度が出来た当時、1人ひとりを尊重したものになると思っていましたが、現在はどうか？その理念から遠ざかっていっているようで寂しく感じています。(女性、65～69歳)
- 自分自身が今よりひどくなったら何とか助けてほしい事は事実です。(男性、65～69歳)
- もうすでに本人は要介護3の状態なので、自宅介護している者としては外に働きに行く事もできず年金も充分でない場合、いつまで続くか知れないこの現実を社会としてどう考がえるのか課題だと思います。(男性、75～79歳)
- 設問12、問3の回答と同じなので、心から一日も早く認定をして下さるよう審査を急いで欲しいと願います。(女性、65～69歳)
- 介護保険利用の為の要介護の認定の期間が長すぎる。(介護を急に必要となった時に、すぐに利用できない)。高齢者が増加しているのに、行政サービスが少ない(例、交通費の補助他)。(レジャー施設等はサービスがある所が多い)。(男性、70～74歳)
- 外国の良い制度に目を向け、高齢者が笑顔で過せるようにしてほしい。高齢者(年金生活者)は声

- を出せないなので、減額を簡単にして、苦しめている。少しずつでも年金を上げてもらえれば、生活に明かりがさすと思います。(女性、65～69歳)
- 介護サービスの質の向上を期待致します。情報を大切にしたい。(女性、70～74歳)
  - 廃止。(男性、75～79歳)
  - 出来るだけ自力で生活したい。病気にならない限り。(男性、80～84歳)
  - 介護保険制度のプログラムの中にデイサービス等が含まれますが、苦痛を感じる人もいますので、あくまでも希望でと、いう事を尊重していただきたい。(女性、75～79歳)
  - 貧富の差のない介護・福祉を受けられるようになったらいいと思います。(男性、75～79歳)
  - 介護について、これは出来ますがこれは出来ません、ということが多いと思います(ケアを御願いしても制限が多いと聞きます)。(女性、65～69歳)
  - (介護保険制度)無い方がよい。金がない。(男性、65～69歳)
  - 介護認定の基準を国政で決定し、地域格差のない認定が受けられるようになることを希望する。(男性、80～84歳)
  - 制度の内容を徹底するために、地域で勉強会、知る会などを、市としても計画してほしい。まだまだ知らない人が多いと思うので。(女性、70～74歳)
  - 年金額が減額状況の中、消費税も上り、経済的には暮しにくい状況になっているので、せめて福祉(特に医療関係)を充実して頂きたい。(男性、65～69歳)
  - 今は必要としなくて生活できているが、いずれはご厄介になる制度。更に充実すると良いと思う。(女性、65～69歳)
  - 制度を利用してみないと内容が良くわからない。(女性、80～84歳)
  - 介護ということをまだ実感していない。(男性、70～74歳)
  - 今現在、介護保険又は高齢者問題については考えはないが、いずれやっかいな事が発生する時は、お世話になりたいと思っています。(男性、65～69歳)
  - 介護保険制度のあり方。やれる事をやれなくする残存機能を十分に活用する。安易に介護保険利用しない。家族で出来る事はする。(女性、65～69歳)
  - 保険制度は必要になった時は助かると思います。ありがとうございました。(女性、80～84歳)
  - 介護の受け付けの見極めをもっと細かくしてほしい。(女性、65～69歳)
  - 保険料支払期間に対応したサービスを受け、方法に差異があっても良いのでは？(男性、75～79歳)
  - 介護の必要がないので想像が付きませんが、施設の充実やサービスが受けやすい環境だといいなと思います。「長生きしてよかったと思えるような地域」になる事を夢みて新座市に住み続けています。(女性、70～74歳)
  - 何んだか、すべて高いと聞いている。職員(事務所は別)の給料が良く、実際に働いている人は少ない。よって働く人が嫌がっていると聞いている。評判がきわめて悪い！(男性、75～79歳)
  - これから先いつ自分が介護・介助のお世話になるか、必要になった折には、よろしく願いいたします。(女性、70～74歳)
  - 国が全額負担すべし。税金を納入しているのだから。(男性、65～69歳)
  - 介護や高齢者福祉に、たずさわる人達の処遇の改善が必要と思う。(男性、70～74歳)
  - 過剰な介護はやめ、必要最低限で、対応すべきと思います。(男性、75～79歳)
  - 老々介護の現状ですので、福祉関係の方々の面接相談(訪問)を増やして貰いたい。(男性、85～89歳)
  - 良い制度だが、若年層の減少化で、介護制度の資金繰りに先々の明かりが見えてこないといわれている。何かの政策が必要だ。(男性、65～69歳)
  - 今は元気ですが、将来は制度を利用したいです。(女性、80～84歳)
  - 高齢になれば体力も落ち、自分で出来る事も限られてくると思いますので、制度や福祉があれば安心して生活できる気がします。(女性、70～74歳)
  - 福祉の充実。(男性、65～69歳)
  - 今は元気なので実感がない。(女性、70～74歳)
  - 底辺の者にとって福祉と云う名の解らない苦しい時代を、実感しております。(女性、75～79歳)
  - 今の高齢者は、大変恵まれていると思います。私は幸せだと思っています。(女性、75～79歳)
  - 1. 介護保険が認定される迄、やたらと“会議”とかで、訪問回数が多くて嫌だった。2. わからないことが多くて、娘が電話してもマネージャーや主任とか、肩書きのつく人の態度、言葉使いが横柄。3. たとえば、利用者、リハビリパンツのことをリハパンと略していたりする話し方は、

気にかかる（内々だけにしてほしい）。4. 自分たちもそれで生活しているのだから、何となくやってやっているみたいな態度、口のきき方が鼻についた。上から目線（特別、遜ることもないが）。

（女性、85～89歳）

- 現在は必要としていないが、近い将来必要となる場合に、充実した内容を望んでいる。（女性、65～69歳）
- 介護保険料が高い割に、いざ使いたくても、なかなか使えないと言う話を良く聞くので、これでは少し困ります。（女性、70～74歳）
- 無駄な介護、過剰な介護のチェックも必要。（男性、75～79歳）
- 現在、利用している。（女性、75～79歳）
- 病気や怪我で、寝付かないよう細心の注意を払って生活しています。自覚を持って人に頼らずに生活する心構えをもって、福祉や介護のお世話にならぬよう。頑張っていきます。（女性、80～84歳）
- 何事も書類等、申込みの手续が大変で、利用する気になれません。（女性、80～84歳）
- 国や自治体は、もっともっとそれに予算をつけて、今迄仕事で社会貢献してきた老人たちの福祉を充実してほしい。（男性、70～74歳）
- 至れり尽くせりは結構ですが、利用しないと損と思う人が多いように感じます。私はなるべく利用しないよう自分の体調管理にはげみ、自分のことは自分で行い一日も永く出来るよう努力することが、自分や家族の幸せになり、介護行政、医療行政の負担を軽くするものと信じてます。（女性、75～79歳）
- 私は、普段お蔭様で娘と同居ですので、なるべく病院にもお世話にならないよう、心掛けておりますが今回、病院で待っている間高齢者の患者さんの多いのに驚いております。介護も本当に必要とされている方に万全の手をさしのべてあげて頂きたいと思います。（女性、85～89歳）
- 政治家等は安易に向上を唱えるが、現役世代を始め、負担者の犠牲によって成り立つ事もよく広報し、運用の厳格さも必要と思う。（男性、85～89歳）
- 高齢者が多くなって行く中、支援する側、受ける側もしっかり考えていかななくてはならないと思います。（女性、75～79歳）
- 介護費用の支出は慎重に取扱うこと。例えばバリアフリー工事の過大請求など。増大する薬代に対応する為、高齢者にジェネリックをもっと勧める。（男性、75～79歳）
- 福祉施設が、もっと安くなれば。（男性、65～69歳）
- 貧しい老人が見捨てられている。1割負担が苦で十分な支援が受けられてない。高収入者の負担を重くすべきです。（女性、70～74歳）
- もっと高齢者になってボケたりして、書類など見たり書いたりする事が大変になると思う。その時にどうすれば良いか心配です。（女性、70～74歳）
- 必ず必要な制度だと思います。母の生存中は大変助かりました。（女性、70～74歳）
- 介護保険についてはこれから益々増えることと思います。が、しっかり対応して洩れることのないようお願いしたい。（女性、65～69歳）
- 現在介護を受けていないのでわからないが、充実した介護をしてほしい。（男性、65～69歳）
- 賃金制度について介護に充事する人達は製造業、サービス業等に比べて安すぎるためか中々良い人が集まらない。他の行政サービスを少し削減しても介護士等の賃金を上げてやることはできないのだろうか。（男性、70～74歳）
- 事務費を削減し介護士等の給料を食えるものにする。（男性、80～84歳）
- 基本的にはセルフサポートを柱とすべき。自分達の力で何とか老後を生きて行きたいと思いますが、介護保険料等の保険、税金が高く、足を引っぱられている。（男性、65～69歳）
- 介護がいざ必要となった時、役所は本当に親身になって相談にのってくれるのか？（男性、70～74歳）
- このような制度を利用しなくてもいいような生活が出来るよう、心掛けたいと思う。この先はわかりません。（女性、75～79歳）
- 高齢者の立場になった介護保険制度にしてもらいたい。（男性、75～79歳）
- 核家族化した現在は、何人子どもがいても、それぞれが自分達の生活にいっぱいです。老夫婦のみ→老人一人住まいとなります。行政の施設、制度の充実が望まれます。（女性、70～74歳）
- 親を3名見ましたが家族は大変です。介護を手厚く出来る制度をお願いします。83才ですが体も元気でスマホもパソコンも出来ますが何時お世話になるかわかりません。（女性、80～84歳）
- 設問12について問4は現在は出来るだけ自宅で生活したいと思ってもその時になればどうなるか

- わからない。又有償ボランティアについても同じと思っています。以前6年間妻の介護を自宅で行い、4年前に亡くしたが、いろいろこの制度には不便を感じました。個々には長くなるので省略します。ただ個々の担当の方には良く対応していただきました。（男性、75～79歳）
- 高齢になり介護サービスを使用する時に金額が高く支払いができるか、質が今より下がるのではないかと。（女性、65～69歳）
  - 現在介護保険に入っているが、どれだけやってくれるかが心配です。（女性、70～74歳）
  - 自分が健康な時介護した分（点数式にして）年をとって出来なくなった時、利用出来るようにしてほしいです。親が地方にいるので介護しにくい分どこにいても点数分手伝い出来るようにしてほしいです。（女性、65～69歳）
  - 真に必要とする人を重点的にしてはと思うことがある。（男性、85～89歳）
  - 利用していましたら大変よい制度だと思います。（女性、90歳以上）
  - もっと充実してほしい。（男性、70～74歳）
  - 夫を介護中であるが制度がわかりにくく、情報がなかなか入りづらい。初期の時点で選択幅がなく、勇気もなくようやく1年経つといろいろな問題点が出てくる。夫にとっての最善な方法をたくさんの方に会って探している。（女性、70～74歳）
  - 年金生活者にとって負担比率はいつも高いと感じている。実際当面した時に心配のないサービスの保障があるなら良いが、その点が常に不安である。（男性、75～79歳）
  - 制度があっても自分の費用で完全なものが受けられるものか心配なところ（今は元気で満足しています）。（女性、70～74歳）
  - 高齢者同士が互いに助け合い、ポイント制で、他から助けてもらえるような方法で、相互扶助できるような制度はないものか？介護保険とか福祉などは、事業者やNPOが取り組んでいるが、それ以外にも、金銭の受授がない方法を考えてはいかが？（男性、70～74歳）
  - 現在介護4を受けていますが、支援が無くなると心配です。（女性、65～69歳）
  - 妻が介護4を受けております。よって、妻の介護に追われています。（男性、65～69歳）
  - 介護保険制度の充実が必要だと感じているが、私自身としては今後健康全般に留意し、皆さんのお世話にならないよう願っています。（男性、80～84歳）
  - 高齢化が進み若い人に負担がかかる事は心苦しいです。福祉は新座市は良い方だと思っています。（女性、70～74歳）
  - 少子高齢化による社会保障の整備。老齢になった人間が安心して生活できる世の中を望みます。（男性、65～69歳）
  - 高い介護保険料を支払っているが介護が必要な時に果たして助けてもらえるか心配している。（男性、75～79歳）
  - 国からの援助をもっと介護へ回るように努力して下さい。（男性、70～74歳）
  - とても良く出来ていると思います。（女性、75～79歳）
  - 介護認定の等級に疑問を感じている。全体に低く過ぎると思う。自分が将来お世話になることに不安を抱いている。（女性、70～74歳）
  - これから高齢者人口が増加し、どの程度の介護制度を利用できるか不安です。（女性、65～69歳）
  - 設問（2）の間（3）に書いたが、介護サービスを受けているので助かっています。（女性、65～69歳）
  - 80歳以上になるまで健康に留意努力して来た人が、突然介護を必要となった場合、速やかに対応認可出来るなどの優先性を考慮して頂きたい。（男性、80～84歳）
  - 保険料の関係などで使用する介護が制限を受けるのは仕方ないとは思いますが、一人暮らしになった場合などを考えるともっと充実してほしい。どのような制度があるのかも配布がない為わからず、配布は出来ないのでしょうか。（女性、65～69歳）
  - 妻に収入がないのに、私の年収があるので第5～6段階の保険料が徴収されます。年金暮らしなのに不公平ではないでしょうか？夫婦共に障害者にて介護保険は利用していないのに納得がいきません。（男性、65～69歳）
  - 現在は健康な生活をしていますが、介護にお世話にならないように心がけて精進して行きたいと思っています。（女性、70～74歳）
  - 救急車のお世話になり入院・退院後初めてケアマネージャーと話し合いし、本当に心強く、介護保険制度の大切さを知りました。（男性、70～74歳）



- 要支援1を受けながら、車が運転出来たり、旅行したり、都心に出かけたり、何人かの方を知っていますが、財政が厳しい中どうかなと思います。介護保険を払っているからと皆言いますが、受ける費用を考えたらと思います。私もいずれお世話になるとは思いますが、皆の自覚をうながしたらと思います。受けると本人の負担もそうですが、国、市でどれだけの負担がかかるかも本人に知らせるべきかと思います。（女性、70～74歳）
- 制度そのものは良いが頼りすぎがあるように思える。できるだけ家族がしなければいけないと思います。（女性、65～69歳）
- 現在介護保険、高齢者福祉を受けて、本当に助かっております。福祉の見直しが有るようですが、必要な人が必要なサービスを受けられる社会だと良いと思います。（男性、85～89歳）
- 健康な時にボランティア活動をして「ポイント」を換算して将来自分の為に使用できる制度をつくってほしい。そうすれば、社会保険料金が若年層に負担軽減できると思います。（男性、70～74歳）
- 必要な人に必要な介護や福祉が行き届くようにしてほしい。それが自治体の責務である。（男性、65～69歳）
- 医療者や介護業者等のサービスの質に対して請求額が適正であるか、競争原理が機能しているか、プロである第三者のチェックが入っているかなど皆目不明です。それなしに介護保険料の多寡は論じられません。市としては市民の立場でもっと情報提供をしてください。（男性、65～69歳）
- 現在障害者にて全てお世話になっております。（女性、65～69歳）
- 現在義母が介護保険制度を受けています。ヘルパーさんの仕事も大変なので待遇改善をお願い致します。（女性、70～74歳）
- 介護保険制度がどのようになっているのか、わからない。等級別にどのような制度があるかが知りたい！一人暮らしの老人に対する、行政の挙措が非常に悪い。私の家には行政に携わりまたは依頼（民生委員とか）されている人は一人も来ない。私のような人が多いのではないか！（男性、75～79歳）
- まだ元気で仕事をしているが、必ず老いてくるので利用する前に先に手続きなどができ、速やかに利用できる事が望ましい。（男性、70～74歳）
- 主人が在宅で介護していただき大変有難かったが、自分がこの先の事を考えてもどういう風になるか想像が付かないのですが、介護して頂けたら嬉しいですね。（女性、70～74歳）
- 老後を安心して暮らしていける制度や福祉を充実していただきたいと思います。（女性、70～74歳）
- 現在母親が介護保険制度を受けており、より多くの方がヘルパー職を望むようヘルパーの待遇改善を願う。（男性、70～74歳）
- 自分が利用するようになった時、利用出来るのか、老人ホーム等入所出来るのか、心配です。（女性、70～74歳）
- 利用はしていませんがとても良い事だと思います。（女性、75～79歳）
- 現在週4～5日、8：45～17：15迄仕事をしています。自分が介護状態になったら介護保険制度を納得するよう利用出来るか心配です。1人暮らしなので将来はどこまで1人で（何才まで？）生活していけるのか不安はあります。食事、運動睡眠に関しては、特に意識をして生活をしていません。（女性、70～74歳）
- 介護保険も今は人のためやってるが貯金式にためて自分がお世話になる時にその介護保険を使うことは楽しみもある。（女性、70～74歳）
- 介護保険制度が使いにくくなるような法の改正はやめてほしい。介護度の軽い人にこそ手をさし出していく事で悪化を防ぎ費用も少なく済むと思います。（女性、70～74歳）
- （主人）今までベットが借りられたのに借りられなくなる不安。夜中トイレ4～5回行く。ベットなしでは生活が苦しくなる。夜眠れない。（女性、65～69歳）
- 介護保険制度そのものが良くわかりません。高い金を取って居ると思われそうですが身体が自由にならなくなった時にそれに見合った事をして貰えますか？（男性、70～74歳）
- 介護での基準が分りにくい。（男性、70～74歳）
- 利用したことがないので不明な部分は多いが、介護保険料はしっかり徴収しているのだから、サービスに実際に携わる人達の対遇を改善すべきだと思う。（女性、70～74歳）
- 介護保険制度を利用した事がないのでよくわかりません。（女性、75～79歳）
- 充実した高齢者福祉の為に諸施策を実行をお願いしたい。（男性、65～69歳）
- 介護保険について、介護が必要になったとき、心身の状況によって何をどこまで、どの範囲まで助

- けてもらえるのか具体的に説明（文書）していただきたい。（男性、65～69歳）
- 介護が必要になった時すぐ対応してもらいたいと思う（女性、75～79歳）
  - 介護保険制度が平均に受けることが出来ることを強く望みたいです。年齢を重ねるごとに不安が募ります。誰でも同じ気持ちだと思います。（女性、70～74歳）
  - 高福祉、中負担でお願いしたい。（男性、85～89歳）
  - 介護は利用しにくいと感じます。（男性、75～79歳）
  - 今介護保険料を支払っていても、自分が介護を受けたい時に介護してもらえるか心配だ。（男性、70～74歳）
  - 全日本国民が身体的異常をきたした時には、公的援助によるようなことに各行政機関は対応できるような十分な態勢を整えておいて欲しいと思います（含、経済的援助）。（男性、85～89歳）
  - 高齢者社会に益々至る訳で、介護のお世話にならぬよう自分自身注意・努力しなければならぬと思うし、行政も無駄を省き、しっかりとした、高齢化にも安心出来る政策を望む。（男性、65～69歳）
  - 要介護の認定で自分で出来るだろうと思われるような事まで保険を利用しているのではないかと認定が甘すぎる。本当に身体に負担となる事に、利用すべきではないか？（女性、75～79歳）
  - 役人が保険料をムダに使えないようよく監督してくれ。（男性、75～79歳）
  - 自立・自律性の全くない高齢者が、ただ“生存”するためだけに多額の医療・介護費用が使われている。若い世帯一家族の生活費を上廻ることが多い。何か変だが、解決の名案は思いつかない。（男性、70～74歳）
  - 知らない事が沢山あるし、文字や通知では難しく理解し兼ねる。（女性、75～79歳）
  - 公的なものは、聞けば親切に教えてくれるが聞きに行かないと教えてくれない。いろんな事を簡単にわかるような連絡をして欲しい。（男性、65～69歳）
  - 介護保険サービスや高齢者福祉にたよらず元気な老後を通したいと思っています。ピンピンコロリが願いです。（女性、65～69歳）
  - 年に1回は、市役所等の訪問はやるべきだ。（男性、80～84歳）
  - 助かっている人が沢山いらっしゃると思います。今元気に働いておりますので勉強不足でどのように使うか解からない。調べてもない。申し訳ありません。（女性、65～69歳）
  - 介護保険料を払っているのだから、全ての国民に平等にすべきであると。（男性、65～69歳）
  - 主人、83才介護保険利用せず病氣通院終末入院の状況でした。私が元気で一年間家で見守ることが出来ました。私は2014早々に入院し介護保険利用せずでした。（女性、70～74歳）
  - 70歳台半ばで故郷を離れこちらに在住し、感じたことは高齢者への対応がゆき届いている、と言う実感。うれしいです。（女性、80～84歳）
  - まだ介護は必要ないので必要になったときは利用したいです。（女性、70～74歳）
  - 現在介護保険料の徴収額が全国でいくらか、支払額がいくらなのかの収支報告を国民にわかるよう公表する事。（男性、75～79歳）
  - 去年入院（1ヶ月）手続きが1ヶ月かかり、使用しません。時間のかかり過ぎだと思います。（女性、75～79歳）
  - 実際に介護が必要になった時にも認定が難しく、利用が可能であるか不安に思う。介護保険料が高額（現状）なので保障をきちんと欲しく望みます。（女性、70～74歳）
  - 高齢者福祉とはきれいな言葉であるが1つでも2つでもそれぞれの人が常時受けて利用しているようにする。団体が考えずに1人1人何かついているように検討出来ないか。有料報告がうまい人は差しかえる勇気が必要である。特に民生委員の長期にやっている人は役に立っていない事実がある。（男性、80～84歳）
  - もっとシンプルな仕組みが良い。（男性、65～69歳）
  - 重病者には介護保険制度は利用できない。（女性、80～84歳）
  - 私は要支援です。身体が「く」の字に曲がり、一人で歩くのは困難です。通院買物等、車を「運転」してくれる人がいると助かります。主人も80才なので、いつどんな事があるかわかりません。よろしくお願いします。（女性、75～79歳）
  - 夫が介護保険を使うようになり今は助かっています。この先老人ばかりになって大変な事にならないように心配していますが、子供達も自分達の事で大変みたい。（女性、65～69歳）
  - 脳梗塞や動脈硬化などなりたくたいため一生懸命に動いています。食事に気をつけて、薬のまない生活です。早寝早起を実行しています。介護制度があるため、そこで働く人達がいる事も大変世の中は

- 良いと思います。(女性、75～79歳)
- 必要になってみないと判らない、が、このような制度は必要と思います。おおいに充実したものにして頂きたいです。(男性、80～84歳)
  - 介護サービスで掃除の時間が45分では短くてそこそこにして帰られます。2階のある家は出来ません。介護保険料を支払っているのに不満です。(女性、75～79歳)
  - 介護士諸氏の待遇改善を望む。(男性、70～74歳)
  - 介護保険制度について基礎知識は知っておく方が良いと思っています。(男性、70～74歳)
  - 介護を受けていた方からの意見ですが、余り思うように援助されない方が多いので困ると云う話を聞いていますが？(女性、70～74歳)
  - 金銭の取金は徹底しているが、支給の段階に入ると間口が狭く、支払いもスムーズさの面で違和感を感じる。(男性、75～79歳)
  - 先を見すえた保険制度、福祉で、住民サービスの向上に努めてほしい。(女性、70～74歳)
  - 介護保険利用者の生の声を幅広く聞きたいと思います。利用している身近な人(実姉)の話聞く限り、利用したくないと思ってしまう。(女性、85～89歳)
  - 介護制度が必要となれば、その時相談致します。(女性、85～89歳)
  - 2013年夏、卵管癌で入院しましたが、退院して困りましたが、介護保険がどこまで使えるのか…説明がよくわかりませんでした。(女性、65～69歳)
  - 介護保険などで、妻の退院、リハビリなどケアマネージャーの方々にお世話頂き、ありがたいと感謝しています。(男性、80～84歳)
  - お金が無い妻や自分がお支払いができないので介護や介助を受けることができません。将来的にどうなることや心配です。(男性、75～79歳)
  - 母親や他の人達が利用しているのを見てありがたいと思いますが、将来にどの程度続けられるのか、又料金面等も心配です。(女性、70～74歳)
  - 介護制度を受けるまでの時間が1ヶ月以上必要なので困ります。急な腰痛の時等には、実費でも良いから、1～2週間入居できるところがほしいです。(女性、80～84歳)
  - 高齢者に対する情報等充実していて、非常に有難い。(男性、65～69歳)
  - 友人の中にも制度内容がわからない人が多々おります。(女性、70～74歳)
  - 「できる限り自宅で生活したい」為に、可能な限りのサービスを受けたい。(女性、65～69歳)
  - 以前夫が介護保険を利用させて頂きました。有難かったと感謝しています。(女性、75～79歳)
  - どこの場所でも介護保険が使えるようになってほしい。(女性、70～74歳)
  - 福祉国家設立にむけた福祉事業拡大で、幸せは生活環境を国、地方で取り組む必要がある。(男性、75～79歳)
  - 高齢者が利用出来る施設の割別があっても良いのではと思っています。(男性、75～79歳)
  - 介護保険を支払っていても介護される立場に成った時、「介護」される事が悪いと聞いたのですが、本当ですか？(男性、65～69歳)
  - これまでに介護保険制度にはお世話になっていませんが、今後自分が介護保険を利用させてもらいたい時には、どんどん利用できる量が狭められてしまうのではないかと心配です(長生きしてるのはどうですかね?)。わかりません。(女性、70～74歳)
  - 主人が福祉でお世話になって始めて、新座市はとても良くして下さる事を知り、有りがたく思っております。(女性、75～79歳)
  - 利用したいが手続きが大変なようです。介護保険制度の利用の仕方がよく理解出来ない。(女性、70～74歳)
  - 病气やケガで、一時的に介護が必要になった時にもお願いできるといいと思います。(女性、65～69歳)
  - 安心して年が取れるよう、施設を充実してほしい。(女性、65～69歳)
  - 介護保険、高齢者福祉制度が全国一律でなく、県又は市町村で差があるのがおかしい。(男性、75～79歳)
  - 現在のところ何とか自力でやっていますが、何年か先にはお世話になると思うので、制度の充実を願っています。(女性、75～79歳)
  - 病气等の緊急時の対処方法の確立。(男性、70～74歳)
  - 介護士の方々が安心して働けるよう条件等を見直し、1人でも多く介護に関わっていただきたい

- です。(女性、70～74歳)
- 高齢者が将来的に安心して生活出来るような諸施策の実施を望む。(男性、70～74歳)
  - 今はシルバーで保育の仕事をしておりますが、先のことだと思いますながら暮らしております。健康に暮らし、介護はなるべく使うことなくと考え制度のあり方等どういふことで介護保険が使えるのか、誰でも使えるのか、どんな時使えるか、わかるようにしたいです。(女性、70～74歳)
  - 介護の認定に(もっと厳しくする。)疑問を持っています。現在老健でパートで働いていますが(通所ケアの施設です。)週に4回も(まして日曜日まで)仕事のように何ヶ所かの通所のディサービスに通う人やスポーツクラブと勘違いしている利用者もいます。介護の必要より、家庭でもう少し、頑張っていることをするように方向を転換する要があります。入浴も1回50円だから家で入浴しているのに入浴。食事がつくれるのに安くておいしから、という状況があります。(女性、65～69歳)
  - 現在の介護保険制度がなければ、父の自宅での生活はとても無理です。本当にこの制度は作ってよかったと感謝しています。この制度をなんとか長く維持、発展させていきたいと思っております。(男性、90歳以上)
  - 介護保険料支払っても個人的には利用できないように思いますが、いかがですか？(男性、70～74歳)
  - 介護保険制度は現在自分がお世話にならなくとも有難い制度(相互扶助)であり、脳の活性化を持続させるため、毎日その日の出来事などや身の回りのことなどを活字に打ち込んでいる。(男性、80～84歳)
  - 介護保険制度の利用について要介護認定ではなく、ある一定の年齢以上には、総て認定してもよいのでは。(男性、70～74歳)
  - 要支援をなくさないでほしい。なくなるととても困ります。(男性、75～79歳)
  - 制度の種類、細かい内容が不明で、利用する具体的な方法を知りたい。(男性、70～74歳)
  - 埼玉都民的なサービスの質の向上について、都に準じたサービスを目標にして欲しい。介護保険料が高いわりにサービスが低く田舎的。(女性、65～69歳)
  - 介護保険制度は有効だと思うが、必要な時期が訪ずれたら適度に利用する制度を知りたい。(女性、65～69歳)
  - 昨年夫が突然倒れ、まったく途方に暮れました。でも落ち着きを取りもどし囲りの友人にささえられるに依り何と有り難い制度があることかと感謝の気持ちがあふれてきました。若い時と違い老人に向うと云う事は不安だらけであることです。日常こんなあり難い制度があることを知らずにおりましたが、知識として心得ておくべき事だったと思っています。これからもお世話になります。(女性、70～74歳)
  - 利用時の書類手続の繁雑さがなんとかならないか、という利用者からの話をききます。面倒なので利用を見合わせてしまうことがあるようです。(女性、65～69歳)
  - 介護サービスがどの自治体でも同等のレベルで受けられること。低所得者向けの特典が付加されることを希望します。(女性、65～69歳)
  - 高齢でも制度を受けている人、そうでない人の負担率をどう調整するか。(男性、70～74歳)
  - 子供と同居していると介護に来てくれないと昔聞きました。(女性、70～74歳)
  - 福祉、医療、行政が少しばらばらと感じている。年配の人との関係は特に難しいと感じている。(女性、70～74歳)
  - 介護認定なくても、風呂場のいす、杖等、介護保険証の提示で1割負担で買えるようにしてほしい。(女性、75～79歳)
  - 死ぬ時は死ぬ。過保護な介護は必要ない。他人に頼んでまで長生きしたいとは思わない。(男性、70～74歳)
  - 介護保険制度は有難いと思っておりますが、要介護1～5をしっかりとチェックして欲しいですね。(女性、70～74歳)
  - 介護保険制度の改悪を許さず、国の責任を明確にする。高齢者福祉は国の手厚い保護を求める。保険あって介護なしの状態を改善すること。国の補助こそ最大の充実策である。質問項目が多すぎる。健全者と介護者を分けて質問項目を作して下さい、長いので高齢者には疲れます。アンケート取るのにも高齢者に配慮が必要です。(男性、75～79歳)
  - 本当に必要な人を見きわめて介助してほしい。(女性、75～79歳)
  - 施設経営者が利益追求に走りすぎている。制度の欠陥を正すべきだ。(男性、75～79歳)

- 制度のことがわからない。(男性、70～74歳)
- 現在は健康で仕事も続けていますが、将来健康上の障害が発生したら、介護制度を利用したい。(男性、65～69歳)
- 介護保険で国が大変だと思います。(女性、85～89歳)
- 私は北海道から来ましたが、新座市の高齢者福祉は素晴らしいと思います。(男性、75～79歳)
- 父が103才で亡くなりましたが比較的元気で弟と同居のためほとんど制度を利用出来ませんでした。保険料を払っているのでも少くらい何か助けて欲しいと思いました(せめて100才を過ぎれば)。子供と同居で手助けをしてもらえない人は沢山いると思います。(女性、75～79歳)
- 自分の身体が動かなくなった時の事は常に考えている。少ない年金ではあってもきちんと介護保険料を納めているのだから備えは(覚悟)出来ていると思います。(26年前に母を在宅で介護し、看取った経験を活かしたい。東京都との地域格差を痛感！)(女性、65～69歳)
- 国や自治体の財政力に見合った制度が、最善のことと思います。(男性、80～84歳)
- 良い制度と思います。(男性、75～79歳)
- 家族や親せきを介護している人に対して税金を安くするとか助けがあっても良いと思います。介護で働きに出られない人もいます。介護してもらう人よりも介護を家庭でしている人に助けがあったらと思います。介護している人に手当てがおおりても良いと思う。高齢者が高齢者を介護している人もいます！娘の私は、障害者の叔父と介護が必要で亡き父と病気になってしまった母の介護をしてきました。今もしているのでも辛さがわかる！(女性、65～69歳)
- 私は現在要介護4ですがおかげさまでとても助かっております。現状の制度で続けて下さいますようお願いいたします。(女性、75～79歳)
- (1)ヘルパー利用の時間短縮などで利用抑制に継がる改正はすべきでない。(2)介護保険制度が経過するたびに難易度が軽くなって出て来る。本当に欲しい介護が受けられないのでは。(男性、65～69歳)
- 今の所必要ありませんが、今後もしかの時は介護保険制度はありがたいと思います。(女性、75～79歳)
- 今は介護サービスは使っていませんが年を取るにしたがっていつお世話になるか解りませんので保険制度は大事だと思っております。(女性、75～79歳)
- 税金のムダ使いを止め、出来るだけ福祉向上を計るべきだ。要は税金の使い方の問題である。(男性、80～84歳)
- 介護保険料での介護サービスが不十分。十分なサービスが受けられるようにして貰いたい(福祉に対する意欲、努力と人員の確保など制度全体を見直して貰いたい)。(男性、80～84歳)
- 介護福祉士の資格があっても、個々の特徴をつかんでケアが出来ない(マンネリ)。デイサービスの企業が沢山あり、本人・家族のストレスが増大。オムツの当て方(男性・女性の違いがわからない)、補装具の着用いい加減、クッションの使用法もいい加減、衣服の前後逆、電話対応もルーズ、請求書もミスがあり常に確認が必要。一般企業では許されない事が介護業界では平然と定着しております。個別ケア(本人のサインを見過ごす)が出来ない人材は、公的研修で可、不可を判断し利用者を実験台にするのはやめていただきたい。(女性、80～84歳)
- 介護保険を利用できるようにして欲しい。ハードルが高いのでは？(女性、65～69歳)
- 保険制度を利用させて頂く時がいつかは来ると思います。その時はありがたく利用させて頂きたいと思います。(女性、80～84歳)
- 介護保険制度は、若い方、高齢者にとっても有難い制度と思う。(男性、80～84歳)
- 介護を受けている人と受けてない人で保険料に差があっても良いのでは。そうすれば自分で出来る事は少しでも自分でやるようになるのでは！(男性、70～74歳)
- 普段は大した介護や福祉を要すると思われぬ方々が、料金が低廉な為なのか、利用しないと損とばかりに利用されている人々を見受けられる為、当該者及び環境の調査を良くすべきと思われる。(男性、65～69歳)
- 要望に対して、じっと考慮して真実を確かめて対応したい。要望に甘く対処しない。人柄を正しく理解したい。(男性、85～89歳)
- 個々の状況に応じた対応をどう集約し制度決定する事は、大変難しい事だと思います、プライオリティとしては弱者を優先して下さい。私はあと5年は大丈夫だと思います。ご苦労様です。よろしく申し上げます。(男性、65～69歳)

- 介護保険に法に基づき加入しているが、自己資金が負担金が払えなければ利用をすることが出来ないことが問題、生活保護受給者がうらやましい。そこそこの年金受給者で残念です。(男性、65～69歳)
- 高齢者でも役に立つところ、働けるところで実現したいことは使えるような働けるような“しくみ”を多く広い範囲でつくり出していく(男性、75～79歳)
- 介護保険制度は有意義で有難い制度です。(女性、75～79歳)
- 無駄使いの所が多々有ると感じています(介護保険制度を利用して始めて感じています)。(男性、80～84歳)
- 介護保険の利用を始めて、少し無駄が有ると思う所も有る。改善すると良い所も有る。(女性、65～69歳)
- 設問12、問3に記入していますが、誰でも必ず公的介護を受けられるのか知りたい。子供が会社を辞めて迄介護している人も居ると聞いています。孤独な人だけが受けられるのか?(男性、70～74歳)
- 介護と云う言葉が自分ではないと云う気持がある、しかしいつなるか?(女性、70～74歳)
- 新座には、広大な土地がありますが、それを有効に活かし高齢者によるささやかな事業を越こし、福祉、介護の財源を、自らの力で産み出す工夫が必要ではないか。(男性、85～89歳)
- 4ヶ月前に主人を亡くしました。約10ヶ月に亘り介護を受け主人と私と大変助けられました。介護費が高くなってもお世話になれる状況が大変心強いです。(女性、75～79歳)
- 利用しづらい制度は必要ない。(女性、75～79歳)
- ヘルパーさん等、制度を知らないで利用しないで困っている仲間がいます。本当に必要な方に利用してほしいですね。(女性、90歳以上)
- 出来るだけ食事他、日常生活を自分自身の為に考え行動し、自分が楽しくする為に介護制度を利用しようとは思わない。意外に廻りを見てみると、利用出来るものは…と云う人が居るのにはがっかり。(女性、75～79歳)
- 介護保険に入ってもすべて平等に受ける事が出来ない制度が嫌です。健康保険のようにすべての人が平等に受ける事が出来るとよい。よく検査がある時は呆けたふりをするとかの話を書くたびに気分が悪いです。何となく地元の人が有利のような気がします(知り合いが多い)。(女性、70～74歳)
- 質、量共により一層の充実を希望します。その為のコストは可能な範囲で負担します。(男性、80～84歳)
- 買い物に行けなくなった時(動けなくなった時…肉体的に)や認知症になった時、国家が無償で国民の面倒を見るべきである。そんな国家の姿勢が見られれば、国民は安心して一生懸命に働く。今の政府は、自分の政治的信念貫徹に一所懸命で、国民一人一人へのやさしさが感じられない。日本の政治家のスケールが落ちた。それを選んでいるのも日本人だ。本来、日本人はやさしく温く有能だと思う。(男性、75～79歳)
- 介護なしで充実した一生を送れるよう、それなりの努力をしています。(男性、65～69歳)
- 介護が必要になったら、早く死ぬような事を医学的に考える事を研究して、医療や薬によって生かすことをしないで欲しい。(男性、80～84歳)
- 高齢者を甘やかす制度ではなく、協力し合う制度にしてほしい。(男性、65～69歳)
- 制度を利用する人が、その方法が解らない人が多い。それを利用するには人頼みでなく、自分で積極的に動かないと時間がかかり親身に動いて下さる方が少ない。(女性、75～79歳)
- 虐待のない福祉、本当の福祉は何か、本気で取り組む福祉を目指すしか道はない。(男性、65～69歳)
- 充実していると思います。(女性、75～79歳)
- 利用している方の話をきくと、介護保険の大切さがわかります。(女性、65～69歳)
- 介護される人なるべく減らす(作らない)努力をして欲しいです。各個人が自覚を持つことが大切だと思います。(女性、65～69歳)
- 介護保険は必要とする者が加入すれば良い。不要な者にこの保険は必要ない。(男性、75～79歳)
- 甘えと思う。(男性、65～69歳)
- 高齢者福祉について、なぜ年金まで削減しないといけなないか?厚生年金・国民年金それぞれその人の就労企業で一言には言えませんが、全ての高齢者が余裕があるか?考えてほしい。(男性、75～79歳)
- 介護保険は一保険(互助)であり、皆で助け合う事なので適正ならしやうがないと思っています。(女性、75～79歳)
- もう少し各制度などの説明を良心的に増やしてほしい。制度があるのに使えないケースが多々あり

- すぎて、大幅に損をしています。(女性、80～84歳)
- 介護保険制度について勉強したい(65才まで仕事がいそがしく、学ぶチャンスがなかったのだ)。(女性、65～69歳)
  - 現在は健康ですが、これから2、3日体調が悪く、自分で出来ない時、近所、子供達にもたのめない時、一日一回顔を出して下さる方、介護を利用していないし人も、一時的に利用出来る。そういう方法があればと思います。自立した生活を望みますが、体調を崩した時に心配があります。(女性、70～74歳)
  - 現状でも制度の充実に満足しています。ありがとうございます。更なる充実の為に、北欧の制度を取り入れ一層の充実に努めてください。(男性、85～89歳)
  - 充実したものをお願いしたい(中途半端でない)。現在は必要ありませんが、ぎりぎり迄自分の力でやっていきたいと考えています。(男性、65～69歳)
  - 今の制度はでたらめです。(男性、65～69歳)
  - 介護保険の事業者が雨後の竹の子の如く増え、その保険を食いものにしている。不正も多々あると聞く。厳しいチェックで適正な事業へと指導すべし。(男性、75～79歳)
  - 1. 介護保険制度の健全で確実で公平な運営と、高齢者自身の自助努力を促す方を望む。2. 認知症対策とし高齢者の働きがいを作る、政策を望む。(男性、70～74歳)
  - 高齢者が増え続け、毎日マラソンをやっている。周囲にも散歩やおしゃべり中の老人ばかりです。何か仕事でもあればと思いますが若い方が少なく仕事もなければ…何かいつも不安と疑問です。(女性、65～69歳)
  - 単身生活者は、緊急連絡可能な家族が居ない、という理由で高齢者福祉施設の利用許可証(券)の交付を断られております。(男性、70～74歳)
  - 健康を前提として自助努力が前提である。過度の介護・福祉は必要ない。(男性、75～79歳)
  - 有効に利用している人は徹底的に利用している感じがしている。(男性、75～79歳)
  - 介護保険料を払って居ても老後本当に介護が充分に受けられるのか?年金だって物価スライドと言っても物価が上っても年金は上らず、減るだけ? (男性、65～69歳)
  - 無駄に使われる事が少ない事を望みます。自助努力をするべきと考えます。(女性、65～69歳)
  - 今後を考えると制度が充実することを期待します。(男性、65～69歳)
  - 昨年心不全、腎臓、糖尿病などで3ヶ月入院(とびとび)しました。医師から帰宅したら10ヶ月間位は安静に介護を受けて下さいと伝えられ、市役所へ相談に行ったら、出来ない。他の所にも相談したが、こられないとの事。主人も77才でやっとな家事を手伝ってくれます。掃除も10日に1回位、風呂は2日に一回。掃除するのが大変だからです。(女性、70～74歳)
  - 充実してほしい。気軽にすぐ受けられるよう。(女性、65～69歳)
  - ケアマネが介護保険制度や他の制度について勉強して欲しい。知らない人が余りにも多すぎる。(男性、65～69歳)
  - 具体的な接点がないのでよくわからないが、財源の面で国、地方自治体が苦勞しているのは理解できる。但し支援は無料とかではなく、どんな場面でも利用者が負担することが原則でないか?各人が生活するのにもっと責任と自覚が必要ではないか。自治体はあまり社会の要求に応えすぎてはいないか。→財源不足の大きな原因。(男性、70～74歳)
  - 納得ゆかない部分も有りますが、仕方が無いと思います。(女性、65～69歳)
  - 隣接市との広域的な事業運営(在宅・施設ともに)を図られたい。→施設(設備)、人材、資金の効率的活用の推進。(男性、65～69歳)
  - 特にない。いろいろな制度があり、感謝している。(男性、80～84歳)
  - 消費税が上っても、弱者(介護・高齢者・小児等)に対しての福祉関係費はどんどん下げられていき、何の為の税金が上がるのか、政府は何も分かっていない。口先だけで、本気で取り組んで欲しい。(女性、65～69歳)
  - 現在、要支援ですが介護保険制度や高齢者福祉について大いに興味あり。近い将来お願いするかも…よろしくお願いします。(男性、75～79歳)
  - 年老いてきたら介護保険、高齢者福祉に頼るようになると思います。今から知識を得たいと思っています。(男性、75～79歳)
  - 現在の介護保険制度のサービスは、経済的・時間的にかなり難しいところがあると思います。働いて下さる方は支払われる賃金が安いし、介護してもらう方は不十分だと思います。何年か前母が介護保険を利用させてもらいましたが、息子や娘の負担はかなり大変で、母の亡くなったあとそれぞれ

が入院や治療が必要な病気にかかりました。兄弟3人いてもそうですのでこれから先一人っ子の人、子どものいない人たちのことを考えると国の机上のプランでは大変困難な事例が起きると考えています。(女性、75～79歳)

- 一般論として自助努力が不足している。(男性、75～79歳)
- 高1の孫が障害者ですので、私も大分世話をしますが、介護の方達が来てくれますので、新座市は本当に介護について、やさしいと思っています。(女性、80～84歳)
- 高齢者が多い社会になり、今後どうなるか心配はある。(女性、70～74歳)
- 全部国でもつべきだと思います。(女性、70～74歳)
- 介護保険は厳しすぎる。収入の少ない人も全員一緒ではないですか？(女性、70～74歳)
- 国はおもいやり予算など出さずに、もっと日本人の福祉に力を入れるべきだと思います。(男性、70～74歳)
- 期待出来る制度であってほしい。(女性、75～79歳)
- 介護保険のお世話になり日々の生活ができています。(女性、85～89歳)
- 介護保険は幸い健康で現在までは利用していない。将来はわからない。(男性、70～74歳)
- 廃止。(女性、70～74歳)
- 気軽に利用できる情報の提供をお願いしたい。(男性、80～84歳)
- 介護保険を使いやすくして下さい。家族の中で健康な人が居ると保険が使えない、おかしいです。(女性、70～74歳)
- 多少の負担があっても介護を受けたいと思う。(女性、85～89歳)
- 保険利用なんて不要。介護が必要になったら自殺する。(男性、70～74歳)
- 老人ホームや施設に入居の身寄りの無い方の心のケアが足りていないように思う。人手不足のため機械的な接し方になっているように見受けられる。きめの細かいそんな仕事をして見たい。(女性、75～79歳)
- 元気にしている高齢者(90才、100才)に対して(介護保険制度を使ってない)のご配慮もあるといいですね。(女性、65～69歳)
- 今現在は健康ですがこの5年後は介護保険制度施設にかかる事と思います。(男性、70～74歳)
- 介護保険制度はあまりよくわからないが高齢者福祉はよいと思う。(女性、75～79歳)
- ホスピスを充実してほしい。(女性、65～69歳)
- 介護保険制度の利用者がどんどん増加している現在、自分がいざ利用する必要になった時に利用出来るのが不安になる。(男性、75～79歳)
- 介護保険制度をもっと充実して欲しいです。改正が早すぎると思います。(男性、65～69歳)
- 後期高齢者で介護保険を使用しない人には特典が欲しいと思います。(女性、80～84歳)
- 消費税を上げて、福祉事業/社会保障に当てた事が無い。今の政府は信頼されていない。だから、多くのお金を使わないし使えない！まじめに社会福祉を考えなさい！(男性、70～74歳)
- できるだけ家族でやり、高齢者より幼児や子供に金を使うようにすればもっと生活環境が良くなると思う(男性、70～74歳)
- 社会的貢献の度合に応じた福祉を基本に、将来に望みを持てる社会に進んで欲しい。(男性、70～74歳)
- 障害が出てから介護を受ける迄の手間と時間が掛かる。書類が色々あり面倒。一人暮らしで家族が都内に住んでいる場合すぐ来られない。(女性、75～79歳)
- 介護度調査で度数が下ることにより現在適用されている介護業の利用範囲が狭くなるのはおかしい。継続している間はそのまま続行して欲しい。そうしないと、良くなっても(快方に向っていても)調査の時だけ出来ないふりをしたりと本当のことをしないと思います。(女性、70～74歳)
- 介護保険制度が、利用者にとって利用しやすいようになる筈なのに、制度がどんどん悪くなっておかしい！！※質問事項が多過ぎで大変でした。(女性、70～74歳)
- いろいろな制度が出来るが、それが本当に必要な人に与えられているか？地域に相談センターがあっても、出歩けない人には意味がない。出前相談や実態を知るためにはもっと行政に職員を増し、他力本願でない。実のある行政が必要と思う。職員の皆さんの頑張りに感謝します。(女性、70～74歳)
- 介護保険、高齢者福祉などについて適正に実施してもらいたい。(男性、80～84歳)
- 少しずつでも具体的政策を一步一步前進させて行く事です。急に大変革は出来ません。毎月、毎年少しずつ。(男性、70～74歳)
- 介護保険でやれる範囲が狭ますぎる。(男性、65～69歳)



- 利用方法が良く判らない。何にかがどうかなければ利用出来るのか？制度自体を良く理解しておらず、今後知るチャンスがあれば知りたい。新聞等で読み聞きするが、低所得者が活用出来る仕組みにして欲しい。（男性、65～69歳）
- 高齢者が安心、安全に過せるように考えて下さい。生活保護は本当に困っている人に。（女性、70～74歳）
- 充実を望む。（男性、70～74歳）
- 高度でないと受けられないと言うので必用ないと思います。必用になった時は死にます。（女性、70～74歳）
- 新座市に少し高い有料でも、医師等もいる施設があれば将来も安心して新座市に住みたいと思う。（女性、70～74歳）
- 当市は福祉に県内でも有数の由、感謝します。（男性、80～84歳）
- 国で介護出来るようになれば。（男性、65～69歳）
- 約45年間義母と同居していましたが、義母も元気で亡くなる2ヶ月前から本格的に保険を使っただけでしたので、今の自分がこれからどの程度利用させてもらうのか現在は解りません。（女性、70～74歳）
- 通りいっぺんの役所仕事に落ち入る事なく、弱者の立場にたつて血のかよった運営をして欲しい。（男性、70～74歳）
- 今後20年位は老々介護者数が増加すると思われるので、市単位での早急な対応をお願いしたい。宜しく。（男性、65～69歳）
- 現在義母を介護しており、高齢者福祉の状況を考え将来、非常に不安を感じております。（女性、65～69歳）
- 介護制度、高齢者福祉は当然向上してもらわなければ困る。しかし、制度の適用者や福祉の限度がいかにも不明確。国の制度として位置づけられているのだから、運用面で今少し明確な制度にして欲しい。（男性、75～79歳）
- 都、近隣の市政と比較すると、新座市は貧困だと思う。医療機関も弱体だし、人間性を重んじた市政を市長以下自治体の認識は低いと思う。平林寺山林のやうな自然に恵まれていると云っても、それは自治体で作ったものではない。所沢市や入間市の活動とははるかに違う。（女性、80～84歳）
- 新座市は病院・福祉施設は貧困で弱体であると思う。病んでいる妻が他界したら福祉行政のゆき届いた自治体の区、市に移転する計画も考えている。大学の教え子たちに相談して決めます。（男性、75～79歳）
- 消費税を増やしてでも介護を公費でまかなうべき。（男性、65～69歳）
- もっと本格的に介護制度や高齢者福祉を実施してもらいたい。（男性、75～79歳）
- 無駄のない効率の良い制度を作して下さい。（男性、70～74歳）
- 今は介護の保険を使っていないが、その分を利用者が正当に利用出来ていると良いと思う。（女性、70～74歳）
- 保険制度の問題と思いますが、友人が長期入院し退院時独り暮らしなので、福祉で認定してもらったところ支援2と云うことで保険料を収めていたにもかかわらず援助を受けることが出来ず、全部有償で2ヶ月程度支払ったとのこと。トイレに行くのにもつたい歩きでとても困難だったこと。もう少し考えて欲しいと思う。（女性、75～79歳）
- 無駄な金額が使われていないかチェックを十分にして下さい。あった場合は罰を重くしてもらいたい。（男性、70～74歳）
- 要介護1から2になりました。機能訓練週1から週2になり、月4回月8回数は倍ですが、次男が精神障害でほとんど家にいますので週1がよいので週1回参加それ以上が無理です。制度は要介護2の場合不合理に思います。要介護1は2000円代、要介護2は1回だけでも4,600円代。払えないお金ではないけど一考の要あり。深く考えます。（女性、85～89歳）
- 行政が支援するのは高齢者が元気な内、地域活動に参加していく場所を応援していくことだと思います。地域福祉が大切だということです。それが高齢者を元気にしていくことなのです。（女性、65～69歳）
- 高齢化に伴い、大きな問題となるが、市議会議員、職員が市民の為に、どれだけ真剣に取り組めるか、高齢者が、施策にどれだけ参加出来るのか、が問題だ。本当に困っている人の為の制度利用であって欲しい。（男性、65～69歳）
- 40代の息子と2人暮らしだが、先々自分が自立できなくなった時のことを考えて具体的な準備をど

- うすればいいかわかりません（頼りになる知人、友人、親戚もなく）。（女性、70～74歳）
- 現在は健康で日常生活も普通に過して居りますが、介護が必要になった時を思うと不安です。現在の保険制度については未知の部分が増山あります。（女性、80～84歳）
  - 介護保険は必要ないと書いたのは、国が見るべき制度、医療は自己責任、介護は福祉的意味が大。（女性、65～69歳）
  - 夫と2人暮らしで、現在はボケずに生活していますが、私はリウマチで夫も高齢のため、将来は介護保険制度にお世話になりたく存じます。（女性、80～84歳）
  - 支える側の減少。回復しない財政赤字・消費増税分も高齢者福祉に配分されるのはごく僅か。介護保険は保険の体をなさなくなり、行き詰まることになるでしょう。新しい現代の姥捨て山の創設・不満の人は自助努力・自己責任で生きてゆく覚悟が必要だと思います。（男性、80～84歳）
  - 介護保険制度は高度発展日本に出来た制度で現在の高齢化社会。財政難上、もっときめ細かい改正があっても、いいと思う。若い人の将来のために。（女性、85～89歳）
  - 介護士、保護士等高齢者福祉に携わる有資格者の報酬を検討し、もっと優遇することが必要です。（男性、75～79歳）
  - 今年75才になるがどんな福祉制度が有るのか知識不足。（男性、70～74歳）
  - 介護の段階を自分の考えで対応してもらいたい。自分で保険料を払っているのに第三者があなたはどうか言わないでほしい。（男性、70～74歳）
  - 経済的、肉体的、精神的にゆとりの有る穏やかな生活を一日でも長く、介助、介護を受けなくてもすむような生活を、今後少なくとも15年間はと思っています！？（男性、65～69歳）
  - 自分で判断、動けなくなったら介護保険制度を利用したいと思っています。（女性、75～79歳）
  - 収入が少ないと、いざ介護サービスを受けようとしたときに、必要なサービスを受けることが出来ないかもしれないので、そんな時の対策も、考えてくれたらいいと思う。（男性、65～69歳）
  - 介護保険制度を上手に利用している人は増山いますが、私達夫婦は介護のお金を増山支払っているのに利用出来ないことが不満です。（女性、75～79歳）
  - 福祉制度の充実が遅々として進まない現在の政治にあきれている。保険料だけ高額（低所得に対して）すぎる。保障が充実すれば少し高保険料でもよいが残念乍ら相反している現在の諸制度に賛成できず。こんなことを書いても何の役にもたたないだろうが…（男性、75～79歳）
  - 介護保険制度、サービスについて知りたい。（女性、75～79歳）
  - 新座市に住んで15年になりますが、高齢者福祉についてどのような仕組みになっているのかさっぱりわかりません。夫婦二人、高齢者と言われる年になりましたが現在はどなたの助けも借りず暮らしていますが、新座市にはどのようなサービスがあるのでしょうか？年金のみの生活でも快適に暮らしていく事ができるか心配です。プライバシーの保護はどうなっているのでしょうか？？？心配です。（女性、65～69歳）
  - この先どんどん高齢化して（自分も含め）いきますのでさらに充実した制度になってほしい。（女性、70～74歳）
  - 段々と介護度が高くなって少しの体の不調では仲々利用が難かしいようで心配！福祉の面でも解かりにくい所が多い。（女性、75～79歳）
  - 介護保険制度サービスがわるい。介護制度は夜もやってほしい。1人の生活には病気になったとき夜がこわい。（女性、85～89歳）
  - 健康維持のために努力し、存命中に一度も介護保険等に世話にならなかった人に対し（遺族に）何かをすべき！！（男性、65～69歳）
  - 我が国の介護保険制度は、まだスタートして年数も浅い為（ヨーロッパ等に比べて特に北欧など）、介護を受ける側にも差があるようで、地方へ行く程溝は大きいようであると聞いている。政権が代わる度にこの制度が不安定になってしまうのは考えものである。年金から天引きされる介護保険は、年金生活者となった今では、止むを得ない方法かも知れないが、要介護者が「幸せ感」を味わえるような安定したサービスを、求められるような、制度の充実を図って行って頂き度いものである。又併せて、今後は65才以上の対象者全世帯に配布するのでは無く。（女性、65～69歳）
  - 必要な制度だと思います。（女性、85～89歳）
  - 設問12の問3で記述している通り。特に入院手術しその代金支払いに関し、福祉制度の現状に有難度いと感謝しました。消費税等の間接税で対処願ひ度い。※私は数年前より福祉センター内の整備に取り組んでおります、念の為。（男性、70～74歳）

- 主人が介護のお世話になっておりますが、自分も収入が少ない為、家賃もありますので、ギリギリの生活をしています。もう少し余裕のある生活がしたいです。（女性、65～69歳）
- もう少し利便性がよくなることを期待します。（女性、75～79歳）
- 介護保険については、高齢者であっても保険に世話になっていない人も多く存在しており、支払も確実にやっておるのに何らかのインセブティが無いのか疑問であると思う。（男性、70～74歳）
- 若い人々との接点が多いような福祉を目指してほしい。（男性、65～69歳）
- 新座市は発展的な事は何もわからない。老人に対してのサービスをもっとやってほしい。他市の人に聞くと老人に対して話しを良く聞きます。（女性、80～84歳）
- これからの、若い人たちに負担はかけたくないのがほんとうの気持ですが、今まで精いっぱい仕事をしてきたので、あまり、年寄をいじめる、ような制度は、つくってほしくありません。この先、年をとった人が、幸せに暮らせるような、制度、社会、をつくってほしいです。国の人、あまり、年寄をいじめないで下さい。それが私の願いです。（女性、80～84歳）
- あまり市とか国に頼り過ぎてしまうのも問題だと思います。（男性、75～79歳）
- 良い制度と思います。（男性、65～69歳）
- 介護保険制度基準をゆるめてほしい。（女性、75～79歳）
- 何んでもかんでも介護は考えるべきだと思います。大切な保険料ですので考えて下さい。（女性、70～74歳）
- 介護認定について納得出来ない事例があり、不信感を持っている。認定を厳格適正にやってほしいと思う。問題がある。市役所の何課がやっているのか？（男性、85～89歳）
- この制度はとても立派な事だと思います。もう少し若い時（働ける時にもっとたくさん出すようにして、働けなくなる時が必ず来るのでその時に払わなくても良いととても高齢者には助かります。（女性、70～74歳）
- 介護制度全般について知る機会を得たいと思います（特に介護施設について）。保険制度は今の所やや満足です。（女性、75～79歳）
- 1. 簡単かつ素直に受けられる介護制度。2. 軽度認知障害（MC I）段階での予防プログラムへの参加。（男性、70～74歳）
- 保険制度いいと思います。健康だったのでお世話になるとは思ってもいませんでした。（女性、80～84歳）
- 介護保険の使い道まいちですね。（男性、65～69歳）
- 出来るかぎり、世話にならないよう努力していますが、家族と住んでいると受けたい時制限があり過ぎます。（女性、75～79歳）
- 市で行っている高齢者福祉の実際について知りたい。行政区域の端の方の住民にも福祉関係の施策を近づけてほしい。（男性、80～84歳）
- 保険制度の内容が良くわからない。具体的な説明が望ましい。不平等な気がする。（男性、65～69歳）
- 後10年もすれば、60才以上が800万人、やがて2人に1人は60才以上という時代がすぐそこまで来ています。現況の高齢者福祉、生活支援等々、市の方ではバラバラに始めているようですが、受ける方は同じ人が多くあり意味がないと思います。課題テーマ及び取組内容を一本化した方が相方うまく行くのではないかと考えます。高齢者への取組の課題の重要度・実現可能性のものを考えるべきではないでしょうか！（男性、65～69歳）
- 手続がとても面倒で書類が沢山あるので、とても老いたら大変だろうと思う。簡単にしてほしい。（女性、70～74歳）
- 介護1でお世話になっていますが、もう少し介護度を上げてもらうには？年令と共に体の方が劣えてきまして見直して欲しいと思っておりますが、如何したものですか。（女性、80～84歳）
- 後期高齢者にとっては大変有難い制度だと思います。（男性、80～84歳）
- 介護保険のお世話になってます。大変ありがたく心強いです。ありがとうございます。（女性、75～79歳）
- 現在の健常者に特典がある制度を作り、健康である事自己認識し、介護になるだけ頼らないようにする。（男性、70～74歳）
- 高齢者に対する種々の制度があるようですが、これから先の状態を考えると果してどこまで頼ってよいのか不安。せめてあとわずかの生活ですから心安らかに暮らしたいと切に願っています。最後まで自分らしく我が家で暮らしたいが、子供は（娘）いますがそれぞれの生活があるため親の面倒

- にかかりきることは不可能ですし又頼むわけにいかないようです。(女性、80～84歳)
- 保険は適正に利用されているのでしょうか。(女性、65～69歳)
  - ケアマネジャーの人の質が均一化されていない。人により差が大きい。教育による平準化を更に進めてほしい。(女性、90歳以上)
  - 公正・公平な信頼できる人々の主体性を尊重した徹底的に社会正義を裏切らない制度である事を願望いたします。◎個人情報の取扱いについては、重ねて、その扱いを慎重にしてください。又その漏洩や公私混同の不正のなきよう、人々の人間性や人格、命に対する尊敬と尊重の念願を見失わないよう、そして見えるい所でこそ正義を全うして下さい。そして公のお金私物化できない社会の仕組みをしつかりと造り上げ運用して下さい。基本的に公平に人間の生きる道は全て無償。ボランティアであります。例えば、全ての集会やイベントは参加者の手弁当によるものである。(男性、65～69歳)
  - 福祉施設が少ない。母の時、苦勞した。(男性、65～69歳)
  - 介護なんてあまりにも甘え過ぎてる人が多過ぎて腹が立つ。少々体調不自由な事が有っても世話になるもんか～と思ってる～！！(皆あまえ過ぎ)(女性、80～84歳)
  - 保険ありきでは困るので、保険に見合った制度をお願いします。いつもごくろう様です。(女性、65～69歳)
  - 私自身、今健康で生活出来ている。食事と運動に注意、健康を維持している。まず自分のことは自分でやり、他に頼らないこと。自分で出来なくなってから他力に頼ることだと思っている。日本の社会保障は外国と比して進んでおり、老人にとってやや過保護と思えるところも有るが、福祉国家として本当に困っている人の力になることを望みます(待機老人ホームの充実等)。(男性、75～79歳)
  - 母親は介護保険の制度発足以来、保険料払って一回も介護される事なく死んでいった。介護保険はトラウマです。(男性、70～74歳)
  - 国でいろいろお考えのことですが、この問題はまだまだ検討改善する所があると思います。(男性、70～74歳)
  - 将来、金額的に無理なく、保険制度や施設を利用できると、日々安心して過していたいと思います。(女性、65～69歳)
  - ケアマネジャーによって認定に差が出るのが納得できない。(女性、65～69歳)
  - 福祉施策の充実を。コロリと逝きたいと思う。医療も充実を。(男性、70～74歳)
  - 介護が必要になった時、どの程度のことがお願いできるのか、知っておきたいとは思いますが。(女性、80～84歳)
  - 母が御世話になっていますが、それぞれ待遇の違いやサービスの差が多く、認知が入ると職員の応待がいまいちだし、施設に居るDrがぱっとしない年寄りばかりで心配である。もっと役所で人数(ヘルパー、などの)チェックをすべきだと思います。書類関係も全て一致してもらいたい。(男性、70～74歳)
  - 今は元気ですので人の手を借りずにすみませんが将来が心配。高齢者福祉の充実をお願いします。(女性、75～79歳)
  - 私自身介護は受けませんので介護保険制度は無用。(男性、75～79歳)
  - 私もいい年令ですし、いつどうなっても介護制度や福祉などが充実してしてくれる事を祈ってます。どなたも願ってる事でしょう。(女性、75～79歳)
  - 介護度のこと、戸別訪問、もっと介護に力を入れてほしい。(男性、70～74歳)
  - 自家の母親が介護(目黒区)制度で3年程お世話になり、介護保険制度や高齢者福祉、本当に助かりました。すばらしい制度でありがたかったです(何かの形で恩返しが出来たらと思っています)。(女性、65～69歳)
  - 親(母)が新潟でお世話になり現状がわかりました。とてもありがたかったです。(男性、65～69歳)
  - 高齢者福祉、どのような事が良く分かりません。(女性、70～74歳)
  - とても不平等だと思います。(男性、75～79歳)
  - 私達夫婦は子供がおりませんので介護保険制度が設けられて大変助けられ感謝をしております。税金等使っている事に申し訳なくも思っております。(女性、70～74歳)
  - 相互・自助努力などで、ごまかさずに万人が収入の高低なしにかかわらず等しく受けられるようにするのが、国や自治体、そこに働く公務員の役割と思う。住民の意識も啓蒙から必要だ。憲法が生かされるよう(とくに25条)切に望んでいる。(男性、65～69歳)
  - 一人暮らしなので、急に具合が悪くなった時等、介護保険が使えると助かります。(女性、70～74歳)

- 消費税が又上がるが、本当に介護福祉に使われているのか？（女性、80～84歳）
- もっともっと充実してほしい。（男性、75～79歳）
- 自分で元気アップに取り組みしないで、介護をあたり前に受ける人が多すぎる。（男性、65～69歳）
- 違法者が多い。厳正な取締をすべき。（男性、80～84歳）
- いたわりはありがたいことだが、病気によっては大げさに扱うのではなく、ある程度の自立援助の方法が必要だと思う。（女性、65～69歳）
- 利用する時の手続き書類などもっと簡潔にするべきだと思っています。又電話などの問合わせの時ゆっくり解り易く説明することを（大きな声で）心掛けて頂けたら助ると思います。（女性、75～79歳）
- 「利用に当っては制度が複雑で申込みなど大変な思いをする」と利用経験者から聞くことが多々ある。「にいぎ元気アップ広場」これ期待していいでしょうか。（男性、80～84歳）
- 制度が問題で、自治体に丸なげ状況になりそうだ。保険あって介護なしでは本当に困る。皆が元気で最後を迎えたいと思っているが、そうならないのが人生だと思う。ボランティアの方々の協力だけではちょっとひどすぎると思う。（女性、70～74歳）
- 国民年金だけの老人でも、きちんとした介護を最期まで行なっていただける制度にして欲しい。若年齢の自分達の先がとても不安である。（記入者意見）（女性、85～89歳）
- 自分が介護を受ける立場になった時本当に介護が受けられるか今一わからない。平等に正しく受けられるか不安があります。（男性、70～74歳）
- 保険制度・福祉について詳しくわかりにくくてどう自分で運用するかに不安を感じる。色々話をきいたり報道などで介護士等の不当な患者に対する仕事があり良い物でないような気がして不安になる。（男性、80～84歳）
- 現在の制度と保険料の納付で介護が必要になった時、必要な介護のサービスが受けられるのかの心配は常にある。（男性、75～79歳）
- 今後高齢者が増えると聞いていますが、介護が必要になった時にスムーズに介護支援が受けられたら安心のような気がします。（女性、70～74歳）
- 介護保険制度が本当の意味で役立っているのか疑問です。それを悪用している業者や施設がいかに多いことか。（女性、70～74歳）
- 新聞、TVで報道されています。事故が多いので心配になる。（女性、70～74歳）
- 終末の人生の介護を希望の人は、いつでもどこでも入所できる高福祉、高負担（消費税等）による国直轄の特養ホーム（デンマーク国家の医療福祉に似た）が早く出来るよう、また国策になるよう希望します。（男性、75～79歳）
- 介護保険料を払っているのに介護をしてもらっても保険料を支払う事。福祉の事を良く説明してもらいたい。（女性、65～69歳）
- 介護保険制度は、料金を強制的に取るにもかかわらず、いざその時は審査がいろいろありとても大変だと思います。健康保険のように自由に利用できるような制度にしてほしい介護は年がいくにつれ誰にでもくることがです是非考えて下さい。（女性、75～79歳）
- 制度が良くわからない（男性、75～79歳）
- 現在は幸なことに、この制度を利用することが無い。いづれ必要とするに至った場合、その実感は、どのように現われるのか。現在老夫婦で生活しているが、どちらか一方がこの制度を利用するようになった場合この制度を利用し、生活が出来る、可能なのだろうか？。（男性、75～79歳）
- 高齢化社会が進む中、密度の濃い保険制度、福祉を希望する。（男性、65～69歳）
- 介護民間のヘルパーの質は、あまり良くない。（女性、70～74歳）
- 毎日ご苦労様です。“先”を見据えた行政をお願いしたい。何の為の、誰の為の政策、事業なのか？！お金（税金）の使い方、事業種類、目的…「消化型」であってはならないと、思いますー。（男性、65～69歳）
- 今迄、自分の事として考えていなかったのが制度実態、あまり理解しておりません。（女性、65～69歳）
- 介護保険制度を、何回も利用するには、その担当者の人数確保するには国も県も膨大な出費になると思います。リハビリを受ける人は毎日やり継続することが大切なのです。リハビリを毎日受けることで健康で元気な高齢者が生まれることでしょうか。人員確保とリハビリ回数比較の考慮です。私は左半身不随の身体障害です。（男性、75～79歳）
- 介護認定が調査員によって違っていると思う。また、都市によっても違っているのではないかと思う。（男性、70～74歳）

- 高齢化社会を幸せに維持するためには、介護保険制度の充実が重要です。（男性、70～74歳）
- 母や義母が介護サービスを利用した経験があるが、施設従事者の待遇、処遇は行政の力で改善（待遇改善→給料や勤務条件up）すべきと感じる。（男性、70～74歳）
- 要介護者に家族（配偶者）が居る場合は、保険の利用範囲に制限が多すぎるような気がします。（女性、75～79歳）
- 生きる屍では意味がない。その質が問題であろう。私自身はクオリティを保つために延命治療は早い段階でしないつもりだ。保険料が少なく手厚い福祉など画餅だろう。（男性、70～74歳）
- 年齢で高齢者扱いをしてもらいたくない。（女性、65～69歳）
- いつでも、だれでも必要時に制度利用出来るように。（男性、75～79歳）
- 現在は考えていないが、制度を利用する時の手続き等スムーズに実施出来ますように。（男性、75～79歳）
- ヘルパーに助けていただいております。助っています。（男性、85～89歳）
- 高齢者福祉などと言ってもどんなものがあるかわかりません。内容を知りたいです。（女性、75～79歳）
- 本当に必要な人にお金が回るように、元気な人は自分で頑張り、寝たきりでどうしようもない大変な人に十分な介護をしてほしいと思います。（女性、70～74歳）
- 一度も使う事がなく、それはどのようになるのでしょうか。（女性、70～74歳）
- 夫が元気な内は良いが、夫が高齢なため先の事が心配。（女性、85～89歳）
- 和光市では2011年のこの調査をもとに、3地域に分けて認知症になるリスクや転倒するリスクを抱える高齢者が地域毎にどれだけいるかをネットや冊子で公表しているという。新座市では6つの高齢者相談センターを設置しているが、このような取組をデータ化してるのだろうか？調査の結果を公表すべきと思う。（男性、75～79歳）
- 脳梗塞で入院していて介護保険を使いたいと思い申請しましたが、要介護の認定を受けられませんでした。病院からは100%大丈夫との事でしたが、介護保険認定の基準はなんですか？父よりも軽い人でも要介護の方がいらっしゃるのに…個人的に決定されるのでしょうか？（男性、90歳以上）
- 介護保険制度、高齢者福祉、大変有りがたく思っております。（女性、70～74歳）
- 地域包括センターのお世話になりましたがとても親切にして頂き、感謝しています。（女性、70～74歳）
- こんな少ないスペースに書くことはできない。一言でいうなら、国はすべての福祉に関する支出を減すべきではない。（男性、85～89歳）
- 人によって過剰な手当や、必要なのにされていない人等の例を見聞している。適切な査定がなされていないのでは。（女性、65～69歳）
- 要介護度の認定が、本人の状態と見合っていないのではないかと思います。（男性、65～69歳）
- 国がいざという時のためいろいろな支援を差し出していることは、ありがたいが、個々の人間がそれらを頼らないで生きていけるよう、もっと真剣に自分と向きあって生きていけるような考えになることが大事だと思う。（女性、70～74歳）
- 現在仕事を週4回していますが介護や福祉のことは理解していません。もう少し詳しいことを知りたいと思います。その手段を教えてくださいれば幸いです。（女性、70～74歳）
- 元気な高齢者（はできない人を手伝いとしてポイント制にして其の時元金がほしい人は1ポイント時給いくらかを決め時給500円とかを決める）現金がほしい人は現金ポイントがたまりましたら、将来自分ができなくなった時人にポイントで助けていただける制度を作してほしいと思っています。その人のできる事をできない人にしてあげる助け合い手帳なるもの。（女性、65～69歳）
- 要支援の認定審査、認定の有効期間を1年にする必要は何か。変更を希望しないときは現状のままでもよいのではないかと。（男性、70～74歳）
- 北欧（スウェーデン・フィンランド・ノルウェー・デンマーク）各国の介護制度の運用等について勉強して新座市の将来にプラスになり、福祉強力市として発展する事を期待します。（男性、75～79歳）
- 市役所での手続きを簡単にして欲しい。（女性、65～69歳）
- 高い介護費を払っているのに、介護を受けやすくしてほしいと思います。なかなか認定を受けにくいと聞いていますので。（女性、65～69歳）
- 4年間支援1の生活に慣れていたが、今年1月から支援2になり戸惑っている。体が馴れるまで1～2月はかかる。（男性、80～84歳）
- 主人が軽い脳梗塞を患いました（糖尿もあり）。普段は家で普通に生活していますが、夜一人で置いておけないと思うが、一日だけお世話になるようなシステムは無いのでしょうか。支援とか介護

- とか等級はもらっていませんか？（女性、65～69歳）
- 介護保険料制度の更なる充実を望みます。（男性、70～74歳）
  - 親切にして頂いてますので感謝してます。（男性、85～89歳）
  - 還暦を迎えた頃は、それ程ではなかったのですが65歳になって年齢を自覚するようになりました。五年前、十年前とは違う自分を感じています。特に健康には気を付けています。（男性、65～69歳）
  - 現在離れて住む老親の介護も必要になって来ました。自分の事を考えているゆとりは無いのですが、年を取っても安心して暮らすことのできる「新座市」であることを切に希望致します。（女性、65～69歳）
  - 介護保険制度について良く解らないので機会があったら説明会等に参加したいと考えています。（女性、80～84歳）
  - 現在介護を受けていません。介護が必要になったとはき、当然受けることになるのですが、仮定の問題なので本来回答できません。有償ボランティアも同じです。（男性、80～84歳）
  - 経済的なことを考えると有料のものを利用することは、あまりできそうにない。（男性、80～84歳）
  - 経済的な事を考えると福祉への希望も考えてしまいます。必要とする人への介助を考えて下さい。（女性、75～79歳）
  - 老後を不安なく暮らせる保障が確約されていれば、高齢者は生きる元気が増進します。経済効果も上がると思う。（男性、70～74歳）
  - 今後、増加する高齢者に対する制度等については、高齢者の立場に寄り添って政策を立案し、市の施策として充実してほしい。（男性、65～69歳）
  - 感謝しています。（女性、75～79歳）
  - 介護保険制度が制度として続くのか心配です。子供達世代に経済的負担が多くならないような制度がきちんとできると良いと思うのですが。（女性、65～69歳）
  - 市役所長寿支援課が現在どんな心がけでサービスしているか教えて欲しい。（男性、70～74歳）
  - 満足のいく介護はなかなか無理かと思いますが、安心して生活できるよう考えて頂きたいです。（女性、70～74歳）
  - 有償ボランティアの利用対象を広げてほしい（家族の協力が無理の場合）。（女性、70～74歳）
  - 自分が歩く事が出来なくなった時、何だかの方法で援助を受ける事が出来れば良いと思います（なるべく迷惑をかけないよう頑張りたいと思ってます）。（女性、70～74歳）
  - 市の集団検診等が広報で知らされる時に即電話しても満員との返事、充実を望みます。関係者や市のOBが優先？と勘ぐります。（男性、65～69歳）
  - 介護保険制度は本当に矛盾を感じています。（女性、80～84歳）
  - 介護保険を使用しないまま妹が他界したので、お見舞程度でよいけれど健保で頂ける位の保証があってもよい気がしています。お考え下されば幸いと存じます。（女性、85～89歳）
  - 今のところは無いが、いずれはお世話になると思うのでその時には質問や意見など出ると思う。（女性、70～74歳）
  - 自分自身は出来たら助けを受けずに生活出来るように心掛けてはいるのですが、制度を利用されなくてはならない時には安心してサポートと思います。心強い制度ではあるうけど先の事を考えると、今後の子供達の時代の負担は大でしょうね。（女性、75～79歳）
  - 現状で満足している。（男性、80～84歳）
  - 制度があっても利用出来ないことが多いと思いますので、必要な時に必要な制度が利用出来るようにして欲しいです。（女性、65～69歳）
  - 介護に当る方の質の向上を望みます。義母がお世話になっていた所のことですが、デーサービスの送りにたまたま留守の間に帰宅し、玄関を入ったところで倒れていた（まるで郵便物をポストに入れる配達みたいです）。それが元で寝込むようになり1年ちょっとで死んだ。死んでも線香一本挙げに来なかった。介護品の押売りは上手にやっている。（男性、70～74歳）
  - 自分が使う段になった時有難さが分かる。（男性、75～79歳）
  - 介護制度に頼ることなく生活する努力をしていくことも1つの介護だと思います。利用しない方々の“お祝い、ポイント等の”考え方はだめですか。（女性、90歳以上）
  - 昨年9月迄まで躁鬱病と診断され11年間苦しみました。夫と共に自営業ですので病んでいても事務経理を続けて来ました。診断に疑問があり自分で国立の精神科で検査した結果うつ病と分かり今は漢方で良くなりつつあります。自分自身で前向きに生きて行きたいと夫も75才、まだ息子2人の前を歩いています。現役で頑張ってます。夫も5年になりますが胃がんで2/3を取りましたが2人で生活

- してます。若い時は国民年金を払う事が出来ず入ってませんでした。年数が不足で、ですが計画的に自分達で考えて設計して来ました。介護及福祉に頼らずに生きて行きたい。(女性、70~74歳)
- 実際に自分が利用しなければならなくなった時には、深く真剣に考えるのでしょうか今の所あまり考えていませんが、老後安心して生きていける世の中になってほしいと思っています。(女性、75~79歳)
  - 行動が不自由になったら利用したい。(男性、70~74歳)
  - 良い制度を作って欲しい。(男性、70~74歳)
  - 将来もしくは、少し先で介護保険サービスを受けるような状況になった時、思った以上の問題が生じないようにする為に今からこれだけはして下さいよ、というような事柄があればと思いますが、どうでしょうか！(介護保険料の支払額の高い安いは個人の問題？)(男性、70~74歳)
  - 団塊世代(現在60代半ば)が後期高齢者になる頃、現在の介護制度が継続できているのか不安です。(男性、65~69歳)
  - 介護保険制度を国民年金のようなとらえ方ではなく、民間の個人年金のようにある一定額か年数かをかけたら、自分の介護を利用する時に金額にあったサービスが無料で受けられるようにしてほしい。そうしたら保険料は高くても安くても、2通り案をつくり選択させれば良いのではと思います。(女性、65~69歳)
  - 今まで出来ていた事が倍以上の時間がかかってしまう。(女性、70~74歳)
  - 若くても必要な人もいし、高齢者だから福祉を受けると云う考えは全くない。(男性、80~84歳)
  - 昨年夫が申請したのですが(利用していませんが)、申請から取得決定までが長くかかり、取得通知がきても、あとのフォローがもう一つわからず、もう少し老人にわかりやすさがあればと思います。長い間介護保険料を払ってきているのですから誰にでもすぐに取得でき利用できるようなシステムとわかりやすい説明があると良いなと思います。(女性、70~74歳)
  - 安心出来る保険、福祉にしてもらいたいです。(女性、70~74歳)
  - 気難しい性格なので、将来的に自分が面倒をみてあげられなくなったときのことを考えると不安になります。59才娘(女性、80~84歳)
  - 今回はじめて、骨折で高齢者福祉の制度を利用させていただき高齢者にとってありがたいことです。現行の制度で金額の値上げなしで、行ってほしいものです。(女性、80~84歳)
  - 将来自分が介護を受ける立場になった場合確実に介護を受けられるか心配です。(男性、75~79歳)
  - 介護保険制度が適正に使われているのか、疑問が有ります。チェック機能等。(女性、70~74歳)
  - 高齢者福祉に国の予算をもっともっと増やすこと。(男性、65~69歳)
  - 私は歩く事が出来ないためシニアカーをお借りしておりますのでとても有りがたいです。(女性、85~89歳)
  - 現在、介護保険サービスを多く利用していて大変助かっていますが、それぞれの担当の課が細かすぎて、申請や請求などメ切書類が多いのが悩みです。高齢者だけの家族でしたら、大変だと思います。(女性、85~89歳)
  - 高齢高額所得者と低所得者の経済格差、不平等、介護難民に対する本人の恐怖感、差別感等。(女性、80~84歳)
  - 介護保険制度は見切り発車したように思う。この辺で一度本当に必要な所に必要な助けがされているか検討して下さい。(女性、75~79歳)
  - 介護保険制度の適切な利用がなされているのか必要以上に受けている人はいないか。制度が無かった時はそれなりのやり方を考えていたようにも思います。(女性、65~69歳)
  - ここに書ききれないほどの意見が沢山ありすぎて、まず介護保険制度、こんな不公平な制度はないと思う。利用している人の中には平然と不正を行い、これを何年も続けている。利用しない人は一度も利用せず死亡している。この差をどうお考えですか？(女性、75~79歳)
  - 介護には色々な点数制のようなものがあり、何々受ける事は大変だと聞くのですが？福祉の方も自分が出て行き聞かないと知らずに終わる。(女性、70~74歳)
  - 子供のいない1人暮らしですのでお世話になることもあると思います。出来るだけ迷惑かけないようがんばっていきたいと思います。(女性、75~79歳)
  - 同じ方がながく介護の家をもつことは都合のいいこともあるそうなので人をかえるのもいいのではないかと思います。(女性、65~69歳)
  - 制度の改正は急がず慎重に検討すべきだと思います。(男性、90歳以上)



- できるだけ自分で頑張ってすべてをやるのが重要であると思う。簡単に介護頼む人がある。保険料払っている、使わないと損、大きな間違いだ。できる限り市や国に迷惑かからないようにすること。（男性、75～79歳）
- しっかりやってほしい。（女性、75～79歳）
- 何時利用することになるかわからないが、具体的なことが全く解らない。老人（高齢者）と呼ばれる人の現況、又、制度を具体的に発信し、もっと関心を持てるようにして欲しい（現在元気なので、わざわざ自分から調べる気持ちになれない）。（女性、65～69歳）
- より充実させてほしい。新聞やテレビに出るような不正や、ひどい行為はなくしてほしい。このようなことがわかった時は厳罰を望む。他の場合でも！！（男性、75～79歳）
- 10年前新座市に転居しました。練馬区に住む娘家族にもそれなりの事情もあり頼み事も遠慮がちになります。私は今を生きるため成るべく自力でと思い生活していますが、年とともに衰えも感じています。援助と協力をお願いします。私は出来る限り新座に住み最後の住み家と希望しています。新座に住んで良かったと思えるような最後を迎えたいと思っています。（女性、80～84歳）
- 問6の（5）ゴミ出しの件で、少しケースが異なるのですが、容器の取り出し引き取りの件で先日社協に伺ったところ現時点では考えてないとのことで班でもって相談して欲しいとのことで一蹴されました。我家では切羽つまった問題をかかえてしまいました。（男性、65～69歳）
- 制度は良いが負担が大きい。（男性、65～69歳）
- 本当に必要としている人に使われる制度であってほしい。（女性、70～74歳）
- 将来自分もお世話になる時がやって来ると思いますので、金額的には致し方ないと思います。（女性、65～69歳）
- 現在は必要としてませんが、利用出来（必要な時に）れば安心ですネ。（女性、65～69歳）
- 高齢者が多くなり自分達がどれだけ見て貰えると心配だ。（男性、70～74歳）
- 真面目に聞いて前向きに進めてくれる部門があれば。（男性、70～74歳）
- 特別養護老人ホームなどの施設に必要なときにいつでも入居できるように増やしてほしい。それぞれの施設の介護士や設備など、最後までその人らしく気持ちよく穏やかな日々を過ごせるよう、質の向上を願います。（女性、70～74歳）
- 保険料は必要最少限の負担とし、高齢者は各自、自立・律した生活を心ざし、必要時には有料サービスを利用（若者の負担を出来るだけ少なくし、若者が希望をもって生活できる社会を目ざす）。（男性、70～74歳）
- “少子高齢化社会”と紋切り型のように言いますが、こんな事態は数十年前から予測してきたことです。国の政策が場当りの、後手後手と動いているようです。長期展望にたった抜本的改革が必要です。（男性、75～79歳）
- 新座で暮らして本当によかった。又、良い人生だったと思えるような、介護保険制度であってほしい。（男性、65～69歳）
- 現状に満足している。（男性、80～84歳）
- 患者様の日常をペラペラ外でしゃべられるのが不安で活動に躊躇する。（女性、75～79歳）
- 高齢者でも介護を受けず頑張っている人には介護保険の還付、又は減額制度があってもいいのでは？（女性、75～79歳）
- 介護保険制度は助け合いの精神から強制入会となっているが、まだ先のことだと思いうし、保険料も高いので、入会は自由に出来ないか。（男性、65～69歳）
- 制度を変える事をしないで続けてほしい（1割を2割にするとか）。（女性、65～69歳）
- 政府の思いやりに期待する他ありません。国民年金だけですから制度そのものはとても良いと思っています。（女性、70～74歳）
- 自分が安心して生活していけるように、国が制度をつくってほしい。（男性、75～79歳）
- 今の介護保険で今後、いざの時、どこまで介護を受けられるか、不安。今はなんとか、生活していますが。自分の事が出来ないで、生活の仕方を計画が立てられない。（女性、75～79歳）
- 今の所は、このような制度にお世話にならなく生活出来ていますが、いざ介護が必要な時どのくらいの介護をしてくれるのか心配です。（女性、70～74歳）
- 積極的に利用する方、そうでない方の両極があり、公平感がありません（他力に頼る方、自力で頑張る方それぞれの生き方の姿勢でしょうか？）。（女性、70～74歳）
- ボランティア等に参画しても、自分が出来なくなった時に何か特典がなければやる意味がないと思

- う考えがあり、積極的に参画する考えはない。やり損になるような気がする（やっている人を見てもそのような感じを受ける）。（男性、65～69歳）
- 消費税が上がる今、その税を介護保険制度に使用してほしい。老人が1人で泣きを見ないよう、国財政をお願いしたい。（女性、70～74歳）
  - ちょっと外れますが、市役所から届く書類の説明が、高齢者には理解しにくい内容のことが多い。もっとわかりやすくするべきでは？（女性、75～79歳）
  - 国家のあり方が私達弱者の方に目を向けていません。市役所の人々ももっと人間でいてほしい。国内はみんなロボット化していると思います。金の血を流すより人間の血を血管の中に流してほしいと思います。（女性、70～74歳）
  - 介護保険といってもなかなか利用出来ないのが現実である。貴女が満足出来るような掃除等は高いプロに頼めとのこと。ホームヘルパーさんて何をしてくれる人ですか？ケアマネージャーって本当に頼りになる人と思ってますか？役所はきちんと把握してますか？（女性、70～74歳）
  - やはり充実してってもらいたい（普通のサービスとそれなりの料金で）。（男性、70～74歳）
  - 今後検討の機会を持ちたい。（男性、90歳以上）
  - 制度を利用して頂き助かっています。（女性、75～79歳）
  - 複雑で…じっくり落ちついて考え整理してみないと。自分達が具体的にどんな福祉を受けられるのかわからないままです。（女性、70～74歳）
  - 介護保険制度、高齢者福祉、これらの制度にいろいろ考えさせられます。誰のための制度？（女性、80～84歳）
  - 今は妻、要介護3なので、それで手一杯です。（男性、80～84歳）
  - 骨折していますので、すべてお世話になっています。有難いです。（女性、80～84歳）
  - この制度を大切にしていきたい。（女性、70～74歳）
  - 今の高齢者の福祉は、とても良くなってきていると思います。私達の世代が本当の高齢者になった時、こんなにケアが受けられるだろうかと不安になります。（女性、65～69歳）
  - 死ぬまで介護のお世話にならないですむように努力をしていきたい。自分が介護が必要となった時に、高齢者が多数で果してどれだけの制度が受けられるのかと心配です。（女性、70～74歳）
  - 介護が必要になったら利用したいと思います。（男性、75～79歳）
  - 制度がまったくわからない。市役所が不親切に感じている。税金だけ納めて、なんのサービスも受けたこと、案内もない、大変不満。（女性、75～79歳）
  - 介護保険制度、高齢者福祉等、余り勉強した事はないですが、いざという時はお世話になると思いますので自分で利用しないで出来る間は頑張って生きていたいと思います。（女性、75～79歳）
  - お世話になりますことは、大へん心苦しく思います。でも良い制度、よい活動が出来るなら、私共のような者は大へん幸と思います。何卒よろしくお願い申し上げます。（女性、85～89歳）
  - 介護については、想像を越えることが多すぎ、どれが理想的対処方法か、ベターなのか判断がつかないことだろうと思う。取組む立場の皆さんの判断に依頼するしか方法がないのではないかと思います。非常に心細い老後に立向う高齢本人にとっては苦しいことです。介護して下さる皆様のご判断に一任するしかありません。（男性、80～84歳）
  - どれくらい助けて頂けるのか分からないが、一人で暮しているののでいつかはお世話になりたいと思っています。子供たちがすぐ来られる所にいないので不安はあります。自分が奉仕した時間を自分が使用できる制度があればと思っています。（女性、65～69歳）
  - 介護を受けたくても負担金が支払えない時はどうなりますか？今は頑張って働いていますが、働けなくなった時に生活ができるかどうか心配です。国民年金だけでは無理です。そのような人いないのでしょうか、とても心配です。（女性、70～74歳）
  - 身体の具合が悪くなった時、介護をお願いするのに審査や日にちがかかるので、早く受けられればと思います。（女性、75～79歳）
  - 現在は一応健康？であると思いますが、1年々齢を重ねると不安がおおいにある。（男性、80～84歳）
  - 世の中の縦の絆が徐々に薄らいで行く中で、此のような横の絆が濃く深まって行く制度の在り方は大変重要且つ、有難い事の極みです。感謝しています。（女性、75～79歳）
  - 現在まだ健康だと思っているので、介護の事など考えていません。すみません。（女性、70～74歳）
  - 介護支援を一度も受けなくて、家族の世話だけで25年の保険料を払い、92才で世界した家族の

お話を耳にして、公平さやら不満の多い制度と思われる。検討を要する案件と思います。一考を…  
(男性、75～79歳)

- 今自分が元気で仕事少しですがしているし、運動マレットゴルフやグランドゴルフ等しているので、介護保険制度に関心がなかったので分からないのでこれから勉強したいと思います。教えてほしいです。(女性、75～79歳)
- 現在は必要がないですが、必要とした時、充実したものにして欲しいです。(女性、65～69歳)
- 地域包括センターが遠い。他市などは出張所?のようなところがたくさんある。ケアマネさんが来て下さるとのことですが、気軽に相談できる場所が近くにほしい。要支援1・2がなくなりそうだが?認知症や虐待など、もし口が効かなくなったら等、とり越し苦労かと思いますが、自分の人生を決められないのが人世だから。(女性、75～79歳)
- いずれは介護に世話になると思います。動けるうちは、なるべく動いて暮して行きたいです。その節は手続きになると思います。市役の皆さんにお世話になります。よろしくお願い致します。(女性、70～74歳)
- 出来るかぎり自分の体調は管理、維持して、介護保険を利用しなくて済むよう努力したい。各自がそう思って暮していけば、現在の利用者以上に増加する事を押えられるのでは無いか、そういう取組みをもっと増して欲しい。(女性、75～79歳)
- どうぞ宜しく。(女性、80～84歳)
- 制度についてなど、間違った知識や、よく解からない高齢者もいる。(女性、75～79歳)
- なるべく元気で自分の事が出来て、生きていけるようにしたい。(女性、65～69歳)
- 介護の等級等がなくても、70才以上が老人としてみるならば、保険料を払っている以上、急な不幸がおきた時とか制度を利用できるよう配慮すべきだと思う。老々介護は不安が多々でてくると思います。(女性、70～74歳)
- 誠に無知で申し訳ありませんが、介護保険制度の料金及び仕組が良く分からないです。(男性、75～79歳)
- 高齢になり、利用させて頂く立場になり、諸々、自分で出来る事は自分でと思って、日々、過しています。その節はお世話になります。(女性、80～84歳)
- 将来、介護をしてもらえるのか不安です。(女性、65～69歳)
- とにかくお金がかからないような制度にしてほしい。(女性、70～74歳)
- 介護認定取決に対し介護を受ける人の面接、介護支援者、男性、女性、高齢か考慮せず。日常の水炊、着る物綻びゴム通しボタン付け等なれぬ事多し。また人間ドック、体調等で支援出来ず、介護保険に余裕なく、より以上の費用発生。支援者ストレス発生。現在ではかぜなみにストレスは万病のもと。介護約12年、介護度3→2-1(昨年秋変更・目から口足まで)、介護者・右側半身マヒ、身体障害者1級。(男性、70～74歳)
- 今現在は、自分で仕事もしているし介護の必要もないのでこのような回答になりました。だんだん年令がするに従って少しずつ介護というものに対する考えも変わってくると思いますが、今のところ自分自身は他人ごとのようにとらえております。(女性、65～69歳)
- 現在の制度、実態、条件等知りたい。(男性、80～84歳)
- 高齢者福祉一後期という病気が多くなる年令層だけで枠をくくるのは負担が多くなるだけで高齢者いじめ。介護保険一支援1・2や要介護1・2を今までの枠からはずすのは、治療を遅らせ重症化することに等しく、医療費を減らそうなど思っている政策とは程遠い。早期発見早期治療と言ってきたのはうそだったのか。(女性、70～74歳)
- オムツなど日常に使っている物を、現在自己負担少しでも、負担を軽くしてほしい。介護保険だけ、払っていつまらない!(女性、65～69歳)
- 介護介助の認定度を全国一律にしてほしい。(女性、70～74歳)
- 散髪の介護サービスを受けているが、とても有難い。(男性、90歳以上)
- 家族の世話になる事が困難なので出来るだけ安く介護して頂ければ幸いです。(女性、70～74歳)
- 脳梗塞を発症して6ヶ月たちましたが物事を考え、理解することがなかなか出来なくなり忘れる事が多くなりました。そんな訳で返事も遅くなり、すみません。これからも何かとお世話になると思います。宜しくお願い致します。なるべく自分の事は自分で出来るようにしていきたいと思っています。(女性、70～74歳)
- 今、現在の所は一日一日を大切に送っていますが、考えなければいけない事はたくさんあります。

- 世の中を直視して、関心を持っていきたいと思います。(女性、70～74歳)
- 介護を受ける程ではなくても受けている人が居る。その反対の人もいる。認定がむずかしいのでしようね。(女性、70～74歳)
  - 高齢者といっても一律ではなく、ひとりひとり異なる人間性と人格を持っている。老人を一括りにした政策をとらないように心掛けてもらいたい。(女性、90歳以上)
  - 現在96才の母を介護しているが、私が急死した場合の当初対応で母の対策を取る手段に適切なものが無く不安である。(男性、65～69歳)
  - 本当に使いたい、使うべき人に適用されることを望みます。「安くなるから」と気楽に使う人がいないことを望みます。(女性、65～69歳)
  - 認定や申請できるまでに時間がかかりすぎる。(女性、75～79歳)
  - 介護保険料を払っていてもいざ受ける段階になると審査がむずかしいと聞いております。介護タクシーを利用する場合もって予約が必要との事を聞いておりますが…(女性、75～79歳)
  - 高齢者に手厚い行政をお願いしたいと思います。(女性、65～69歳)
  - 配偶者が週1回介護の世話になっているので感謝している。(男性、90歳以上)
  - 今は自分で仕事をしながら生活が大変だけど出来ているのであまり深く考えられないが、人の話ではもっとサービスが良ければと聞く。(女性、65～69歳)
  - 出来るだけ自分の事は自分でやり子供等に迷惑をかけぬようにしたいと思います。介護保険を使わない。(女性、65～69歳)
  - 良い事と思います。(男性、70～74歳)
  - 今後保険料負担だけが高くなり、介護サービスは低下していくのではないかと非常に不安に思っている。将来介護難民を増やさないような対策を希望します。(男性、65～69歳)
  - 老人介護になった時が不安です。(女性、90歳以上)
  - 介護認定の査定に納得出来ない面もある。(女性、65～69歳)
  - 困った時に介護施設を速やかに利用出来る社会にして欲しい(応分の負担はします)。(男性、70～74歳)
  - 介護保険制度や高齢者福祉については色々ありがたいと心から思っています。別のお話しになりますが居宅介護支援、ケアマネージャーさんについては出来る事であれば知識と気配りのある行動がほしいと思う。一番大切なポジションですので、お世話になりながらこんな事を書いてすみません。失礼します。(男性、75～79歳)
  - 介護保険終活にも適用できれば。(男性、65～69歳)
  - 若い時に介護の仕事をしたので…今は自分で何とか生活出来ていますが年令を重ねたらどんな状態になるのか少々不安もありますが…何事も前向きに…何とかなるでしょう。(女性、85～89歳)
  - 母の介護を4、5年携ってきましたが、介護制度も大部充実してきて助かりました。同居していたので、すべて母の手助けが出来ましたが、一人暮らしの場合はどんな介護方法があるのか心配です。(女性、65～69歳)
  - 高齢者福祉の充実。介護の無料化。期待は出来ないが。(男性、65～69歳)
  - 費用時間について利用しやすくしてほしい。(男性、70～74歳)
  - 負担のかからない制度にしてほしい。(女性、80～84歳)
  - 安易に施設やヘルパーに依存することなく、出来る限り自立して生活していきたい(親を特養に入所させた経験から感じます)。(女性、65～69歳)
  - 多少なりとも前向きに進歩して欲しい(一般論)(男性、75～79歳)
  - 高齢者が不安なく、生活出来る環境にあればと思います。(女性、65～69歳)
  - 孫達に負担がかかるほどの高齢者福祉に力を入れるべきではない。(女性、65～69歳)
  - 充実した介護保険施設を望みます(安価での)。(女性、85～89歳)
  - 公費を増やして介護保険制度を充実させて欲しい。(男性、65～69歳)
  - 消費税を上げる理由にされていても実際福祉には回されていない。介護保険を下げ、福祉の充実にもっと税金を投入すべきである。(男性、65～69歳)
  - 現在は病気治療中なので、介護保険は利用していないが、家族への負担の大きさが気がかり。療養中の家庭を支援することが制度としてあれば助かる人は多いと思う。(男性、75～79歳)
  - 現在は、自分の出来る範囲で、体操したり、運動(散歩)したり、頑張っていますが、一人になり歩くのが困難になった時には助けて頂きたいと思います。(女性、65～69歳)

- 介護保険利用一步手前の高齢者が、地域には多数います。その皆さんが支えあえる地域福祉を、市民主体で積極的に進められるよう、市はバックアップの態勢で整えて欲しい。行政には届けにくい細やかな助け合いの必要性に気づいている“地域”の力を、大切に支援する仕組みを福祉行政に切実に求めています。（女性、65～69歳）
- ケアマネージャーさんが呼吸器の病気に対する、認識がなくもっと勉強してほしい、ショートステイも利用できず病院が頼り、誰に相談したら良いのかわかりません。この調査は回答者の声を声として捉えてくれるのでしょうか？現実の介護ってこんなものですよ。（男性、70～74歳）
- 制度、福祉などの情報を、やさしく解説して欲しい。情報が少ない。消費税、年金は下がっているのに、社会は老人に対して余り親切ではない。（男性、85～89歳）
- 高齢者となると、1. 身体が働かない、2. 知識が低下している、3. 高齢者では働く場所がない（収入がない）。財産があるか、家族が見てくれるかの他は、生活が困難です。（男性、90歳以上）
- みなさんが、色々な面で努力しているので静かに見守りたい。（男性、75～79歳）
- 親が介護保険を利用し非常に助っております。（男性、70～74歳）
- 父、母の介護を経験しました。その時、保険制度を利用出来できて、助かりました（特に妻が）。（男性、70～74歳）
- 健康を出来るだけ保って元気でいられるように、がんばっています。ので必要な時には十分に使えると良いですね。（女性、70～74歳）
- ヘルパーなど働きやすい状態にしてほしい。（男性、80～84歳）
- 福祉予算は高齢者の人口に比例して増額。（女性、75～79歳）
- 介護施設の充実、施設窓口の支払を低くする。（男性、75～79歳）
- 介護施設の充実。（女性、75～79歳）
- 近隣には訪問系（特に医療系）サービスが不足しているように思われます。入所型の施設が増えているようでこのまま我々が後期高齢者になる頃には介護保険はやっていけるのかなと思ったり…です。（女性、65～69歳）
- 息子の家に寄宿していますが、保険などについては独立しているので一人でくらしているのと同じです。1人暮らしの人と同じように緊急連絡機器など無料で設置してほしい。介護保険料も年金収入に比して高額過ぎると思う。（女性、75～79歳）
- 家族としては、このような制度があり、利用していてとても感謝しています。少し保険料金が上がっても、より充実させてほしいと思います。わからない所は記入もれがあります。申し訳ありません。（男性、65～69歳）
- 昨年関西から転居して来たが、介護保険制度や福祉のこと、全然解らないし、不安です。今月福祉課に民生委員を紹介して頂きました。介護認定についてお聞きしようと思っていた所です。（女性、75～79歳）
- 介護士さんの報酬が少な過ぎる。なり手がいない。（女性、65～69歳）
- 高齢者の支援者（介護士など）の優遇を希望する。（女性、75～79歳）
- 高福祉低負担。（男性、65～69歳）
- 今は元気ですが具合悪くなったら心配です。（女性、80～84歳）
- 年齢にとらわれず、個人の体力等に応じた対処も考えてほしいです。（女性、65～69歳）
- 市と高齢者がオンライン（メール）とかできれば良いと思う。有料でも良いと思います。地方の町では、すでに実施している所があります。互に連絡が出来るようになればと思います。（男性、75～79歳）
- 簡単に自由出来る制度が望ましいと考えています。（男性、80～84歳）
- 動けない状態になったら介護より黄泉へ送ってもらいたい。病院のタライ回しなんかされたなら生命を断ってもらった方が親切で有り難い。介護保険制度は希望者だけにしてもらいたい。（女性、70～74歳）
- 介護保険料は、給料から引かれているが、どのような時に利用出来るのか正常に生活出来ているので今の所分らない。（男性、65～69歳）
- 長寿支援、福祉のすばらしさに感謝いたしております。（男性、75～79歳）
- 私達年代は子供手当もなく子供の治療費を払って育ててきたのに今の親は楽しすぎです。その分介護の方に助けてほしい。（女性、75～79歳）
- 未だ利用していませんがとても心強い制度だと思います。（女性、75～79歳）
- 姉に年金がなく2人で月85,000円位でとても苦しく、節約節約しているので、姉の介護保険

- 等助けていただきたいです。だまされましてお金全部とられてしまいました。だまされた私が悪いのですが、それからすっかり体をこわしてしまいまして生きる力が無くなりました。死を何度も考えました。姉をおいて死ぬ事も出来ず、睡眠薬を飲んでいます。うつ病です。(女性、80~84歳)
- お金がなければ介護は受けられず、一生のうち保険料はいくら払うのでしょうか。何のための保険なのか一部の人が利用できるだけでしょくか。70才以上を老人とするならば介護保険料の支払いをしている者は、認定なしでも利用できるようにしてほしいと思います。現在の日本の制度はおかしい事ばかりです。消費税と共にすべての物が値上がりしており、人間として生きていく事ができるのでしょうか。格差は広がるばかり、そのうちにお金のない人は病院にもかかれなくなるでしょう。20年後の日本はどうなっている事でしょう。我々はもういないと思います。(男性、70~74歳)
  - 福祉課の方々に医療費等で何時も御世話に成っております。感謝しております(女性、90歳以上)
  - 重度にならないと使えない介護保険チョット考えてしまいます。(女性、65~69歳)
  - いくら伝えてもその通りにはならないので、あきらめています。(女性、70~74歳)
  - 過度な介護、医療をやめ、公正で適切な改善をし、5年後、10年後には、老人はこんな生活をしていると前向きに発表出来る環境を作してほしい。(男性、70~74歳)
  - 介護や福祉はほどほどにして、もっと若い人達に使ってほしいと思います。寝たっきりでオムツをしてまで生きていたいと思う人は少ないと思います。それよりも、もっと子供を増やす為に介護を無くす方法を考えた方が良くと思う。(女性、65~69歳)
  - 高齢者の仕事を作り収入による税金を払うようにする。福祉ばかり前面に出している。元気な人が病気になる。(男性、70~74歳)
  - 日本は益々老人国となる。一人暮らしの老人は不安の毎日です。子供がいても急に身に起きてもどうすることも出来ず孤独死となる。常に身に付けてボタンを押すと連絡がつくようなものと思う事、老人のみの心配でしょうか、気付いてもどうすることもね。(女性、80~84歳)
  - なるべく自立して暮らしたい。私は、関節と膝の手術を受けていて、障がい3級です。(女性、65~69歳)
  - 先々よく調べて参加、利用したい。(男性、65~69歳)
  - 憲法の生存権を基本とした抜本的な社会保障制度の見直し及び充実をしてほしい。介護保険料の国庫負担の増額を50%程度。(男性、65~69歳)
  - 介護保険制度及び高齢者福祉につきましては本当に助かっています。(女性、70~74歳)
  - 非常に良い制度なので皆んながより良く利用出来るように発展させてほしい。問題点は関係者だけでなく広く皆さんに問いかけ良いものは採用して行くようにしてほしい。意外と素人も良い案を持っている場合があると思います。今回のアンケートでは設問に、もう少し選択肢を分かりやすく考えてほしいと思いました。(男性、75~79歳)
  - いづれ1人暮らしなので、お世話になると思います。その時はよろしくお願い致します。(女性、75~79歳)
  - 日本国内の福祉に対し、先進国中どの程度進んでいるか不明だが、現状では決して良しとは思わないので関係各位様には幅広い知識を得て真剣に取り組んでほしい。(男性、75~79歳)
  - 介護施設の介護士の給料が大変安過ぎます。厚労省に働きかけて、福祉施設の仕事が魅力のあるものにして欲しい。何と言っても給料が上らないと、働き手も更に減ります。私は「ヘルパー2級」を取得の時に感じました。(男性、75~79歳)
  - 介護保険を使っている人と使っていない人の金額を別にしてほしい。年金の金額が無いのに無理です。(男性、80~84歳)
  - 病気になって1人になった人の相談に常に話しかけたり一緒に何かをしてほしいのを見てほしい！1人になるととてもさみしさを感じると思います！特に夜、寒い日、夜中に目がさめてしまう時。私はまだ息子がいてくれますが、近所で隣に子供がいるけど面倒を見てくれず、病院に入りこの頃亡くなった男の人がいました！80才でした！(女性、65~69歳)
  - 出来る限りお世話にならないように気をつけていますがどうしても時はすみません。(女性、85~89歳)
  - 介護スタッフが毎日立ち替わり入れ替り違う人が来るので、母は精神的にまいった！！普通の人でもこう違う介護スタッフが来ればいい加減にしてくれ！！と言いたくなる。もっとシステムを変えて欲しい。(女性、80~84歳)

- 娘が代筆していますが、老人介護で日常生活がとても心配です。介護する側の心身の疲れなどもきいてくれる身近な人がいればと思います。（女性、80～84歳）
- 支払った介護保険料に対し必要となった時、それ相応の対応をしてくれると信じています。（女性、75～79歳）
- 高齢者福祉の内容が今一理解出来ません。（男性、70～74歳）
- 人口が少なくなって先細になるだろう（男性、75～79歳）
- 介護されてまで、生きてく資格なし。（男性、65～69歳）
- こういう制度がある事は聞いていますが、詳しい事は、良く分かりません。（女性、65～69歳）
- 近所で利用している人がいせんので、話を聞く機会がないのでわかりません。（女性、70～74歳）
- ますます高齢者社会となって行く時代に、果たして、すべり込んでスタートした現在の制度が、うまく行くのか、前からギモンを持っていた。必ずパンクする時が来る。しっかり見直してほしい。本当に必要などころに手が届くように。（女性、65～69歳）
- 新座市に住を持ちながら施設は不便、清瀬に足を向ける。（女性、65～69歳）
- 高齢者福祉の為に社会が活性化しなくなるのは危険。その前に年金生活者から税金をとるという発想が理解できない。（男性、65～69歳）
- 聞くところによるとヘルパーさんの使用状況が制限されているとのこと。（女性、65～69歳）
- 制度発足以来障害があっても自分で努力し、一度も介護を受けていない人には、毎年掛金の半分以上を返還すべきである。（男性、75～79歳）
- 介護保険で訪問サービスを受ける時、あまりにも決まり事が多すぎて、杓子定規で心のこもったサービスとは程遠い感じがいます（特に大手のケアセンター）。もう少し臨機応変に対応してもらえたらありがたいと思います。（女性、90歳以上）
- 介護保険料無くてもいいです（介護保険制度）。（女性、65～69歳）
- 利用出来る者は有効利用すべき。無いより有る方は随分良いがこれを利用し利益だけを忘れられては困る。（男性、85～89歳）
- 出来るだけ家族内での介護ですませ、最後まで自宅で過したいと思っているので、周囲からの協力をぜひお願いしたい。まだ今は必要ないが、どのような手助けをして欲しいかの相談窓口を知っておきたいと思っている。（女性、70～74歳）
- 軽自動車で運送の仕事をしております。身体は元気ですので介護や高齢者福祉など、まだピンとこない。アンケート返答です。（男性、65～69歳）
- 此の制度があって、とても心強いです。頼りにしています。（男性、85～89歳）
- 主人が介護のお世話になっています。病院の支払いも安くてありがたいと思っています。ディサービスも思ったより安くて今は安心して通わせて載っています。（女性、80～84歳）
- 甘えているのか、甘やかされているのか…そういう高齢者も在るような気がする。審査基準があいまいとかよくわからない。（男性、65～69歳）
- 制度があるという事はよいと思います。（女性、70～74歳）
- 7年前母を介護して色々勉強しました。自分自身としては、（1）認知症にならないように、（2）1人で移動できるを心がけていきたいと思っています。（男性、75～79歳）
- いろいろな面で安心して生活できる老後でありたいと思います。（女性、70～74歳）
- 出来れば生涯自分の事は自分でとっておりますが、限りあることですね。これからもっと年若い時このような制度があると思うととても安心です。（女性、70～74歳）
- 現場の状況あれこれ耳にしたり、ラジオ福祉番組をよく聞いているが、自分はしっかりしていると思いが反復してる。日々大切に生きること。（女性、70～74歳）
- 本来の趣旨、所期の目的が充足されているのか疑問。（男性、65～69歳）
- サービスを必要、又は受けた時になるまでは具体的にわからない。（女性、65～69歳）
- 日本における福祉は貧困だと日頃かなり感じている。（女性、75～79歳）
- 週一位にマンションのポストにメモが入っていますが、いつもご苦勞様と感謝しています。ありがとうございます。（女性、75～79歳）
- 今後ともお願い致します。行政の御指導を御願ひ致します。民間は危ないから。（男性、75～79歳）
- 高齢者という枠で差別するような気がする。小使程度でも良いから収入が得られる仕事があればと思う。目標を見つける手段をして欲しい。（男性、70～74歳）
- 介護保険は相互扶助の考えで必要だが介護を必要としない者、収入の少ない者に対して割引制度

を考慮して欲しい。長寿といっても健康年令からみれば、寝たきりも多いから、65才以上本人の希望で安楽死を認めるべき。家族を生かす方が大切。(女性、70~74歳)

- 社会福祉協議会活動の中に無駄な事が多い。内容の見直しを図る事が必要である。(男性、65~69歳)
- 難しい問題や、施設等について良く解らない事があり、この欄では書き切れない。(男性、65~69歳)
- 制度を利用する場合に審査が必要らしいですが、なかなか利用出来ないようです。そのような話を聞きますが、もし介護が必要と思った時にすぐに対応出来なければ心配です。何の為に保険を掛けているのかと思います。(男性、80~84歳)
- 退職後、何もしないでゴロゴロ生活をしている男性が周囲に一杯。その人たちが少しでもボランティア活動してくれたら、介護費用も減少できるはず。まあそれぞれの生き方だから仕方ないか？それにしてもヘルパー達の収入が少なすぎの為、これでは若い人達が介護を目指さなくなってしまう。(男性、70~74歳)
- 私は家で義父母を介護しましたが時代の流れでそれが望めなくなりとても悲しく思う。何年か先の事を考えるととても不安になります。新座市の福祉が少しでも向上出来るように祈るばかりです。私は少しでも人に役立つ事が出来たらと毎日考えています。近所の方の手助けが出来ればしています。(女性、70~74歳)
- 介護保険の係の人も何かとむずかしいところがあるでしょうががんばって下さい。(男性、70~74歳)
- お蔭様で今は必要なく生活しておりますのですが、今後どうなるかわかりませんのでやはり、しっかりとしたもの欲しいと思います。特別資産がありませんのでお世話になるかと思っています。(女性、80~84歳)
- 主人が介護1で福祉の方お世話になっております。(女性、70~74歳)
- 今年で95歳であり歩行も困難になりつつあるので、介護認定を受け、もしもの時のために準備をしておいた方が良く考えている。(女性、90歳以上)
- 介護保険に入ってもなかなか利用できないときいているがなぜなのか？(男性、70~74歳)
- 実際困っている方に手厚くする必要があるのではないですか。(男性、65~69歳)
- 自分が動けなくなった場合家族にあまり負担はかけたくなくなるべく介護保険・高齢者福祉など利用したい。(男性、65~69歳)
- 実家の94才母の事でお聞き下さい。他市でやっている介護デイサービスでお世話になっていました。その時、自宅の方へ電話があった。水も飲まない、食物もはいてしまう、係付けの病院へ行ってほしいとの事。ベットがあいてない。あわてた。こう言う時に、医者様をデイサービスの中にも入ってもらいたいものです。これから介護でお世話に係る人が多くなると思いますが、自分72才、今は元気ですが、先が心配です。人の話によるとサービスの中に医者様が入っているとのこと、先生方どうかいい方向へお願いします。(女性、70~74歳)
- 去年座骨神経痛になった時、高齢者相談センターの人がすぐ手配して下さったので、すぐベッドが来たのでとても助かっています。(女性、75~79歳)
- 制度の成り立ち、仕組み等分からないので、だけど人の話によると特養等、待っていても仲々入れないと聞きます。(女性、70~74歳)
- 介護は一回も利用していないが、将来はあるであろう。だが国保で利用できるようにして貰いたい。また、年金の減額が毎年のようにあり、よって住民税等、不動産税の値下中に考慮してもらいたい。(男性、75~79歳)
- 無駄を省いてやってもらいたい。(男性、65~69歳)
- 要支援1、2はいらない。重い人のみ介護保険適用にしてほしい。掃除、洗い物などサービスを受けていながら海外旅行、国内など私たち元気で働いている人より、年何回出かけている人が多くいる(知人など)。高い保険料を払って、サービスを受けていない人は皆怒ってますよ。又、事業者ケアマネ、自分の所の客をふやしたいから基準を甘くしている。ケアマネは別の組織に分けては？(女性、65~69歳)
- 啓発活動に行政がリーダーシップをもっと発揮し、公民館、保健センター、高齢者相談センター、社協などと連携して実施して欲しい。市民の活動を支援する施策に重点を置くようになると良い。行政のできる事は限られている。高齢者を不良資産としないように！(男性、65~69歳)
- 現在、母も高齢ではありますが、身体的に充実しておりますので、1人で生活しております。ご近所の方も皆さん母の様子を気に掛けて下さりありがたく、また安心して生活を送っています。私の住まいが、少々遠方なので月に1~2回程度、新座に来てはこのような書類の作成や、預貯金管



- 理、支払（保険料や税金等）を行っております。現在は介護保険の利用はしておりませんが、今後  
 お願いする事もあるかと存じます。その節は宜しくお願い致します。また、何分高齢な為、何かご  
 ざいましたらお手数ですが、ご連絡下さいませ。（女性、80～84歳）
- 高所得者からは少し頑張ってもらって、低所得者には、配慮願いたいと思います。（男性、75～79歳）
  - 平等に利用出来るようにしてほしい。（女性、70～74歳）
  - 国や市が本当にやる気があるようには、思えない。個人がなんとかするしかないように思う。必要  
 な時に利用出来ない介護制度にお金を払いたくない。（女性、70～74歳）
  - こういうアンケートの結果を都合のいい結果をつまんで利用してほしくない。質問内容は具体的だ  
 が狭く、新しい発想につながる糸口をさぐる姿勢が感じられない。（男性、65～69歳）
  - 介護が本当に必要な人には大切な介護制度だと思います。役所の人の判断はとても大切だと思いま  
 す。介護保険を使ってヘルパーを頼み仕事に行ってる、又、自分は外出するからヘルパーは休みにした  
 り、それだけ自分で動けるのでしたら、介護保険が使用出来る役所の審査がおかしいと思いま  
 す。もっとしっかりした審査をして下さい。まだまだ介護が必要な人が多くいると思います。  
 （女性、65～69歳）
  - 高齢者専門の医院医師が身近にあったら良いナと思います。ちょっとした事で相談出来るような訪  
 問看護や医師の往診の充実を望みます。（女性、85～89歳）
  - 介護保険がこんなに充実しているので介護手当4級5級1万？いらぬ。ケアマネジャーは長く  
 ても3、4年で担当を変えるべき（10年近く担当していると便宜がはたらく）。いくら介護保険  
 があってもお金が足りなくなる。（女性、65～69歳）
  - 自分たちが利用したいときには高額な利用料金なるのではないかと心配だ。国は財政的に負担をも  
 っとすべきだ。この先高齢者は早く死ねと言わんばかりに思える。（男性、65～69歳）
  - 非常に良い制度だと思います。以前（20～30年前）に比べると格段に良くなっているようです。  
 （男性、65～69歳）
  - 公的な予算をもっと増すべき。個人の負担を少なくしてほしい。（男性、65～69歳）
  - サービスが悪い。たとえば90才以上の元気な方には、お祝い金を上げるとか、病院に通う時の送  
 り迎えをして上げるとか…。私の母をみていていつも思っております。元気なお年寄りに楽しみを  
 与えてほしいと思います。（女性、65～69歳）
  - 要支援1、2が介護保険制度から切り離された場合は、市での充実が必要。予算を適切に配分して  
 ほしい（医療保険がパンクしない為に）。市での充実が必要。予算を適切に配分してほしい。（女  
 性、65～69歳）
  - 介護サービスのお陰で将来、自立困難になった時安心です。（女性、65～69歳）
  - 制度や福祉などもう少し解りやすくしてほしいです。ケアサポート、ケアサービス、ケアプラン（ケ  
 アマネジャーさんを紹介してほしい）、居宅介護（どのように選んだらよいか？）、居宅支援セ  
 ンター、老健、特養、なんとなくわかっているが、よくわからない。（女性、70～74歳）
  - 只今本人リハビリ入院中の為、答えられない所があります。今後、介護サービスを受ける為、ケ  
 アマネさんと一緒にどのようなサービスを受けた方が良いかを考えていきたいと思っておりますので、よろ  
 しくお願い致します。（女性、75～79歳）
  - 補助をする程、人は楽をしたがる。各自もう少し体を動かしてほしい。本当に補助が必要な人のた  
 めに。（男性、75～79歳）
  - 介護は要介護5に当り、施設でお世話になってます。（女性、90歳以上）
  - 高齢者福祉など不平等。（女性、70～74歳）
  - 介護、介助、高齢者福祉をもっと充実を願う。（男性、70～74歳）
  - ◎現在、身体（主にヒザ、関節炎）リハビリを受けて居ますが、お金がなくて受けられない人が居  
 るようです。健康に生きる為に必要であれば、お金の無い人もリハビリが受けられるような社会に  
 して欲しい。◎高齢になって、友人もなく一応身体が健康でリハビリを受ける必要もなく暮しては  
 いるが、友人もなく孤独な生活をしている人の為、市サイドのクラブ（例：囲碁・将棋・マー  
 ジャン等）のような場所が欲しい。人と話をする機会もなく、趣味を生かす場所も友人、知人もなく  
 過している老人も居る。声を出すチャンスがないと、食道が弱くなり、体が弱って来る。（女性、  
 80～84歳）
  - 仕事を辞め、直接社会とのつながりがなくなると、日常は単調となり、自身で決定したり判断したり  
 することなどが少なくなります。そんな私達の指針となり、アドバイザーとしての本制度や高齢

- 者福祉の役割が、いかに大切かを実感しています。一層の充実を期待いたします。（男性、70～74歳）
- もっと税金を投入してほしいです。オリンピックの費用など、本当は老人ホーム等に廻してほしいです。希望する老人が皆入れるようにしてほしい。（女性、65～69歳）
  - 介護に必要な手続きが、かんたんに出来るようにしていただきたいと思います。（男性、70～74歳）
  - きれいごとでなく、ほんまもんの生き方できる手助けなら余命少ない中、ほんま考えるが、介護、福祉などなどユ〜ウ〜ツ。（男性、80～84歳）
  - 私は5年前に両膝関節人工置換です。シルバーカー無しでは歩けません。妹も3月膝人工関節の手術します。御厚志有るならヘルパーさんお願いしたいです。家庭には色々と事情有ります。よろしくお願ひしたいと思います。（女性、85～89歳）
  - 介護保険が自宅でも、病院入院しても一律に使用出来るようにしてほしい。お納めているのですから。（女性、70～74歳）
  - 介護など利用する時はどこに相談するのか全くわかりません。保険料は払っていますが利用の仕方など知らない人がたくさんいると思います。（女性、65～69歳）
  - 認知症以外の身体障害者の方の介護を徹底して頂きたい。（男性、65～69歳）
  - 小学校に給食時、高齢者用の食事室を作れないのでしょうか。孫世代の成長を見ながら散歩も兼ねて学校に行く。小学校はお年寄りにとっても徒歩圏だと思うのですが…。（女性、65～69歳）
  - 介護保険料も利用料も高い。手続き等も複雑だ。（男性、70～74歳）
  - 一、先ず新座市が高齢者を始め市民への健康行政が手厚く感じられ感謝します。一、老人の医療費が福祉財政を圧迫するなか、止むを得ない状況で病院を訪れています。例えば、ある眼科の場合エンドレス治療になると思い自己判断で中止しました。一、質問の介護保険制度及高齢者福祉の概念の理解が不足していて、意見を書けません、健康の定義が身体と心ならば、市が集会時等を利用した（狭小エリアを対象として）イベントを推進されるのはいかがでしょうか。（男性、70～74歳）
  - ヘルパーを週1回利用しているが、1回1時間では時間が短すぎ。1回の利用時間を長くして欲しい。（男性、65～69歳）
  - 経済的に困難な一人暮らしでももっと安心して暮していける高齢者福祉サービスの充実化。（男性、80～84歳）
  - 予想を上回る高齢者社会になるのは間違いない状態にありますので、社会全体で総合的に考えて行く問題に思われます。（男性、65～69歳）
  - 健康な老人にも「お楽しみ」がほしいです（バス旅行でも有料はあたり前です）。今の制度をみていると「早く介護保険制度を利用しなさい」と待ち受けているように見えます。（女性、75～79歳）
  - 今現在、私は健康にしていますが、主人がいろいろとお世話になっています。ケアマネージャーさんは、どんな小さな事でも相談にのって頂いて、とても助かっています。（女性、65～69歳）
  - 小生は現在会社員ですが、働けない人には世界に負けない高福祉社会を造って欲しい。（男性、65～69歳）
  - 本当に困っている人を手当、助けて欲しいと思います。（女性、70～74歳）
  - 中年以降老年期を考えて、行政は予防運動をまたその方法を具体的に実施する制度を早急に検討することが最善の策だと思います。（男性、85～89歳）
  - 現在お世話になっていないので判らないが、いざ！！といった時にすぐに対応して下さるかが不安。どのように相談方法も、必要になった時調べると思います。制度がある事は、ありがたいと思つてます。（女性、70～74歳）
  - 質調査項目・内容からして行政は現在の高齢者福祉・介護制度が不十分だと自覚していると思われる。しかし、その事を真に住民、国民の立場で施策を実施するのではなく、自助に転化しようとしている。国・自治体の考え方、方針は受け入れられない。単なる調査で終るのでなく、住民・国民の期待にこたえられる公務員として自覚し職務を果たして欲しい。人口15万×10%～15%の高齢者人口で、週に1時間半16ヶ所とはあまりにも貧弱ではないか。（男性、70～74歳）
  - 公人はもっと外に出て町や家を見てほしい。（男性、80～84歳）
  - 行政はもっともっと介護保険の門を広げてほしい（金だけ取っていきと言ふ時、余りにも受入れ基準が厳し過ぎる）。（男性、65～69歳）
  - 保険の利用にあたっては制度・手続きや書類などもっと簡単にわかり易くして下さい（年寄がやるのは大変です）。介護認定とサービス利用から施設入所まで手続きや書類など手数がかかりました。

- 家族には大変な負担になります（親族の実例に係って）。（男性、75～79歳）
- 介護保険制度や高齢者福祉についてよく知らないので答えられない、申し訳ありません。（男性、75～79歳）
  - 介護のかかわり方等、個々に状況が違うため、大変むづかしいとは思いますが、その時何を一番望んでいるのかを見極めて生きた介護を望みます。そのために介護保険料を支払っているのではないかと思います。（女性、65～69歳）
  - 歩けない妻を介護しているのでボランティア活動は出来ない。（男性、90歳以上）
  - 困った時にすぐ手をさしのべてくれる制度であって欲しい。（女性、80～84歳）
  - 時間外でのサービスはあるのですか。（女性、65～69歳）
  - 介護保険制度を使用しない生涯を送りたい。常に健康を大切に気をつけた生活を希望したい。（女性、75～79歳）
  - 今はまあまあ健康で家族、ペットの世話を一切引き受け生活をしていますが、先行き何等かで公共機関のお世話が必要となる時に、複雑な面倒な手続きが無くお世話になれますように希望します。（女性、75～79歳）
  - 高齢者の問題は高齢者だけでなく、若年層も近い将来の問題として共に取り組むべきです。若い人の考えは思いもよらぬ発見があるものです。（女性、65～69歳）
  - 介護保険が必要になった時にすぐに利用することが出来ないと聞きましたが、保険料は納めているのですから即利用出来るようにしてほしいと思います。（女性、70～74歳）
  - 介護保険に、国はもっと取り組むべき。生活困難者を切り捨てるのは許せない。（男性、70～74歳）
  - 安倍内閣は介護保険制度を利用しにくくする制度改悪を進めようとしているが、とんでもないことだ。いざという時に利用できる介護保険制度こそ求められている。（男性、65～69歳）
  - いい制度だと思って居ります。（男性、80～84歳）
  - 過去、親の自宅介護経験から自宅介護支援制度の充実を望む（公的な体制・費用について）。（男性、65～69歳）
  - 制度のための仕事ではなく、人の心を暖かくする内容で、対象者に接してほしい。そういう人材を育ててほしい。（女性、75～79歳）
  - 高齢者は自分自身の体は自分で守る努力する事で、高齢者介護を減少し介護費用を節約出来る。日頃の意識が必要ではないでしょうか？（男性、65～69歳）
  - 今度主人が2ヶ月程度入院し退院後、ベッドのリースとかいろいろと改善など有難く思いました。（女性、75～79歳）
  - 本当に必要とされている人達に活用されていますか？自分が必要となった時に本当に活用されるでしょうか？介護保険制度、高齢者福祉とは名目だけの様な気もしますが。（女性、65～69歳）
  - 同居の親家族がいると利用できないのは不公平。（女性、80～84歳）
  - 年金を減額せず福祉を充実して欲しい。（男性、65～69歳）
  - 必要なときに適切に支援してほしい。（女性、80～84歳）
  - 介護を受けるのに手続等が面倒だ。介護を受けたいが他人が家に入られる事が嫌だ。（女性、65～69歳）
  - ご近所で利用した方々は使い難いと言っていました。利用方法がもっと簡単？なら良いのではと思います。（女性、75～79歳）
  - 人は病気になった時の生活不安が大福祉の拡充を。（男性、65～69歳）
  - 膵臓ガンのため去年2月入院9月迄入院。退院を4回繰返して、現在整形外科に左胸腫瘍の為現在通院中。支援センターの方々、訪問介護の方々の暖かい御支援のおかげで此まで頑張って来れました。介護保険及び福祉のお陰で心より感謝して居ります。完治する事があれば私も何かのお役に立ちたいと思います。（女性、80～84歳）
  - 現在同居の母がサービスを受けており、大変助かっているため、今後も引き続きサービスの向上を期待しています。仕事に関わるスタッフのレベルupは進んで来ていると思います。（男性、65～69歳）
  - 現状維持で介護者、介護人を泣かさないように願います。（女性、70～74歳）
  - 現在維持で介護者、介護人を泣かさないう願います。（男性、75～79歳）
  - 矛盾だらけの介護保険制度や高齢者福祉制度はなくても良い。健康で人生を終られるような手助けが出来る制度を作ってほしい。介護保険料を義務づけているなら制度を利用しない人にも、一定以上長生きしてたら年金のような形で支払い活用してもらおう。最後必要になったら制度も利用出来るようにする。（女性、65～69歳）

- 母は、亡くなりましたが、その際、福祉施設に入所させるのに、大変苦勞しました。公的な援助がもっとほしい。(男性、75～79歳)
- 82才の高齡で今迄通りの生活をしているが、介護を受けると云う事の実感が湧かない。いづれ御厄介になると思うが、自分としては自分の事が出来なくなったら終りにしたい。(男性、80～84歳)
- 親が介護保険を使うようになり、助かっているが、高齡者が増加していくと、財政はまかなえないのがはっきりしているように思う。(男性、80～84歳)
- 入院日数が90日を越えると、転院を告げられ、自宅や病院の福祉施設に移る事を強要されるらしい。ならば安樂死を認めて欲しい。(女性、70～74歳)
- この問の答えにはなりません、今後、北野に保育園が出来ますが保育子(仕でしょうか?)の不足がいわれていますが、子供に対する目を多くする意味でも、高齡者の活用があれば「いいなあ」と思っております。(女性、70～74歳)
- 介護保険サービスに余り興味がない。(男性、70～74歳)
- 今の介護度では、今使っている、介護サービスが一杯だ。それ以上に使う場合は、自費になってしまう。ゆとりあるサービスを使いたい。(男性、90歳以上)
- 介護保険を変えないで下さい。(男性、85～89歳)
- ニーズが気軽に満たされるようになると良いのですが。(女性、80～84歳)
- 自助・公助・協助については、自助に力点をおいている。できる限り介護保険といっても、千差万別(世話になりたくありません)。考へさせられるものがあります。(男性、75～79歳)
- 所得が少ないので、妻が介護を受け有りがたいです。(男性、80～84歳)
- 無年金者の今後の支出金は、どうなるのでしょうか。(女性、80～84歳)
- 今は、自分の力で生きていられるが、本当に必要になった時、助けてもらえるのか不安である。(女性、75～79歳)
- 介護保険制度が適正かどうか、いつも気になる。良心的な高齡者施設の増加に期待しています。(女性、65～69歳)
- 介護保険を利用しないでいる保険者には還元して欲しいです。60才のとき知人は、胃ガンの手術後、一度もこの保険を使わずに伴呂の介護で73才まで生き、死に際には2ヶ月位病院で見てもらい亡くなりました。このように長いこと保険料を払っても1度も制度を受けない方っていらっしゃると思います。還してくれたらと低所得者にとっては切実に思います。(女性、65～69歳)
- 介護保険制度は高齡者福祉などは、とてもよい制度だと思っています。私、個人といたしましては故郷の北国へ3ヶ月間保養のために帰っています。それが、健康のために非常によいと思っています。北海道の数ヶ所の土地でそういう受け入れをしているところがあります。日本でもヨーロッパのように夏はヴァカンスを取って、予防医学の研究を進めるべきだと思っています。(女性、80～84歳)
- 全体的に、介護保険制度や高齡者福祉情報が少ないと思う。(男性、70～74歳)
- きめ細かい介護、高齡者福祉をお願いしたいです。(男性、70～74歳)
- 高齡者社会になるので自分の当選ばかりでなく、もっともって議員でいる間に一生懸命福祉の事を考え実行してほしい。議員全体の人達に。(男性、70～74歳)
- 介護をしていらっしゃる方々の給料を上げてほしい。安くて結婚が出来ないと聞きました。(女性、70～74歳)
- 自分の始末が出きない時は、人に(福祉)頼りたくない。(男性、80～84歳)

## (2) 介護保険料

- 高いので利用出来ません。(女性、75～79歳)
- 父の介護で(93才～100才まで)引き続き叔母を100才まで介護をしたが、介護保険を利用させてもらったが、介護保険では適応出来ない費用は、高額に及んだ。金額小生の負担だった。(男性、70～74歳)
- 現在、介護保険制度が始まって以来利用した事は一度もなく、保険料を払っているのに違和感があります。安易に介護保険を利用する事を考えず自分なりに努力をすべきかと思います。(男性、80～84歳)
- 別になし?(保険料が高い)。(男性、65～69歳)
- 私も今年で79才現在健康です(努力してる。食事、散歩ウォーキング、ゴルフ(週1回コース出てる)、介護者も少しでも努力して我々の負担を少なくするようして貰いたい。また高齢者に対しても介護料負担高い!!(男性、75～79歳)
- 介護保険料の負担年代を広げ各人の介護保険料を引き下げる。(男性、70～74歳)
- 年金のみの収入に対し介護保険料が高すぎると思います。現在一切介護サービスを受けていない身にとって不公平感を覚えます。加えて、健康保険+住民税など、生活は圧迫を受けています。(男性、70～74歳)
- 保険料が高い。(男性、75～79歳)
- 介護を受けていないのに介護保険料が高い。年金より他は収入が無い。(男性、80～84歳)
- 生活する事が苦しいのに保険料はとてもしんどいです。(女性、65～69歳)
- 高額過ぎる。(男性、70～74歳)
- 各種保険料が高過ぎて生活が出来なくなる。(男性、75～79歳)
- 介護保険が高いと思います。利用するときの手続きが大変だと聞きましたので、手軽に利用出来るように、お願い致します。(女性、70～74歳)
- 私は会社があるので収入的に困っていませんが、先日役所から年金の支払い証明が来たのを見ますと¥700,000位なのに¥105,000も介護保険を支払った事になっていました。年金暮らしの人は生活出来ないのではと心配しました。(女性、70～74歳)
- 国民年金なので、介護保険料金が高くて不安。(女性、70～74歳)
- 介護サービスは適正に公正に受けられるように検証してほしい。公的年金が減額されているのに保険料が上って生活を圧迫している状態なので、不安を感じている。(女性、70～74歳)
- 介護される人から介護保険を徴収するのはどう見てもおかしい。保険を払うなら自分で病院に通う。(男性、65～69歳)
- 介護保険料の自己負担を安くして欲しい。介護認定の期間を2年間にして欲しい。1人ぐらしの老人の安否確認の制度を強化して欲しい。後期高齢者の保険料が高すぎる。もっと安くして欲しい。(男性、75～79歳)
- 介護保険料を30才からにして下さい。高齢者には記入が多すぎです。(男性、65～69歳)
- 介護保険料が高すぎる。(男性、70～74歳)
- 介護保険等々の年金よりの天引又、病院費等を思うと生活保護を受けたいです。(男性、80～84歳)
- 保険が天引きなのは苦しい(男性、75～79歳)
- 国保は毎月千円(初回は除く)だったので、介護保険料毎月2千円(2ヵ月で4千円)なので、驚いたし、介護保険に65才から加入することを知らなかった。通知が来てわかった。(男性、65～69歳)
- 年金生活者からの税、介護保険を取る事に腹がたつ。以前はなかったはず。年金運用失敗のしわ寄せ。(男性、65～69歳)
- 介護保険料は、年金額(年収)により査定されていますが、金額負担が高いと思います。この先利用するしないとは不明ですが国での負担額も多くして頂きたいと存じます。(女性、65～69歳)
- 介護保険料が高い。医者代2割になったら治療が出来なくなる。(男性、70～74歳)
- 介護保険料が、収入の割合が高すぎるので下げて下さい。(男性、65～69歳)
- 保険料の貯金高を公表すべきです。どのように利用されているか不透明である。(男性、75～79歳)
- 介護受けてる人、受けてない人と色々ですが、5年間位をメドに受けてない人には、戻り金がある制度にしてほしいと思う。(女性、70～74歳)
- 町内に受けている人がいないので、何で高い保険料になるのか分からない。(男性、65～69歳)
- 介護は年齢が高くても、使えない人が多いのは、介護保険を払う必要がないと思います。皆が使えると良いと思います。人によっては、病気の薬が高いのを飲んでいて、年金を使いまくります。もっと高額

- 保険を、見直してください。年齢がかさむと、お金がかかります。（女性、65～69歳）
- 健康保険のように誰でも利用できるなら良いが、今の状況では、お金は払い損だ。（男性、65～69歳）
  - 両者も自己責任でやるのが理想であるが、保険制度は必要であり、そのための保険料支出は当然のことと思います。（男性、70～74歳）
  - 介護費高い。利用できません。（男性、70～74歳）
  - 介護保険料は、85才以上は無料としてほしい。介護担当者は、介護者の目線に立って相談等に当たってほしい。（男性、80～84歳）
  - 高齢者の保険料、介護代が高すぎる。（男性、75～79歳）
  - 保険料が高い。（男性、70～74歳）
  - 年金も少なく保険料が高く、生活が大変です。（女性、70～74歳）
  - 介護保険制度や高齢者福祉について、益々必要としますが、消費税や物の高騰を考えると、年金から差引かれるのは、とても痛く思います。どこから生活を切り詰めていったらよいのか？健康を保つ為にはなど、いろいろ生活の上で考えさせられます。ありがとうございました。（女性、70～74歳）
  - 国民年金で生活するようになるので、介護保険料や、健康保険料は出来るだけ安い金額にしてほしいです。国民年金年額 785,165 円に対介護、国保年額 167,893 円の支払です。せめて両方で総額の 10%程度にしてほしいです。（男性、70～74歳）
  - 介護保険使っていない間は少々、保険料割引してもらいたい。（女性、70～74歳）
  - 介護保険の保険料を出来るだけ安くして欲しい。（男性、80～84歳）
  - 介護保険料、生活保護者は（有料か無料）どちらですか。（男性、70～74歳）
  - 介護保険料は支払っても利用しない内に人生終りそうです。（男性、75～79歳）
  - 介護保険料を年金から差し引かけるとどれだけ支払うのか実感が無いからやめてもらいたい。（女性、70～74歳）
  - 介護保険料が、高過ぎます。少しの年金から引かれる割合を見直して下さい。（女性、65～69歳）
  - 毎年、高い保険料を払っているが、いざと言う時にきちんとしてもらえるのか、今から不安です。払う額は、多過ぎる気がします。（女性、65～69歳）
  - 自宅で介護が出来なくなった時、何年も待つのではなく早い入所ができるよう年金生活の中で払える料金でできれば大変に助かる。（男性、65～69歳）
  - 介護保険料は誕生日から支払いしますが、年金は翌月からなので同月にしてもらいたい。3月24日生で3月分から請求された。（女性、65～69歳）
  - 私は企業の健保組合の特例退職者被保険者で介護保険料も支払っていますが、市の介護保険料も支払っています。なぜ2つの制度に支払う必要があるのですか。（男性、65～69歳）
  - 自分が健康なので介護保険料が高いような気がする。（女性、75～79歳）
  - 介護保険料は、無償にしてほしい。（女性、70～74歳）
  - 格差社会の現出と高齢化社会の進展の中で介護保険（健康保険も）制度を支えきれなくなることを心配している。政府の社会保障費の確保が国民の自己負担費（保険料）を軽くするのは当然のことからである。これが前提であるが、あえて意見を申し上げるならば、サービスと保険料を単なる比例関係でとらえるのではなく、保険料を金だけでなく、将来受けるであろうサービスで払うことができるならば少ない保険料で大きなサービスが含まれることになる。これは有償ボランティアと同じように思えるが、ここで得られた金がどこに向うかは未定。（男性、65～69歳）
  - 特別養護老人施設は年金収入より低所得で半額になって足りない。何年も保険料払ってもいざ利用する段階で利用料が払えず利用出来ない。こんな介護保険制度は詐欺みたいなものだ。今の政府のやることは年金でもどんどん下げる政府が詐欺を働いてどうするか。ひどい。（男性、70～74歳）
  - 「介護保険料」少ない国民年金から引かれ困る。（女性、75～79歳）
  - 介護保険料が高いと思います。年金が少ないので。（女性、65～69歳）
  - 介護してもらっていないのに、引かれる保険が高すぎると思います。（女性、65～69歳）
  - 1度も介護保険を使っていないので、少しでも返金してほしい。（男性、90歳以上）
  - 介護保険がどのように使われているのかを、知りたい。（女性、65～69歳）
  - 後期高齢者保険料が高すぎる思います。（男性、80～84歳）
  - 介護保険はまだ使っていませんが、毎年介護保険料が高くなる事に困っています。（女性、75～79歳）
  - 私のように現在まで病気をした事のない者にとっては、払い損のような感じがします。栄養大学を

- 卒業しましたので食事に注意していますので、病気もしないと思っていますので。皆さんにもテーマとして講習に取り上げてもらいたいです。(女性、70~74歳)
- 収入が無いのに介護保険や国保が高い。高齢者なのに長寿保険が高い。どうなっているのか？定年まで勤めて高い税金を払って来たのに高齢者にまだ保険金を払えと言うのか？(払ってもよいがもっと安くないのか？)(女性、65~69歳)
  - 固定資産のある高齢者は保険料が高すぎる。(男性、80~84歳)
  - 保険料の高さ以外はなし。(女性、75~79歳)
  - 介護保険料が高い金額だと思っています。(女性、70~74歳)
  - 介護保険料が高い(年金より差引の分)。(女性、80~84歳)
  - 年金から介護保険料を引き落さない方法。(男性、75~79歳)
  - 介護保険料が高くて払えない。(男性、70~74歳)
  - 制約の割には料金が安い。(男性、70~74歳)
  - 新座市は介護保険料が高い。一般会計(地方税の徴収分)からも支援すべき。(男性、75~79歳)
  - 現時点で介護の必要はないのに、保険料(それも高額)を払わされている。保険とはそうしたものと思われるが、どうにかならないものか。必要のない期間、減額するとか。(男性、65~69歳)
  - 保険料が高いと思う。(男性、65~69歳)
  - 介護保険が高いと思います。(女性、75~79歳)
  - 介護保険施設に入所している場合国から出ている介護料金までで済むようにして頂きたい。介護料が国から施設に支払われる他に又、家族の負担が20~30万かゝるのが大変だ、その点を見直して欲しい。負担者が高齢の場合例えば75才以下とか80才以上の場合は特に御願いたい。(男性、80~84歳)
  - 国民全体が70才までは保険料を収め、その後は介護保険を利用する人や国、市町村がお世話する制度。年金や、無年金の人からも徴収するのは厳しい。(女性、65~69歳)
  - 収入に対して保険料が高い。(女性、75~79歳)
  - 80歳以上は、無償にして下さい。(男性、80~84歳)
  - 有償も良いが収入が少ない者には利用しにくい。(女性、65~69歳)
  - 介護保険は高い。介護施設は儲けている。給料をupして下さい。(男性、70~74歳)
  - これから老人の人数は急速増えて支払った保険料は自分にとって役に立つと思いません。(男性、65~69歳)
  - 前から介護保険料を納めているのだからいざ使ふ時に、もう少し安く使えるといいなあと思います。(女性、80~84歳)
  - 設問12問3にも記述したが65才以上で保険料率が急に高くなるのは納得出来ない。要介護にならないよう努力している人間に対する処置ではない。小生の場合年金受給者で月1万円以上負担しておりとても納得出来ない。65才以下(年令による差別ではないか。健康状態により保険料率定めるべき。65才以下でも要介護状態の人間はいくらもいる。)の率にすべきである。それだと月5,000円以下で納得出来る。財政赤字は困るので要介護の支払負担を増やして介護サービスの内容も見直すべきである。元々介護保険制度は無かったので原点に帰り整理すべき。(男性、70~74歳)
  - 介護保険料が高くて払えない。(女性、85~89歳)
  - 介護保険を一切使用しなくて死亡した時は、葬儀代位支給してほしい。(男性、75~79歳)
  - お蔭様で今の所自分のことについてすべて出来ています。介護保険料が高く感じています。健康な人々の考えを覚えます。(女性、75~79歳)
  - 介護保険料はちょっと高いと思うが、福祉はもっと充実させて頂きたい。財源の問題を国で何とか考えてほしい。(男性、90歳以上)
  - 介護保険支払っても受ける時、又お金がかかるのは二重で利解出来ない。(女性、70~74歳)
  - 保険料が高い。(男性、70~74歳)
  - 介護を受けようかと考えている人に、ていねいな説明(金額等)をして上げて欲しい。近所の方のお世話をした時、感じました。(女性、70~74歳)
  - 介護保険料金は勝手に差引かないで下さい。お願いします。年金が少なくなって困っています。(女性、85~89歳)
  - 介護保険料は支払(自動引き落とし)で払っており、遺族年金がドカーンと2013年10月より下げられ、80才の高齢になっている私はどう財政を切り盛りしようかと思っています。若かったらアルバイトで

- もと考えますがそれが無理。逃げ場のなさにいら立ちます。考えて下さい。(女性、80～84歳)
- 保険料が高い。介護保険制度を利用していない人に対しては、何らかの措置が必要ではないか(保険料を安くするか、戻すか)。(男性、65～69歳)
  - 現在、介護や福祉について何等の恩恵を受けていないのに、保険料が高いのには不満や抵抗がある。それも年金からの天引きで…。(男性、80～84歳)
  - 介護保険料は高過ぎる。国が負担分を増すべきだ。消費税増税分を全て介護に充るべきだ。(男性、70～74歳)
  - 住民税、健康保険、介護保険などがとても高く、非常に生活しづらい。困っている。(女性、65～69歳)
  - 介護保険料が高いです。(女性、65～69歳)
  - 元気な時は介護保険料が高いと思う。(男性、70～74歳)
  - 介護保険料が高すぎて現在の生活費をかなり切りつめている。福祉予算等の割合を公がもっと支出すべきだ。(男性、65～69歳)
  - 無駄をなくして、少しでも介護保険料を安くしてもらいたい。又、高齢者福祉の充実をお願いしたい。(男性、65～69歳)
  - 介護、健保共に利用の少ない人には割引(保険料)制度を作って欲しい。(男性、75～79歳)
  - 介護保険料が高過ぎる。(女性、75～79歳)
  - 1. 介護保険料が高過ぎる。2. 調査内容があまり多過ぎる。もうちょっと簡略できないか?(男性、75～79歳)
  - 現在支払っている介護保険料より高くないことを希望する。年金は減少気味で収入が少なくなるのに高齢者には、負担にならないよう配慮していただきたい。(女性、75～79歳)
  - 現在は応益負担で一律だが、資産のある人からの応能負担を考えても良いのではないか。(女性、70～74歳)
  - 本当に必要とされている方には手厚くして差し上げてほしいですが、利用しない方には保険料を安くして下さい。利用される方は、もう少し料金を取られて(アップ)その中で生活に余裕のない方には援助を差しのべて下さい。互助会的だけでなく、市の予算を計上して頂きたい。(女性、65～69歳)
  - 介護保険料が高過ぎる。(男性、70～74歳)
  - 介護保険がいくら集まり、どう使われているか、具体的な内容を年に一度公開すべきである。(女性、70～74歳)
  - 保険料が高い。気軽にデイサービス等に参加出来るようになったら良いと思っている。グループホームがもう少し、多くなったら良いと思う。今どの位、あるか分かりませんが。(女性、65～69歳)
  - 夫婦共に高齢家庭である私共にとって介護保険制度は大変有難い制度であると思っておりますが年金以外に収入がなく保険料が上り収入が減っているのが不安の種となっています。国や自治体からの補助を手厚くして頂きたいと思っております。(女性、70～74歳)
  - 介護保険を受ける時の査定条件が厳しすぎて、支払が大変困難になると聞きましたが、介護保険料を納付しているのに実際には自分で費用を出さないとならないように友人から、伺いました。将来的に不安になります。(女性、70～74歳)
  - 介護保険を支払っているがもし介護を受けずに死亡した時は保険料はどうなるのかそこを知りたい。それがうやむやになってしまうのか?家族の元に入るのか、説明をお願い致します。(女性、70～74歳)
  - 保険料は高額収入者から徴収すべきである(年収500万円以上)。従って500万円以下は0とし不足分は国が負担すべきである。(男性、75～79歳)
  - 介護料は国民健康保険料のように利用した人が支払い一定金額以上は補助とかで出してはどうかと思います。介護保険料を支払っていてももし重症になり老人ホーム等に入るのに何百人待ちとか聞くのと?病気と同じように病気の人が入院出来るように介護が重度の人は入れるのが良いのではと思います。(女性、70～74歳)
  - 色々お世話になっています。ありがたいことと思います。費用が上がらないように。(女性、80～84歳)
  - 現介護保険料を半額とし、利用者が何割か負担するというのはどうでしょうか?どの程度の支払い能力があるか、市の方できちんと調べて公平にやって頂きたいと思っております(生活保護を受けている人達、別の事ですが正確な財産査定をして頂けたらと思っております)。(女性、70～74歳)
  - 介護保険料が高く生活していくのに大変です。薬代(ハリなど)がかかり大変です。(女性、75～79歳)
  - 介護保険料が高いです。(女性、70～74歳)
  - 年金が少ないのでお世話になった時の事を考えると心配です。(女性、70～74歳)



- 現在は、介護保険等は利用していない（将来は分からない）が、毎月保険料は天引きされている。その収支状況等をお知らせ頂くとありがたい。（男性、65～69歳）
- 介護保険を必ずとっているのだから掃除や（風呂など）庭の草取りなどの仕事をボランティアでお願いしたいと思います。今私は病気になっていますが自分で出来ますが、80才以上になり大変です。掃除を頼んでいる人の話を聞くと風呂の掃除を頼むとそれだけで外のことはやってくれないそうです。頼んだことを気持ちよくやってくれたら保険料のことも仕方ないと思います。このアンケートはわかりにくいです。どちらに○をつけてよいかわからないところが多いです。（女性、80～84歳）
- 介護保険料が収入に対して非常に高いとしている。（男性、80～84歳）
- 介護保険等の金額が高くて大変です。（男性、80～84歳）
- 現在73才です。介護保険を利用した事がない。（5年以上の人）には保険料の軽減を検討して欲しい。妻は66才で利用したことない。（男性、70～74歳）
- この制度の一部負担のお金が重いです。（女性、65～69歳）
- 高すぎる。（男性、80～84歳）
- 介護の有償高負担化は、必然。しかし、max、負担はどこにするか十分な議論必要。高齢者の医療対象疾病の絞り込み。（男性、75～79歳）
- 経済的な面で介護保険も受けられない。（1割自己負担）認定までの手続きが、難しい。（男性、75～79歳）
- 年金からの天引はやめてほしい。（女性、65～69歳）
- 介護を受けていない人は少し保険料を安くしてほしい。（女性、75～79歳）
- 介護保険は利用度によって料金を決めてほしい。（女性、75～79歳）
- 介護と健康保険等で皆さん大変と思うがこの方病院にいたことなしで自分はあまり関心がない。私には保険料が高いと思う。国民年金ですから、人は必ず死が訪れる。ただそれまで楽しい生活をしたいと思います。6年前妻を事故でなくし、今1人ですが苦しい家計の中で楽しんでいます。（男性、75～79歳）
- 高すぎる年金からの天引はやめてほしい。（男性、65～69歳）
- 利用しない現在、支払が高く感じる。（女性、70～74歳）
- 介護保険料が高く感じている。（女性、70～74歳）
- 現在、91才の義母の介護を在宅でして思っている事。義母の年金から高い介護保険を支払っていますが、サービスが少なすぎます。又、サービスを受けるのに複雑な手続きが必要なため、つつい我慢して過ごすことが多いです。デイサービスなどの施設へもっと自由に入出りできたり介護支援、ヘルパーさんのサービスなどをもっともっと充実してほしいです。（女性、70～74歳）
- 介護保険料が高いので生活が苦しい。（男性、75～79歳）
- 介護保険、後期高齢者保険、高すぎる。生活が苦しい。娘、孫と同居を始めたが、こちらの肩のしかかって来ている。生活がいっぱいである。今現在健康であるが、いつどうなるかと思うと不安です。（女性、75～79歳）
- 介護保険料が高いと感ずる。（男性、75～79歳）
- 年金生活なので、年々介護高齢者年金が上るので困る。介護保険制度等、もう少し身近に知りたい（男性、85～89歳）
- 高齢者福祉といいながら、保険料とられる（高い）のは根本的に改めて。（女性、80～84歳）
- 認定制度など利用しにくい。にもかかわらず、保険料だけ強制徴収している。国の負担が減った分、国民に負担させた制度だ。（男性、65～69歳）
- 保険が天引なのは苦しい。生活出来ない。（女性、75～79歳）
- 1割負担はとても有難く使わせていただきます。（女性、80～84歳）
- ほぼ強制的な徴収のわりには、安い料金で充実した施設の建設等、努力が何えず将来非常に不安です。（女性、70～74歳）
- 今は元気だから思うのか、介護保険料が高い。（男性、70～74歳）
- 保険税を「取りはぐれ」ないように年金から差引くことに腹が立っている（健保は自分で払うように手続き、支払っている）。（男性、75～79歳）
- 保険料（毎月の額）が高い。年金から天引きされる額が多いので生活費が減り生活が苦しい（4月に又年金が減ります（2回目です）。早く死ぬといわんばかりに）。（女性、90歳以上）
- 保険で歯科、内科の薬代、食事代毎月赤字です。（女性、75～79歳）

- 高額年金や高額収入のある方への保険料の%の見直しなどをしてもらいたいと思います。（男性、65～69歳）
- 年金生活者からの介護保険料は高すぎる。現在も年金が減少しており不満である。（男性、70～74歳）
- 後期高齢者保険が高いと思う。（男性、75～79歳）
- 保険料は決して安くない。その割に適用範囲が年々厳しくなり、利用（適用）出来る機会が（適用してもらえる機会）なく、保険料の納付で終る可能性が年々高くなっている。（男性、70～74歳）
- 高過ぎる（生活保護を受けているのに）。毎日の生活が苦しい。（男性、65～69歳）
- 介護保険等受けている人が支払を多くして、受けてない人80才以上の人の保険料は下げしてほしい。収入により保険料は違うようだが受けてない人は少くしてもらいたい。民生委員が去年1度しか来なかったがもう少し来てほしいと思う。（女性、75～79歳）
- 介護保険料が高い、特養のサービスは現在の12にして良いのではないか。（男性、75～79歳）
- 高齢者であっても高収入の人からは、多くの保険料を受けてほしい。（男性、65～69歳）
- 介護保険を利用していない人と保険料を区別すべきだと思う。利用しない人には現在の保険料は高過ぎます。（女性、65～69歳）
- 介護保険料は今支払っているが利用したい時に無年金無収入では利用出来ない。無料でないと困まる。（男性、80～84歳）
- 1年間全く利用しない人には次年時は保険料を安くして貰いたいと思います。（女性、65～69歳）
- 2人とも無収入（月23万のアルバイト料が時々入るのみ）。介護保険料が一番負担です。年金ナシ。（女性、70～74歳）
- 保険料金の不平等な気がする。（女性、65～69歳）
- 保険料を支払っている割に、自分は利用することなく終わるような気がします。頑張れるところ迄頑張りたいので。（女性、65～69歳）
- 昨年6月で仕事をやめ、夫婦の年金のみに頼る生活になったので介護保険サービスを使っていない人は、保険料を安く（半額）してもらいたいと思います。（女性、70～74歳）
- 年金額が少ない所を引かれてしまうと生活ができません。苦しくて、本当に苦しくて、この先心配です。本当に。（女性、75～79歳）
- 高収入の方から保険料を多めに少ない人は低めにする方が良いのでは？（男性、70～74歳）
- 介護保険が高すぎると思います。（女性、75～79歳）
- 先にも記載したが、保険料が高すぎる。健康還付制度など創設し、健康な老人で病院にかゝらない程度に準じ還付すれば、病院行の老人が減るはず。病院が老人サロンになって医療費が増加している。私はその有様を幾度となく見ております。（男性、80～84歳）
- 介護保険サービスを一切受ける必要がないのに保険料を強制的に払うのは不合理（相互扶助なのは解るが）。（男性、65～69歳）
- 国民年金の為、毎月の介護保険の額はきびしい。（女性、65～69歳）
- 介護保険>収入。（男性、70～74歳）
- 高い。（女性、80～84歳）
- 保険料高い。（男性、75～79歳）
- いまだに介護無し（76年間）。介護保険料が高すぎると思う。一生介護必要ナシ。（男性、75～79歳）
- 少々高いと思う。（女性、65～69歳）
- 介護保険用年金から取るのはまずいです。厚生年金・企業年金からでは良くないです。（男性、70～74歳）
- 高齢者であり、又、介護を必要としていないので介護保険料を安くして欲しい。（女性、80～84歳）
- 現在の介護保険料が妥当でも、やや高くなり不安を感じている。（男性、80～84歳）
- 介護保険料が高すぎる。（女性、75～79歳）
- ギリギリで天引きされている者は本当に必要な時仮に500円、1000円（食事代の方を優先する）でも支払い能力なし、利用は不可。保険料とられ損。（男性、65～69歳）
- 保険料が年々高くなっている。介護が必要になった時に等級が高くなると別に支払が多くなるのがきつい。（女性、70～74歳）
- 国民年金しかないのに介護保険は高すぎる。一人になった時が心配です。（女性、70～74歳）
- 利用しないので高い保険料だと思いますが（何れは世話になりますかな？）。介護施設に入り易いようになりませんか？（女性、75～79歳）

- まだ介護保険制度は利用していないためか、安い年金から保険料が引かれることはつらいです。(女性、65～69歳)
- 保険料が高すぎる。低くして。(女性、75～79歳)
- 年金は下がり、消費税は上がり、この先年寄りでは生活が大変です。せめて介護保険は上げないで頂きたい。調査回答の項目が多すぎて、しんどいです(女性、75～79歳)
- とにかく安くしてほしい。(男性、65～69歳)
- 厚生年金で足りないのでは元気な間は仕事をしなければいけないのでなるべく保険料で減らさないともらいたい。(男性、65～69歳)
- 介護保険料や利用料(自己負担)が高いので、なかなか申請出来ない。介護保険料を払っているのに、何の見返りもない。高齢者への親ぼく旅行など企画されるが、旅行に行けない者に対する配慮が殆んどない。民生委員や社協の関係者とは全く接触がない。(男性、80～84歳)
- 介護保険を納めても介護保険施設に、なかなか入所出来ないのはおかしいです。苦しくなく、痛くないようにして頂けただけでいいと思います。延命処置は普通の保険では、必要ないと思いますが、早く楽になりたいです。普通の生活費で入所出来る施設を作ってほしいです。話し合いが必要ですね。(女性、70～74歳)
- 私は74才の現在も現役で第一線で働いていますので、介護してもらったこともないし、したこともありませんが、保険に関しては不満があります。良くわからないうちに保険料を引かれておりますが、内容をもっと良く知りたいと思います。(女性、70～74歳)
- 収入に対しての保険料が高いと感じていますので、その点をもう少しきめ細かく配慮してもらえたらと思います。(女性、80～84歳)
- サービスを受けるにもお金がかかるということが、これから大変な負担だと思います。何をしてもお金が必要なので、利用する上で、母も考えながら生活するようになりました。(娘)(女性、75～79歳)
- 介護保険があることは安心ですが、収入がなくなって年金だけ。その年金も年々低くなっていくのに介護保険は、どんどん高くなる。とても、つらいです。国や、地方でもっと老人の生活を考えてくれるとうれしい安倍政権は、老人は二の次のようです。(女性、75～79歳)
- 介護保険料が1万円弱引かれ、健・保も引かれ、72才でも3割払っているのは納得できない!年金は2ヶ月で14万円なのに、どうやって暮すのか…家賃がないから、いいものの。(女性、70～74歳)
- 少ない年金から(介護保険を)引かれるのは本当に切ないです。介護保険料は使うようになってからの払い込みをさせてもらえたらいいなと考えてますがいかがでしょうか?(女性、65～69歳)
- 毎月の介護保険料が非常に高いと思います。例、月5万の年金で8,000円の保険料。(女性、65～69歳)
- 介護保険料支払っていても、将来福祉施設に入居出来るか心配。(男性、75～79歳)
- 両制度共にいつか必要になるが、高いのでは。(男性、65～69歳)
- 介護保険料は適正に利用されているか?(男性、65～69歳)
- 介護保険料の使い方について。(女性、75～79歳)
- もっと身近な介護をみつけてほしい。介護保険料を支払っているだけでは不満が出ます。成人病にかかっても自分で病院で努力しています。成人病の補助もお願いします。(女性、65～69歳)
- 年金から介護保険料、国民保険を引かないで下さい。(男性、65～69歳)
- 現在厚生年金から自動で引き落とされていますが年金が少なく…これからの事を考えると安くて安心できる介護保険施設が増えてくれるとうれしいと思います。(女性、65～69歳)
- 近所の方が介護保険が高いと云ってますので、その所考えて頂ければ助かります。宜しく願い致します。年金が少ないので考えてしまいます。(女性、70～74歳)
- 介護保険料が高い。それも年金から引かれる。年金からは何%か減額できる制度が欲しい。(男性、65～69歳)
- 介護保険料が高い。(女性、65～69歳)
- 介護が必要なのに保険料が高い。年金生活者にとって年55,000円は苦しい。(男性、75～79歳)
- 介護保険料が正しく使われてるのか、知りえる手だてが無い。不正な事が多すぎて、何も信じられないです。(女性、65～69歳)
- 保険料が高く不満。自分の生活に支障あり。(男性、75～79歳)
- 介護保険制度があっても収入がないので利用できない。福祉があっても利用できる事がわからない。

- とにかく食べるのがやっとで毎日つらい。(男性、75～79歳)
- 年金が少ないのに介護保険料が高い。(女性、80～84歳)
  - 介護利用出来なかった場合は保険料が返金されますか。(男性、75～79歳)
  - 介護保険料があまりにも高額なため、大変です。介護を受ける時にまた現金を支払わなければならない。(男性、75～79歳)
  - 介護保険料毎回支払っています。1回も利用した事が無いです。利用しない分、元気だと喜ぶことですが利用しない分少しでもお祝いして下さい。(女性、75～79歳)
  - これからは年々老々介護となる家庭が多くなって来ると思います。年金とわずかな預金だけで今後の介護保険料、国民健康保険料を払って行くのは大変です。国、市の行政方面で弱者を助ける方法を取って頂きたいと思っています。(女性、75～79歳)
  - すべての知り合いに介護を受けている人が見当たらないのに保険料だけ取られるのは心外。受ける受けないの差をつけて欲しい。(女性、75～79歳)
  - 国民年金から引かれてとても困っている。介護保険を利用すると金がかかるので我慢する。高齢者が少しでも楽な生活になってほしい。(女性、65～69歳)
  - 介護保険の積み立金の何割くらいが、高齢者福祉に使用しているのか不透明です。(男性、65～69歳)
  - 保険料は高くなる一方で、今後いざという段階で助けてもらえるとも思えず(行政を信じる事ができない)意見を書くのも控えたい。(男性、70～74歳)
  - 介護保険、後期高齢者保険高い。もう少し安くして下さい。(女性、75～79歳)
  - 介護保険料金、健康保険料金が、私達無年金には、とても高いので大変です。もっと安くしてほしい。(女性、70～74歳)
  - 自己負担なしが望ましい。(男性、70～74歳)
  - 介護サービスといえど有料なので年金生活者が、本当にサービスを利用したい時に、どの程度利用する事が出来るか不安である。以前高齢者福祉が色々あったようですが今はどのようになっているのかと思う。(女性、70～74歳)
  - 何ごととも税金が高い。無年金なので安くしてほしい。(男性、75～79歳)
  - 保険料が高く生活に不安で、仕方がない。仕事が出来なくなったら生活が出来ない。(男性、65～69歳)
  - 介護保険代が高すぎる。誰に、どの位何の為に使用しているか不明。わかるように知らせるべきだと思います。(男性、65～69歳)
  - 保険料徴収について、年金からの控除は気分的に好まない。(男性、65～69歳)
  - 介護保険が高いです。(女性、65～69歳)
  - 介護も医療も今後どうなるかわからないので、高齢者はさらに高齢になった時のための、準備が必要となり、お金を使わなくなっている。無料にして高齢者に将来の心配がなくなるような社会のシステムが出来れば良いと思う。(男性、75～79歳)
  - 現在、高いと常々思っている。(女性、75～79歳)
  - わずかの年金なのに介護保険値上りするばかりで、本当に腹立ちを覚えます。困りを見ても高齢者ばかりで“高齢者福祉”は心配です。せめて一定区間でもバスの無料バス等を考えて頂けないでしょうか。それか65才以上の一定時間公共施設の使用を無料にするとか…。是非ご検討下さいませ、よろしく願い申し上げます。(女性、65～69歳)
  - 介護保険料の問に対して現在の金額が安い、高い妥当等の返答は、むずかしいのと、先の介護について、充実してほしいのですが金額が高くてやむをえないとは思いません。どの位高くなるのか不安です。(女性、70～74歳)
  - 介護保険料が高すぎる。高齢者福祉等余りわからない、不明点多すぎる。(男性、70～74歳)
  - 後期(1割にして欲した)高齢者医療費医療代を払うのが大変。(男性、70～74歳)
  - なんで年令が高くなるほど保険料が上がるのか、保険の制度は金を取るためなのか面倒見るためなのか。(男性、75～79歳)
  - 馬鹿高い介護保険料。介護必要になる前に予防(例、体のトレーニング)にお金を使う。勿論無料で使い方が方針が間違っているのではないか。(男性、70～74歳)
  - 介護保険料が高い。(男性、70～74歳)
  - 年金の収入に対し介護保険料が高額すぎる。(男性、75～79歳)
  - 自己管理に徹して制度を利用せず頑張っている人への保険料減額。(女性、70～74歳)
  - 自分は今健康であるので介護保険が高いと思うけれど払っているお金が病気の人の方に回るのであ

- るので仕方ないと思う。(女性、75～79歳)
- この先費用がどのくらい掛るか不安です。(女性、85～89歳)
  - 高収入の方からもっと払っていただいたらどうですか。(女性、65～69歳)
  - 今まで利用した事がないので毎月高額を取られているのが不満。(男性、75～79歳)
  - 現在介護保険料が年金生活であっても年々高くなっているのでは。(男性、70～74歳)
  - 長寿高齢化が年々進み、介護保険利用者が増加して行く状況の中で、保険制度発足以来、保険料を支払い厚生年金から強制的に徴収されています。果して私が介護保険を利用する立場になった時、希望通りの介護が受ける事が出来るのか不安です。4月から消費税値上げされ、益々生活が苦しくなる事は必至です。私のように底辺にいる一般国民に解るように年金・保険の収支の全てを年度毎に公表して貰いたい。(男性、80～84歳)
  - 現在支払っている介護保険料が将来自分の役に立つのか不安。(男性、75～79歳)
  - 健保も介護も保険料を支払うだけで損してる感じがする(それは幸せと思っているが)。(女性、70～74歳)
  - 介護料は強制的に支払われるが、介護を使用する時は、規制がかかって何々介護が受けられないと思っています。(女性、65～69歳)
  - 介護保険料が高い、使用しない年は少し減額してほしい。国民年金生活で生活が苦しいので。(女性、70～74歳)
  - 無料にして下さい。(男性、65～69歳)
  - 毎月介護保険引かれていくけど本当に安心してスムーズに介護してもらえるか不安です。(女性、65～69歳)
  - 介護保険料の引下げを望む(男性、70～74歳)
  - 高齢者年金生活を考えて介護保険料を見直しの都度料金の引上げ、サービス面の低下は絶対に避けてほしい。(男性、70～74歳)
  - 介護保険料は払ってもいざ利用しようと思っても、あれはいけないこれはできないと言うような感じがします。(男性、70～74歳)
  - 介護保険料が高すぎる。国の補助をモット入れて下さい。(男性、70～74歳)
  - 頂く年金に対し、介護保険料が高すぎるように思います。月の年金が5万円位で、どのように生活していけばよろしいか、教えて下さい。(女性、70～74歳)
  - 介護保険料が高過ぎる。料額決定の基礎となる所得区分をもっと細分化。実質所得に見合った適正料額を決定すべき。年金から税金を徴収することは“二重どり”である。無料額等これまで決められたことは、安易に変えてはならない。老後の生活設計が崩壊する。歯止めをかけるべき。(男性、65～69歳)
  - 国民年金なので現在介護保険料は支払ってますが、支払いなくなった場合は多分受けることは出来ないと思います。その時は終わりですね(家庭内別居で別々です)。(女性、75～79歳)
  - 年金生活者に対する介護保険料が高いように思う。(男性、65～69歳)
  - お金がないので出して下さい。お願いします。今月生活16万で生活をやっています。(女性、70～74歳)
  - 高収入の方は比例して高く、低収入の方は比例して安く、にして欲しい。(男性、65～69歳)
  - 介護保険が年金から差引かれるのは悲しい気がする。(女性、75～79歳)
  - 介護保険制度や高齢者福祉など私達年齢が取るにつれて、介護保険が高くなるようにお願いします。(女性、75～79歳)
  - 高額な介護料を支払っていますが、はたして本当に自分の為に立つのでしょうか？(女性、65～69歳)
  - 介護保険高齢者に対しての金額をもっと改善してほしい70才以上の交通料金を無料にしてほしい(女性、80～84歳)
  - いろんな状況を見聞して感じることは保険料は強制的に対して行政の対応に不安多あり。(男性、70～74歳)
  - もっともっと低料金で利用出来るよう望みます。(男性、65～69歳)
  - 制度の内容が理解していないまま保険料の支払いをしている状態です。(男性、65～69歳)
  - 介護保険は自分の年金から引かれるので国民年金の私にとっては、とても保険料が高く感じます。(女性、70～74歳)
  - 少しの年金から介護保険を引かれ、制度を利用すればまたお金がかかります。高齢者福祉だ、福祉

だと言うけれど、今の所どうにか元気だから、何の有難さも感じられません。何が福祉なのですか？  
(女性、80～84歳)

- 保険料には問題がある。配偶者が18万円以上の年金を給付されていると世帯主への社会保険料控除が使えなくなってしまう。多くの不具合が含まれたまま、放置されているのは良くない。(男性、70～74歳)
- 年金生活で年金に対して介護保険料がとても高い。将来介護保険を利用すると思うが、高収入の人から徴収してほしい。23年度と24年度と比べて2ヶ月1回年金から5,000円→7,000円に値上してました。年金額は減らされているのにどういふことでしょうか。(女性、65～69歳)
- 介護保険料が高すぎる(年金が少ないので)。(女性、70～74歳)
- 月3万の年金に対して保険料が高すぎます(生活費がなくなり家を売りましたがそれも少なくなります、月1万の保険料は心が痛みます)。会計報告して下さい。余ったら返して下さい。(女性、65～69歳)
- 介護保険料が高い。全て、分かりやすい福祉制度を望みます。(女性、80～84歳)
- 保険料が高い事。(女性、70～74歳)
- 私は国民年金受給者です(自営業)が最近仕事は減少していて収入の割には介護保険料の負担が大で有ります。(男性、70～74歳)
- 自費が多くかかるように見えます。(女性、70～74歳)
- 介護を受けている人が保険料を払うのは、どうかと思う。(男性、65～69歳)
- 介護保険制度を受けなかった人の介護保険税はどこに使われるのか？(男性、65～69歳)
- 母の介護で思ったのですが、何しろお金がかかります。食事介護、デイサービス等介護認定の数字により、毎月の費用がかかり過ぎです。国民年金の範囲内にできないものでしょうか？母も介護保険は払っておりました。(女性、65～69歳)
- 介護保険を払っているのに介護料がかかるのに二重の支払いに感じます。(女性、70～74歳)
- 介護保険料が高過ぎる。私のはやむをえないが低所得者の人のが高過ぎると思う。(男性、75～79歳)
- 年金が少ないのに介護保険など高く残金少ない。生活できないのでパートに行っている。(女性、65～69歳)
- 医療費の自己負担が多額すぎる(3割)。70才～74才まで一割で75才になったと同時に30%は納得できない(こんな無茶な制度はない)。病気で生活が破壊される恐れがある(病院へ行く事が出来なくなる)。(男性、75～79歳)
- 介護保険の料金を安くしてほしい。(女性、70～74歳)
- 介護保険高すぎる。(男性、70～74歳)
- 今は利用していないのでよくわかりませんが、保険料が高いのが気になります。(女性、70～74歳)
- 保険料が高いのに、その時になって使えるのか。(女性、65～69歳)
- 年金が低収入であるのに段階が高くなり、支払い額が高くなる事に納得いかない。もっと老人に安心して住めるやさしい市となって欲しい。自分の老後は大変不安です。(女性、85～89歳)
- 介護保険料は収入に応じて累進制を入れる。また利用時にも所得の多い人は自己負担を増やすと良い。制度に頼り切れない時代が来るので、コミュニティによる助け合いや、子ども～シニアまでが触れ合いともに理解しあえる場づくりが必要と思う。(男性、65～69歳)
- 介護保険料を下げて下さい。年金では暮らせなくなります。年金は日々度に少なくなっている現状をおわかりですか？(女性、65～69歳)
- 介護保険料が年金から引かれると生活が苦しいです。(女性、70～74歳)
- 介護保険が高い。(女性、70～74歳)
- 介護保険が高い。(男性、75～79歳)
- 高齢者の所得税を下げてもらいたい。(男性、80～84歳)
- 安い方がいい。(男性、75～79歳)
- 年金が少ないので保険料を少なくしてもらいたい。収入によって違った方がいいと思います。膝の手術をしたいんだけどお金が…(女性、65～69歳)
- 年金が2ヶ月に1回で少ししかないのに、介護保険の金額が結構多いので、もう少し収入によってことなるといいです。人工透析をやっているので大変。(男性、65～69歳)
- 年金額に対し、介護保険料が高すぎる。(女性、75～79歳)
- 年金生活者にとって社会保険料、介護保険料は有無を云わせぬ高負担だ。今後さらに消費税増だ！

このアンケート e t c が今後の年金者の生活改善に強く反映されることを希望します。（男性、80～84 歳）

- 1割負担は助かるが10割分が不当に高いと思います。（女性、90 歳以上）
- 介護保険料の引き下げを望みます。介護施設への公的援助の増大と内容の充実。利用者さん一人一人の人権が尊重される運営を望みます。（女性、65～69 歳）
- 介護保険制度は年金と考えた金額にしてほしい。年金の金額が安いのに介護保険の金額が高いです。生活に困ります。（女性、70～74 歳）
- 保険金が高い、高い金額を払っているのに、介護の範囲に入れば介護してもらえないのはおかしい。その金を病気や事故の時少しでも使用できるようにしてほしい。（女性、65～69 歳）
- 年金生活では保険料高いです。（男性、70～74 歳）
- 保険料が高すぎです。低所得者の事を考えた事はないようですね。皆さんは高級給料取って我々のような低所得者がいても介護保険は考えなしに引いてしまおうし、自分達が高齢者になっても高級給料取りは、こんな低所得者になる事がないから分からないでしょうね。夫婦二人で月7万でやって（生活）いる人もいる事を知ってほしいですね。（女性、70～74 歳）
- 介護保険制度は必要だが、収入に応じた保険料設定を。（男性、65～69 歳）
- 介護保険料が高いと思う。（女性、85～89 歳）
- 介護保険は今使っていないがお金は高いと思います。（女性、70～74 歳）
- 非常に高いと思いますが？収入の5%位と思いますが現在掛金の110位ではいかがか？（男性、75～79 歳）
- 介護保険料金は高すぎる。何んでも金をかけるのではなく、楽しく過ごせる社会を築く。必要以上に関連業者に配分される資金を自助努力している人に廻すべきと思われる。そうでないと永久に財政負担に頼ることになると推測される。\*自助努力に対し減税をすべきである。\*たかりの社会から建設的社会にすべきと思われる。（男性、75～79 歳）
- 福祉を権利意識で使用する事のないようにしてほしい。出来る人に保険を使うのではなく、健康予防の費用に使い、なるべく保険費用を低くしてほしい。保険料が高く現在の生活に支障をきたす。アンケートの費用も保険代からの支出ですか？どれだけ役に立つのですか？（女性、65～69 歳）
- 介護保険料を支払いしても、実際利用する時は無償で利用出来るのか心配です（決められた日時だけ）。（女性、65～69 歳）
- 年金が少々、保険料が高くと思うのは私だけでしょうか。よくばりかな？（女性、85～89 歳）
- 介護保険を使うと安くなる（一割り）と言われておりますが、利用してみると、昼食代が800円とか、介護費ではありませんが1日行くと2,000円近くになるので、つくづく介護は大変だと思います。私も毎日主人の浣腸をしておりますが…（男性、70～74 歳）
- どちらも、体全体に具合が悪くなってくると使う為に1～10までお金がかかるようになってしまおうので、利用出来ない人の保険は安くして欲しいです。（女性、70～74 歳）
- 私有財産・年収に応じての課税にすべきです。必要な方への福祉としての出費は当然と思います。介護士さんの賃金も考えるべきですし、自分で動ける老人は動くべきです。（男性、65～69 歳）
- 介護保険は、必要だが、年金受給者には高すぎる。超高所得者からは、もっともっと、高くもらっても良いと思う。今はかなり不公平…生活全般に（消費税、所得税 e t c）。（女性、70～74 歳）
- 保険料が高い。（女性、70～74 歳）
- よくわからないが、年金生活なので今以上の保険料は困る。（女性、90 歳以上）
- 介護保険広く浅くて良い（いくらお金があっても足りなくなるでしょう）。（男性、70～74 歳）
- 年金が2ヶ月で80,000 ぐらい、介護保険が7,000 以上払ってます。高すぎです。なんとかして下さい。（女性、75～79 歳）
- 今の収入の割には、保険料が高いので払うのが大変です。（女性、65～69 歳）
- 生活に負担のかからない保険料に押えてほしい。（男性、65～69 歳）
- 高齢者負担が大きすぎる。年金生活者であるから、新座市は他の市町村の比ベ恩恵がなさすぎる。福祉、高齢者対策が不満足である。（男性、75～79 歳）
- 介護保険金安く。（男性、70～74 歳）
- 国民年金の低い収入者には高額すぎる。自分には今、介護の必要がまったくないので不服を感じる時がある。（女性、70～74 歳）
- 年金でも何でもそうですが、長く掛けさせて保険料ばかり上げて、その内に段々条件が悪くなり何

- の意味もなくなり、馬鹿を見るのは国民だけ。(女性、70～74歳)
- 近い将来必要では有るが、保険料が高すぎて家計が大変。収入に比べて高いです。(女性、65～69歳)
  - 介護保険制度は何十年も保険料を払っている人が使わない時、少額でも戻って来るような制度があったらと思います。(女性、70～74歳)
  - 保険料が高い。(男性、75～79歳)
  - 介護保険をまだ使用していない場合は安くしてほしいです。先日、テレビやっておりましたがこれ以上、墓地はいらないと思います。また農作物を作って安心、安全な物を近くのスーパーなどに売って下さい。(女性、70～74歳)
  - 介護保険制度も勝手なもので自分が利用0の今は高く感じ利用する時はありがたく思うのでしょうか。これから先の自分の健康が分からないのが不安です。今は主人78才も0円ですので、他人のために役立っていると思い健康をありがたく考えればいいのでしょうか。福祉施設に入る時スムーズに入れる時が来れば良いと思います。私たちの年代が多いので入る所がなさそうで心配です。(女性、70～74歳)
  - 保険料がもう少し安いといい。(女性、75～79歳)
  - 年を重ねるごとに保険料が本当に高く、毎月生活が大変です。おかしいですね。(女性、75～79歳)
  - 現在支払っている介護保険料があまりにも高く年金生活ではまかなえない為、すこし働いているのにそれに対して保険料が高く何の為に働いているのか分からない。介護を受ける方々をもっとよく調べる必要があると思う。(女性、70～74歳)
  - 介護保険高すぎる。(男性、65～69歳)
  - 高額過ぎる。利用しづらい。(男性、65～69歳)
  - 保険料が収入に対し高すぎる。(男性、65～69歳)
  - 介護保険制度の必要性は理解しているが、現在介護サービスを受けていない立場から見れば保険料負担額は高いという実感は否定できない。(男性、80～84歳)
  - 介護保険料・国民健康保険料が高すぎる。(女性、65～69歳)
  - 高齢者は無料にすべきです。(男性、70～74歳)
  - 保険料に見合った分の介護を受けたい。(男性、70～74歳)
  - 金額的に負担が大き過ぎる。何事も税金ばかりかかり過ぎる。(男性、65～69歳)
  - 現在の介護保険料は年金のみでの生活者にとって高い。\*利用回数の多い人程ランク付して料金(保険料)を個々に設定すべきだと思う!!利用しない人にとっては不公平だと思う!!(男性、65～69歳)
  - 記入者の言葉。介護保険、健康保険等の金額が高くなって来ました。高齢者にとって生活が苦しくなってきました。国・県・市が高齢者福祉にもっと積極的に取り組んで、年寄りの老後の不安を無くし安心な生活が出来るようにして頂き度いです。(男性、75～79歳)
  - 保険料が高い。何の為に年金だかわからない。(男性、65～69歳)
  - 1. 保険料を安く。2. 質と心のある福祉を望みます。(女性、65～69歳)
  - 介護保険料が高い。(女性、65～69歳)
  - 年金の金額でいえば介護保険料が高いと思います。(女性、70～74歳)
  - 介護保険料は高過ぎると思います。(女性、80～84歳)
  - 65才で保険料が、別に来て支払っていますが、この保険を払って何に使えるのか、よくわかりません。今は只払っているだけなので出来れば内容を知りたいです。(女性、65～69歳)
  - 介護保険料が高いと思う。安い年金から6,000円以上を続けて支払ったら残りが、ほんとに厳しい状況です。(女性、65～69歳)
  - 介護保険料が高く負担困難です。国民年金なし。(男性、75～79歳)
  - 年金が少ないので税金・保険料を払うのが大変です。(男性、65～69歳)
  - 介護保険も均等割りにして保険料を安くしてもらいたい。(男性、70～74歳)
  - 年金で慎ましく生活している現状にとって、介護保険料は高過ぎです。(女性、65～69歳)
  - 実際に介護を受ける場合、保険でカバーする範囲と、個人負担分を種類毎に知りたい。(男性、65～69歳)
  - 介護保険制度があり支払っているが、金額が高い。又、利用できるのか思う。(女性、65～69歳)
  - 保険料負担について、もっと公平な割り当を希望します。収入年金200万の人と700万の人と



ほぼ同じ負担割合なのはおかしい。もっと細かい区分をすべきでは。是正を切に望みます。200万位の収入で医療保険料+介護保険料で1割以上の支払となるのは非常に苦しい。せつかく今は自立しているのだから予防の意味からも外出や趣味に使う方に廻したい。医療保険も自費払いになるとしても脱退したいほどです。このような調査についても医療の健康診断時に大まかにデータをとれる方法等、介護保険と医療保険の融合が必要なのではと考えます。対象は同じ。(女性、65~69歳)

○年年金なので収めるのに困っている(女性、80~84歳)

○年金生活者にとって、有償はつらい。国民年金だけで生活するのは大変です。(男性、70~74歳)

### (3) 在宅サービス

- 食事の作れない高齢者には毎日通って作ってあげてもらいたい。それが原因で早死にした人もいる。(男性、70～74歳)
- 主人の介護をして(介護5)7年になります。疲れてきましたがやるしかないですよ(体力とお金がだんだん無くなってきました)。この先どうすれば良いのかと考えてばかりいます。(女性、65～69歳)
- 介護に携わる人の手当を増すなどし、充実した介護が出来るようにして欲しい(重労働や神経を使う仕事のわりには手当が少なく、人手不足では良い介護が困難では?)。そのようなことであれば保険料が高くなって仕方がない。(男性、65～69歳)
- 両親がお世話になりました。ありがたい事でしたが、私共は子供が近くにいないので見舞の回数等が期待出来ないの自宅での介護をしたいです。(女性、65～69歳)
- もう少し介護を、受ける人の身になって介護をしてほしいと思う。アレ駄目、コレ駄目が多いように思う。(女性、70～74歳)
- 現在、毎月2～3回病院に通っています。通院のときタクシーを利用しています。毎月タクシー代が1万円以上かかって、大変困っております。(女性、75～79歳)
- 病院に行く回数が多いので月に3～4回タクシーを利用しています。1回の料金2,000円のところに行くきりで金額が違ってきます。(男性、75～79歳)
- 在宅介護を進めて行くようだが?それを希望すれば家族が、職を失い収入がなくなる。(女性、70～74歳)
- 現在、訪問介護(生活援助のみ)を受けているが、同居者(夫)がいるということで全額負担しています(¥100,000/月)。以前は介護保険の利用で10%のみの負担だったのですが全額は負担が大き過ぎます。せめて50%負担くらいにして欲しいと思います(介護保険料は年間2人で100,000円も支払っています!!)。負担軽減のための救済策があればお知らせ下さい。夫の病気・入院くらいしか方法はないのでしょうか。(女性、65～69歳)
- 介護をするヘルパーの給料が安すぎる。(女性、75～79歳)
- 昨年12月に担当の方が始めて訪問してくれましたが、現在は幸に健康ですとお世話にならず過しておりますが、小生心臓病にて将来が心配、不安になる日が多く、小生のような者を市で(難しいと考えます)把握してもらい、孤独死を防ぐ方法を何か対策を検討していただきたい。ご配慮に感謝致します。有り難うございます。(男性、70～74歳)
- (1) 今後は在宅で生を終える高齢者が増えると考え。在宅での介護をできるだけ可能にするため、在宅介護の人材への報酬を削ることなく、しっかり充実することが大切。(2) ヘルパー派遣事業の充実のみならず、在宅医療の積極的推進、医師による訪問診療、薬剤師、看護師の訪問等を推進していくべきと思う。(女性、75～79歳)
- 夫が要介護5で種々利用させてもらっています(昼間は週5回のデイサービスに通っています)。その介護を娘(昼間に会社勤務)と2人でしています。73才の私には大変苦痛です。何人もの人(医師、訪看ヘルパー)が毎日のように家に入って来ます。対応するだけで苦痛です。ストレスが沢山たまります。頂点に達すると爆発しそうになるこのような時に犯罪が起きるのかな…?と思います。(女性、70～74歳)
- 介護保険制度はあくまで在宅でケアの主は家族という土台の上に乗っているものでこの制度だけで介護の必要な高齢者を支えていくのは難しい。今後ひとり暮らしや家族の協力がほとんど得られない高齢者が増えていくことは必至であり、その人たち(特に要介護度の高い人)を在宅サービスのみで生活させるのは相当困難なものがあると考え。(男性、65～69歳)
- 人をあてにできませんので急病の場合などにお手伝いしてくれる方、パートさんなど介護が福祉から選んで利用できますと心強いです。以前夫が透折している時行く時間、帰りの時間に体調が悪く無理な時(迎えが)介護サービスにお願いしたら、その所に登録して利用していないと無理ですといわれました。毎回は私がしてましたが都合が悪い時だけの方法があったらいいなと思います。昔で言う家政婦さんみたいな所があればと思いました。よろしくお願いします。(女性、70～74歳)
- 食事抜きの短時間デイケアの充実があれば、本人の負担も公的負担も減ると思うのですが。(男性、70～74歳)
- 今日を一生懸命に生きている人も、支援が無ければ無理な事が沢山あるので、支援があつて介護を

- 減じて頂ける事、有難いと感謝しています。少して自宅で生活出来る事は幸せだと想います。（女性、80～84歳）
- 家の改造は必要ないと思います。介護保険を利用している人から料金を。（女性、70～74歳）
  - タクシー割引券があったらいいと思ってます（出掛けるのが不便なのでタクシーを利用しているの  
で）。バス乗り場が遠すぎる。（女性、80～84歳）
  - 自宅で最期まで生活したいと思いますが、役所の方で良い案がおありでしょうか。自宅に医師に往  
診していただくとか。（女性、70～74歳）
  - デイケアに行くにもお金がかかってます。支援は少々ありますが生活が大変です。（男性、75～79  
歳）
  - 訪問介護（リハビリ指導など）がパンフレットなどには紹介されているが、介護事業者は実施して  
いない。コスト面でペイできないのが理由のような対応であったが。これでは何のための制度か。  
怒りをおぼえる。（男性、75～79歳）
  - 妻が要支援1の認定を載きました。急で初めての事なので地域包括支援センターにTELした所、  
介護支援専門員が即来て頂き、市役所への手続きを翌日済ませてもらい、病院への付き添いの私は  
大いに助かりました。急性の病気がやゝ落ち着き、歩行の維持（向上）を計るべく、近間のディサ  
ービスを見学し入所可能曜日を告げましたが、一曜日しか空きがなく、自宅内で歩行練習を続けて  
います。ディサービスの数がほしいです。（男性、75～79歳）
  - 現在週6でリハビリ中送迎バスで大変楽になってる。（男性、70～74歳）
  - たまにケアマネージャーさんの言っている事が耳に入る事があるが、そんなにていねいにしてい  
たらやっていけないとの事。（女性、70～74歳）
  - 以前、居宅サービスヘルパーとして働きましたが、30～40分のタイムオーバーでも残業代も出  
してもらえず、大変失望致しました。（女性、80～84歳）
  - 掃除のため、ヘルパーさんが週1回入っていますので助かっています。草取り、外掃除のヘルパー  
さんが欲しい。（女性、75～79歳）
  - 介護士さんをもっと増加してほしい。今後はもっと必要増が考えられる。（男性、65～69歳）
  - 誰でもグループに入れる環境が必要。本人が拒んでいるのではなく、グループの仲間意識が強いと  
思う。グループに入っても他人様のように思うから入れない。（女性、70～74歳）
  - 要介護5の妻を自宅で介護してます。介護保険制度をフルに利用させて頂き大変有難く思ってます。  
また地区の訪問看護診療、ショートステイ、ディサービス、各種ヘルパーの皆さん、これを総括し  
ている、ケアマネさんには感謝感謝です。（男性、75～79歳）
  - ディサービスはよくしてもらっている。（女性、85～89歳）
  - できる限り自宅で生活したいので訪問診療の医師、訪問介護等の状況について知りたいと思いま  
す。（男性、70～74歳）
  - 86才の母がひとり暮らしで心配なので、利用できるのであれば利用したい。重たい物が持てない、  
床そうじなど出来ない（膝、腰が曲がっている）。仕事の関係で同居できていないので、どうすれ  
ばヘルパーさんとか、利用できるか知りたいです。（女性、85～89歳）
  - 六年ほど前に手（右）を骨折、今だに右手、右小指、薬指、同じ周辺がぎりぎり痛い。字を書く  
時、又、御掃除の時非常に痛い、月一度でも良いので掃除支援を御願い致したい。（女性、70～74  
歳）
  - 安心して、最後まで自宅で過せるシステムの充実を望みます。（女性、70～74歳）
  - 末期がんの夫は、病院での治療はもう何もすることがないと、止むなく在宅介護を受けることにな  
ったが点滴も痛み止の適切な処置もやってもらえず（ケアクリニックからそれなりの話はあったが）  
最後は見るに絶えない壮絶な最後を遂げた。安らかに送ってやれなかったことを悔んでいる。緩和  
ケアの病院にも申し込みをしたが1ヶ月以上待たされ、間に合わなかった。（女性、65～69歳）
  - 現在生活援助は1時間が限度です。上っつらな生活援助ならできるかも知れませんが記録書を記入  
等を含めると利用者様の思っているようなサービスが充分できていません。（女性、70～74歳）
  - 片山3丁目周辺には福祉関係の設備がありません。健康づくりの福祉設備等があれば良いと思いま  
す。（男性、65～69歳）
  - 東京都内にて一人暮らしのご高齢者の孤独死防止事業を始めて6年目になりました。当市も高齢者  
が増加されていますので地域住民の連携グループなど活動出来る支援が必要になって来ると思いま  
す。市報など直接家庭訪問にて届け安否確認など必要と思います。（男性、75～79歳）

- 出来る限り、在宅の状態で長く生きられたらと願っています。そのためには介護保険料も適度に支払いは必要かと思っています。（女性、70～74歳）
- 通院は自転車なので具合が悪い時はタクシーなので利用券があれば良い（自転車は乗れるが足が痛いので歩くことは苦手です）。自宅でどうしても生活ができない時は特養等に入れるようにしてほしい。（女性、70～74歳）
- 通院にタクシー券があれば良いと思う。（男性、75～79歳）
- 主人が大変お世話になっておりますが、ショートステイのあり方に少し考えさせられます。1日ボーッと過ごす事が多く、デイのように運動したり楽しい事はありません。もう少し1日の過ごし方を考えてほしいものです。（女性、65～69歳）
- 同居の母が現在介護認定を受けており、ケアマネさんに時々相談にのっていただいたりしております。先々私もお世話になる時がくると思います。すぐ対応していただいていますので安心です。（女性、65～69歳）
- 訪問ヘルパーをしていて感じることは、介護保険があるために、今までなら無理をしても自分でやっていた（特に家事など）ことまで、この制度に頼り過ぎているように思うことがある。デイサービスなどは良いと思う。（女性、65～69歳）
- 週に1回デイサービスに参加しているが、都合でいけないこともあるので2回にお願いしているが支援1では2回には出来ないとの事であまり進歩していないように思うので2回にしてほしい。歩けなくなると1人では住めないで子供は転勤が多いので一緒には住めない。次男も良くきてくれるが嫁の母親も89才で高齢で1人でのいるので私が買物に行けるように頑張りたい。（女性、80～84歳）
- 将来、介護が必要となった時は、病院や施設で生活するのではなく、介護保険を利用して自宅で生活したいので、24時間利用出来るようにして欲しい。（女性、70～74歳）
- 介護一必要時に即利用できる運営を要望。福祉一80才以上に学校給食を配給、職員並みに費用負担。色々の健康広場には80才以上は、送迎サービスを要望。是非よろしく。（女性、80～84歳）
- 新座市の自立支援をいただき、ありがとうございます。心のケアについて考えてほしい。相性のよくない事業所、ヘルパーのため、精神的につらいことがある。新しい事業所を探すエネルギーはない。週（一時間、2回の）支援ですから、同じ人にしてほしい。週一1時間で別々に家事援助してもらっているが効率が悪い。ヘルパーを変えてもらいたいが、相談するところがない。（女性、80～84歳）
- 要支援1で、部屋の掃除、高い所の荷物の出し入れ等を、頼んでいる。（女性、85～89歳）
- とても親切なケアマネさんで、とても助かっています。今は、家族同居でなんとか出来ていますが、デイサービス等嫌いで家でテレビばかり見えています。囲碁等ボランティアで来てくれたらうれしいです。いろいろ書類が来ますが書き方の詳しい見本を入れてほしいと思っています。（男性、90歳以上）
- 介護の認定は受けたが、夫婦が居る為、何のサポートなし。家族が負担。（女性、90歳以上）
- 心筋梗塞手術により退院時車椅子使用の為「要介護3」の認定により自宅の中に手摺りを階段、トイレ、浴室玄関に取付け家庭内の行動が大変便利となる。介護補助20万円の支給により必要工事が出来たがとても嬉しく感謝しています。有難うございました。（男性、80～84歳）
- 今利用していますが手のとどかない所（高）、腰を低くしなければ出来ない所の掃除にとっても助かっています。（女性、75～79歳）
- 自転車に乗れなくなったので迎えに来てくれる所があったらもう少し出来ると思うけれど、無理な話なのでこのままで良い。（女性、75～79歳）
- 私の今の生活は主人の事で一杯です。でもデイサービス週3日行ってくれてるのでどんなにか助けられているかわかりません。デイサービスに感謝でたえません！本当にありがとうございます。昔にくらべると夢のような時代になって来ています、うれしいです！75才の主婦より！（女性、75～79歳）
- 急な病院（歩くのが不自由）へ車の手配がほしい。タクシーでは高いので。（女性、65～69歳）
- 親の介護（母）で毎日が大変（要介護2）。サポートしてくれない為。（男性、65～69歳）
- 母を介護しています。ショートステイや訪問診療などとてもありがたく利用させていただいています。一日でも長く母を介護する為にも私も健康に気をつけようと思う毎日です。（女性、90歳以上）
- トレマシが10コ以上あるデイサービスが多いといい。（男性、75～79歳）

- 自宅から徒歩で行けるような所、地域包括支援センターを各地域毎に作ってほしい。利用したくても遠くて考えてしまう。(女性、65～69歳)
- 家族はデイサービスを利用したいが、本人が嫌がるため利用していません。せめて週2回位利用したいのですが、ムリヤリというわけにもいきません。家族の負担が少しでも減らせたらうれしいです。(女性、85～89歳)
- 日曜日に法事、結婚式などに出席したいが、本人を1人で置いていけない。日曜日だけ半日ぐらい預けたい。(男性、70～74歳)
- シルバーセンターに頼んで掃除のお手伝いをしてもらっています。在宅医療マッサージを利用。(女性、80～84歳)
- 車いすのレンタルや時々駅まで行ったり病院に行ったりする時に送迎があったらいいと思う。(女性、80～84歳)
- 介護保険制度一業者(ケア・マネージャー、医者、等々)の質が悪い。(男性、75～79歳)
- 現在週2回訪問看護を受けています。(女性、90歳以上)
- デイサービスを週2回利用させてもらっています。曜日が決まっているため、メインの活動内容が固定化されていて、ここ3年半同じことの繰り返しになってしまっています。活動内容の多様化、選択できるような工夫があると助かります。朝の迎え、帰りの時間が利用者家族の利便性も考慮して設定されると助かります。(女性、90歳以上)
- 介護タクシーの料金が、まだまだ高いです。利用しやすい料金の割引が必要と思います。(男性、75～79歳)
- 小規模多機能を利用(5～6回/月)していますが、6万円以上/月負担しています。同様の安いサービスがあれば教えて下さい。タクシー券の配付をお願いします。(女性、85～89歳)
- 私は歩行困難でタクシーの乗り降りに立つのがやっつです。病院と銀行はタクシーですので障害者のようにタクシー券が載けたら有難いと希んでいます。厚かましいお願いですけど。(女性、85～89歳)
- デイサービスにいつてる時にケアマネージャーとのすれ違いで、何ヶ月もの手当をボツにってしまった。ぎりぎりに市役所の窓口で教えてもらって、2ヶ月の書類が間にあって2回分の手当を振り込んでいただきました。うれしかったです。(男性、75～79歳)
- 昨年支援1になって何も利用しないでいました。友人の一言「1でもいろんな支援があるのよ」で今年1月からリハビリのデイサービス始めて、楽しく運動しています。友の言葉かけがなければ、こんなに良い介護があると知らなかった!という思いです。友に感謝と、広報活動の在り方に、もっとと思います。◎ケアマネとか人との関わり方によるのが大きいと考えます!(女性、65～69歳)
- 私の近所でお金がなくて1割負担が出来ないのでデイサービスも受けられない人が居る。生活保護基準ギリギリの方に対しては、保険料を引き下げることや、1割負担を無くしてもらいたいです。そうした方が利用出来るよう、そうした家庭(息子が居るので)を把握し減額免除してやって下さい。(女性、75～79歳)
- 自分たちの年代は姉妹が多かったので、両親の世話は協力しあって自分たちである程度みられたのでデイサービスに行くぐらいの利用だったが、これから先、自分が介護を受けるようになった時、他人に家で面倒をみてもらうことがまだよく気持的に受け入れられていない。(女性、65～69歳)
- 提出が遅くなり申し訳ありません。主人の介護で忙しく、足腰に負担が続き、大変です。昨年、私自身が足の指を骨折したときは、近くの病院に行くにもシルバーさんに頼んで診察券を出しに行ってもらい、タクシーで通院しました。私自身が病気になったらと思うと不安です。重度の障害者を受け入れてくださる施設を充実して(ショートステイができる)増やしていただきたいです。ヘルパーさんの時間を増やしたのですが足りずに、動かしてはいけなかったのですが、私自身で介護と家事をしなければならず、大変でした。(女性、65～69歳)
- 腰の手術狭窄症をやって今は腰と足がしびれと痛みでつらいのですが家の家事一切をやってます。ヘルパーさんも頼めずやっています。お父さんの面倒をみながら。私は今、要支援2ですが、保険給付から外されるとデイサービスにも行かなくなります。変えないで下さい。お願いします。(女性、85～89歳)

#### (4) 施設サービス

- これからは高齢者が気がるに入れるような所が出きれば大変よい事です。国民年金の方でも入れる施設を望む。(男性、75～79歳)
- 老化が進み同居中の娘夫婦に世話になるのも申し訳ないし出来たら老人ホームの安価なところを希みます。(女性、85～89歳)
- 高齢化が進み長生きすることに不安感あり、廻りにこれ以上迷惑かけられない。出来たら特別養護老人ホームに入所出来たらと思います。(男性、85～89歳)
- 2ヶ月前困っていましたが、相談できる人もなく私のように中途半端に生きてると相手にしてもらえない事が良く分かりました。とても悲しかったです。市へもTELをしたし、施設にも聞きましたが悲しかった。お金がないのにホームへも入れずゆきずまりを感じました。(女性、75～79歳)
- 主人が今年の1月5日に他界しました。施設に二年ちょっとお世話になっていましたが、高い熱があっても下げる薬を飲ませてくれないのでちょっと困りました。(女性、75～79歳)
- 特養を便利な場所をお願いします。(男性、70～74歳)
- 一人になり何も出来なくなった時に老人ホームも高額を支払えばあるけれど、それなりの所は一杯だと聞き不安はあります。病院も老人が多く大変なのでしょうが、早く退院させられますので通院出来るようにしなければならぬので、大変だと考えています。(男性、80～84歳)
- 高額有料老人ホームは、すぐに入る事が出来るそうですが、それなりの所は一杯でなかなか入れないと聞いており不安です。一人になった時、介護保険を使わせていたゞいて、出来れば子供達に迷惑を掛けずやれる所まで一人でもやって行こうと思っていますので良い方向に国が、舵取りをして少しでも老人達の不安が無いようにしていただきたいと常々思っています。(女性、70～74歳)
- 今は元気で生活出来ているので考えていませんが、特別養護には入りたい気持ちを持っていますが、今の年金で入れるかどうか心配です。(女性、65～69歳)
- 母が療養型の病院に入院しておりますが、介護保険が適用されず、保険料の支払いはずっと続いています。なぜか理解に苦しみます。(女性、65～69歳)
- 今年で71才になりますが、まだ親がいます。老々介護は、とても大変です。近所に介護施設がたくさん出来るよう願っています。(女性、70～74歳)
- もっと介護施設を作ってください。あと少しで寝たきり状態になる可能性があります。(女性、90歳以上)
- 一人住まいなので、この先、体が不自由になった時、どこか適当なホーム等有ると良いのですが(国民年金なので、金額の折り合いのつくような所)。考えると不安になります。子供達も、目一杯なので自分の始末は自分でしたいと思いますので…(女性、70～74歳)
- 介護保険施設などに入所する時が、いずれはお世話になります。福祉などに事前に相談していた方が良いのかしらと思っています。(女性、75～79歳)
- 特別養護老人ホーム、介護保険施設、何年も待つ事なく入所出来るようになると良いと思います。(女性、70～74歳)
- 国民年金のみの生活者でも入れる老人ホームがほしいです。(女性、70～74歳)
- 身体に不具合が出て、動けなかった時に特養に入りたいと思っていますが、入居待ちにとっても時間がかかるとか聞くし、入居施設も老人人口が多くなって来ているのに一向に進展している様子がなく、将来が心配である。現在83才、私が60才頃に高齢化社会到来の新聞記事で盛んに叫ばれていたのに何の対処もされていない社会(政府)に不安や不満がつのるばかりです。(男性、80～84歳)
- 共働きの娘夫婦には迷惑掛けたくない。利用し易い老人ホームの充実を期待。(男性、80～84歳)
- 家族に介護は大変です。保険で入れる老人ホームを多くさん作っていただきたい。家族共倒れになると大変です。(女性、80～84歳)
- 入所出来るよう(これから老人数多くなる)な老人ホーム等、増やしてほしい。(女性、65～69歳)
- 母は透析5年目です。一人暮らしをヘルパーさんに助けられてましたが、無理になり、施設を探しましたが、透析患者は入れません。高額なら近い市に…。幸い母は主治医に入院させて頂きましたが、弱者は死ぬしかないのか…と。税金で生かして頂いてます。感謝ですが、同じ立場の方々が沢山いると思います。どうか考えて頂きたいと思います。(女性、75～79歳)
- 収入に応じて入所出来る高齢者福祉施設が沢山あるといいですね(入所待ちがないように)。(女性、65～69歳)

- 新座市に出来るだけ特別老人ホームが多くあるといいと思います。一番不安です。（男性、70～74歳）
- 団塊の世代なので、皆が介護保険のお世話になるようになったら、維持できるのだろうかと今から心配しています。高齢者同士で助け合っていたらいいな、そんな施設がほしいなって漠然と思っています。（女性、65～69歳）
- 長期療養型病院には満足しています。義母が入院していましたが金銭的に楽でした。（男性、75～79歳）
- 子供の介護は受けたくないの、最終的には有料老人ホームに入居して、尊厳死を希望している。私の妻も同じ考えです。（男性、75～79歳）
- 非課税所得者で、現在介護施設に入居して所得以上の費用を支払っている場合、介護保険料をゼロにすべきではないでしょうか（もちろん預金のある方は、いいですけども）。高齢化は何十年前からわかっていたのですか。老人ホームの数が少なく、（高額施設は除く）入居するのに4、5年待ちの状態ですね。我々の納めた税金は何に使われたのでしょうか。入居待ちの人々から、そんな話題があります。（男性、70～74歳）
- 女房が特養ホームにお世話になっていますが、個室での料金が高く少々先行不安です。（男性、75～79歳）
- 個人の財産（家屋・土地）や年金の運用をして新しい介護の方法としてもし廃校や余剰土地があったら交換方式で老人ホーム施設入居が出来れば幸いと思う事が有ります。友人との話の中でもこの話に関しては賛同者が多い事に驚きです。（男性、75～79歳）
- 上記制度が利用出来るか不安、保険料のみ取られるような気がする。将来安心して生活出来る施設、誰れでも入れる施設、何時でも入れる施設を市、県、国で考えて頂きたい。（男性、70～74歳）
- （1）保険での介護制限で十分な介護が受けられないことは資金面では理解しているが、誰もが手厚い介護が受けられるような施設を希望する。（2）介護を受ける前に予防プログラム等を充実させることが肝要と考える。（男性、65～69歳）
- ホームへの医者歯医者の訪問治療は余りに多すぎると思う。保険制度の悪用ではないかと思ます。（男性、75～79歳）
- 今家内（介護5）の介護をやっておりますが、体力的（79才）には限界を感じますが、施設に預ける決断出来ないでいます。（男性、75～79歳）
- 特養老人ホームの施設については、将来を見据え増設又充実等を予算面で重点配分する努力をお願いしたい。（男性、70～74歳）
- 特別養護老人ホーム等の介護施設を増設し、希望したら待機せずに即入所出来るような状態にして欲しい。（男性、80～84歳）
- 高齢者施設を増やして欲しい。（男性、65～69歳）
- 高齢者福祉が利用し易く、又その施設が増えるならば、消費税が少々高くなっても仕方がないと思っている。特に特養ホームの増加を切に願います。（女性、75～79歳）
- 公設の老人ホーム・介護施設を充実して希望すれば、すぐに入所出来るようにして欲しい。（男性、75～79歳）
- 介護施設の充実を。（男性、75～79歳）
- 要介護になった場合誰でも入所出来る、特養施設があれば安心。（女性、70～74歳）
- 入居しやすい老人ホームの施設を増やしてほしい。（女性、65～69歳）
- 家族の負担減少の為、「特養老人ホーム」の拡充を望みたい。（男性、70～74歳）
- 特養ホームの充実を望みます。（男性、70～74歳）
- 年金の範囲内で生活出来る有料老人ホームを沢山埼玉県に作って頂きたいと思ます。（女性、80～84歳）
- 高齢者福祉施設として低額で入所出来る特別養護老人ホーム等の介護保険施設の増設を希望致します。（男性、70～74歳）
- 老老介護で困るので、入所したい。（女性、90歳以上）
- 5年前、同居の実母（96才）が長期療養型病院に入院してました。介護施設のみならず医療機関でも有り、安心してお預け出来比較的負担も楽でした。行政・病院に今も感謝して居ります。（女性、75～79歳）
- 72才になり、種々な施設に興味がわいてきました。（女性、70～74歳）

- 有料老人ホームに入っておりますが、新座市の老人の会合とか知りませんので、皆様とお話しをしてみようチャンスがなく、どうしてもテレビをみて1人で部屋におるようです。会合するチャンスを作って欲しいものです。(男性、85~89歳)
- 家族も高齢となり、将来の介護が不安。施設の拡大を望む。入居費用10万位の施設があると安心出来る。(男性、75~79歳)
- 特別養護老人ホームを希望すれば入れるようにして欲しい。(女性、70~74歳)
- 1. 特別養護老人ホームの拡充。2. 入院時の病院から病院のタライ廻しの廃止。3. 要支援者への配慮、きめ細かい支援。(女性、75~79歳)
- もし体が動かなくなった時には、お金がかからない老人ホームに気楽に入れればと思います。施設が少ないと思います。(男性、65~69歳)
- 高齢者福祉(特に一人暮らしの方)の充実が必要と思う。特養ホームの入居がスムーズに出来るとか高齢化時代に向けての工夫が急務と思われる。(男性、70~74歳)
- 施設を増やしてほしい。必要な時に持ち日数がなく、すぐ入所出来るように。(女性、70~74歳)
- 特養ホームを増やす。老後の不安を除く方向で注力してほしい。(男性、65~69歳)
- 夫が老健に入所しているので、大変有難く感じています。(女性、65~69歳)
- 自分でもらう年金の範囲内で入れる、施設が欲しい。(男性、70~74歳)
- 特養が利用できる可能性が益々むずかしくなると思うので、今の住宅(手すり、段差なしに住んでいる)で必要な作業のみ手伝いを望む(将来的に)。(女性、70~74歳)
- 特別養護老人ホームの増設をお願いしたい。非常に遅れていると考える。高齢化は急激に進んでいる。(女性、70~74歳)
- 91才の義母と他に90になるおばを預っています。おばは介護ホームに入所していますが、義母は、一日中家で座っています。外に出たがらない義母をむりにディサービスに行ってもらっています。(女性、65~69歳)
- 公共の介護施設が増えること。(女性、75~79歳)
- 詳しく聞いてみると保険制度が案外利用できる範囲が狭いような感じがする。義母が利用しているが不便が多い。介護施設への入所が困難(混みすぎて)。(男性、65~69歳)
- 何日でも誰れでも入所出来るようにしてほしい。(男性、75~79歳)
- 主人を亡くしたばかり、1人になり今は元気ですが体の具合が悪くなったらと思うと心配ですが娘達には施設に入れて、と言っています。満員で入れないかも知れないと思うと不安です。もっとそういう施設(安く利用出来る)を増やしてほしいです。(女性、65~69歳)
- 介護施設の充実を希望する。(女性、65~69歳)
- 特別養護老人ホームを充実させてほしい。(男性、70~74歳)
- 公営、市営の老人ホーム等にいつでも入居できるような施設の増設をお願いしたい。(男性、80~84歳)
- 必要な人に必要な福祉の手が届くよう祈っています。有料の施設に(私立?)庶民は入れません。(女性、65~69歳)
- 有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅をふやしてほしい。(女性、65~69歳)
- 介護度2、3程度でも、安心して入所できる、特養施設を増やしてほしい。(女性、85~89歳)
- 癌のため胃を全摘出手術をしているため、現在は一人でも生活できているが将来的には介助が必要な時期が来た時高齢者住宅への入居を求めなくてはならなくなるがその時適当な住宅があるのかが少々不安でもある…。(男性、75~79歳)
- 年金以内で、いつでも気軽には入れる老人ホームを増やしてほしい。(女性、65~69歳)
- サ高住等の施設が少ないし、あっても費用がかかりすぎ。もう少し安価にできないのだろうか?(女性、65~69歳)
- 国や地方自治体で特別養護老人ホームの数を増やして下さい。必要がある時には、すぐ受け入れ体制が整っている事が希ましい。安心したい老後が送れるように…。(女性、70~74歳)
- 本当に入居者に対して心から穏やかで最高のホームです。(女性、85~89歳)
- 新座市の介護施設は近隣、他市に比べて、量・質ともに見劣りする。母を介護して思った。自治体の枠を越えて利用することを考えている。新座市でも施設の充実を図ってください。(男性、65~69歳)
- 高齢者の人達が入れるような所を多くしてもらいたい(特別老人ホーム)。(女性、75~79歳)



- 将来、介護が必要になった時に、国民年金のみの人の入居は可能かが心配になります。（女性、65～69歳）
- 散歩や車で出かける時に高齢者受入れ施設（老人ホーム）をみかけますが、いかにもせせこましく、ゆとりがないように思えます。緑がある、こういう所に入れたらと思うような施設が増える事を望みます。（男性、70～74歳）
- 特別養護老人ホームなどもっと増やしてほしい。（女性、75～79歳）
- 介護保険施設を増やしてほしい（年金で入れる位の安さで）。（女性、70～74歳）
- 自宅介護には反対します。介護保険施設の増築を希望します。廃校舎の再利用を提案します。（女性、65～69歳）
- 低年金でも入居出来る施設を多くお願いしたい（大変でしょうが）。（女性、75～79歳）
- 今は動けるが、子供達に心配をかけないため、特別養護老人ホームに入居するにはどのようにしたら良いか、知りたい。（女性、75～79歳）
- 現在90才の母の介護をしておりますので、自分自身は出来るだけ身内の負担にならないように気をつけようと、日々思います。母は介護施設に入居しておりますので何かとお世話を受けております。義母を93才で昨年看取り老後の我が道を考える昨今です。（女性、85～89歳）
- 子供や身寄りのない老人の終末ケアハウスが今住んでいる近くに有ると嬉しいが。と虫の良い事を思います。（女性、75～79歳）
- 今後、介護、介助が必要になった時、特別養護老人ホーム等に順番を待たなくても入所出来るように数を増やして欲しいです。（女性、70～74歳）
- 1. 介護施設の拡充を急いでほしい。2. 高齢者向け軽スポーツジムを増やしてほしい。（男性、75～79歳）
- 特老など施設への入所希望者の待機組を無くしていただきたい。とくに重度障害者の待機組を無くしてほしい。（女性、70～74歳）
- いづれ介護保険を使うようになると思いますが、介護してくれる人がおりません時、施設に入れるようにして頂く事を願っております。（男性、75～79歳）
- 両膝人口関節で身障者3級ですが、なるべく人様のお世話にならないよう水泳趣味に励んで居りますが、いづれはお世話になる事と思います。その時に色んな種類のホームが沢山出来るよう願っております。（女性、75～79歳）
- 年金の少ない高齢者が入所できる福祉センターをお願いします。（女性、70～74歳）
- 特別養護老人ホームから要介護1、2を外す方向と聞いている。今でも待機の方が沢山いるというのにとんでもないことだ。高齢化社会を迎えているので、必要とされている人が安心して、ホームに入所出来るようにすべきです。ホームをもっと増やしてほしい。（男性、70～74歳）
- 介護施設の不足が近い将来に更に進むであろう（安心できる環境を早く作ってほしい）。（男性、65～69歳）
- 将来養護老人ホームに入居する場合、なるべく早く入所できるような社会になれば良いと思う（少子化問題、なるべく子供に迷惑かからない）。（女性、70～74歳）
- 市町村の特別養護老人ホームの新しい施設が多くあればいいと思います。高い有料のホームに入れない人がたくさんいて、家庭の負担になっている人が多いと思います。若い人の負担を少なくして、あげればいいと思います。（男性、70～74歳）
- 母（103才）が東京都の老健に入所しているが、この経過を行政として客観的に評価して戴きたいと考えています。（男性、80～84歳）
- 今現在は比較的元気にやっておりますが、いざとなった時どうなるのか心配。介護施設など充実して戴き、希望する時に入所出来る事を希望致します。（女性、65～69歳）
- 介護保険施設から特養施設に入所できる迄時間がかかり過ぎ。たらいまわしは介護に関わる家族が疲れてしまう。施設の良し悪しの差があり過ぎる、対応が。（女性、90歳以上）
- 別居の高齢（98才）の親がいますが特養に入れず老健を転々と移っています。本人もその都度不安な気持です。もう少し年寄りにやさしい福祉をお願いします。（女性、70～74歳）
- 「特養ホームに入れない」と良く耳にするのが何故？（男性、70～74歳）
- 今歯の治療中で、それが終われば白内障の手術をして貰えば、どこか有料のホームに入りたいと思って居ります。（女性、80～84歳）
- 独居老人になるので将来的には高齢者向けの住宅入居も視野に入れているが、経済的に難しいと思

- っている。蓄えがなく、年金だけの人でも入居出来る。ある程度設備の整った施設が増えれば良いと思っています。(女性、70~74歳)
- 自分のことが出来なくなったら(85才位)せめて厚生年金で入所出来る施設があれば、気持ちに余裕ができそうです。(女性、70~74歳)
  - 年金で入れる老人ホームがたくさんあればいいと思います。(女性、75~79歳)
  - 今は元気であるが、介護が必要となった時、施設がもっと充実してくれればよいと思っている。(男性、80~84歳)
  - 思いがけない病気になっても安心して、過ごせる介護迄、老人施設を作ってほしい。家族もみんな健康とは限りません。介護が心配です。(女性、70~74歳)
  - 私の家内は現在、施設入所しています。私も86才で最近、足腰が痛いので散歩も、適当に歩いてます。自動車は去年3月迄乗って居ましたが、やめました。今は自転車に乗って居ります。(男性、85~89歳)
  - 特別養護老人ホームに入りづらい、時間がかかりすぎ。国民年金が304,080円、3万ぐらいなのに介護保険が28,636円ちょっと大変です。(女性、90歳以上)
  - 現在、家内が老人ホームに入所しております。大変助かっています。近に別居の娘がいますので、いつも世話を受けています。高齢といってもできる事は一切やっていますが、耳の不自由が一番こたえています。(男性、90歳以上)
  - 介護保険施設を作ってほしいです。(女性、70~74歳)
  - 特養ホームの利用料が高すぎる。年金で充分生活出来るようにしてほしい。(女性、70~74歳)
  - 介護施設に入りたい時に申し込んでも無理と考えている。市は増設するように計画されたく。(男性、85~89歳)
  - 介護保険を支払っていても介護やホームへの入所がなかなか出来ないと聞きますが担当者の判断に左右されるのですか？(男性、70~74歳)
  - 在宅介護・介助生活が難しくなった場合等適時安心して利用できる介護保険施設の更なる拡充を望む。(男性、70~74歳)
  - 今後高齢化が進むばかりで、介護施設も出来ているが高価な所が多く、入居出来る人も限られている状況にある。年をとっても安らかに過せる場所を作る事が大切ではないかと思えます。例として、田舎の活性化をはかる為、地方に大きなホームを安い料金で作るとか、そうすれば雇用も増しお互いの為になるのではないか、また廃居になりつつあるニュータウン等を改善してホームに造りかえるとかしてはどうかと思えますが。少子化で在宅介護はムリのような状況です。(女性、80~84歳)
  - 必要な時に入所したいと思うが、なかなか入所出来ないと聞き不安です。(男性、65~69歳)
  - 市の介護老人ホーム等をもっと作って欲しいです。(女性、70~74歳)
  - 老後の病気は誰にでも味わねばならない。だから施設に入れて死亡するまで置いて貰えれば最高。(女性、90歳以上)
  - 誰でも簡単で安く入居できる、老人施設をもっと建設してほしいと思います。(女性、65~69歳)
  - 私はいまのところ主人の介護で大丈夫ですが、いざ一人になった時やはり施設に入りたいと思いますので、是非老人施設の拡大をお願いします。(女性、70~74歳)
  - 設問12の間4について今後の体の状態で、1. できる限り自宅の生活、2. 特別養護老人ホーム、3. 安ければ良いが有料老人ホームやサービス付きの高齢者住宅を希望します。問題は施設が少ないと困るのです。(男性、80~84歳)
  - まだ現実にわかりませんが福祉施設等がもう少し増えるといいですネ。(女性、70~74歳)
  - 介護施設に入所したい時にどの程度の自分かわからない。(男性、75~79歳)
  - 「特養」利用につき待ち期間を短縮して欲しい。(男性、70~74歳)
  - 有料老人ホームに入居したいが年金では入れないので(男性、65~69歳)
  - 市内に特別優良老人介護センター希望。(男性、75~79歳)
  - 高齢者が多くなる時、大変必要なことと思えます。出来るだけ家事・買物等体を動かし、自分で自分自身のことが出来なくなった場合、年金で施設を利用出来ることを望みます。(女性、80~84歳)
  - 特別養護老人ホームの看取りケアを希望、(最後までホームでの看取りケアを希望)。特別養護老人ホームをもっとたくさん作って欲しい。有料老人ホームは年金生活の人はとても高く入れません。(女性、70~74歳)
  - 不便で静かな所。奥でゆううつになります。お金がない人は仕方ないですか。心が暗くなる所です

- けど、慣れれば、施設に入れてありがとうございます。（女性、75～79歳）
- 主人の介護を私ができればよいのですが（施設入所）、私もいくつもの病気をもっていて介護ができないのが残念です。介護費又医療費もかかるので今は家計が大変です。（女性、75～79歳）
  - 保険適用の老人ホーム施設の増設やら介護者の給料を上げる質を上げる教育など必要。（女性、70～74歳）
  - 高額な年金をもらっていないなくても、いざという時に入所できる、特別養護老人ホームのような施設を増やしてほしい。（女性、65～69歳）
  - 年金での生活が大変な状況なので特養老人ホーム的な所が数多く増える事が老人にとってとてもありがたいと考えます。お互いに老人同士だと気を使う事も少なく実際には分りませんが、それもありかと考えます。（男性、70～74歳）
  - 特養などの施設は減らさず、増やしてほしい。（女性、80～84歳）
  - 介護施設を新しく建てるために、高額な助成金を支出することなどはやめて、既存の国や自治体にある遊休資産や廃校した学校等を省庁を横断して施設を見直し、有効な利用を進めて、介護保険の有効な利用をするように努めるべきである。（男性、70～74歳）
  - 主人は今施設での生活を送って居りますが、介護保険のおかげで負担10%ですが、居住費1日2,900円、食事1,800円、日用品費1日400円、等々の利用料金計172,250円と請求が来ます。何とかならないでしょうか？（女性、75～79歳）
  - （1）施設を増やすことは必要なことだが、千葉県であったような虐待が起こらないように、従業員（介護士）の教育をきちんとすることが重要である。そのために、（2）県や市に看護学校が置かれているが、それと同じように介護士を育てる公立の専門学校を作って、質の確保を図るべきである。（男性、70～74歳）
  - これから先が不安です。安い老人ホームがあれば（老人シェアハウスみたいなもの）に入りたいです。（女性、65～69歳）
  - 特養に必要な時にスグに入居出来るようになると有難い。（女性、80～84歳）
  - 特養介護施設が少ない。（女性、75～79歳）
  - 特別養護老人ホームを待たずにスグ入所出来るようになれば安心です。（女性、65～69歳）
  - 将来、体が不自由になった時、年金等で入居出来る老人ホームがもっと必要です。（女性、70～74歳）
  - 野寺4丁目内に介護ホームがないこともあります。老人も多いのでホームお願いします。（女性、70～74歳）
  - グループホームに入居している為、生活様子の記入がむずかしいです。ケアマネージャーやスタッフの方との会話から、毎週面会している様子で分かる範囲での記入です。宜しくお願いします。（女性、90歳以上）
  - 低所得者層に対する高齢者施設が少ない（養護施設）。（男性、75～79歳）
  - 将来、民間の高齢者福祉施設に入所したくても高額で難しいので、安価で入所出来る施設を作りたいと希望します。（女性、75～79歳）
  - 自分の家で奥さんと2人ががんばっていても病院に入れたい。払っているのに入れない。だれでも困るようになったらスグ入れるようになれば有難い。家族の人が倒れたり、ウツにならないようなホームがもっと出来る事、祈っています。人事でない。（女性、75～79歳）
  - 現在の介護施設の状況や今後の高齢者状況に対する方向性又、認知症予防法と情報の通知を希望します。（男性、75～79歳）
  - 特養などももう少し入所しやすい施設を増やしてほしい。（女性、65～69歳）
  - 各種施策は既に実行されているべき段階にあり（例えば特養老人ホーム不足）、優先順位を明確にした対応が望まれます。また、高齢者問題は若い世代の問題でもあり、連動した対策も必要です（例えば、待期児童問題の解消）。その他、高齢者の病気予防、健康づくりキャンペーンをしての日常的講座開設等、他の自治体や海外例の成功パターンを積極的に取り入れ、“先進黨行政新座市”を目指して、志と知恵と熱気に溢れる新座市行政を発揮し、他の自治体の範であってほしいと願っています。（男性、65～69歳）
  - 行政は市民の財産と生命の安全を守るのが基本である。それなのに市長は特養は作らない、保育園を作らない。来るか来ないかわからない12号線、大和田の開発等には税金を使う。こんな逆立ちの政治はありえない。（男性、70～74歳）

- 介護保険施設では家計的に苦しい方々も多く、特養を望む人達の入所が難しい。待ち期間が長期過ぎ、特養施設が少ないと言う嘆きの声をよく聞く（ボランティア活動の中で!!）。（男性、70～74歳）
- 高齢化社会の中、在宅介護できない人も多い中、もっと介護施設を増して欲しい。ニュースでの介護士の質の低下（老人に対するいじめ）をよく聞く。もっと資格を持ってすぐ実践ではなく、しっかり研修して取り組んでもらいたい。楽しく過せる施設も沢山ありますが…。これから自分もだんだん高齢になりますので、不安です。（女性、65～69歳）
- 自分が病気になった時の介護施設をもっとふやしてほしい。今元気ですが先が不安です。（女性、70～74歳）
- 特別養護老人ホーム等や介護保険施設をもっと増して入所しやすくしてほしい。私達年金の少ない人は今の有料老人ホームに入る事は高く考えられない。子供達も自分達の生活のためあてに出来ない。（女性、80～84歳）
- 国民年金で入居できる施設を増やしてほしい。（女性、65～69歳）
- 介護が必要になった時すぐに入れる施設がほしい。（女性、75～79歳）
- 現状では無理な事ですけど、私の理想像としては丁目ごとに福祉の施設が有り、具合が悪くなったら待ち時間なしで自然に入れるような場所が出来ると安心して生活が出来ると思います。地域があれば時々家族も来られますし、どちらか先に入るとしてもルールが引いてあれば心配も少しは楽になると思います。（女性、65～69歳）
- 今、1人でも生活できてますが、将来のことが心配です。特別養護老人ホームの入所待ちがなければいいなと思ってますが…。（女性、65～69歳）

## (5) 介護予防

- 運動施設を充実させてもらいたい（機器を含む）。（男性、75～79歳）
- 新座市以外の老人センターを利用出来るようにお願いします（他市の老人センターなら自転車で利用出来たから）。（女性、70～74歳）
- 高い金額の介護保険料を収めているのだから、介護を受けずに健康に暮している人には「健康だったで賞」等の企画があっても良いのではないかと思います。（男性、70～74歳）
- 高齢者も無理のない仕事、スポーツ、旅行、趣味等を生かし、医師と連絡を取り快適な生活を楽しんでいけたら良いなと思います。（女性、80～84歳）
- 介護保険を使用していない人へ（1年間）少しばかりでもいいから（例えば500円位の図書券）記念（健康で過ごした）品を出したらどうか？（女性、70～74歳）
- 市民が介護が必要でない人を増やす事、認知症予防に蛋白質を毎日とる。寝たきりにならない為に、散歩や家事を手伝わす。老化予防に血管を若返らす。筋肉は年令に関係なく使えばふえる。脳も使う程よく成る。施設に入っている人に散歩をさせて、自立して家に帰れるように市がやればお金も出す必要がなくなる。（女性、70～74歳）
- 突発は別にして介護に成る前に、自分で注意しているが、行政もその前に注意し呼びかけるべきと思う。（男性、70～74歳）
- 若い頃から正しい姿勢や歩き方、食生活等に気を配り、生活していれば、高齢になった時役立つと思います（努力していない方が多いと思います）。医療費も少なくなると思います。（女性、65～69歳）
- 現在健康なので設問を身近に感じないのですが、市で長寿支援を色々として下さる事に感謝します。（男性、70～74歳）
- 特に無いです。要請事項スポーツジム会費の市の補助して下さい。（男性、75～79歳）
- 病気の原因はストレスや体重増加がおおいに関係している。其の他色々有るが私65才になり突然、心筋梗塞、脳梗塞で心肺停止を経験した。運動教室充実や、病気についての説明、予防、皆が参加しやすくして欲しい。ガンになる人が多い。親戚、知人5人が、この所3ヶ月位に手術をしました。（女性、70～74歳）
- シルバ人材センターの地区役員（ボランティア的活動要素多し）を8年強勤め、目下、休眠、休養中（病氣療養中）の身だが、定年退職後の御同輩は家の中でのゴロ寝か。奥方の買物の付け人役だけか趣味也と称する人が多い事を痛感する。当該設問8 e t cへの加入促進更なる啓蒙が必要と考えます。（男性、70～74歳）
- 現在、他市のプールで歩いたりしていますが、体にとっても良いと思いますが残念ながら新座市にはありません。介護予防にもなると思いますので、市でいくらかの補助をしていただければありがたいと思っています。にいざ元気アップ広場が家の近くで出来ればとても良い事ですね。（女性、65～69歳）
- 私もいつか、お世話になるかもしれないので、保険制度はいいと思いますが、周りの人達の意見を聞いていますと、若い頃に老後がある程度意識した生活をせずにいざ70才過ぎて国は何もしてくれない、市は何もしてくれないと…。自分のまいた種に少しでも実がなるような、そういう意識を50代～60代の人達に望みますし、保険を受けている方達もそれなりの自己反省を望みます。（女性、70～74歳）
- 出来だけ自分で頑張る工夫をして生きたい。（介護）制度、福祉は最後まで少なくしたい頑張る。（男性、70～74歳）
- やはり男は仕事をして社会とつながっていたい。今このようなことで地域で困っています、という情報をオープンにして知ることできれば。仕事がいちばんの活力、薬になるような気がします。誰がどう困っているか、それをまとめる形を創ってほしい。現状がまったくわからない。自分も老いて倒れるまでは助ける方にまわりたいのですが。（男性、65～69歳）
- 80才以上となると体力の衰えがあり、如何にして現状維持するか努力しております。私の場合は近所のスイミングにて水中歩行しております。睡眠に関しての項目がありませんでしたが、私は十数年前より眠剤と安定剤を、医者にて服用しております。（女性、80～84歳）
- 健康が一番健康に良いことは自分なりに考え取り入れている。そのため本等もよく読むことにしている。食事のことも栄養指導を受けて添加物の少ない物で料理している。食事には特に気をつけて

- います。(女性、75～79歳)
- 80才以上になっても介護保険を使用しない高齢者に対し、何らかの、恩典があっても良いのではないかと思います。(男性、85～89歳)
  - 全く動けない状態になった時考えています。極力世話にならないように努力したい。高齢者になっても不安を感じない社会になってほしいです。(女性、70～74歳)
  - 若い頃から健康管理に意識させるべきだと思います。(男性、70～74歳)
  - 現在は幸いな事に、不自由は感じていませんが、今後介助、介護をお願いする事が有りましたら、いろいろな事でお世話になれることが判り安心いたしました。「にいぎ元気アップ広場」にはぜひ参加したいと思っています。(女性、70～74歳)
  - 自分で努力して病院の世話にならないように気をつけている方と、身勝手な生活をしている方と、同じ土俵の上において相互扶助という介護保険制度は、最初から反対です。それより病気にならないように、予防の法(方)に力を入れた方が良いと思います。ここ数年、このようなアンケートを取って返事を頂いておりますが、必要ありません。もったいないです。(女性、65～69歳)
  - 事前予防が必要であり、ホームドクターを選び、(みつけ)ドクター指導も予防指導を中心とすることが必要。「薬を貰いに行く処が医者」ではない為。「病気になったら行く処が医者」ではない為。(男性、70～74歳)
  - テレビで良く見る、脳と体操、関連したものが、自分の近くで気軽に出席したい。(女性、70～74歳)
  - 高齢者もなるべく医者にかからず日々自分で体力維持するよう心がけてほしい。(女性、65～69歳)
  - 1) 要支援1、2、が介護予防には不可欠、ただし保険料金額は所得に応じて引き上げてよい。  
2) 有料ボランティアで対応すると考えることには賛成しない。(女性、75～79歳)
  - 介護を受けないように、健康維持、体力維持、交流の場は大切だと日頃思っています。(女性、65～69歳)
  - 高齢者福祉施設(いきいき広場)を1年前から利用しています。皆さん和気あいあいと楽しんでいきます。(女性、75～79歳)
  - 自己管理をし介護の世話にならぬよう生活する。(男性、65～69歳)
  - 上記政策は大変有効なことと思いますが、出来る限り制度を利用しないように日頃から健康に留意すべきで、日常生活の指導などの教育を進める必要を強く感じます。(男性、85～89歳)
  - 公的負担でどこまで面倒を見るか、自己負担との兼ね合いをどうするか、自己負担で予防に努力している人と、酒、タバコ、好き勝手やり放題で病気になった人を同じ負担にするのは非常に不合理だ。スポーツジムに通っているが、補助金を出しても良いのではないか。(男性、65～69歳)
  - 新座市の良く手当等に感謝している。今は運動に週2回参加して元気になったので、続けて行きたいと思っている。(女性、90歳以上)
  - 「生き生き広場」は管理人がいて、とても安心して通うことができ、有効に感じます。なにより安全、安心をを期待して生活しています。又、近いのもとてもよいです。(男性、70～74歳)
  - 現在ほとんど新座市げんきの里に行っており、ほんとうに助かります。色々な行事等をやって下さり、所長さん、職員さん皆様良くやって下さり感謝しております。(女性、70～74歳)
  - 寝たきりになる前にムリヤリでも本人の体を動かすよう仕向けるべきと思う。お節介、手助けをしないで当人にやらせるべき。「因果応報」の悪因苦果を説くと意外と分かりやすいし、諦めもつくと思うのですが…(男性、70～74歳)
  - 元気な高齢者に対するシステムが欲しい。(男性、65～69歳)
  - 外出可能でありながら引きこもりの人を何とか外に出られる何か良い企画があればと思っています。(女性、65～69歳)
  - 現在、卓球やマレットゴルフをしています、老人が運動できる場所を作って親睦と筋肉をつけるようにした方がよい(女性、65～69歳)
  - 市民大学の通年実施を希望。(男性、75～79歳)
  - 公民館へカルチャーに通っていますが、公共のバスにも高齢者の割引が少しでもあれば助かります。市によってはTAXにも高齢者の割引があるそうですが、うらやましいです。(女性、80～84歳)
  - (1) 自分の出来ることは自分で行き、ボランティアで貯みあげた費用を使いながら出来る限り生活したい。その後は制度を使うことになると思うが。(2) 脳トレや身体的なトレーニングを幅広く住居の近くで学習したい。集会所で聞いてもらいたい。ディサービスに行っている人などごく

- 勉強している。支援してもらいたい。(女性、65～69歳)
- 「にいき元気アップ広場」自宅の近くであれば参加したいです。(女性、70～74歳)
  - 利用していない人は、自分で予防に(運動、日常生活等)努めている。努めていない人に介護保険を使うことは納得できない。自己責任の面もあるから。(男性、65～69歳)
  - 体操教室に期待します。回数が少ない。(女性、70～74歳)
  - 「にいき元気アップ広場」期待しています。(女性、65～69歳)
  - 総合体育館のメニューが近隣のものと比べると見劣りする。(男性、65～69歳)
  - 自助努力で可能な限り動く、働く、P. P. Kを目指す。(男性、70～74歳)
  - 自助努力を指導・援助して欲しい。(男性、80～84歳)
  - コミセンでの行事や講座に目新しさが無いように思われる。(女性、70～74歳)
  - 東北コミュニティセンター、新座ホットプラザでヨガをやってみました。又やりたいと思います。家から近い所がいいと思います。(女性、75～79歳)
  - 高齢者用の筋力トレーニング、体そう等の指導実施。病気になった時は延命治療を押しつけないで欲しい。本人意向の尊重、尊厳死を認めて欲しい。(男性、80～84歳)
  - いろいろな企画を立てて下さってありがとうございます。介護を必要とする時間が少しでもなくなるよう、体操などへの参加を心掛けたいと思います。よろしくをお願いします。(女性、65～69歳)
  - 体調等、自分で管理する。スポーツジムに通っている。(女性、75～79歳)
  - 公民館の講座、例えば熟年者達の自由学校のような講座広報で見て申し込んでいます。内容のこい参加して良かったと、毎回感謝しております。今後も、このような企画、期待しております。生涯、自立するにはふだんの生活が大切と考えております。(女性、70～74歳)
  - 定年になったら(65才)、介護保険制度や高齢者福祉などの説明会を公民館等の施設で定期的実施してもらいたい。もしやっているのであれば、その情報をもっとPRして頂きたい、とお願いします。(男性、65～69歳)
  - 運動教室などを(高齢者)やって頂きたい。長く続けられるような。(女性、75～79歳)
  - お金があればもっとよい施設で訓練を受けさせたいのだが。(女性、65～69歳)
  - 介護が必要になるような身体にならないよう、日々健康に注意したい。(男性、65～69歳)
  - 社会参加する機会がなかなか有りませんが、「にいき元気アップ広場」が近くに出来れば参加したいと思います。(女性、65～69歳)
  - 自分自身をしっかりと見て、ホームドクター、知人達に少しでもいつもと違う行動の時には注意をしてもらうようにしております。その時には重症になる前に色々な方に相談に乗ってもらう。(女性、70～74歳)
  - 自分で健康管理すればよい。他人を頼らない。(男性、70～74歳)
  - 地区の集会所で月2回程度の健康体操等あれば参加したい。(女性、65～69歳)
  - 介護予防教室、体操教室等、回数を増やして参加し易くして頂けると嬉しいです(予定と重なる時が多いので…)。(女性、65～69歳)
  - 保険制度を安易に利用するのでなく自己努力でもっと健康管理をすべきではないか。時間つぶしに接骨院に通ったりしている人を多く見かける。(女性、75～79歳)
  - 近所にいきいき広場があって、体操が楽しくて週に2～3回行った事がありますが、そこには毎日来てて、あるじ、ぬし、のような人がいて、うるさいうるさい。シルバーで働いてる人が注意するのですしたら良いが、何かにつけて口うるさくて…せつかく楽しく行っていたのに3ヶ月位でやめてしまいました。とても残念です。(女性、70～74歳)
  - 私、85才ですがひざ・腰、肩等痛い所はない。平成4年から校庭や公園等で体操をしてきたからでしょうか、体そう仲間にも80才以上で同じようにピンピンの人が何人もいます。ありがたいと思っています。介護より体操をすすめた方がよいと思います。(女性、85～89歳)
  - 健康に関して予防の簡単な運動が週に1回でも近くでできたらと思います。(女性、75～79歳)
  - 住まいの近くで高齢者福祉の高齢者向きの体操があればと思います。ちなみに他市の友達が公民館でやっているので参加している。(女性、85～89歳)
  - 介護が必要にならないように、予防とか、地域の人とのコミュニケーションとか、人との関わりをもっと強くできるようなシステム作りをできればいいと思います。(女性、65～69歳)
  - 高齢者向けの運動、身近かな所で出来れば参加したいと思いますが、どこで実施してるかわかりません(遠い所だと参加しにくいです)。(女性、70～74歳)

- なかなか自分では運動できないので、月に2、3回シルバー向け自由参加という形で（その日の体調にもよるので）秋設けてほしい。（「にいぎ元気アップ広場」楽しみです。集会場は自分で選べるとよい。）冬はとじこもりがち（低温の変化→高血圧によくない）、2月から花粉症。暖かい屋内での運動を希望します。埼玉は他県のように70才以上はバス無料がなく友人が羨ましい。（女性、70～74歳）
- にいぎ元気アップ広場に期待します。近くの集会所であればと願ってます。ニイバスの回数が増えれば、外出も多く出来るのに。（女性、75～79歳）
- 近くの公民館等で隔日でも軽い運動をする場を設けて欲しいと思います。（女性、80～84歳）
- 介護保険の世話になるのを少しでも遅くするよう、老人が自分で動けて元気でいられるような支援施策を充実して欲しい。（男性、70～74歳）
- なるべく病院の世話にならぬよう健康に留意し、体育館を利用している高齢者の利用料の割引等考慮願いたい。（男性、70～74歳）
- スポーツクラブ（水泳等）を作って欲しいと思います。（女性、75～79歳）
- 私は今、朝霞市の、おせわーくという施設でマシーンを使った運動をして予防をしています、新座市にも市民が使える施設を何ヶ所か作ってほしいと思う。（女性、65～69歳）
- 体操に参加したいと思います。広報5月号を見ます。（女性、80～84歳）
- 高齢者福祉で、体が少し悪い人がサークルに出られないと思われまので、送迎（タクシーのような）があればよいと思います。（男性、70～74歳）
- 「にいぎ元気アップ広場」近くにほしいです。（女性、65～69歳）
- ・自宅のそばに気軽に体操が出来たり、話し合いが出来たりする場場が欲しい。・長寿支援課、介護保険課に、我々の年代に近い話の解る人を配置して欲しい。（女性、75～79歳）
- 地域集会所を利用して、季節ごとに住民参加の食事会等（学芸会のようなお話し会等色々なもの）又は小中学校の校庭や体育館や運動施設を開放して、定期的に運動サークルや大会を開催して健康増進や住民の交流（地域に根付かせる）を促進して、結果的に介護を必要としない人を増やすようにした方がよいと思う。※予防的な事をしないでいけば老化する人達が増え、介護や福祉にますますお金がかかって行く事になる。（男性、65～69歳）
- 保険料は社会制度上必要なのは相互扶助で賛成します。しかし、高齢（80才以上）者の健常者の為の「心配り」として、公共の体育館運動施設、（新座の総合体育館、マレットゴルフ等）無料パス、利用券交付にご協力、配慮して頂けたらと念願しております。（男性、85～89歳）
- 近くで週に何回か軽い運動をさせていただく所があったら利用したい（認知症）。（男性、75～79歳）
- 近くの公的な施設や団地であれば集会所等で認知症防止のプログラム作りをして欲しい。市の体育館は遠すぎて行けないので…又週の内1日でなく2、3日やって欲しい。（女性、65～69歳）
- 腰痛、膝痛のため歩くことがなかなか出来ず、昨年9月～12月まで週1回の介護予防元気はつらつトレーニングに13回参加させていただきました。自分1人ではむつかしいことも皆さんと一緒にすることでがんばれるし、又お話相手も出来て楽しい日々でした。地域包括支援センター（片山、道場集会所）でも体そうをしていることを知り、1度参加したのですが私にはきつすぎ無理でした。今後又、元気はつらつトレーニングで送迎していただけるコースでぜひ出席させていただきたいと願います。よろしく願います。（女性、75～79歳）
- 介護不要となるようリハビリが出来る所が無い。保険が使えない一般のトレーニングジムしかない。退院後続いてリハビリをしたい。（男性、75～79歳）
- 毎日食ってテレビを見るだけでは、痴呆やメタボ老人を製造するのみです。“～元気アップ広場”に期待します。多くの方を引っ張り出して動く事の大切なことも知り元気な生活が出来るように願います。それにより医療や介護保険の支出が少なくなるのですから（長野県等は大変な成果をあげていますね）。（女性、80～84歳）
- 介護予防の為の活動に福利施設をもっと利用させてほしい。（男性、70～74歳）
- 近所にいきいき広場があるが狭くて運動に参加したい人が多くて動けないと聞いたので行きたいが行ってない。（女性、70～74歳）
- 下記の「にいぎ元気アップ広場」など、集会所やいきいき広場などの行事にもっと自然に参加できるような制度にしてほしい。いつも同じ人たちが古参のような状態で（本人たちは感じていないでしょうが）新たに参加しにくい、あるいは異和感がある。指導者も運営も、もっと考えて下さい。



(女性、70～74歳)

○高齢者向けの健康作り体操など行ってほしい。週一回位のリズム体操など、社会福祉協議会等で。

(女性、70～74歳)

○設問1 1ー問2で記入しましたように、H26. 5月よりの「にぎ元気アップ広場」に期待しております。◎参加を楽しみにしております。宜しくお願い致します。(女性、65～69歳)

○健康で生き生きとした生活を維持するために、自己責任でいろいろ努力して行くつもりである。(男性、70～74歳)

○1. 高齢者のための「いきいき広場」等の利用がしにくいのでは…?同じ人ばかりの利用により、後から入りにくいとの意見があります。2. 新堀三丁目は市でも端の方にあるためか、公共設備を利用しにくいと思います。(女性、65～69歳)

○友人が要支援で新座団地に週1回運動に行っています。それと同じような所があれば体力作りに行きたいと思っています。そういう所を作って下さい。お願いします。(女性、75～79歳)

○運動機能を増進する為の指導を公民館などで実施してほしい。(女性、85～89歳)

○高齢者の健康体操の指導、(総合体育館等で)実践等希望します。(男性、65～69歳)

○高齢者向けの体操大いに参加したい。(女性、85～89歳)

○高齢者福祉施設の増強が必要になってくると思う。特に80才以上の高齢者のレクリエーション施設が大切。(男性、70～74歳)

○私の回りには自助努力をしている人が多数です。その為にももっと身近に体力維持の場が欲しい。役所の方の机上論だけでなく老人の発言の場を設けてほしい。生の声を聴いて欲しい。設備の整った体育館あるが交通手段がないので利用できずもったいない。若い頃は利用しました。ニーズ調査の結果を公表して限られた予算の中で困難なこともあろうかと思いますが、少しでも新座に住む幸せを感じられるように施政に反映されることを願っています。(女性、75～79歳)

○介護されることなくピンピンコロリを願って、毎日スポーツジムで汗を流している。(男性、65～69歳)

○現在、スポーツクラブに行って運動を楽しんでいる。友達も出来た。(男性、65～69歳)

○体育館のトレーニング室、大きくして筋トレの色々なマシンを置いてほしいです。(女性、65～69歳)

○現在、健康でスポーツを通して子供達とふれ合い元気をもらってます。健康に留意して介護のお世話にならないように過ごしたいと思います。(男性、65～69歳)

○老人医療費、介護費の抑制目的でスポーツ振興に市として力を入れてもらいたいです。(男性、80～84歳)

○歳を取ると運動量が減るので、どうしても足腰から全体に弱くなって来る。近所の年寄りを集めて体力作りを役所で計画して欲しい。やりたいと思っても個人や少人数では仲々出来るものではない。(男性、75～79歳)

○介護されるようになる前に、健康を維持しようとする行動(スポーツセンター)を金銭的に支援してほしい。健康高齢者の活動補助を充実してください(施設利用の拡充など)。(男性、65～69歳)

○介護保険制度で重要なことは「適正な認可」で、この分野を行政が行わぬ限り、問題は解消されぬものと考えます。高齢者福祉には、イベントも災害時支援対策も良いが、先ずは日常に目を向けるべきで、自立した生活を維持できるよう、介護予防に繋がるようなものであって欲しいと考えます。

(女性、75～79歳)

○自由に参加出来るラジオ体操の場が各町内にあればいいと思う。(女性、70～74歳)

○家の近くで軽いラジオ体操みたいな気軽にできるところがあると行って見たいです。(女性、70～74歳)

○自立性を高める活動(特に身体機能の強化)が必要だと思います。(男性、65～69歳)

○東北大学の川島隆太先生の進めておられる学習療法を、元気な時から学習したいと思いますが、新座市では始めておられるのでしょうか?体力、筋トレと学習療法が出来ると良いと思いますが、高齢者が集る時に広く紹介していただくとか、実際に脳トレも受けてみたい気もします。知られているのは公文学習療法のようなのですが、他にもあれば皆さんに知らしめて下さると早目の予防対策にもつながって行くのではないのでしょうか?楽しみにしています。(女性、65～69歳)

## (6) 医療関係

- 薬価が高い（過剰投薬）。この爲、市の負担が大きい。（男性、80～84歳）
- 歳を取ればあれこれ故障が出て来るのは当たり前。長寿（後期高齢者）定期健康診断をやり、薬漬けにするのは止めてほしい。むしろ若い子育て世代の医療に重点を置いてほしい。年老いた老人には静かに死を迎える事が出来るようにしてもらいたいと思う。（男性、80～84歳）
- 個人個人が健康に注意しながら出来る限り薬を飲まない生活を心掛けていきたいと思えます！出来る限り医者にかからない生活を心掛けていきたいと思えます！我が市でも私を含めて高齢の方が多いので介護を利用している人達が多いので、おのずと介護保険も高額になると思えます。個人個人の健康管理を一人一人心がけていきたいと思えます！近い市では〇〇市が介護保険が高いと聞いています！（女性、70～74歳）
- 消費税分すべてを医療・福祉にまわすこと。（男性、65～69歳）
- 最近、高齢者が薬をたくさん飲みすぎているように思うのですが、医者にもいろいろですものね。（女性、70～74歳）
- 高齢70才以上になると、思わぬ病気が発生する。今、耳鼻科に通っているが4つも病院を変えた。理由は、医療設備がないから大病院へとか、大病院へいっても患者にとっては余り真剣に治療に当たってくれないとか、遠方とか、種々の理由がある。12月に1回、今年度1月に1回、大量の両鼻から出血で、救急車を呼んだ。不安、恐怖は、なかなか消えない。→良好な医院の紹介があると、大変助かる。（女性、70～74歳）
- ゴールデンウィーク等の時の緊急医療は？（男性、90歳以上）
- 高齢者になって医療費3割は高すぎる。（女性、75～79歳）
- 現役の時、働きづくめでした。市の御支援を感謝いたしておりますが、病院の混雑ぶりは目に余ります。第2の病院は出来ませんか！！（女性、90歳以上）
- 脳梗塞病気の事を知りたい。そして生活の仕方、どのようになっていくのか教えてもらいたい。いじめがこわい。つらい。住み易い街づくりをお願いします。（女性、75～79歳）
- 高齢者（70才～75才）は医療費支払が一割の為、通院回数が多いように思います。どうして2割負担にしないのかいきどおりを感じます。（女性、70～74歳）
- 総合病院が駅周辺にほしい。（女性、70～74歳）
- 入院した時3ヶ月後に退院させられるのは医療政策が悪い。（男性、70～74歳）
- 医費個人負担の軽減。（男性、70～74歳）
- 家の場合は、自分の年金で医料など自分でするように言われていますので大変です。今迄はすべての費用は1割でしたが、4月より2割になるという話を聞いていますがそうなるととても大変です。（◎家のものは、家を建て替えをしたので。ローンを払っているのが大変だと言います。）車に乗せていただければ病院もどこにも行かれません。家の場合息子と嫁さんも勤めているので時々休みの時は乗せてもらって行くのですが、タクシーを利用する事がたびたびでとても大変です。もっと年寄りの事を考えてほしいと思えます。宜しくをお願いします。（女性、80～84歳）
- 医療機関にあまりかからずに歳を取っていききたいね、要望は特にナシ。（男性、65～69歳）
- 高齢者（後期）医療費用が高額すぎる。この制度は見直してもらいたい。老人は金を持っているという考えが基本にあつて実施された制度で非常に憤慨している。税金を無駄なく使ってもらいたい。老人が不満を表に出す日が近々あるかも知れない。（男性、75～79歳）
- 私の病院にお金がすごくかかるので4月から主人の企業年金が少なくなるので病院にお金が払えるか心配です。（女性、65～69歳）
- 高齢者の医療費を下げ（自己負担できる人の負担分を高くし）介護の費用に廻す。医療費の総額があまりにも高い。（男性、70～74歳）
- 入院した場合、3ヶ月過ぎると他の病院を探して移って下さいとの事。何故ですか？（女性、75～79歳）
- 風邪等により時々医師の診断を受けるが、高齢者保険は有効に利用させていただいている。（男性、80～84歳）
- 現在、病院に入院中。鼻腔経管しております。何れ転院しなくてはなりません新座での受け入れする病院はあるのでしょうか。（女性、90歳以上）
- 医療費の低減化。（男性、85～89歳）
- 新座市にお世話になりまして検診（眼科）の時、今までも（練馬）受けていましたが、眼底までは

なくてこちらで眼底検査で緑内症が分かり、今受けています。そうでないと失明するのに助けていただきました。ありがとうございました。（女性、70～74歳）

## (7) 生活支援サービス

- 娘と同居だが、娘達は他地区に店があり、朝早く夜遅いため、掃除が出来ず困っています。同居人がいても事情により掃除を許可してほしい。(女性、75～79歳)
- 利用できるものがない。(男性、65～69歳)
- 私は、ひざに人工関節が入っており、杖を使用し、三輪自転車も利用しています。出来れば電動三輪車がひざに負担が無く使いたいのですが、高額で入手出来ません。公の補助か貸出などあれば助かります。(女性、70～74歳)
- 生存確認の訪問くらいはしてほしい。(女性、70～74歳)
- 介護サービスをお願いすると審査がきびしくて頼むのがいやになると聞きます。介護サービスを必要としている人は元気な人はお願いしていないと思います。6月に訪問して下さいますが、外で大きな声で高齢者の〇〇さんと呼ぶのはやめて下さい。高齢者にもプライバシーはあります。よろしくお願い致します。(女性、70～74歳)
- 介護保険の利用時間があまりにも短かすぎて、利用するのに不便に思う。せめて、1時間か1時間30分位は、利用出来ればと思うし、皆もそんな事を言っています。(女性、65～69歳)
- 介護保険を利用して、一緒に買い物を手伝ってほしいが、45分以内と言われ、その短い時間では老人の買い物は無理と思い、使っていません！！(女性、80～84歳)
- 主人が去年亡くなって1人で生活していますが、この冬お風呂に入るの不安ですので近くに入浴出来る所があればありがたいと思います。(女性、75～79歳)
- 制度ですが時間が短かく週に何回もその宅に行くようになり、もう少し時間が長くあれば1回で用が足りるかと思います。(女性、70～74歳)
- ヘルパー付き(見守り)で、旅行等に参加したい。(女性、80～84歳)
- 介護は病気(かぜ)とかした時にちょっと人手が必要と思います。(女性、70～74歳)
- 公団住宅等が空室あるようですので、2世帯生活者に優先して住わせれば低家賃で。(女性、75～79歳)
- 健康ですが掃除、片付けは少々つらい手伝って欲しい。(女性、75～79歳)
- 民生委員を通じて実態をは握し、改善処置を進めてもらいたい。(男性、75～79歳)
- 私は障害4級(股関節人工骨頭置換術施行10年経過)です。以前、階段に手すりをつけてほしいと請求しましたが、自分で何んでも出来るという事で却下されました。何んにも出来なくなってからは必要ないんですね。事故防止の為と思ったんですが、高い介護保険払ってるんですけどね。年金は減せてくるし、何が支援ですかね。(女性、70～74歳)
- 一人住まいの者に元気でいるのか年に何度か確認してくれるシステムがあればありがたいです。よろしく。(女性、70～74歳)
- 月に12回程連絡がほしい。(男性、75～79歳)
- 以前紙パンツの補助をうけていた。再び受けたい。ディサービスの料金は高すぎる。保育料並みでよい。1割負担でもとっても高い。(女性、85～89歳)
- 老人用の訪問カット等があるとありがたいです。(女性、80～84歳)
- 介護制度と違いますが現在民間賃貸住宅に住んでいますが年金生活に入るので苦しくなるので、市営住宅に住みたいです！(女性、65～69歳)
- 高齢者向けの運動等の会場へ送迎があると助かります。脊髄狭窄症で長時間歩行が出来なくなっていますが、何とか自力で治して行き度いと思っていますので。(女性、75～79歳)
- 掃除、洗濯など困らないが、電球の取替など、高いところのちょっとした事が不便。(女性、85～89歳)
- デイサービスで玄関までではなく、歩けない場合は部屋まで迎えに来てほしい。(女性、75～79歳)
- 高齢者が一番望んでいることは、外出(散歩)です。介護保険で利用できるようにしてほしい。(女性、70～74歳)
- マンションの管理組合に数ヶ月に一度連絡のとれない一人暮らしの高齢者を届け出るよう義務づけたらどうか。管理組合が自主的に孤独死等を防ぐ活動ができる根拠にもなるのではないかと(干渉されたくない人も受け入れやすい)。(女性、65～69歳)
- 配食サービスを受けて9ヶ月、助かってます。(女性、85～89歳)
- 介護保険とは病気の人だけですか。老眼鏡、補聴器、耳が聴きとりにくい、こんな事にはだめです

- か。（女性、80～84歳）
- 福祉施設をもっと充実させるべきだ。（男性、75～79歳）
  - 民生委員との関わり方と委員の役割について具体的に指導をお願い申し上げたい。（男性、70～74歳）
  - 友人が受けて居ますが、一番欲しい買物をして頂けないとこぼしていますので、お願いします。（女性、75～79歳）
  - 私の所の民生委員の人は何にも訪問してくれません。よその所の住んでいる委員はどうなんでしょう？今は元気ですが時々は見回りに来てほしいです。（女性、70～74歳）
  - 生活が将来苦しくなった時のサポートが欲しい。（特に住宅生活費等）その不安が今すごく強い。生活費の不安も同様に不安。家族のトラブルの為、家を離れなければならなくなった時、高齢者にも一時的でもいいので住宅・生活の支援が欲しい（現実的な問題として）。（女性、65～69歳）
  - 今は、子供が何とか一緒に生活してくれてますが、私のため結婚も出来ないのも、せめて県営住宅でも当ててくれれば…。でも2人用の募集がありません。保険料より食べる事が先です…。（女性、70～74歳）
  - 地域の担当者が週に2回位回って来てくれるシステムがあるとよい。老化していく速度は速いので。自分でささいな事も出来なくなると訪問看護の人からも聞くから、そんな事かと聞きかえす事もある。（女性、80～84歳）
  - 高齢者の1人暮らしの人に対して、すべてもっと細やかな心配りをしてほしい。（女性、70～74歳）
  - 話を聞いてくれる人。（男性、70～74歳）
  - 地域の民生委員が見たことがない。40年住んで一度も会ったことがありません。（女性、80～84歳）
  - 身体の調子が悪い時、生活支援をしていただけたら助かると思います。（女性、85～89歳）
  - 年金だけでは苦しいので、安い住宅を（公営）お願いします。（男性、70～74歳）

## (8) 認知症

- 認知症の母が有料老人ホームに入居し、介護保険を使いヘルパーの介護を受けています。認知症を悪くさせない方法は、人とのふれあいを多くすること。なにしろ人手が多くかかります。家族（娘たち）も高齢になり、十分力になれず残念な気持ちです。「ヘルパーの待遇を上げないと」ヘルパーも増えず。この先、大変なことになると思います。（女性、70～74歳）
- 認知症も運動と頭を使う事を同時にすると進みを遅く出来るので、新座市でも積極的に広めて欲しい。集会所の利用積極的にしたいです。（女性、65～69歳）
- 実母（アルツハイマー病）、夫（只今入院中重い病気、発症6ヶ月前）が利用していますので、保険制度は互助会的役割のように考えられて、意義ある制度とっております。益々充実される事を希みます。（女性、70～74歳）
- 認知症を含む精神疾患の介護認定が厳しく、介護度が低い。（女性、80～84歳）
- 84才の主人が認知症気味なので、世話が大変で、自分がまっています。出来たらデーサービスに行ってくれるといいと思います。（女性、75～79歳）
- 現在認知症です。（男性、75～79歳）
- 脳梗塞入院約1ヶ月退院後、脳梗塞再入院退院後肺炎で3ヶ月入院し退院後、呼吸苦（肺炎入院後から、物忘れがひどく、24時間見守りが必要に。家族がこの状態の場合、同じ介護の必要な御家族との交流が出来る手だてはないのでしょうか？病院の通院だけは介護タクシーを利用しております（予約のみに限り）。（男性、80～84歳）
- アルツハイマー予防の運動とNHKのテレビでみましたが、そのような取り組みをして欲しい。（女性、65～69歳）
- 昨年主人が肝性脳症を発症してから二人だけの生活で自分がどこまで出来るのかが不安になりました。日中はともかくとして、夜中に主人がトイレがわからなくなったりすると、夜も寝る事が出来ません。誰にも相談出来ないと思った時にどうになってしまうのか…と恐怖におち入りました。意識障害が出て、救急車を2度程昨年呼んでしまいましたが、毎日が不安です。どうしてよいかわからない時に、気軽に相談出来る所はあるのでしょうか！…と思ったり、誰にも知られたくない…とも思ったりです。（女性、65～69歳）
- 私は、日本では認められてないカイロプラクターです。WHOの公認団体に属しています。85才以上の方のケアをしておりますが、認知症の予防もできています、予防の為の体操等もやってます。頭部の血流の関係で、脳梗塞や、脳の出血、うつ病等。（男性、70～74歳）
- 認知で自分の事が全くできないが、立ち上がり、2、3歩歩け、言った事に返事をするので、介護度が低く認定されていると思う。同居の息子が一切世話することになるが仕事しながらだと日中ひとりなので不安である。介護者の体、精神的なものも不安である。（女性、80～84歳）
- 健康が一番、介護にならないように又認知症にもならないように脳を鍛えて、家族に迷惑をかけないようにしたい。（男性、65～69歳）
- 以前は仕事をしながらボランティア活動もしていたが、パーキンソン病になり気持ちはあるが出来ない。現在は投薬で普通と変らぬ生活が出来ているので、体力を消耗しないですむような仕事（事務方）なら可能かとも思います。PCを使ったり役に立ちたい。（女性、65～69歳）
- 軽度の認知症の為この調査について質問が多く、難しくわからない、めんどくさいというので代わりに記入しました。（男性、80～84歳）
- 認知症の為、代わりに記入しました。歩けないので（骨折した為）車イスです。（女性、80～84歳）
- 乳ガン手術時、入院中同室の人が車いすに乗り移る時、毎日、毎日車いすにベットから移る順番を教えてもらっているのを見て、認知症になる前に、ベットから車いすに移る順番を知りたいと思いました。私、重症筋肉無力症、現在は軽症ですが、不安です。（女性、75～79歳）
- 現在主人がアルツハイマーで大変ですけど、ケアマネージャー、ケースワーカー様に親切に相談にのっていただいておりますので大変助かっております。今後自分自身の事が心配ですけどもお世話になると思います。（女性、65～69歳）
- 家族はやはり傍で一緒に暮しつつ、みて上げることが出来るのが“幸”とおもいます（仕事がありましたが、昼間はお手伝いさんにも頼めましたが夜は家族（私）でしたから）。ガンの場合、又認知症では土・日は自宅でもと考え実行しました。主人が内科医でしたから安心して出来るだけ家族と一緒に考えられたと思います。ありがとうございました。（女性、85～89歳）
- 義姉の認知症の介護をしているので、とてもお世話になっているので助かっていますので、この制

- 度をありがたく思います。老、老介護です！！（女性、70～74歳）
- 認知症になった時、説得が必要な時があるのですが、肉親では手に負えない時、依頼出来るような機関があれば助かると思います。（娘談）（女性、65～69歳）
  - 高齢者対象でも元気で動ける人は、質問に考えてしまう間です。何とか出来ないのでしょうか？病院、薬を飲んでいない人は逆に考えてしまう。認知症の予防は一人になると進み人と接する事で早く取り組む事により回復出来ると思います。（女性、75～79歳）
  - 残念だがよく周知されないうちに、本人がボケてしまった。（女性、85～89歳）
  - 認知のため本人の考えが良く伝へられない、この書類の書き方が良く反影していない。（女性、80～84歳）
  - 認知症や体力の衰えはやむなしと思われるが、いろいろな方法での予防が必要と考える。楽しく参加出来るものがあれば参加したい。（女性、70～74歳）
  - 認知症サポーターの勉強会に昨年迄公民館で受けましたが、このような講習会を年に一回だけでなく何回か実施して欲しい。出来れば講習会は日を開けずに何日か続けてした方が覚えやすい。（女性、70～74歳）
  - 将来、認知症になるのを非常に心配しております。認知症予防の脳トレ等の講座を、定期的に住居の近くの公共施設等でやって頂けたらと希望します。（女性、80～84歳）
  - 認知症に近い人に、このアンケートは無理があり、代理の私としても答えようがない箇所があります。（女性、85～89歳）
  - （介護保険が出来る前でした）12年前姑、実母と最後まで家で診ましたから、認知症に関しても心配して出来るだけ食事や日常生活も気を付けています。しかし年には勝てない場合、自然に老いて来る(誰にでも)のですから、考え方も出来るだけ前向きには思っています。（女性、80～84歳）
  - 認知症がプラスされた高齢者受け入れは進んでいるのでしょうか。（女性、65～69歳）

## (9) 住宅

- デイサービスも受けられないしプールで歩いて、リハビリしていたが、家庭の事情で私が孫の幼稚園への送迎の仕事と母親が5時頃帰るまで自由な時間が取れなくて一人暮らしで暮らしたいと思っているが、高齢者一人暮らしの住宅があればどんなに心強いかな。お金がないため引越も出来ず今悩んでいる。毎日でも同居していると気の休まる時がなくて何回死に場所を考えたことか。同居していると住宅には入居出来ない現状が歯がゆいです（女性、75～79歳）
- 3世代の家族制度に、また住める住宅を作ること。（男性、80～84歳）
- 持家があるが二階なので空屋です。（男性、70～74歳）



## (10) 相談窓口

- 本当に介護を必要とする方が要望されていないことをよくきく。もっと具体的な事例で説明してあげる必要がある。介護保険でどのような支援が得られるか、基準のよくわからない方多し（制度条件が細かくてよくわからぬ）。（男性、70～74歳）
- 役所に出向く事が大変なんで、介護保険等の手続き、簡単になればと思います。以前に介護保険に言って、良く調べてから手紙をちょうだいって、行った事が無駄だった経験があり。（女性、70～74歳）
- 一人暮らしの高齢者ですが、急に病気になったり、ケガして動けないとかになったら、どこへ助けを求めれば良いか、友人、近所の人しかないのか、教えて下さい。シルバー人材センターへ申し込むしかないのですか。以前急には何も出来ないと云われた事があります。（女性、70～74歳）
- 体の動きが不自由になったら、地域支援センターに相談するのかな？民生委員かな？（男性、75～79歳）
- 昨年、夫が「要支援」になり、手すりを一割負担でつけることが出来ました。私もリウマチ、喘息の持病があり、昨年夫が亡くなり、一人暮らしになり、不安です。どこに相談したらわかりません。（女性、65～69歳）
- 係りの方に直接御会いして御伺い出来たらと思い願って居ります。担当の方もお忙しいと思いますがよろしく御願ひ致します。（女性、85～89歳）
- 高齢者の私が息子の介護でこれからの生活をどうやればよいか不安。相談をどこへしたらいいか？（女性、70～74歳）
- 利用したいときに何処に相談したらよいか教えてほしい。（女性、75～79歳）
- 一人暮らしのため、将来自分で身の回りの世話が出来なくなる。なった時に、どこにどのように相談し、どのような心構えをしてゆかなければならないのか…具体的な情報、例等などもっとわかりやすく、はっきりした情報がほしい。（女性、70～74歳）
- もっと身近に相談に行けるところがほしい。身心共に衰える早さに非常に不安を感じている。（女性、75～79歳）
- 高齢者相談センターが設置されていることを知りませんでした。広報活動に力を入れてほしいと希望します。（女性、70～74歳）
- 一人暮らしで、最近はとても不安になります。今のところ健康なのですが、心のケアが、出来る、していただけたところがあると良いのですが…良いところがあったら知りたいです。（女性、70～74歳）
- 自分（私）が事故、急病等で、夫が一人で生活しなければならない状態（高齢で）。とりあえず夫は何処へ1人の生活の方法の相談に行ったらいいのかわからないのが不安です。市役所の介護保険課・高齢者福祉課？等の窓口で良いのでしょうか。（女性、75～79歳）
- 役所と連絡するのに便利な方法。ベル、電話などで直接連絡する方法。（男性、75～79歳）
- 市の福祉センター第一、第二、福祉の里等に時間があれば行きます。とても良い女性の看護師さんもおおり、血圧測定、相談も快く受けてくれる。（男性、70～74歳）
- 西堀地区に居住しているが、「高齢者相談センター」が他地域に位置する為、交通手段がなく、徒歩で行ける距離ではない。西堀地区への設置を依頼します。（男性、75～79歳）
- 利用方法がわからない。どこに頼めばよいのですか。（女性、85～89歳）
- この制度が必要になった時、どこの誰れにどんな風に話を持っていけばつながるのでしょうか。不安なので知りたいと思います。（女性、75～79歳）
- 精神障害の息子を介助しながら私共夫婦もいつのまにか高齢となり体調にも自信なく様々な問題に今回初めて高齢者相談センターで今後について話し合いアドバイスを参考にしたいと思っています。（女性、70～74歳）
- このアンケートに有ったことは包括支援センター等で相談できますか。設問7の足のケアについてどこの病院へ行けば良いのか？伺ひたいと思っています。（女性、75～79歳）
- （1）市内のボランティア活動情報を知りたい。各種の参加状況、募集情報（条件含めて）。（2）緊急時の公的機関の連絡先、相談先を公表してもらいたい。（男性、65～69歳）
- 担当の地域包括支援センターは遠くて不便で、とても何う気にはなれない。（男性、75～79歳）
- 地域包括支援センターは遠くて不便でとても何う気にはなれません。（女性、75～79歳）
- 手すりなど設置が必要などころがありますがどこに相談したらよいか教えて下されば有難いと思ひ

- ます。（男性、85～89歳）
- こうした制度などを気軽に聞ける窓口が近くに多くあって欲しいと思っています。（男性、80～84歳）
  - 利用を必要となりそうな時の相談は、居宅に向いて対応して頂けるのかを知りたい。（行政の窓口に向ける状態ではなくなることになると思うので…）（女性、65～69歳）
  - ひとり暮らしなので万が一のことがあった時どうすればいいのか元気なうちにいろいろ準備をしておきたい。法的なこととか、相談できる場所があれば教えてほしい。今は仕事をしているので年金だけで暮らせるが働けなくなった時果して生活ができるか不安に思っています。（女性、70～74歳）
  - 民生委員及びケアマネジャー知らない？（男性、80～84歳）
  - 介護保険制度や高齢者福祉について、市内での現況などの情報を知りたい（具体的な利用法など）。（男性、70～74歳）
  - 高齢者相談センターの設置されている事は知っていますが、身近にはなくいつでも気軽に相談できるような状況にはないと思います。歩いて行けるような場所にもあり、電話等ではなく顔を見て話しができればと思います。（女性、65～69歳）
  - 食事の支度とか、買物 e t c 出来なくなった時、お世話になる機関は紙面の下段の“問い合わせ先”に電話で聞けばよいのですか？（女性、70～74歳）

## (11) 広報

- 市内にも関連施設がありますが、入居する条件等についての概要一覧表があったら活用の参考にしたい。(男性、75～79歳)
- もう少し色々な情報(広報)があると良いと思う。(男性、65～69歳)
- 介護保険制度や高齢者福祉の内容をもっとみんなにわかるようにして欲しい。私としては何をしているのかほとんど情報がないし、情報もこないし、どこを調べたら良いかもわからない。(男性、65～69歳)
- 市民がもっとわかりやすい情報を適時に提供を。(男性、70～74歳)
- 介護保険どのように利用するか知りたいです。(男性、70～74歳)
- 介護が必要になった時の施設の内容が知りたい。(男性、70～74歳)
- タクシーを利用したいが方法がわからない。(女性、70～74歳)
- 私自身、いざ介護が必要になった時「どこに行って誰に相談すればよいか」「どんな手続、金が必要になるか」等が判りませんでした。高齢者は「どんなサービスを受けられるか」も必要ですが、最初に「どこに相談したらよいか」を知る事が出来るパンフ等が必要と思います。(男性、70～74歳)
- 定期的な制度の変更等の広報を読みたい。(男性、65～69歳)
- 介護保険は在宅での介護を勧めています。(私も在宅は安心ですが)一人暮らしの身にとっては不安があります。新座市の高齢者福祉はまだ知っていませんので、勉強させてください。(女性、65～69歳)
- この度急に変形性ひざ関節症と診断され、とても生活するのに不便を強いられ日々治療して、治るのを待ってました。介護保険のこと等はどのようにするか方法がわからなかったのが残念でした。この事を後で知りました(介護保険の利用する方法)。(女性、80～84歳)
- 保険制度そのものについて、もっとPRすべきでは。(男性、75～79歳)
- 市報にて公的介護、民間介護について報告があれば良いと感じます。(女性、65～69歳)
- 市で実施している制度が、余り知られていなくて、折角の制度を利用していない人がいる。(男性、75～79歳)
- 介護介助に対する状報がほしい(介護施設、老人ホームなど市内の)。(男性、70～74歳)
- 介護保険制度や高齢者福祉などについて詳しいことがわからない。(女性、80～84歳)
- 新座市の施策が全く見えていない。広報などもていねいに読んでいるが、告知、広報を更に工夫していただきたい。現状では無策な市行政にしか見えない。(男性、65～69歳)
- 介護予防や健康作りの講座を受けたいと思いますが、いつ・どこでやっているのかがわからないので、通知してほしいです。(女性、65～69歳)
- 具体的に説明して欲しい。毎回保険料のみを強奪されている気がする。(男性、75～79歳)
- 各所の地図をのせて下さい(例、地域支援センター等々)。(女性、70～74歳)
- 福祉についてもっと知りたいと思いますが、PRも兼ねて充実を願っております。(男性、70～74歳)
- 各自治会連合会、住所、氏名、年令、家族名、人数がわかる会員名簿作って配布してほしいです。申込みされた方金額千円位。(男性、75～79歳)
- 医療関係の公報等に関心を持って待応します。(男性、85～89歳)
- 介護保険はどのように利用出来るのか、詳しいことは市から説明書みたいな物があればいいと思う。(女性、70～74歳)
- 保険制度の内容が具体的にわからない(イメージとして描けない)。(男性、65～69歳)
- この件に関して地域の公民館や、集会所等でお話を、聞ける機会があればと思います。(女性、65～69歳)
- 情報を沢山知りたい。(男性、75～79歳)
- 広報は自治会費払わないと入れて貰えませんか?アパート住居だとお誘い頂けないのでしょうか?各出張所に置いてあるのは解るのですが、行くのも大変な方もあるので、入れてもらえたら会費払いますので。(女性、65～69歳)
- 情報がほしい。(男性、80～84歳)
- 介護保険制度や高齢者福祉についての広報が足りない(講演会、パンフレットなど)。寝たきりや認知症にならないための予防活動がない。自己責任になり過ぎているのではないか。参加しやすい

- 施策を望む。(女性、65～69歳)
- 将来一人暮らしになっても気楽に相談し活用出来るよう積極的に広報して頂きたい。80才以上の家庭に有償でも一度(例えば掃除など)体験させて頂きたい。利用を上手にしている人としていない人の不公平感があるのでは。(男性、80～84歳)
  - 介護保険制度のことなどもっとわかりやすく知ることが出来るよう広報してほしい。具体的に体験したい。(女性、65～69歳)
  - 公民館で行っているサークル等の内容について、解りやすく宣伝してもらいたい。参加したいと思うが、良くわからない。(女性、70～74歳)
  - 具体的に、もっと広報して欲しい。(女性、75～79歳)
  - 生活保護受給してるので広報も入らず細かい事が耳に入って来ません。定期検診の事とかです。(女性、70～74歳)
  - 新座市に移転して3年弱であると同時に新座市の最北端にいる為情報の他からのアクション(自治会・永協等)がない。広報紙のみ!!(男性、75～79歳)
  - 老人ホーム入所案内など個人的にパンフあったら。(女性、70～74歳)
  - 現在介護等は必要としていないが、将来のため情報が欲しい等考えることがある。(男性、65～69歳)
  - 分りやすい案内の配布を希望します。(男性、65～69歳)
  - 介護高齢者の各種施設や活動内容などのPRを活発にして頂きたい。(男性、65～69歳)
  - 普通の市民のレベルでも理解できる資料とか勉強会をお願いします。(男性、75～79歳)
  - 高齢者には養護老人ホームなどの情報が年2回以上欲しい。(男性、85～89歳)
  - 介護保険サービスの内容の説明が、こちらサイドに立った情報提供でしてくれると、理解できると思う。(男性、65～69歳)
  - 介護保険制度の内容が、わからないのでパンフレットが欲しいです。(男性、70～74歳)

## (12) 地域活動

- まわりに高齢の方が増えてきて自分自身も含めて自立した生活を送るには心身共に元気でいなければと思いました。介護してくれる人が減ってきているので、地域での交流がこれからの自分達の生活を支えてくれる社会になるのかとも思いました。(女性、65～69歳)
- 出来る事は自分でしたいが、足のツメを切るのがうまく出来ないのでこんな小さい事でもしてくれる処があるといいです。又、介護何故と云うのではなく、近くの会場に出かけていけるといいと思います。非常に人に逢いたい時がありますので…。(女性、80～84歳)
- 退職後の(壮年)の居場所あるといいと思う。外出せず家に閉じこもりがち。(女性、65～69歳)
- 自分が出来る内はなるべく動いて必要となった時は宜しくお願ひしたいと思います。今は回りの皆様に助けて頂いています。(女性、65～69歳)
- 介護を要する家族がいても、別途ボランティア活動が可能になるような人間関係やグループ活動があるとよい。(女性、75～79歳)
- 家の回りの道路掃除等、日頃している。本人はボランティアだと思いつつ。(男性、75～79歳)
- 平成18年3月に腰の手術をしています。平成20年3月に左膝の手術(人工骨)をしていますのでボランティアは、出来ません。申し訳け有りません。(女性、75～79歳)
- 近隣の密接なつながりで助け合いたい。地域コミュニティーの大切さを感じています。(女性、65～69歳)
- みなさんと楽しく出来ますので、良いと思います。近い所がいいと思います。(女性、70～74歳)
- 庭木の手入れ、外回りの清掃等は、隣近所で助けあってやるようにし、介護保険料を低減できればと思う。屋内での私生活に関する事項は近所の人には言いにくく、頼みにくい事でしょうが、恥しくないことは近隣の者に頼めるのでは思う。「近隣互助制度」が出来ればと思う。(男性、65～69歳)
- 手紙や電話で旧友と連絡し合っています。業者が近くで、ちょっとした工事をやってもらったり、日常の野菜など採りたてをスーパーより安く買えるので助かります。(男性、80～84歳)
- 同年代の人と話したいと思っています。(女性、75～79歳)
- 1. ご近所の高齢者が自主的に活動する「いきいき広場」を各小学校区に1カ所つくる。2. 特養ホームの個室化(介護保険創設時の約束)を守ってください(待機者をなくす新座市の取り組みは評価しています)。3. 市内・近隣の高齢者入所施設の第三者評価を市役所に備え、だれでも見られるようにしてください。(女性、75～79歳)
- 介護が必要になる前に、いろいろな事に参加出来るよう、住いの近くに健康づくり広場等を作ってほしい。たとえば「フラットケアセミナー」などの講座をぜひお願いします。(女性、70～74歳)
- シルバー人材センターに入会しましたので、チャンスがあれば就業してみたい。120エントリー済。(男性、70～74歳)
- 町内で、ゴミ当番がありますが、私は82才で心臓手術を3年前して現在、一人住まいのため、ヘルパーさんに週二回お世話になって、いろいろ助けていただいています。ペースメーカーの大きいのが植込んでありますが、少し無理をすると苦しくなります。息子が一人居ますが、離れて一家を持って暮していますので、週一回は来てくれますが、不安を感じる時もあります。支援をしていただけたら幸いです。(女性、80～84歳)
- 高齢者福祉一気楽に集まれる場所の増設。高齢者相談センターの増設を。高齢相談センターの広拡活動を。(男性、75～79歳)
- 社会福祉会に入会し学校に車椅子、アイマスク等の指導及び自宅近くを週3回ほど1人でゴミ、タバコ、空缶等を取っている(東3丁目の遊歩道を中心に東北2丁目近くまで)。(男性、70～74歳)
- 介護が本当に必要な人が利用しやすいように考えてもらいたい。若い人達との交流をもち、家族の者が負担にならないように民生委員等もっと巡回したりして様子がわかるようにしては!!民生委員の選出方法や仕事の内容をしっかりと決めて、最低限度の基準だけは活動(どなたも)してほしい。その上で又民生委員の待遇をよくして活動しやすいようにすることも大切!!(女性、70～74歳)
- 週2日ほど務めておりまして、ボランティア参加できませんが時間が出来たら参加させて頂きたいと思えます(女性、70～74歳)
- 現在は、自立していかなくてはと思って頑張っていますが、病気が重くなった時には施設に入所させて頂きたく思っています。政府の考えとは逆行していますが頼れる人がいないのです。又一週間

- 位病気で床についても誰にも頼りません。このような時に手助けしていただけないでしょうか。（女性、80～84歳）
- この地域の民生委員に去年は会っていないがどうしたのでしょうか。高齢者の安否を確認しているのでしょうか。他地域の話では食事会等で定期的に確認と聞きました。（女性、70～74歳）
  - ボランティアをチケット制にして自分が受ける時それを利用する制度にお願いしたい。（女性、65～69歳）
  - 高齢者から介護保険を取ってボランティア参加を勧めたり、今の高齢者期待しないで下さい。終戦からはい上り日本の発展の原動力に貢献してきました高齢者をもう少し楽しく過したいものです。消費税の出だしは3%時は高齢者の為に使うと言っていたのが5%なり、介護保険制度が出きたり4月から8%なり10%なっても高齢者を騙すのやめて下さい（男性、70～74歳）
  - 今迄の所健康でありましたので“介護ボランティア”には参加していませんでしたが（今迄は子供等のパトロール隊、観光ボランティア等に参加していた）、高齢者福祉のボランティアにも参加出来るようにしなければ…（男性、75～79歳）
  - 一人生活なので、健康に気を付けて、寝込まないように気を付けています。民生委員さんもたまに来て、状況調査をしてくれています。元気なうちは問題ないが、何かで寝込んだら、息子二人も各々別居で、すぐには来てもらえず、負担もかけられず。万事休すです。そういう事を考えると、恐ろしい心境となります。元気な内は良いのですが…。（男性、70～74歳）
  - 有償ボランティアとは、考え方がおかしいと思います。ボランティアとは無料奉仕のことではありませんか???（男性、65～69歳）
  - 設問1 2問3に書きました。問6 自宅で生活したいので今は有償ボランティアの必要がないのですが将来は利用したい。（女性、70～74歳）
  - 隣に1人暮らしの御婆さんがいた時食事の差し入れをした事があったが食べられない物を食べ体をこわして病院に行ったと逆切れされた。何かあったらよろしくと言われていたが素人が安易に手を出していけないと学んだ。（女性、65～69歳）
  - 私も長い間ヘルパー2級者として働いて来ましたので、今少し若ければボランティア活動をしてみたいとおもいます。（女性、75～79歳）
  - 収入の伴う仕事を提供、斡旋して欲しい。（男性、65～69歳）
  - ご近所の助け合い制度等時間があればやりたいが今は時間がない。時間がある頃には、自分も動けなくなるのでしょうか？（女性、65～69歳）
  - 今は元気に生活していますが、将来的には、設問1 2の間6のボランティアを受けたいと思っています。（女性、75～79歳）
  - 地域で高齢者が集まる催しがあれば参加したいのでいろいろな企画を出していただけたらありがたい。（女性、65～69歳）
  - ボランティア活動に参加していると思うのですが、はっきり介護が必要と思われるのに本人にそれとなく介護を受けてよりよい生活が行なえるようにとアドバイスするのだけど、一向に耳をかさない。火を出したりゴミのような家の中だったり、食事をしたまま数日が経ち臭かったり、口を出すなどすぐ怒るので何も言えない。役所で相談をと言うと大きなお世話と言うし、ボランティアというのも色々難しいと思います。（女性、65～69歳）
  - ボランティアに参加したいのですが目に障害があるのでできません。（女性、70～74歳）
  - 自分の体が一番。ボランティアより介護より自分の事が大切だと思うので、自分の生活に気をつけて充実した日々を送りたいと思う。（女性、70～74歳）
  - 説問1 2問6のボランティアの中（3）について、ボランティアの方への指導等はしているのでしょうか。個人差はないのでしょうか？（女性、65～69歳）
  - このマンションは町内会に参加していないので、市の行事はわからない。老人会等、他の町内会のような行事はなにもない（女性、75～79歳）
  - 民生委員さん、若くて活発に行動出来る方にしてほしい。もう少し心配りしてほしい。（女性、70～74歳）
  - 時間があるので趣味を生かすボランティアがあれば参加したい。（女性、80～84歳）
  - 皆さん（私を含め）が自分自身の体を大切に思って、自分で自分の体をかわいがる世の中（社会）になってほしいと思います。そして、皆、仲良く助け、助けられるようになるといいですね。出来る事は体を動かして楽しんで笑顔で生きる。感謝を忘れずに！！（女性、65～69歳）

- 個人情報保護法が町内会、隣人等との交際接触を阻害してと思う。(男性、85～89歳)
- 当所担当の民生委員は殆ど訪問等しない(4年間で2度だけ)。他の熱意の有る人に替えて下さい。(男性、85～89歳)
- 自分が20代の頃の70代はかなり年寄りに見えた。現在、その年代に入ってきてつつある私はその頃思っていたよりずっと元気だと思う。地域にも元気な熟年はいっぱいいる。この元気な人達を参加させる組織(グループ)を活用して、地域に反映できたら…と思う。(女性、65～69歳)
- 自分で出来る限り何でも自分でやりたい。作る事が好きなので楽しんでやっている。縫い物等毎日やっている。代金が500～1000どまり半分ボランティアの気持です。自分なりに。(女性、80～84歳)
- 私達の子供の時は、今の制度は必要なかった。家族近所の人達がお互いに助け合って生きていたから…今の日本にはそれがないのがさびしいです。(女性、80～84歳)
- 全く違う間ですが高齢者(一般の健康な方)の孤立して居る人達は隣人にどのような事を望んでいるかを知りたいです(声掛け、お散歩を一緒に等々)。(女性、70～74歳)
- 町内会の広場のお手伝いをしています、毎回同じ人達の参加で自分が参加する立場に成った時一人で参加出来るか考えてしまいます。(女性、65～69歳)
- ボランティア活動など出来ないけど、自分の事出来るだけやれるように頑張っています。(女性、80～84歳)
- 世界一の高齢化社会を迎えている日本、地域の元気なお年寄りがボランティアで出来ることはするように横のつながりを強めていくと良いと思います。(女性、65～69歳)
- 近くに参加出来る場所がある事を願います。主人が足が弱くなっていますので(脳卒中を起こしているが一応歩けますが)。(女性、70～74歳)
- 今は元気ですが、一人暮らしなのでいつかお世話になると思います。近所に友人が多いので助かります。(女性、75～79歳)
- ボランティアで私の出来る事があれば参加して見たい。(女性、75～79歳)
- 住んでいる地域も高齢者が(自分のこれからも含めて)増えてきた現実をみて、自分自身で生活するための毎日の努力の必要をひしと感じます。出来るだけ頑張る力を失くさせないように生活をしていきたいと思います。近所通しの助け合いの必要をととても感じますし、していきたいと思っています。(女性、65～69歳)
- 現在順番だからと自治会役員を引き受けているが、祭り、もちつき、防災訓練等、結構きつい。70才以上は後から、外してもらいたい。ストレスで胃かいようになり現在治療中。やさしい事なら手伝えると思うのに考えてもらいたい。(女性、75～79歳)
- 二年前に当地に練馬区より引越して来ましたが、地区区民館老人センターの利用が練馬区の方が多勢の利用客が多く、その点埼玉県の方が遅れている感じがします。老人優遇の老人バスもなし。(女性、75～79歳)
- 近隣(半径1Km以内)に郵便局やスーパーマーケットが無く、非常に不便だ改善してほしい。(男性、70～74歳)
- 友人がだんだん少なくなり、小さなことのボランティアが出来ると…。下記のいざ元気アップ広場で協力出来れば良いと思います。(女性、65～69歳)
- 今は65才70才と言っても若いです。有償のボランティアがあれば自宅でテレビなど見てないで、どんどん参加するのではないですか。何でもボランティアと言うと無償です。よろこびがありません(昔から働いてお金をいただく…と言う事が体になじんでいますので…)。金額には関係ないです。有償を無償とでは違います。このようなアンケートを取って何にに生かされるんですか。このような集計をして、報告してあるのでしょうか。報告して終りになるのであれば、別の方法を考えて下さい。(女性、65～69歳)
- 老々介護中の高齢者夫婦にも「ごみ集積・収集」の重たい作業をさせている町内会の現況をご存知ですか?市発行の印刷物の配布をさせられている町内会員は、(私も)なぜ市民税を払っているのか、と疑問視しています。これらの作業を義務化しているのはおかしいことではありませんか?(男性、75～79歳)
- もう少し体力がなくなったらゴミ捨てなどお願いが出来れば嬉しいです。(女性、85～89歳)
- 前立腺ガン治療による放射後遺症が出ているが、医療器具(排尿チューブ)技去後は快適ではないが、ほとんど困らず自分の力でなんでも出来ます。但し今のところ80日後に次の治療に行く事に

- なっています。以上を勘案して他の支援活動等は出来ません。やる活力も有りません。（男性、85～89歳）
- 主人の介護があるので思うようにはいきませんが、出来る物なら私もお手伝いしたいです。いつも皆様に御世話になり有難うございます。よろしく御願ひします。（女性、75～79歳）
  - 地域の自主的な活動（ささえあい、仲間づくりなど）への行政の支援がほしい。例えば、コミュニティカフェの家賃補助など。（女性、65～69歳）
  - 近所に高齢独居の方がいます。ゴミ出し等、身体的に困難の様子、「お手伝ひします」との声かけも遠慮からか拒否されます。ゴミ個別収集のサービスとかあればと考えます。（女性、90歳以上）
  - 近所の人々ともっと知る機会があればいいと思う（女性、70～74歳）
  - 若い世代もボランティア（介護等、支援）に参加できるよう職場でも協力（企業）するシステムをつくって欲しい。土、日の休みを保障する。会社からボランティア手当てを出す等々。（女性、65～69歳）
  - 以前、外の掃除であればと思い、自発的にやったのですが、大変なお叱りを受け、それ以来手を出すのをやめてしまいました。手を出す事のむずかしさを知りました。（女性、80～84歳）
  - 民生委員の人が来てくれない。相談にのって欲しい（女性、80～84歳）
  - 市内施設へ踊りとフラダンス見せています。年に2回づつ行っています。（女性、75～79歳）
  - 高齢者ばかりが集まらず、小さい子供や若い人と一緒に過ごせる場所を作りたい。「昔の家庭」のような集まりが出来る場所です。（女性、80～84歳）
  - 私の住所近くにはショッピング（特に魚、肉、野菜等）店がなければ、郵便局、銀行もない。私のように脳梗塞後遺症で足が悪いとか、高齢で行動範囲の狭い者にとっては余り住みたいとは言えない。何故市役所の近くは商店が沢山あるのか？従って日常はバスまたはタクシーで行動せねばならず、余分な費用がかかります。表記についても、たまの会合で問題を提起するが、皆さんから積極的な応答なく提起した私が馬鹿に思う。表記及び町興こしの声が出ないのを残念に思います。（男性、80～84歳）
  - 現在は、まず夫の足・腰。少しづつ私を頼ってるので、自分にも自信がないが、何とかしなくてはと思ってるので、残念ながら、ボランティアまでは…（女性、70～74歳）
  - 近隣者とは全くの他人、全く接触がない。震災時の対応が心配。（男性、85～89歳）
  - 1年前までボランティアに参加していた。今は参加していない。（女性、70～74歳）
  - 敬老の日にお赤飯や記念品を頂くのはとても嬉しいです。でも地域に依ってある所と無い所があります。みんな同じようにあると良いですね。（女性、70～74歳）
  - 現在、圧迫骨折で防犯ボランティアを禁止されている。（男性、75～79歳）
  - 今は何の心配もなく将来が不安。勿論今は何一つ満足に出来ないし物忘れもするし、疲れてしまう。やはり年令を意識してしまいます。2つのボランティアをしています（私の仕事と思ってます。すでに15年になると言われました）。（1）日本語毎木曜日（2）老人ホームの絵持参月1回。（女性、80～84歳）
  - ショートステイ、デイサービスをすでに利用しているので、ボランティアは行きません。（男性、75～79歳）
  - 問7 3. 近所の助け合いでの提案。高齢でも自立意識が高く、頑張っておられる姿勢に小さなお手伝いの身分証明書のようなものがあればと思います。例、おつかい帰りに荷物を持って歩くのは大変なようです。そのような時に身分証明書等を提示し、信用して貰い運ぶ（一緒に住いまで持って行く）。ささやかな手伝が出来たらと考えます。（女性、65～69歳）
  - 新興住宅地で、若い人ばかりで町会もありません。世間話をする人も1人もいません。インターネットもないので地域活動が全くわかりません。去年、民生委員だという人が来て、インターホン越しに聞かれた事を全部答えてしまいました。後になって顔も見ないで見ず知らずの人にしゃべってしまった事を後悔しました。オレオレ詐欺も巧妙になっているので。新座市ではこのような活動を行っているのでしょうか。人物確認はどうすればいいですか。介護保険は、患者と健康な介護者がセットでないと利用不可能だと思います。夫婦2人同時に心身共に衰弱して。（女性、65～69歳）
  - 近所付き合いが少ない。（男性、70～74歳）
  - すでに60才から10年（70才になるまで）地域の社協支部にて高齢者福祉の活動に参加したが現在は自分自身の健康管理に努力中です。（女性、75～79歳）
  - 踏み出すのが大変だが、私の場合は他県（清瀬）に90才の父親を1人住まいさせているので、自



- 分も不安だが、日に日に老けていく父の姿をみていると早く元気になって父の介護の相談にのってあげたいと思う。(女性、70～74歳)
- 地域で高齢者の見守り制度の充実を望んでいます。(女性、70～74歳)
  - 上記の制度について(ボランティア等)勉強をしたいと思いますが、目下(狭心症)(胸痛)の療養中のため、体力作りのため少しづつ起きている時間30分位から少しづつ努力しておりますが、平成25年7月～12月迄、息子に世話になりました。これから先は体力次第ですがその折りはよろしくお願い申し上げます。(女性、75～79歳)
  - 自治会や町会の班長制度及びゴミ出しの用具の出し入れ等を75歳以上の人(家庭)には、免除出来るようにしてもらいたい。足腰が弱く計算等や回覧板は関係なく(利用できるもの2～3回)であります。町会費等は納めます。お願いします(役所の通達あれば希望)。(男性、80～84歳)
  - まだ自宅の仕事しているので何も出きない。(女性、70～74歳)
  - まだ仕事しているので何も出来ない。(男性、75～79歳)
  - 妻がお店をしているので出来るだけお客様と話をコミュニケーションを取って行きたい。(男性、75～79歳)
  - 高齢化社会であります、同時代の人間交流に乏しいので市役所、地区内の交流システムを計ってもらいたいです。(女性、80～84歳)
  - これから1人暮らしの方が多くなると思いますので、1人暮らしの方に声かけ運動などが活発に地域で行なわれることを希望いたします。(女性、65～69歳)
  - 問6に関係しますが、都下で行なわれているようなゴミの出し方について(市、集める方をお願いです)。自分の家の前に各々出し集めて行って頂くと助かります。ゴミを出すことやゴミの当番等が(一番?)大変になります。各々高齢化するので、近所の方に迷惑、重荷にならないように。(女性、80～84歳)
  - お店をしているので、できるだけお客様の話を聞いて元気にしてあげたいし、自分もお客様に元気を助けて頂いています。(女性、70～74歳)
  - マンション住いの為、町内会に加入していないので、自治会や老人クラブの活動に参加出来ないのが残念で、マンションの住民は孤立するような気がします。(女性、70～74歳)
  - マンションの1階に、高齢者くつろぎ室を計画しています。ご支援よろしく申し上げます。(男性、85～89歳)
  - 町内会を中心に、もつともつ町内会運動を活発にした方が良いと思う。(女性、65～69歳)
  - マンション1Fに高齢者くつろぎ室を計画しています。ご支援よろしく申し上げます。(女性、80～84歳)
  - 近所の助け合いで、気心の合う人たちで毎日過ごせれば一人暮らしでも寂しさが和らげると思います、長い間暮した人たちと助け合っていけたらいいと思います。私も一人暮らしの方に少しでも出来た惣菜を渡しています。自宅だけでは食べきれないので、お使いにさそったりヨガに行ったりして楽しんでいます。これからも少しづつ助け合っていきたいと思います。(女性、65～69歳)
  - 自宅で月～金9～5時まで毎日仕事をしていますので、趣味とかボランティア活動には参加出来ません。又出来るようになったらぜひ参加したいと思っています。仕事も一人でなくパートさんと一緒にやっていますので色々と話す機会は多いと思います。(女性、65～69歳)
  - 遠出が不可能になった時のために、近所の人達との共通の話題、時間をもてる、サークル等に参加したい。近所の人からは、「同じ気持ち、作って下さい」と言われた。(女性、65～69歳)
  - 昔のような近所つき合いができれば良いと思う。(男性、65～69歳)
  - 地域の福祉の充実は感じています。きめ細かい見守りを望みます。(女性、75～79歳)
  - 元気な高齢者は病む人を支える。出来る事をみんなで無理しないで。近所の助け合いは特に大事。(女性、70～74歳)
  - 美容業を開業していますので、お客様との会話を心がけて、聞いてさしあげております。(女性、65～69歳)
  - 81才になりますがゴミ当番が7週目に1回廻って来ます。これから85才すぎになった時大きな(かご)をごみ置き場に持って行かれるか心配です。東京のように家の前に出せるようお願いしたいと思っています。(女性、80～84歳)
  - 早とちりでご免なさい。高齢で独居老人なので町会の当り番は無理と判断し脱会しました。文書にして提出しました(町会長に)。そのような住民は色々な制度は利用出来ないのか調べて下さいませ

- せ。（女性、80～84歳）
- 年令的にもぎり々の生活をしていますが住宅でのゴミ当番は高齢者にとって、カゴ網出し入れなど冬場・雨の日などとても大変です。大きな問題だとは思いますが、少しずつでも改善出来たらと思います。（女性、75～79歳）
  - 近所つきあいは文化の考え方をもちたいと思います。（男性、75～79歳）
  - ボランティア介護参加しておりません。これからの自分はわからない？（女性、75～79歳）
  - 今70才です。あと3年位ガンバレルト思うのでどういふボランティアがあるのか知りたいです。連絡先お知せ下さい。（女性、70～74歳）
  - 一人暮らしなので夜中に具合が悪くなったりした時が心配です。又はけがをして倒れた時とか、救急車を呼ぶときとか。永くマンションに住んでいるが、つきあいがなく名前も分からない。郵便ポストにもNO名前も書いてないので分からない。地域の人ともつきあいがなく暗い感じ。もっと明るい近所の日々を暮したいです。マンションはどこでもそうでしょうけれど、顔も知らない人が多いです。（女性、70～74歳）
  - ボランティアは食事作りに行ってます。（女性、65～69歳）

### (13) 街づくり（バリアフリー）

- 年を取っても近所の人を助けたり、助すけられたりする環境を作ってもらいたいです。孤独死にならないように日々、考えて行きたい。（女性、65～69歳）
- 75才すぎたら全乗車券無料にしてほしい。電車、バス。（女性、75～79歳）
- 元気にしている分、いろんな会合に顔を出し、世間一般の交流を計りたい。体育館の利用については大巾に安く利用出来るように。（男性、75～79歳）
- あまり深く聞かれる事は困る。個人的に市役所も不便で相談も大変でした。ケアマネの人もいろいろありました。（女性、70～74歳）
- 高齢者向スポーツ施設の充実を計ってほしい。（男性、80～84歳）
- 散歩、通院等、道路に休む場所、憩う場所（椅子をもうけ）がほしい（100米に1個所）。（男性、85～89歳）
- 車いすでの移動を（行動範囲を）もっと、自由に出かけられる環境であればいい。（女性、80～84歳）
- 対高齢者プログラムのほとんどが、精神的・肉体的に半分自立していない人を対象として運営されているが、完全に自立している高齢者も結構いるので、そういう人を対象としたものも考えるべきでしょう。高齢者限定ではありませんが、新座市にはまともなプールがありません。しっかりした屋内プールを作ると老いも若きも利用できます。そうすると上手な運営で小中学校のプールは不要になります。老人にとってプールは足腰に負担のかからない運動の場です。（男性、65～69歳）
- 高齢者にやさしい地域にしていきたいです。（女性、65～69歳）
- 市バス停に椅子がないのは新座だけ。公共施設もバスの乗入れ出来ないのも新座だけ。もっと市の担当者は研究すべきだ。（男性、75～79歳）
- 去年近くに（野火止4丁目？）小さい集会所が出来ましたので催し物がありましたら気軽に参加出来やすくなり、とてもうれしく思います。（女性、75～79歳）
- にいぎバスの停留所が遠いので困っている。にいぎバスを利用できない。あけぼの住宅前辺にあればと思います。（女性、75～79歳）
- 東京都はバス代が無料に近いのに、埼玉県では有るといいと思います。（男性、75～79歳）
- 出掛けたいが交通費が高いからバス券等ほしい。（女性、80～84歳）
- 安くて栄養も考えられたレストランがもっとあるといいと思う。（女性、65～69歳）
- 今後高齢者が増えていく社会になります。お互いが支え合う、支えられる地域作りが必要かと思えます。研修会があっても開催場所が遠いと仲々出席出来ませんので、各地のコミセン等を活用して欲しいと思います。（女性、65～69歳）
- 市の施設が手洗い（階段など）車椅子で利用する時にバリアフリーに問題が沢山あるので点検し利用しやすい施設に改善していただきたい。（男性、65～69歳）
- この年になっても以前の残っている保険料の督促が恐喝まがいに送って来る。交通費が高すぎる。せめて電車・バス代を半額にしてもらいたい。（男性、70～74歳）
- 寝たきり等予防のために、居住地域で学べたり参加できることの情報が得やすいようになって欲しい。近くにポストが欲しい。（女性、65～69歳）
- 健康な低所得者からまでも、介護保険料を徴収することが福祉制度の充実とは思えない。高齢者が無料で利用出来る交通機関を市バスだけでなく、東京都のように路線バスの利用も検討して頂きたい（市バス本数少なすぎ）。（女性、65～69歳）
- 都内に友達が多く一緒に出かける事があり、都営、バス、電車を使う度に悲しくなります。埼玉は高齢者に冷たい県だと思います。（女性、80～84歳）
- 福祉も大事なことですが、それよりも近くにスーパーもない状態です。一番近くても老人の足で15～20分もかかって買物に行くようです。これは食料品と薬局だけのことで衣料はありません。近くにスーパーの一つも出来る事を願っています。人間、食べなければ生きられません。バスも一時間に1～2本しかありません。（女性、70～74歳）
- 本人の強い意志（希望）がある場合安楽死の制度を考えるべき（本人もまわりもその方が幸せになれる場合）。近くにスーパーがないのに個人商店はやめていく家はドンドン建ってきているそんなところで福祉より先に近くにスーパーの方が先ではないか。そうは思いませんか？（男性、70～74歳）
- 栄地区からは交通（バス等）の便が悪いと思う。良いイベントでも参加を見送る事が多い。（女性、

80～84 歳)

- 他県ではバス1000カードが出ているとのこと。他件の知人はカードが有るから、健康のために毎日楽しく外出しているとのこと。埼玉にも2000～3000のカードを発行してもらいたい。1人住いの人はカードが有れば外出して、知らない人でも声をかけてくれます。スーパーの無料のお茶を飲んでいても、声かけして話しが出来ます。バスの乗り降りすれば足腰も強くなります。考えてみて下さい！！(女性、70～74歳)
- 市内のバス等で無料等、又は特割引等。(男性、85～89歳)
- 公共的なバス等が近くにきてもらおうと福祉センター等にもっと行けるのではないかと思います(自転車では限りがあるので)。(女性、65～69歳)
- にいバスの事ですが、いつ見ても乗っている人がいません。年間高い料金(何百萬)を払っているでしょう。他にそのお金を使うようにしては如何ですか…1日に2回とは少なすぎます。保谷のバスは1時間に1度は来るそうです。(女性、80～84歳)
- 通院のための交通手段(近くも含めて)がほしい(タクシーは、近くへ行くとき使いにくい)。(男性、80～84歳)
- 路線バスの利用方法。(男性、75～79歳)
- キリスト教会での活動、老人センターでの湯、図書館(新座市とは限らない)の視聴覚教材の貸出しなど有効に使っています。ひばりが丘駅周辺に図書館(地域境界なし)が欲しい。新座の図書館遠すぎる(東久留米の図書館を利用しています)。(男性、80～84歳)
- タクシー代を少しでも援助してもらえたら助かる。(女性、75～79歳)
- 路線バス等の運賃(料金)等考慮してほしい。(男性、70～74歳)
- 他市は70才以上の方はバスが無料だそうです。新座市にはそのような制度はありませんか?(女性、75～79歳)
- 他市のシルバーパスを埼玉県にも取り入れて下さい。交通費が支出大です。(女性、75～79歳)
- 年を重ねてくると駅の階段の上り下りが大変なので、エスカレーターやエレベーターがあれば高齢者ももっと出かけることができると思う。(女性、75～79歳)
- フリーバス券がほしいです。(女性、80～84歳)
- 他市のように交通に無賃等が欲しい。(女性、70～74歳)
- さらに充実することを切望する。交通機関のサービス等。(男性、70～74歳)
- 自力で歩かないので交通手段がどうにかならないか(例えばバス等)、色々あります。書ききれない。お願いしたい事はたくさんあります。初めてのことでですのでよろしく願いいたします。(男性、80～84歳)
- 各地区に高齢者福祉センターなどがあると先々心強く思う。(女性、70～74歳)
- 新座市の場合、公共施設はあるが交通の便が悪く利用しにくい。あっても利用できないのであればないのと同じなので、利用しやすい環境を作るよう考えて下さい(女性、65～69歳)
- 路線バス割引チケット制度の導入を希望しています。(女性、75～79歳)
- 新座市の(ニイバス)を充実させ、もっと便利に利用出来るようにしてほしい。東京都のように老人福祉パスを新座市でも適用してほしい。同じ年金額なのに友人(東京都)はバスや電車もバスで利用出来るのに、私達は自己負担で、すごく不公平感を感じる。(女性、65～69歳)
- ニイバスは以前の通りにした方が利用しやすい。(男性、70～74歳)
- 利用する時期が目の前に迫っているのですが、現在何とか自力で暮らしているので内容について積極的に検討していないのが現状です。にいバスが利用出来ません。バス停が近くにないからです。市役所に行く時利用出来れば助かります。(女性、70～74歳)
- にいバスが市役所まででは利用出来ない。志木までにしてほしい。バスの回数券がほしいです。(女性、75～79歳)
- 高齢者の通院しやすい(気軽に行けて待ち時間の少ない)病院をたくさんつくってほしい。(女性、70～74歳)
- (1)バスに乗りにくいので駅や市役所等、ボランティア的有料で車にのせていただきたい。市の指導で使用料等示して募集してほしいです。(2)栄三条通りのカードレールがシルバーカー等で歩きにくく、トラック、車に止められると大変に危険に感じます(入る人、出る人の道巾がなく歩きにくいです)。(女性、85～89歳)
- 電車、バス等の公共機関で出かけたくても、ひばりが丘駅まで、バス停から遠く、なおかつエスカ

レーター、エレベーター等の設置もない為苦勞しております。近隣の高齢の方もみなさん同じ事をおっしゃっています。もう少し外へ出かけやすい環境作りを早くすすめてほしいと思います。みんなが住みやすい街作りをよろしくお願い致します。（女性、75～79歳）

○にいバスの増便等、高齢者が市役所へ行く手段を充実させてほしい。（女性、75～79歳）

○にいバスを利用、大変助かっています。欲を言えば「にいバスを待っている時椅子があるといいなあ」と思います。（女性、75～79歳）

○バス（ニーバス）を利用したいのですが、あの時刻では利用できず無用のチョウ物です。字がこまかくて、大変時間がかかります。老人が書くのですから大きな字にしてください。（女性、80～84歳）

○高齢者には厳しい環境です。車社会、ゆっくり徒歩で目的地に行ける交通機関と補助をお願いしたい。自力で行動したいです。「にいバス」の役目が不明です。何故運行しているのでしょうか。出掛かける車の多い私ですが利用できたことは今だに1度もありません。（女性、75～79歳）

○市のバスがもう少し我家の近くに来て下さるとこれから病院買物に行くのにも楽になると思います。バス停までは12分～ぐらい歩きます。これからもっと歩くのが遅くなると出るのが少なくなるような気がします。（女性、75～79歳）

○野火止用水路、柳瀬川、黒目川等々遊歩道にトイレを増して貰いたい。（男性、70～74歳）

○今、あたごに住んでるが、駅迄いかないと、いい物が買えない。清瀬はバスが無料だったが、あたごは同じバスで行かないとだめなのに、無料バスがない。（女性、70～74歳）

○志木駅近くに老人福祉の場所がない（福祉の里）の小型がほしい。（女性、70～74歳）

○にいバスの路線変更と便数が少ない。（女性、75～79歳）

○現在の住居が清瀬の駅の近くです。新座市役所及びその周辺の催物、相談などは交通機関などが不便で出掛けにくい。新座市民だと感ずるのは選挙の時くらいです。問8の問題は今の私には一番大事な事柄ですが、気軽に相談に出掛けられる状態ではありません。（女性、80～84歳）

○外出があまり出来ないので、車イスごと乗れる車などの利用をしやすくできる制度があればいい。（女性、75～79歳）

○高齢者の免許（運転）更新前に、別に教習所で講習を受ないと（有料）更新が出来ないと聞いていますが、免許更新時にも数千円必要なのに講習を有料で受けないと更新できないと言うのは、高齢者にとっては死活問題だろう。どうしてもやるなら無料にしてほしい。運転免許を返納した高齢者には、公共交通機関を生涯無料に出来ないでしょうか。（男性、65～69歳）

#### (14) 年金

- 政府は、社会保険制度の充実、発展のために、もっと力を尽くすべきだ。憲法の理念、25条を尊重して。(男性、75~79歳)
- 若い者を苦しめてまで、年金で生活できているのだから社会に貢献するのがあたりまえ。高額な年金を取っている年寄りから高額な保険料を取れ！毎日ゲートボールや自分のための散歩をしている者から多額の保険料、他の税金を課して。(男性、75~79歳)
- 年金よりの税は無税は？(税金を支払い積立た金)(男性、70~74歳)
- 年金額は下がり、生活費は上がり、日々の生活は、生きるのが精一杯。もう少し楽な一生を終わりたい気持です。(男性、70~74歳)
- アベノミクスで長い長いトンネルから脱出が起きつつあり喜ばしいことで昇給も上昇することでしょう。本人は65才から介護保険始め社会保険等健康なため納税を10年以上払続けて居ます。社会はベースアップあるのに年金は段々目盛りしています。国に迷惑掛てない人は何年、何十年納税して居る人には定期昇給とはならないものだろうか、あくまで素人判断で。(男性、75~79歳)
- 国民年金では、きびしいので介護保険料は国がしっかりと考えて下さい。(男性、70~74歳)
- 国民年金では介護も受けられないです。今は元気だから良いですが、これから先不安です。(女性、75~79歳)
- 少ない年金から自動的に保険料がとられて一銭も使わないで死んだ場合少しでも割戻しする制度があっても良い。遺族に。(男性、70~74歳)
- 年金から差引かれて居るがどうなってるか知らない。現在1人入退院のくりかえしでつかれて昔の家政婦協会からでもお願いしたいと思っています。年金から引かれる分、ためておき自分でのみ。子供達の分をたすとかなりのお金です。実のところあのお金はどうなってるのか知りたい。子供が多い人はその分サービスしてくれないと、大変な努力で育てたので少し生んで楽しめた人と同じではいくら平等ですと云われても子供を生む人が少なくなります。国とか社会とか世話して下さいと望むべきでないと思って来ましたが勝手に年金からお金を差し引く。それで面倒を見てやって。(女性、75~79歳)
- 年金生活であり、その年金を一方向的に減額するような政治をされないように願いたい。今の内閣が財政再建を高らかにうたっているが、その一端を年金生活者の年金を減額しているが、これはどうゆうことか…？(男性、80~84歳)
- 男女共20才になったら国民年金を払う事。(男性、70~74歳)
- 介護にばかり力を入れず年金額をなんとかしてほしい。年金生活ぎりぎりです。ロジャース以外、買物出来ません。(女性、70~74歳)
- 年金額が低い。年金の生活どんなか、わかりますか？(男性、70~74歳)
- 国民年金が少ないので介護保険を引かれると生活が出来ません。(女性、65~69歳)
- 介護保険は必要とは思いますが、安い国民年金から夫の収入が高いからと言って妻から高い保険料を強制的に年金から差し引くのは納付出来ません。(女性、70~74歳)
- 年金生活者です。介護保険料が高すぎる。引き下げを。(男性、75~79歳)
- 安い年金(非課税に値する)に対してもっと介護保険料を安くして欲しい(年金2ヶ月、17万、保険料5000)今まで一度も利用した事ありません。(女性、75~79歳)
- 年金生活の老人の生活を社会がもっと考へて善処される事を祈りながら近い将来この世から去って行きます。(男性、75~79歳)
- 国民年金額から天引きされています。高額介護料は大変です。(女性、65~69歳)
- 年金支給額から考えると介護保険料は高額と思います。(男性、70~74歳)
- 勝手に生活して来た人が「得」をして、努力して生活した人が結果として「損」する制度は不信になり、協力したくない。まじめに加入した国民年金が老後もらえない世の中はあなたこそどう思いますか。…(男性、75~79歳)
- 年金が40年前に入った時は望みがあり、頑張って厚生年金、そして国民年金と掛けいざ60才となったら思いの他少なくて、それから介護保険とか、引かれ…あの年金の夢はどこに…？(女性、65~69歳)
- 国民年金では食べてゆけないので必死で働いている。(男性、70~74歳)
- 私と家内2人の年金、106682円也、で生活しているけれど苦しい状態である。介護保険は、簡単に利用出来ないとのこと大変不満である。(男性、75~79歳)

- 現在は仕事があり生活出来ますが出来れば年金（国民）で生活出来たらと思います、そういう老人ホームがあると良いと思います（有料で国民年金では無理です）。（女性、65～69歳）
- 少ない年金から強制的（自動）に引かれるのは納得がいかない。（男性、70～74歳）
- 年金の目減からこれからの生活基盤が不安と同じに保険が受けられなくなる。（女性、70～74歳）
- 年金の収入に対して介護保険が高額だと思います。その時になって充実した介護を受けられるのか不安です。（女性、70～74歳）
- 年金ぐらしの独居老人（収入は年金のみ）から所得税、消費税を払わされるのは心外だ。住民税は払いたい。（男性、75～79歳）
- 高齢化社会で年金は下がり、年金暮らしはますます苦しくなる一方、有料老人ホームやグループホームの入所料は高いので一般庶民が入れるような介護保険施設を増やし、手軽に移用できるように希望します。又、「にいざ元気アップ広場」にH26年5月からぜひ参加して、健康相談や体操をしたいと思います。（女性、70～74歳）
- 今の年金では、介護保険施設には入る事が出来ない現状の年金額。「長寿も困った事です。」（女性、65～69歳）
- 元公務員だった為、それなりの年金収入があります。しかし税的に何の優遇措置も無い為、住宅税、国保、介護税、公共料金等を支払うと生活費に困窮する状態です。中間貧窮層への施策、対策が必要だと感じます（現在、公的業務に従事の皆さん、老後は決して楽ではありませんよ！！）。（男性、70～74歳）
- 身体障害者5級3才から。年金が1ヶ月1度が良い（国保があり）。小使いがないので困っている。（男性、80～84歳）
- 生活保護を受けず母子家庭でがんばって来たが年金のあまりの少なさに今は一人になって、みじめな生活です。廻りにはあまり迷惑かけたくないので健康に気をつけがんばるしかないようです。（女性、65～69歳）
- 消費税、介護保険料等、諸費用、物価の高騰による生活費の増大は年金生活者にとり脅威である。（男性、80～84歳）
- 昨年主人を介護し亡くなり両制度お世話になり有りがたくお受けしました。私の年金は生活するにはきつい。合計で見るとこんなにも思いながら受ける時は嬉しく、やはり収入が多ければ気にならないのではないのでしょうか。（女性、70～74歳）
- 話はちがいますが、生活保護を受けている方がいっぱいいるみたいですが、国民年金よりも多くもらえるという話をきくのですが、国民年金よりも多く出すと言うことはまずいんじゃないですか。そんなことしたら年金やめて生活保護を受ける人がいっぱいになるのではないですか。少し考えて下さい。ぜひ市長さんに話をして下さい。（女性、65～69歳）
- 介護保険制度は必要ですが、介護保険料が高い。年金から引かれる為、特に国民年金の為、生活は苦しい。（女性、70～74歳）
- 上記については（音楽ボランティアを除く）例えば1日働いて昼飯代位はボランティア先で負担してほしい。理由として…年金収入のみの生活者です。家の修善費も控えています。現在ですので、それ以上の出費が困難なのです。一例…エアコンの取り替えも出来ていません。夏は電気が…で控えています。（男性、65～69歳）
- 姉が脳出血で倒れた時、年金収入額が基準以上とかで高い保険料を払っていたにもかかわらず何の補助も受けることができなかつた。矛盾を感じる。（男性、65～69歳）
- 住宅ローン返済の為に72才まで必死に働かなければ自分の楽しみもできない。年金が毎月減らされている、生活できない！！景気が良くなるようですが消費税値上げ。ところが私どもの年金は、下がる一方（住宅ローン代払い）。生活は、苦しくなるばかり老いても働かなきゃやっていけないあり様です。助けて下さい！！（男性、65～69歳）
- 昔と比べ、この制度はある程度安心と（今利用されている方々の様子をみますと）いう感じはします。今年金生活で、今以上に消費税が上がり、年金が下げられたらどのようなになるかは、先がわかりません。（男性、75～79歳）
- 受けている年金と介護保険代の比率が悪い。でも介護なしです。ありがたく思っています。（男性、70～74歳）
- もう少し高齢者達に（年金等）気をつけてほしい。一人暮らしは何かと大変です（物価高）。（女性、80～84歳）

- 国民年金だけでは生活が出来ないので、福祉について支援をお願いしたい。（女性、75～79歳）
- これからは年金も減っていくので生活だけでいっぱいです。（女性、65～69歳）
- 老人の住みやすい世の中にしてほしい。少ない年金から税金を沢山取らないでほしい。（男性、70～74歳）
- 企業年金が4月から少なくなるので生活が大変です。（男性、65～69歳）
- 高齢になると今の自分の生活は苦しく借家生活で毎日朝から晩まで働きつづけなければ生きていけない状態です。少ない年金から介護保険料も多く引かれ生活が苦しいです。（男性、65～69歳）
- 消費税が上がったり物価が上がっているのに年金が減額されて納得いきません。赤字分をどのように補てんするのか…生活のレベルを下げる事でしょうか。これ以上上がりません、早く年寄り死んでくれと言われているようです。（女性、75～79歳）
- 今でも十分な年金と思っていないのに年金が減ることが心配。もっと生活費がほしい。おこづかいも。（女性、70～74歳）
- 安心して生活出来るような環境で過したい。生活が不安（年金等）。（女性、65～69歳）
- 我家は年金他に何も収入がありません。介護保険は今の介護を使っている人の応援と言われてますが、生活が大変なのに人を助けなければいけないのでしょうか。（女性、70～74歳）
- 遺族年金で生活は大変です。生活が大変な家に目を向けて下さい。（女性、85～89歳）
- 年金ももらえず、介護保険料も高額で生活が非常に困難です。身体も悪い中、無理をして働いているので、働けなくなった後の事を考えると非常に不安です。（女性、65～69歳）
- 国民年金ではやっていけない。（男性、70～74歳）
- 必要な事無駄な事をしっかり見極める。持家（ローン有）の年金生活者としては高額と思える税金・保険料を払っている。（女性、65～69歳）
- 口先では福祉の大切なことを言うが、施策としてはますます負担増。特に我々年金者には重くのしかかる。毎度のことで年金よりの待ったなしの引落としです。国も地方も行政は高齢者を守って下さい。（男性、70～74歳）



(15) その他

- 生活保護受給の支給額を衣食住、付き合いを出来る額にして頂きたい。(女性、65～69歳)
- 自分自身の健康は日々努力して自身で作上げる。(男性、65～69歳)
- 現在迄必要性がなかったので全くわからない。(男性、75～79歳)
- 高齢者をもっとやさしく(役所の人は特にお願いします)。あまりにも決められた通りの対応に気分悪くすることがあります。(女性、70～74歳)
- よくわかりませんが妻がいないと困ります。(男性、75～79歳)
- どうしよう。(男性、90歳以上)
- 今後段々年が進んで行くので1番体のことが心配です。1人暮らしなので何時も安心して夜もよくねむられません。(女性、85～89歳)
- 将来について身体、心に不具合が出て来た時、対応をして頂ければ幸いです。(男性、65～69歳)
- 出来るだけ、元気で利用しないで済むよう希望としています。(女性、80～84歳)
- 生活保護費上げてほしい。(男性、70～74歳)
- 人、皆それぞれ違いますから決めつける事はよくない。(女性、90歳以上)
- 高齢になって色々と税金他、金額を色々と通帳から引かれていくのが悲しい。国の税金の為に私らが年をとってもお金を引かれていくのが口惜しい。早く死んだ方がましだと思う時たまたま思う。(女性、75～79歳)
- 1人で出来てますので。(女性、75～79歳)
- 80才の今でも就労して居り有難い。(男性、80～84歳)
- 現在は元気なので意見が浮ばないので。(女性、70～74歳)
- あるが書いてもしないであろう。(男性、75～79歳)
- 現在の処ナシ。その節は相談にのって下さい。(男性、75～79歳)
- 詳細がわからないので特に意見がない。(男性、75～79歳)
- 私は学歴もなく、容量も悪く、人づき合いがへたなので、自分流の生活しか望めません。(女性、70～74歳)
- 年寄り笑うな行く道じゃではありませんが、足は駄目では精神的に助ける事は、5男4女の主人の親。7番目で4男104才6ヶ月で死亡した親を見た事から精神的に相談や話は出来ると思っています。あまり制度とかたくならずお願い致します。(女性、70～74歳)
- 手厚い思いやりに感謝しています。(女性、85～89歳)
- 高齢者とは何だか、よく判らない。(男性、65～69歳)
- 今は良いが、これからは、わからない。心配。(女性、80～84歳)
- 長生して良かった！と云える国(世の中)にしてほしいと思います。今、高齢者の介護が大変になってきている家庭が多く(親が長生きであれば介護する子供も高齢者になり、されるほうもするほうも大変)、あまり長生きしたくないという声をよく聞きます(女性、65～69歳)
- 収入に対して料金が高い(女性、70～74歳)
- 1人1人が、それぞれに人に頼らず自立して行けるよう日常生活に、メリハリをつけ情報をうまく利用し前向きに努力すべきだと思います。(女性、70～74歳)
- 現在、65才を過ぎても毎日、仕事をしているので多忙です。(男性、65～69歳)
- いろいろ高齢者への配慮に感謝申し上げます。(男性、70～74歳)
- 毎日が不安です。同居の子供が、あまり会話ない。あまり心配していない。(女性、75～79歳)
- 生活保護を受けているだけで恥しい。その他の事は自己責任でやる。(男性、65～69歳)
- 現在、まあまあ健康なので今のところは、なんとかよいが、やさしく安心して老いられたらと将来はおもいます。(女性、75～79歳)
- たくさんあるので書ききれない(娘)。(女性、70～74歳)
- 人間の根本問題についての理解が進む要あり。(男性、65～69歳)
- 先のことは、なんとも言えないけれど、自分の体は自分で守る、鍛える。人の手を借りる時がきたら、その時は、少しお願いしたい。(女性、70～74歳)
- 温泉施設の割引券を前のように何枚でも発行して下さい。なぜなら、医者に行かないで(一回おきに行ってます)足・腰が楽になりました。(女性、70～74歳)
- 今の所、自分が必要としていないのでよく解りません。(女性、70～74歳)
- 同居の私の母親(97才)、別居の夫の母親(95才)をかかえているので自分の生活を考えてい

- るような気持の余裕がありません。夫も病氣療養中です。（女性、65～69歳）
- 現在夫婦の生活で満足しています。金がないけど。（男性、70～74歳）
  - 只ため息が出るのみ。長い人生もこれ位のもの。（男性、90歳以上）
  - 今のところ自分自身の心配はありませんが、夫に何かあった時（将来）少し考えます。（女性、70～74歳）
  - 年をとると食も細くなるし、目も悪くなって、心細い気持を自分で納得させるのにはどうすれば良いか、仲々、思いが交錯して困っています。（男性、80～84歳）
  - こちらがお世話になる年令と心得ています。2人分の事でいっぱいです。（女性、80～84歳）
  - できるだけ他人の世話にならぬように生きていきたいと考えている。健康とは？どんな状態を言うのかをもっと知るべきである。長生きの定理を考え公表して欲しい。（男性、85～89歳）
  - 長寿支援課、介護保険課の市職員、皆さんに心から敬意を表し、感謝しています。（男性、75～79歳）
  - 福祉の世話になってカラオケ、飲食、飲酒などしている人達を見かけるとムカつく。（女性、70～74歳）
  - 低年金、生活苦の方には愛の手を差し伸べて下さい。日々の生活は、食費より家賃料が高く、大変です。でも生きているかぎり頑張っています。一生ゆとり有る生活を願う。（女性、75～79歳）
  - 老人だから、もう少し、少なくしてほしい。あまりにも大きすぎます。（女性、75～79歳）
  - 主人が今現在昨年5月より入院していますので（介護5の認定）を受けていますので主人の分は省略させていただきます。病名には胆石、胆嚢炎から誤嚥性肺炎を起こし気管切開をしていて声も出せませんし、口から食物も水も飲めない状態です。（女性、80～84歳）
  - 今の処ありませんが、色々とお気づかい賜り有難うございます。ボケないよう頑張ります。有難うございます。今後共宜敷くお願い申し上げます。（男性、80～84歳）
  - 総ての行政について国と同様無駄の無い行政を望む。住民も又高齢者も総てに於て自助、共助、公助に関心を持って助け合いの精神を養って明るい高齢者社会を！！（男性、75～79歳）
  - いまのところ考えはありません。必要になった時思い出す事があると思います。（女性、70～74歳）
  - 持病を色々抱えているので悩んでいます。（加齢のせいです）（女性、75～79歳）
  - 寒くて何もする気がございません。（女性、90歳以上）
  - 世代間の相互の理解と敬意もりたい。（男性、75～79歳）
  - あまり良く知らない。（女性、75～79歳）
  - 係のみなさんへ調査等ごくろうさまです。（男性、70～74歳）
  - 同居と云っても、ほとんど働いている者ばかりです。私は日中1人です。（男性、85～89歳）
  - 今の所どうにか1人でやっていますが、いつどうなるのかはわかりません。その時はお世話になることになると思います。（女性、75～79歳）
  - 年如に体力がなくなります。現在も、不眠冷え左脚のシビレで悩んでおります。（男性、85～89歳）
  - 私一人で家を支えている現状です。主人が20年前より病気をし仕事は全くしておりません。私が健康を害し働けなくなりました時には宜敷くお助け下さいませ。それ迄は出来る限り頑張ります。皆様のご多幸をお祈り致します。ご苦労様です。（女性、70～74歳）
  - いずれはお世話になると思いますが頑張ります。よろしく申し上げます。（女性、90歳以上）
  - このような制度が充実されていくことによって人と人とのふれ合いの機会が生まれ、より前向きで心豊かな日々を送ることが出来るはずです。次世代を担う若い方々にとっても将来に希望を持って今いる場所で益々のご活躍へとつながっていくものと思います。ご担当の皆様本当に有難うございます。（男性、75～79歳）
  - なるべく自分の事は自分でできるように生活できるよう努力するが、それでもお世話にならざるを得なくなったら…（女性、65～69歳）
  - とにかく健康であることに毎日感謝してます。（男性、70～74歳）
  - 色々大変苦勞が有ると思うが宜しく、お願いします。感謝。（男性、80～84歳）
  - 今までベットが借りられてたのになくなる不安。夜中のトイレ4～5回行く。ベットなしでは足腰に負担有り。夜の睡眠がとれなくつまづき、転倒に対する不安が大きく感じる。（男性、75～79歳）
  - 高齢者が増えているのでお金がかかるのは仕方がないと思いますが、一生懸命して下さる方にきちんと届くようにして欲しいと思います。たれ流はいやです！！（女性、65～69歳）
  - 手の指が痛い時があります。（女性、70～74歳）

- 母子父子家庭には保護が有りますが、娘との暮らしにはなにも有りません。病院でもよく一人で来たかと言われますが、娘に働いてもらわないと生活していけません。社会にも迷惑をかけておりますが娘に気兼ねです（女性、80～84歳）
- 私は義母で介護のお世話になり大変感謝を致しております。義母は92才で大変平和な心で亡くなりました。ので今私に出来るのはお隣の応援を致しております。83才でお一人で暮らしていらしゃいます。最近ケアマネジャーさんがお決まりになったと。（女性、65～69歳）
- 生活の安定さえあれば身体のためにも良いと思ふので、金（生活）のため働かないとだめなので参加出来ない。（男性、80～84歳）
- 他の自治体は、老人の日には何らかのお祝いの物、はがきなど来てるようですが新座に住んで30年、1度たりともなしです。（女性、80～84歳）
- 国の政策がころころ変り不変性が見当たらないのであてにならない。ましてや、地方行政においてはあてにならない残念。政治家よっっかりしなさい。（男性、75～79歳）
- 一人暮らしの人は誰方でも感じていると思いますが、とにかく一日中口きかない日があり、電話の鳴る事ありません。私等は孤独で死ぬ事が怖いです。（女性、80～84歳）
- 市町村民税が高い。（男性、85～89歳）
- 長生はしたくない。税金の無駄使いもしたくない。日本尊厳死協会に入ってます。臓器提供カードもあります。死の権利もあっていいと思います。（女性、70～74歳）
- 今後も宣しく、御願ひ致します。今後56年間は続ける積りです。（男性、75～79歳）
- 「出来るだけ自分でやることを心がける」が大事だと考える。国や機関に甘えず生きることが理想だが。（男性、65～69歳）
- 高齢者を大事にし下さい。（女性、75～79歳）
- 健康は自分で管理をして、他人の世話にならないとの信念を持たなければ（男女共85才くらいまでは）だめだと思っている！（男性、75～79歳）
- 今はお世話になっております。（女性、75～79歳）
- まだ介護の事は関心がないかな。（女性、65～69歳）
- 現在は健康で介護保険や高齢者福祉の世話になっていないが、これから先の事を思うと心配する。（男性、80～84歳）
- これから先保険制度や福祉にお世話になりますので、よろしく願いいたします。（女性、90歳以上）
- 月に2回趣味の会で文学作品について聞く会。その他不定期でコンサートや映画に出かけます。（女性、85～89歳）
- 何も利用出来ない。お金がないから（女性、75～79歳）
- 現在仕事をしてますので詳細な点まで考えていないのが実情です。（女性、65～69歳）
- 目下、勉強中。（男性、70～74歳）
- 制度があっても出来ない。（男性、85～89歳）
- 娘と同居しているため、つきつめて考えたことがない。（男性、80～84歳）
- 加齢のため心身が弱くなり、不安定になりますから助けて下さい。（女性、80～84歳）
- 今義母を介護していますが自分が心配です。（女性、65～69歳）
- 現在は入退院の繰り返しなので、何も言えません。（女性、80～84歳）
- わかりません。人事ではありません。（女性、80～84歳）
- 一番あほらしく、不信な事は復興税である。世間は良く不平を言わないな？（男性、70～74歳）
- 老々介護について。今は車の運転が許されていますが、もう運転を止めろと言われてたらどうするか。（男性、80～84歳）
- 現在はしごく元気に生活していますので特に思いつきません。（女性、65～69歳）
- 書類などよくわからないので書けない私が心配です。（女性、70～74歳）
- 健康保険を、12ヶ月に分けて納入してもらいたい。（女性、70～74歳）
- 此の先どうなるかわからないので心配。（女性、75～79歳）
- 制度に感謝しております。（男性、85～89歳）
- 加齢と共に先が不安。（女性、70～74歳）
- 皆、急に高齢者になるわけではないので、常日頃心がけて人や国の財政に迷惑をかけないように、自分の健康を自覚して日々を過ごしたら、これから益々高齢社会になっていくので、福祉に頼らな

- くてもいい自分が希望です。頑張って健康に気を付けていこうと思っています。(女性、65～69歳)
- 良いと思います。(男性、75～79歳)
  - 2、3年先にいろいろ考えます。(男性、65～69歳)
  - 現在調剤薬局にて医療事務の仕事をしております。(女性、70～74歳)
  - 不勉強で良く理解してません。勉強せねばと思っています。(女性、75～79歳)
  - いない。(女性、75～79歳)
  - 支払いに不安(生活)。(男性、65～69歳)
  - 江戸時代の書に商人は孤高に生きると教えている。介護を受けて生きる、そこまでして生きたくない。しかしなかなか死なない。(男性、75～79歳)
  - 意見は沢山ありますが、まとまりません。(女性、65～69歳)
  - 後からそっと知られず力強くおしてくれたら良いなと思います。(男性、65～69歳)
  - とてもありがたいことです。(女性、80～84歳)
  - 今は健康なので特には無い。(男性、70～74歳)
  - 毎日老人達遊んでるけど、しっかりしてる人達といると、皆進んで色々なことをして、老人達の元気なことでびっくりします。健康ですばらしく良い年を向かえていることで、良い人達です。(女性、65～69歳)
  - 現在の所は、まだ大丈夫ですが、先に行って御世話になるかもしれません。(女性、70～74歳)
  - これから先が不安です。(男性、65～69歳)
  - もう少し先になったら、真剣に考えなければ…と感じているから、今は65才になったばかりで、現実感が湧かない!!(男性、65～69歳)
  - 家族で支え合って行くべきで、家族の崩壊が問題だ。政治の問題だ。(男性、80～84歳)
  - お世話になる時が来たらお願い致します。(女性、80～84歳)
  - 只今は健康なので、この状態を長く維持するため、食、運動にも全力投入し、バランスを保つ努力をしている。(男性、70～74歳)
  - 御世話になります。(男性、70～74歳)
  - 有難いと思ってるが勉強不足を痛感。(女性、85～89歳)
  - さしせまって必要としていないので、良く理解していない。機会をみつけて勉強します。(女性、65～69歳)
  - もし私のような無能者でも、使って見て下さい。(男性、75～79歳)
  - 意味と中味がよく理解できない。(男性、70～74歳)
  - 自分の事は自分でがもっとう。(男性、65～69歳)
  - 切迫感のない現在、制度への意見はありません。(男性、70～74歳)
  - 制度について不勉強であまり理解していない。(男性、75～79歳)
  - 消費税を増税するなら、企業減税でなく、すべてを社会保障に回すべきだ。(男性、80～84歳)
  - 今、まだ実感がない。(女性、65～69歳)
  - 妻(脳出血、H19)の介護をしているが、いわゆる老々介護であり、自分が動けなくなった時のことを考えると暗くなる。(男性、70～74歳)
  - よろしくお願いします。(男性、75～79歳)
  - 現在はまだ介護は必要としないが、又お世話になると思います。(男性、70～74歳)
  - なき母より、1. 国の世話になるな!、2. 自分の事は自分でやる事、の指導頂いた事を厳守している。(男性、65～69歳)
  - 先づ子供にさせること。(女性、70～74歳)
  - 保険料は高いが自分が受ける時はどうなのか?(男性、70～74歳)
  - 父母が亡くなり、まだ気持ちの整理ができていません。なので友人達と話したり、等々もまだ無理。これからもよろしくお願い致します。(女性、65～69歳)
  - なかなか第一歩が踏み出せないのと続ける事が出来るか不安がある。(男性、75～79歳)
  - 趣味は月に2回1泊の温泉旅行、ツアーで行くので毎日足も強くなるようにトレーニングしています。(女性、75～79歳)
  - その他小学校の1年生の生活補佐員も続けております。今は管理人の仕事で週2日働いております。まだ働けると言う楽しみで毎日を過ごしております。(女性、70～74歳)
  - 今のところよくわかりません。これからもよろしく願いいたします。(男性、65～69歳)

- お世話よろしくお願ひします。(女性、65～69歳)
- 市役所内をたらい廻しにされた。どこに行けばいいのかわからないことが多い。(男性、85～89歳)
- 廻りで受けている者から話を聞いた事がないので判らない。(男性、70～74歳)
- 特にありませんが、ずいぶん大事にされていると思っています。ありがとうございます。(男性、75～79歳)
- 一人暮らしなので今後が不安です。(女性、65～69歳)
- 今の年だと出来る事は全部やる。姉が86才すぎたら入院した。私も85才迄は元気に何でも出来ると思う。杖とタクシーと生協を利用して、一人でカラオケに月1回。姉、義兄の見舞に日大病院に行っている(大山)。私は〇〇県出身なので田舎を思うと涙が出ます。あんな地震の多い所によくも作ったものだ。どんな地震が来ても大丈夫と思ったのでしょうか。(女性、80～84歳)
- 自立する事が大切。少しでも他人に役立つ事を考える事が大切。(男性、75～79歳)
- 現在の体力、智力が保てるよう努力したいと思う。その為の努力は少しづつ行ないたい。(女性、85～89歳)
- 何時の間にか87才です。1日1日幸福でいたいものです。よろしくお願ひいたします。(女性、85～89歳)
- 可能な限り周囲に迷惑を掛けずにポックリ行きたいが、それも簡単には進みませんネ。(男性、65～69歳)
- 突然長男と同居生活になりましたので(病後同居)、今は自分の健康と日々の生活でいっぱいです。食事や病気しないよう毎日を送っています。(女性、70～74歳)
- 自立することを心がけ三方好の心で。(女性、85～89歳)
- 頼りになりません。毎日心配。(女性、80～84歳)
- 息子が障害を持っているので、自分だけの生活ではなく、この頃疲れを感じる時がある。(女性、65～69歳)
- これからもっと重要になると思う。(男性、90歳以上)
- 今後年金生活者には経済的負担が重くなります。現状維持が続けられるよう自分なりの努力をしたい。(女性、75～79歳)
- 自分自身で介護されたくないため、日々健康に気をつけて、体を動かし頑張ってます。(女性、65～69歳)
- まだその気になって居ない。(男性、80～84歳)
- まだまだその気持になりません。(女性、75～79歳)
- 福祉について良く理解出来ていないので意見は書けない。(男性、75～79歳)
- 費用負担の程度がよくつかめていない。(男性、70～74歳)
- 無理やり長生きさせないで、安らかに往生できる世の中にしてください。(男性、65～69歳)
- ピンピンコロリを願っております。その節はよろしくお願ひいたします。(女性、75～79歳)
- 日々、パートで働いておりますので、社会参加できません。(女性、65～69歳)
- 今のところはいいと思っています、ありがとうございます。(女性、75～79歳)
- 現在経理事務をしております。(女性、70～74歳)
- 若いうちから健康について公と私で関心をもち、努力する心を養うべきだと思います。(女性、80～84歳)
- 年令的に色々出来にくいです。(男性、85～89歳)
- 自分で出来ることは人に頼らず、甘えず頑張るゆきたい。世の中長寿になったので年をとった人も働ける場所が必要なのではないか…?(女性、70～74歳)
- 使用してませんので実感としてまだ分かりません。(男性、70～74歳)
- 今の所バスガイドとして乗務(バイト)してますので幸せな人生を送っています。(女性、75～79歳)
- 息子は都内に住んでいますが一年一回も顔を見せません。何か言うと分ったと言いますが、だんだんと今は私も何にも相談もしないし、がんばって1人でやっています。(女性、75～79歳)
- できるかぎり自立。(女性、80～84歳)
- 世の中の役に立てなくなったら、介護まで受けて生きるのはいかがでしょうか。自分は昨年6月で指揮の仕事がなくなり、生き甲斐を失った。来年、2回だけ指揮できるので、それが終り。(男性、80～84歳)
- 内容が良く解らないのでなんとも言えません。(女性、65～69歳)

- 健康である事が一番だと考えさせられる。(男性、70～74歳)
- 人間の尊厳を考えて下さい。(女性、85～89歳)
- どうぞよろしくお願いします。(男性、75～79歳)
- まだ65才になったばかりで仕事引退引継中のため、高齢者などについては、これからゆっくり考えます。(男性、65～69歳)
- リウマチにより介助がないと動けない時があり、それより息子が家で見守ってくれているが仕事についていない為心配はありますが…今は私が動けるようになっているが、後いつ介護が必要になるかと思うと息子をあてにしてしまう。(女性、70～74歳)
- 言っている事とやっている事が矛盾している元気で働きなさいと言っておいて、収入が多いから病院の医療費が現役並みだとか、働けば働くだけ元気でやれとって取り過ぎだと思う。若いのに何にもしないで生活保護で遊んでいる者が多くいる現状ですね？働けばバカを見る時代ですね！(男性、70～74歳)
- 一人暮らしなので、どう考えて良いかわからない。(女性、80～84歳)
- 出来るだけ、保険(国民健康保険)を使用しないようにがんばるつもりです。(男性、70～74歳)
- よろしくお願いします。(女性、90歳以上)
- 社協と東部第一福進協をやっているの、出来るかぎり頑張ってやっていく。(男性、65～69歳)
- 声帯を取りましたので、TELだけでは連絡が出来ない。各部門にメールを受け付けられる事を考えて下さい。特に病院、消防にも連絡が出来ない。(男性、65～69歳)
- 少しでも行政の負担がないように一生を終えたい。(女性、65～69歳)
- 制度等詳しい事を知らないの、何にも言えない。(女性、70～74歳)
- 今は介護されてないが、いつ介護してもら分か分かりません。介護されないようがんばりたいけど年には勝てません。何年も前ですけど買物に行って歩いててころんだ時はショックでした。それ以来気を付けてます。(女性、80～84歳)
- 長寿支援課に期待しています。(男性、75～79歳)
- うまくは言えないですが、いずれはお世話になるのだらうなと思います。そのときにはよろしく。(男性、70～74歳)
- 自分が健康なせいか内容がよく分っていない。(男性、70～74歳)
- 86才という体力では参加出来ない。(女性、85～89歳)
- 自分の体が思うように動けぬようになると本当にきびしい。頑張る努力をしたい。(男性、80～84歳)
- 最後まで「自分の事は自分で」をモットーに努力中ですが、いよいよの時はお世話になる事でしょう。その時ははよろしくお願いします。(女性、80～84歳)
- 現在仕事してますので。(女性、65～69歳)
- 現在、主人が元気ですが、一人になった場合心配です。(男性、65～69歳)
- 配偶者、介護をお願いしてます。ありがとうございます。(男性、80～84歳)
- まだ実感がない。(男性、70～74歳)
- もう少し年を重ねないと分らない。(男性、65～69歳)
- 介護について、まだ考えた事有りません。(男性、65～69歳)
- 書ききれませんので割愛します。悪しからず。(男性、75～79歳)
- 老人ホームの空室状況を毎月知りたい。(男性、70～74歳)
- 私個人では今の状態を保って行ける事を一番大切にしています。(女性、85～89歳)
- 現在は毎日仕事出来るが、倒れて入院等で動けなくなる事(妻の場合でも)が非常に不安に思う。(男性、65～69歳)
- 若い時しっかりと備えておれば心配はない。(男性、65～69歳)
- これから勉強したいと思います。(女性、70～74歳)
- 今現在、深く考えた事ありません。近々、考えるようになると思います。(男性、65～69歳)
- 今は同居人と助け合っておりますが、どちらか一人になって自立する自信がありません。特に本人の不安を思うと何とかならないかと心配ばかりです。(妻)(男性、70～74歳)
- 誰かに頼ろうとか、介護を受けようとか考えずにシャンと自分自身で生きて行こうという気持ちが大事。(女性、75～79歳)
- 介護を受けないよう努力し、日常茶飯事を大切に生きて行きたい。(男性、80～84歳)

- 現状ではまだ理解出来ない。(男性、70～74歳)
- いろいろな制度があり、ありがたい。(女性、85～89歳)
- 何時もありがとうございます。(男性、80～84歳)
- いつどのように変化することかわかりませんが、常にまわりのこと等に興味を持って接していきたい。(女性、75～79歳)
- 今は仕事何とかしているけれど、この先1人だし何をしても不安です。(女性、65～69歳)
- どんな事をしてくれるか、わからない。(男性、65～69歳)
- その時にならなければ分からない。なんとか自力で済んであの世に行けたらいいのだが。(男性、70～74歳)
- 今は元気ですが、いずれ御世話になる時が来るだろうと考えてます。(女性、85～89歳)
- 先天性関節症で子供の時から5回手術を受け、左足の筋力が全く無く、足の疲れが早く長歩き出来ず、何とか足に力を付けて身軽に歩きたいと思っております。医師からも色々制限を指定され、淋しく思う事が度々有ります。(女性、65～69歳)
- 80才も「分」読みでやってきます。いづれお力添えをお願いすることもあるかと思えます。真に無収入・無財産の人に確実に「福祉」が届きますように。(女性、80～84歳)
- 今は元気なのでわからない。(女性、75～79歳)
- なるべく自分のことは自分でと思っています。(女性、80～84歳)
- これから先、お世話になる事になると思う。(女性、75～79歳)
- 自分の健康は、自分で作るよう規律ある生活を実践する。(男性、70～74歳)
- 今迄は関心があったが今後は勉強しなければと思っています。(女性、75～79歳)
- 介護が必要になったとき、どちらかが、しっかり見る事が出来るか、不安である。(女性、70～74歳)
- 健康で普通の生活を過せる事に感謝しています。なるべく自分の力で生き、終わることが出来るよう日々の生活を心して生きていこうと思っています。(女性、75～79歳)
- 当事者になると諸問題も出ることと思いますが、具体的に。色々自分のこととして考えたいと思います。(男性、75～79歳)
- 無年金に収めてある金額が少しでも出て下されば少しは介護保険などに年で病気したときお世話になったりしたいと考えますが、今は収入が少なく働いていますので色々考えてボランティア、サークル、などで楽しんでいる暇がありません。(女性、70～74歳)
- ありすぎます。(女性、85～89歳)
- 介護ヘルパー(在宅)をしています。16年めに入りました。まだ仕事ができることに感謝です。(女性、65～69歳)
- 色々意見が有りますが、メモ出来ないです。多すぎて分らず末記入のとこ有ると思います。よろしく。(女性、85～89歳)
- 今、健康な身体ですのであまり考えてない。(男性、70～74歳)
- 60代で義理の親、姉弟を何人も送りましたのでトラウマになっています。(女性、70～74歳)
- 何にしる国民年金生活の最低で1人住まいですから国はもっと貧乏人に支給して頂きたいと思えます。(女性、80～84歳)
- 国の協力が必要と考えている。(女性、75～79歳)
- 今は、1人で頑張っておりますが、これから先はどうなるかわかりません。その時は助けて頂くことになると思います。(女性、70～74歳)
- 同年会で一人住居と同居人がいる場合の差がありすぎる。同居人が居ても昼間は勿論、ほとんど一人住居の感じの人は沢山います。(女性、80～84歳)
- 今現在深く考えた事が無いのははっきりと答えられないです。(男性、70～74歳)
- 身体障害者証がなくとも中程度の歩行困難者でも車の運転可能な者にも駐車禁止除外指定車の許可を出せるようにしていただきたい。(男性、80～84歳)
- 現在仕事現役中の為手があかない。(男性、70～74歳)
- 今、元気だから思い付かないけれど将来的には必要になるかも。(男性、70～74歳)
- 高齢者よりも子供(入学前)にもっとお金を使って欲しい。少子対策が必要だ。(男性、75～79歳)
- 子ども、高齢者は社会の弱者が安心して暮らせる国づくりが急務。軍事費、原発再利用にかける費用は不要。(女性、75～79歳)

- 昨年支援センターお世話になり、ありがとうございます。（女性、75～79歳）
- 今は元気です。身内の人が介護を受けていますが大変だと思います。私の妹です。一緒に住んでいる人は大変だと思います。自分はそのようにならないように毎日気をつけていくつもりです。（女性、70～74歳）
- 今、現在の毎日が大変で他のことは考えられない。（男性、65～69歳）
- 言いたい事は一杯ある。（男性、90歳以上）
- どうして良いかわからない。（男性、75～79歳）
- 現在仕事まだ現役の為考えていません。（男性、65～69歳）
- 老後倅せと思えるようにして欲しいです。（女性、65～69歳）
- 私の考えとしては、人にできるだけ頼らず自分の事は家の人に迷惑かからず、とことん弱音はかず、毎日生活していきたいです。（女性、70～74歳）
- 何かあるだろうが、今急に思いつかない。年かな。（男性、80～84歳）
- 必要な状態になればそれから色々勉強したい。今は詳細がわかりません。（女性、65～69歳）
- 自分がその時になったら意見が出来ると思います。（女性、75～79歳）
- 年々高齢者が増加して行く現在、市、県、国の福祉は大変になり、若者は益々大変な世の中になって行くね。私にも先のことは読めないね。今は日本の平和と世界の平和を祈っています。（男性、65～69歳）
- 今年一年間はフルタイムで働いて、家のリフォームを自分でやっていきたいと思います。それ以降のことは白紙の状態、考えたくない。このままいけばいいと思ってます。（女性、65～69歳）
- 国の税金の利用法に不満あり。我々の年代は人口が多く国への税金も多く、その税金をたくわえておけば、今、これから先介護保険料などもっと少なくてすむはず。今さら少子化はないはず。毎年ハッキリしているので20年、50年、100年先のそれ以上先の資金計画、誰か実行してほしい。企業は黒字の時は貯える。国は税金増の時代は無駄使い？（男性、65～69歳）
- 今のところ必要ないのであまり関心がない。（女性、70～74歳）
- 主人が亡くなって丸一年経ちましたが体調が不安定、時々救急車のお世話になり、自分にめげずに頑張っております。（女性、80～84歳）
- 一生、介護なしでくらしたい!!!老後なのに楽しく生きたいのに。（女性、65～69歳）
- いずれお世話になると思いますが、それまでは我が家の事は廻りの人達に相談しながら日常生活が無理なく出来るよう日頃から気を付けて暮らせたらと思ってます。（女性、70～74歳）
- 細かい事を理解してないので。（男性、75～79歳）
- アンケートを書いた翌日に車止につまづき、右手と左手を痛め、骨折・ひびはありませんが、不自由な生活。一人では何も出来ず（腕に力が入らず）、これからもっと年令を重ねていくのに一人になったら不安でした。（女性、65～69歳）
- 誰もが老人になる。老人にやさしい社会であってほしい。（女性、75～79歳）
- 今の処充実している。頑張る積り。（男性、75～79歳）
- 子供からのいじめがあって、窓口へ相談に行ったが解決してもらえなかった。本当に困ったとき、市では何もしてくれなかった。差し障りのないことばかり言っていないでほしい。（女性、80～84歳）
- いずれはお世話になったり活動することになると思いますが、今の所は参加することは考えていない。自分たちの生活で目いっぱい。（男性、65～69歳）
- 出来るだけ長くお世話にならないようにと思ってますが、何でお世話になるかわかりません。よろしくお願いします。（女性、70～74歳）
- 今は健康なので現実には、すいません、考えた事ありません。テレビでも嫌な物は見ません。毎日楽しい事しか見聞しません。それが私の健康法です。福祉は大切な制度ですが、私には難しい。あまり考えた事（保険）ありません。これから真剣に考えます。（女性、75～79歳）
- 酸素吸入でひとり暮らしなので収入が少くないので寝たきりになった時の事が心配。皆様のお世話になるのが心苦しい。（女性、85～89歳）
- 皆様のおかげで、100才を目標に生きています。ありがとう（女性、90歳以上）
- 年寄りの事など考えないのにやっているフリをするな。（男性、75～79歳）
- 現在は元気なので考えられない。（女性、65～69歳）
- 義理の母を半年足らずだったが介護、そして今は東京に住んでいる母を病院に連れていっている。同居している嫁と仲が悪い。そして同じ世帯という事で援助してもらえず、食事も近くのコンビニ



- 買物、92才の母。何か、私の老後を見るようなこの頃。(女性、65～69歳)
- 結構、充実していると思います。(男性、70～74歳)
  - 市は日々どうしようとしているのか、意図不明。(男性、70～74歳)
  - なかなか難しい問題ですね。(男性、75～79歳)
  - 健康生活を努力し介護生活にならないよう注意。頑張ります。(男性、80～84歳)
  - 一生懸命頑張っていますが、いつかお世話になる時が来ると思いますのでよろしく御願い致します。(女性、70～74歳)
  - 今後どこまで老人が増えるのか想像も出来ません。役に立つ間は無償でも働きたいけれど、若い人の職場を奪うことは避けたい。役に立たなくなった時、いいタイミングであの世に行けるなら幸いです。生けるナントカになって永らえることになるかも知れず、その時迷惑をかけないように、貯えを持つ必要がありますね。地方自治体の役割は大きくなる一方だと思います。御苦労様です。(男性、75～79歳)
  - 極力、それらの制度には面倒をかけたくない。ギリギリまで自力で生きていきたい。そのために20年間これまでジョギング、ウォーキングをほぼ毎日やってきた。おかげで歯科以外は25年間発病していない。20年以上、風邪や発熱もなく、薬も体に入れていない。(男性、70～74歳)
  - これから勉強したいです。(女性、65～69歳)
  - あまりに困りが杖をついて歩いている人達が多くて困りものですね。もっと自分の身体を丈夫に普段から鍛えておく事だと思います。私より年下の人でもちょっとの事で医者に通っている人がいますが、私には理解出来ません。少しの事なら自力で治します(ちょっと答えが違いますが)。(女性、75～79歳)
  - もう少しきめ細かくお願いします。(女性、75～79歳)
  - もうすぐという年令なのだろうけれど、できるだけ一人歩きでいたい。(男性、70～74歳)
  - 太平洋戦争等々物質のない時に苦労してますので無駄な事はしたくない。ケチと言われればそれまでですが、なるだけ自分で出来る事はしたいと思ってます。病気にはかかりませんね。命あつての人生です。(女性、85～89歳)
  - 市の健康診断ですが実施時期が短かすぎて、暑い間は、水分を取らない検査が体調をくずして受けられず、秋口から寒い時期は風邪などで、結局年内に受診できず、もう2年受けていません。また、受診するのに市役所に行かなければならず、他県他市がどういう方法でやっているか、参考にしていただけないでしょうか。(女性、65～69歳)
  - 自分で動ける時は自分で出来る事はやりたいと思います。いろいろと市政の方で、高齢者を助けて下さる時は、同意して若い方々のお世話をかけないように生活したいと思っております。(女性、75～79歳)
  - 人のお世話を受けないよう心身の健康を維持したい。(男性、70～74歳)
  - 他人のお世話が無理なので、他人に迷惑かけないように日々、気を付けて過ごしています。(女性、70～74歳)
  - 多々あるが、現在は健康なのでOK。夫婦共に、身体が動かなくなった時に、どう出来るか。(男性、70～74歳)
  - よろしくお願いします。(女性、70～74歳)
  - 本人は、眠れない程、苦痛を感じてますが、言葉がはっきりしてるし、見た目では判断される場所もあるように思います。(女性、80～84歳)
  - 現在、私は左目を仕事で事故にあい目が見えなくなりまして、つらい日々を送っています。(男性、70～74歳)
  - 妻が脳梗塞で入院し、私も事故で左目が見えません。将来が不安でなりません。(女性、65～69歳)
  - 自分の用事が出来なくなったときに心配です。(女性、85～89歳)
  - 老人を労わるのは大変、結構なことだ。しかし老人も積極的に体を動かし自分でできる事は、自分での気持ちを持つことが大事。私は2011年1月に変形性股関節症と診断され、手術をすすめられた。脚が痛くて立っていることも、歩くこともつらい時、座席をゆずってもらった時は本当に有難いと思った。その後、リハビリのエクササイズで歩けるようになり現在は5～7km位歩けるようになった。痛いからじっとしていたのでは治すことはできなかったろう。調子をみながら毎日トレーニングしたのが効を奏したと思う。動くことが大事だ。(女性、75～79歳)
  - 生活保護、現在受けていると、どうなるか心配です。(男性、75～79歳)

- 内容が、よくわからないのです。(女性、80～84歳)
- 一人暮らしに、自信が持てなくなりました。(女性、75～79歳)
- 自身の身体的な状況が見えないので今は、意見は申せません。(女性、70～74歳)
- 今まで、健康で来ましたので年々、老いて来て知らない事、解らない事一杯あります。(女性、80～84歳)
- まだ実感がないです。(女性、70～74歳)
- 毎日の家事に追われ、趣味も続けられません。(女性、75～79歳)
- 現在、心不全、腎不良、腹部大動脈瘤手術人工血管に交換等の関係か、買物等で飲料を運ぶと身体全体が重くなる。要支援に近づいている感じである。(男性、85～89歳)
- 現在のところ介護は必要ありませんが、これからは、自分なりの行動に注意し、1日1日を大事に過ごしていきたいと思います。(男性、75～79歳)
- 私が父を介護していた平成2、3、年当時はほとんど何もなかったのですが、今はその頃に比べると大変充実してきていると思いますが、自分がその立場になってみないとまだよくわかりません。(女性、65～69歳)
- 今は健康なので考えたことがない。(女性、70～74歳)
- 生きている以上一生懸命生きている。(男性、85～89歳)
- 現在入院中なので退院してからはっきりわかると思う。(女性、80～84歳)
- 今の所健康の為に何も考えていない。(男性、75～79歳)
- 色々とお勉強になりました。(女性、85～89歳)
- 90才なので1人でがんばってます。御世話様です。(女性、90歳以上)
- 私は女に住みづらいたいといつも思っています。うつ病がどんどんひどくなるのですが夫に言えません。女は一生家の事や人のつきあいをしていくのがとてもイヤになりました。(女性、65～69歳)
- 今のところ自立出来ます。人それぞれですが。(男性、75～79歳)
- 自分に何をして良いか、若くないので。(女性、70～74歳)
- 税金の負担が大きい。(女性、70～74歳)
- 大変お世話になっております。ありがとうございます。(女性、70～74歳)
- 理解が不十分ですので意見なし。(男性、85～89歳)
- 本人がその時になって見ないと何ともいえる事ができません。(女性、75～79歳)
- 仕事はしていませんが、孫の面倒を見て娘の所で住まわせて食べさせてもらっているので収入もなければ何もないのが現状ですので、身体の方はおかげさまで元気にしています。(女性、65～69歳)
- 今の年から考えられないので。(男性、65～69歳)
- 人生90年時代、教育の制度改定を望む。4才より義務教育21才～社会生産～66才「再社会教育」生きがい。(男性、70～74歳)
- まだ良くわかりませんが、自分が動けなくなった時にはお世話になりますのでよろしくお願い致します。(女性、75～79歳)
- 受けてみないと分からない。(女性、75～79歳)
- 今は良いが将来は収入が決まっているので生活が不安である。(男性、65～69歳)
- 今はまだ仕事、仕事の毎日です。年は取りません。(男性、65～69歳)
- 多々有りここでは書ききれません。(男性、70～74歳)
- いつかはお世話になると思いますが、現在(86才)自力ですが、ガンを4回手術しておりますので、ひっそりと暮して居ります(肝臓癌です)。孫(女子)が切実に面倒をみてくれています。娘が病人なので。(女性、85～89歳)
- お世話になるかどうかははっきりわかりません。その節はご相談にあがりますのでよろしく願います。(男性、80～84歳)
- もうすぐ自分にも身近かな問題だと思っている。(男性、65～69歳)
- 現在元気であり、先の事をあまり考へておらず、今後考へます。(男性、75～79歳)
- 仕事をしている為、考へ中。(男性、65～69歳)
- 息子と生活していますが、日中は1人(3年程度前から一緒に暮らす)。2人生活になると廻って来て下さる事もなく、今は良いがこれから先き家に居る時間が長くなる頃少々不安を感じております。(女性、75～79歳)

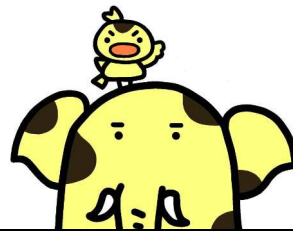
- 面倒です。（女性、70～74 歳）
- 若い時から段取りしておく。していた。（男性、65～69 歳）
- 今のところ自分の事は自分で出来るので、自分でやりたいと思います。（女性、65～69 歳）
- いつもお世話になっているので感謝しています。どんどん年をとりますので、今まで以上にお世話になります。（女性、90 歳以上）
- 今迄は健康に恵まれていたので自由に生活して来ましたので深く考えて来ませんでした。他人とのかかわりは余り好きではない。一人でのびのび過ごす生き方が気分的に楽で幸せを感じる。（女性、75～79 歳）
- まだまだ現役なので、これから考えて行きます。（男性、65～69 歳）
- 交通が不便なので清瀬方面しか行けないのが残念。娘と 2 人私は自分の生活は自分でしております。世話になっているのがつらいです。（女性、90 歳以上）
- すべての税金を安くして下さい。生活が大変です。（男性、85～89 歳）
- 被爆健康手帳を持っている。（男性、90 歳以上）
- 働いています。（女性、70～74 歳）
- 人生の最後まで、自分の事は自分ででき、他人を頼らない生活がしたい。（男性、65～69 歳）
- 現在、比較的健康的に、毎日仕事している為、現実として考えにくいですが仕事ができなくなった時、収入も減ることから出来るだけ、低額でサービスを受けることが望ましい。なるべくお世話にならないで済むように頑張りたいと思う。（女性、75～79 歳）
- 高齢者が金銭面で安心して暮らせていけることが一番望ましいことだと思う。（女性、70～74 歳）
- お世話様になり、ありがとうございます。（男性、80～84 歳）
- 視力に障害がある為、自分の事は出来るが、他人の事の世話まで出来ない。（男性、70～74 歳）
- その立場になってみて感じるのではないかと思います。（女性、65～69 歳）
- 積極的に参加出来る選択があればよいかと思います。（女性、65～69 歳）
- 良く理解していない。（男性、75～79 歳）
- 倅い来年秋結婚 6 0 周年を迎えるが、老残を愁ふ。（男性、80～84 歳）
- 制度など受ける立場に未だなっていないので、よくわからない。（男性、75～79 歳）
- 私はまだ仕事をして家にいないので思うように書けません。長年仕事をしてきたので半世紀以上仕事一筋に頑張っています。おかげさまで体は今の所どこも悪い所ないのでとてもありがたい事と思っています。（女性、70～74 歳）
- 結婚して 6 3 年。お互元気な方とは云えないが、仲よく助けあって本当に有りがとうと貴方と暮した 6 3 年しあわせでしたと感謝できるように頑張りたいと思います。当方 9 4 才と 8 3 才気持的に若い人には負けません。くよくよしないで楽しく生きましょう。問 8 については必要の有る人に厚くお願い致します。介護を受けている方、十分な介護を受けられますように頑張って下さい。明日は我が身！！（女性、80～84 歳）
- 現在、仕事をしてます、主人の手伝事務の仕事。1 月 2 7 日に 2 5 年度の申告を済ませました。とても私は忙しいのです。（女性、80～84 歳）
- 現在も元気になっていますので、あまり考えた事はありません。此の先は利用するかも。今の所元気ですので、なんとか頑張っております。（男性、70～74 歳）
- いくら年をとって、希望を持って生きてない。（女性、85～89 歳）
- 最後まで自分の力で生きていきたいと思います。これが私の願望です。（女性、85～89 歳）
- 年金が少なく預金を切り崩して生活しています。預金も 2～3 年で底をつきます。家を売らなくてはならない場合はどうしたらよいのでしょうか。（女性、70～74 歳）
- 現在の状況でやや満足しています。（男性、80～84 歳）
- 救急車のお世話になった事ありますが、夫と 2 人で担当者以外がドカ・ドカ入って来るのに困っています。近所なので何も云えません。係の方がそれと無く入れないように出来ませんか？わが儘でしようか？（女性、85～89 歳）
- 被爆手帳を持っている。（女性、90 歳以上）
- 子供が良く知るべきです。（男性、80～84 歳）
- 内容が良く解かりません。（男性、65～69 歳）
- 今現在仕事についているので、これからいろいろと考えなくてはならない事が出て来ると思っています。（女性、75～79 歳）

- 体力が落ちてきてやる気もありません。努力はしていますが。（女性、75～79歳）
- 身体が不自由でできない。（男性、75～79歳）
- 自立した生活で出来ればと思っているが、年々衰えて行く体力に多少の焦りを感じる。毎日の運動（1日2時間の散歩）と朝昼の2食の食事作りを重ねているが、同居の家族と生活構成が異なり、意見が異なり、老後を自由にさせてもらいたいと思っていることで悩みがある（家族間の問題で解決することであるので時間を掛け解決を計りたいと思っております）。（男性、80～84歳）
- まだ実感がともなわない。（男性、65～69歳）
- 今は働いていますが、この8月で70才になるのだなあと思います。税金を納税するのに頑張っている毎日です。（男性、65～69歳）
- お金が無いので何も考えられないです。（男性、65～69歳）
- 今現在パートで働いております。午前中5時間程。生活が苦しいので、出来る限りは働くつもりです。（女性、70～74歳）
- 何でも人を頼らず、自分の事はできるかぎり自分でやる。（女性、75～79歳）
- 年々年老いてわからない事です。（男性、75～79歳）
- 今は大丈夫だが、どうなるか想像もつかない。パッと散りたい。（女性、70～74歳）
- 特にありません。主人がお世話になりまして有難うございました。（女性、80～84歳）
- 今をしずかに過ごしたい。／今が大切なのは分かる。／今が遅いか否かそんなのどうでもかまわない。／今自分が生かされていることに感謝していきたい。／今自分が出来ることをやっていきたい。／今しかできない。／今心に渦巻いている。／今天や世に生かされている巡り合わせ。／今、不思議な今の恵にありがとう。（男性、75～79歳）
- 成行きに任せる以外にありません。（男性、65～69歳）
- 現在働いています。（男性、70～74歳）
- 子供が中三と高二なので子育て最中につき年寄扱いはされたくない。週6日間仕事に行ってます。7掛人生で現在49才のつもり。今後こういう書類はいりません。（男性、65～69歳）
- 収入に対して、各税金が高すぎる。（男性、65～69歳）
- 常にありがたい事と思い、話題にもしております。（女性、70～74歳）
- 80才を過ぎていきますので、お世話になる事が多いと思いますが、よろしくお願い致します。（女性、80～84歳）
- 現在は健康で日常生活が送れる生活をしているが、先のことは判らないので何とも言えない。（女性、65～69歳）
- 今、病いから前向きに立ち直りつつあります。日常生活には殆ど困りません。近所の一人の方に食事を届けたりも、又出来るようになりました。主人が元気でいてくれるのが助けてです。只、主人が倒れた時は、ゴミ出し重い物を持つ等、心配になります。高齢者二人というのも自分が病気になってみて気になることです。（女性、75～79歳）
- 増え続ける高齢者の為に国・自治体はODAの予算もいいが、国内への早急な安心充実に負担軽減を尽くして欲しい。（男性、65～69歳）
- 歩けないのでなにも参加出来ない。（女性、90歳以上）
- 有り難いと思っています。（女性、90歳以上）
- 高齢者、また同年代の人と言っても身体的なこと、経済的状況・性格・考え方は本当に様々で、また健康についてはいつ変化するか分からない状態です。その福祉を考えて頂くのは大変なことと感謝致します。出来れば一人一人の状況に添って（現在もして頂けていると思えますが）見て行って頂ければと思います。お互いに出来るだけのことをし、自分自身も頑張っていきたいですが、これからもよろしくお願い致します。（女性、70～74歳）
- なるべく人様に迷惑をかけないようにしたいが、現在病気の為何かあったらご指導をしてもらいたい。（男性、65～69歳）
- 今のままで充分です。（男性、65～69歳）
- 義母を介護しているが、大変（精神的）。（男性、65～69歳）
- 現在も仕事有り（年内を通していつまで）。（男性、70～74歳）
- 何でも税金が高くて困ります。下げてほしいです。国の人達、いい思いし過ぎです。私達が一番大変な生活していると思います。（女性、65～69歳）
- 元気な時は皆様に迷惑をかけないで頑張りたい。1日1日を皆んなの輪に入り楽しく過ぎていきたい

- いです。今は楽しいです。（女性、65～69歳）
- 最近お墓の勧誘が頻繁にかかってくる。95才の義母を在宅介護しているので、どうにかならないか。困る。（男性、65～69歳）
  - 預金も底を付き、これからどう生活して行けるのか悩みです。（女性、75～79歳）
  - 介護とは離れますが、苦情です。最近、お墓の勧誘が頻繁に来て困まる。どこで調べるんだか…95才の老人宅にはいやな電話です。（女性、90歳以上）
  - 80才になりガン末期に近い病気から4年半を過ぎた。これからもどんな事でも自分でがんばって家族に出来るだけ迷惑を掛けたくない。智情意を益々みがきたい。（女性、75～79歳）
  - 土、日曜日お休みの為、家族が働いているので説明が聞けない。（女性、80～84歳）
  - 今は、体力も落ち、趣味も生きがいも考えられない。忘れました。夫の介護で疲れしました。（女性、75～79歳）
  - 75歳まで働くつもりです。（男性、65～69歳）
  - なるべくお世話になる事のないように普段から気を付けて、出来るだけ歩くように気を付けています。元気な老後を送りたい。（女性、70～74歳）
  - その節はよろしくお願いします。（女性、80～84歳）
  - その時になってみないとわからない（女性、65～69歳）
  - 現在は特に考えた事がない。（男性、65～69歳）
  - これから先お世話になると思いますが、その時はよろしくお願いします。（女性、65～69歳）
  - 助け合いの精神をもとう。（女性、65～69歳）
  - いろいろあるが今は書かない。（男性、65～69歳）
  - 今は、まだ健康なので、まだ考えていませんが、これから年齢的にありかな？と思います。（女性、75～79歳）
  - 制度の事は詳しく理解できていませんが、4年前1年数ヶ月、97歳で亡くなった母を、とても施設の方が良くしてくれた事に感謝と共に、自分自身生きがいを持ち人間として後悔ない人生を送りたいと思っています。（女性、65～69歳）
  - 若年より一層心掛け、介護保険等なき物と戒めを持つ事。又、福祉は若きに重点を置きたい。長命、長寿は善、非利用者を称すべし。長命、長寿は息災を旨とす。（男性、70～74歳）
  - 自分の家族が障がい者が居るので、自分は動くだけ動きたいと思っています。現在どこも悪くないので助かります。（男性、70～74歳）
  - こういう質問状を、いただくと本当に高齢者になってしまったんだと（何時倒れても変では無いのかと）愕然として、かえって変な気持ちになります。私もゴルフを止めた途端、膝関節症で通院する身ですので、大した事は言えませんが、お世話にならないよう、元気で過したいと思います。（女性、70～74歳）
  - マンションの3階での生活の為、足腰の弱った時が心配です（エレベーター無）。（男性、70～74歳）
  - やがては自分もお世話になることなので。（女性、70～74歳）
  - すでに3年前に脳卒中を発症し、病院から老健に移り再発で今は入院中。（女性、75～79歳）



タックシール位置



## 日常生活圏域ニーズ調査 ご協力と返送のお願い

調査票記入後は、3つ折りで同封の返信用封筒に入れて  
**1月31日(金)までに投函してください。(切手は不要です)**

調査票を記入されたのはどなたですか。○を付けてください。

1. 宛名のご本人が記入
2. ご家族が記入（続柄\_\_\_\_\_）
3. ケアマネジャー・ホームヘルパー等

### ※ 以下はあて名ご本人の情報を記入してください

電話番号	— —
年齢・性別	( ) 歳 男・女

宛名のご本人が下の1～4いずれかの理由に該当する場合は、あてはまる番号に○印をつけてください。

1. 介護保険施設(特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設)に入所している
2. 病院に入院している
3. 有料老人ホームやグループホームに入所している
4. その他 ( )

この場合は、調査はここで**終了**となります。

返信用封筒に調査票を入れて返送ください(切手は不要です)

問合せ先 新座市健康増進部 長寿支援課  
介護保険課

電話 048-477-1111

(内線1419・1444・1441)

## ご あ い さ つ

皆さまにはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃から新座市介護保険事業にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、新座市高齢者福祉計画・新座市介護保険事業計画第6期計画策定のための重要な基礎資料として、また、介護予防事業に活用させていただくため、「日常生活圏域ニーズ調査」を実施させていただくことになりました。

つきましては、本調査の趣旨をご理解いただき、回答にご協力いただきますようお願いいたします。なお、調査で回収した個人情報は健康情報という皆さまにとって大切な個人情報であるという認識に立ち、新座市個人情報保護条例に基づく適正な取扱いをいたします。

平成26年1月 新座市

## ご 記 入 に 際 し て の お 願 い

1. この調査の対象者は、平成25年12月6日現在、65歳以上の方です。
2. ご回答にあたっては表紙ラベルのあて名のご本人についてお答えいただきますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、一緒に回答されてもかまいません。
3. ご回答に当たっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲み、数字を記入する欄は右詰め（例. 

0	6	2
---	---	---

 kg）でご記入ください。
4. この調査で使う用語の意味は以下のとおりです。

**介護**：介護保険のサービスを受けている場合のほか、要介護認定を受けていない場合でも、ご家族などに日常的な手助けを受けている状態

**介助**：ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態

### 個人情報 の 取 扱 い に つ い て

この調査は、健康状況に関する調査・分析を目的とするものです。回答用紙は、当社の個人情報の取扱いについての同意書を兼ねております。調査項目へのご記入はお客様の任意ですが、個人情報欄の記載に不備などがあった場合、調査結果／分析結果をお届けできないことがあります。予めご了承ください。なお、収集した情報は、個人を特定できないデータに加工した上で調査・研究目的に利用させていただく場合がございます。

当社は個人情報の取扱いにつきましては、厳重な保護管理体制を構築し、業務を推進しております。配送業務等を外部に委託する場合にも、委託先の選定に関する厳格な基準を設け、これに合致した委託先のみ業務を委託しております。

ご記入いただいた個人情報の開示、訂正、利用停止等を求められた場合は、「個人情報の保護に関する法律」に基づき対応いたします。個人情報の取扱いについて、ご不明な点や疑問などがございましたら、お気軽にお尋ね下さい。



処理委託先  
セコム医療システム株式会社  
健康サービス部 個人情報保護管理者  
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-17-14



質問の該当する答えの番号に○印をつけ、数字記入欄は数字を記入してください。

## 設問 1 あなたのご家族や生活状況について

問 1 家族構成をお教えてください

1. 一人暮らし
2. 家族などと同居(二世帯住宅を含む)

問 1-1 ご自分を含めて何人で暮らしていますか。  
また、同居されている方はどなたですか。

\_\_\_\_\_人

1. 配偶者(夫・妻)
2. 息子
3. 娘
4. 子の配偶者
5. 孫
6. 兄弟・姉妹
7. その他

問 1-2 日中、一人になることがありますか

1. よくある
2. たまにある
3. ない

問 2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

1. 介護・介助は必要ない → 問 3へ
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない

問 2-1 介護・介助を受けていない理由は何ですか

1. 経済的理由
2. 人との関わりが煩わしい
3. 介護保険制度や手続きがよく分からない
4. その他( )

3. 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

問 2-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか(○は1つ)

1. 配偶者(夫・妻)
2. 息子
3. 娘
4. 子の配偶者
5. 孫
6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー
8. その他( )

問 2-3 主に介護・介助している方の年齢は、次のどれですか

1. 44歳未満
2. 45~54歳
3. 55~64歳
4. 65~74歳
5. 75~84歳
4. 85歳以上

【問 2で「2」または「3」と回答した方にお聞きします】

問 2-4 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか(いくつでも)

1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)
2. 心臓病
3. がん(悪性新生物)
4. 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)
5. 関節の病気(リウマチ等)
6. 認知症(アルツハイマー病等)
7. パーキンソン病
8. 糖尿病
9. 視覚・聴覚障害
10. 骨折・転倒
11. 脊椎損傷
12. 高齢による衰弱
13. 腰痛症
14. その他( )
15. 不明

問 3 主な年金の種類は次のどれですか(1つに○)

1. 国民年金
2. 厚生年金(企業年金あり)
3. 厚生年金(企業年金なし)
4. 共済年金
5. 無年金
6. その他

問 4 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

1. 苦しい
2. やや苦しい
3. ややゆとりがある
4. ゆとりがある

問 5 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか ----- 1. 一戸建て 2. 集合住宅

<p>問6 お住まいは、次のどれにあたりますか</p> <p>1. 持家 2. 民間賃貸住宅 3. 公営賃貸住宅(市・県営、都市機構、公社等) 4. サービス付き高齢者向け住宅※ 5. 借間 6. その他</p> <p>※「サービス付き高齢者向け住宅」とは、安否確認や生活相談などのサービスが提供される高齢者向け賃貸住宅のこと</p>
<p>問7 お住まい(主に生活する部屋)は2階以上にありますか</p> <p>1. はい → 問7-1 お住まいにエレベーターは設置されていますか</p> <p>2. いいえ 1. はい 2. いいえ</p>

## 設問2 生活機能について

<p>問1 バスや電車で一人で外出していますか(自家用車でも可)</p> <p>----- 1. している 2. できるけどしていない 3. できない</p>
<p>問2 日用品の買物をしていますか</p> <p>1. している</p> <p>2. <u>できるけどしていない</u> → 問2-1 日用品の買物をする人は主にどなたですか</p> <p>3. <u>できない</u> 1. 同居の家族 2. 別居の家族 3. ヘルパー</p> <p>4. 配達を依頼 5. その他</p>
<p>問3 自分で食事の用意をしていますか</p> <p>1. している</p> <p>2. <u>できるけどしていない</u> → 問3-1 食事の用意をする人は主にどなたですか</p> <p>3. <u>できない</u> 1. 同居の家族 2. 別居の家族 3. ヘルパー</p> <p>4. 配食サービス利用 5. 近所の人 6. その他</p>
<p>問4 請求書の支払をしていますか</p> <p>----- 1. している 2. できるけどしていない 3. できない</p>
<p>問5 預貯金の出し入れをしていますか</p> <p>----- 1. している 2. できるけどしていない 3. できない</p>
<p>問6 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)を書けますか ----- 1. はい 2. いいえ</p>
<p>問7 新聞を読んでいますか ----- 1. はい 2. いいえ</p>
<p>問8 本や雑誌を読んでいますか ----- 1. はい 2. いいえ</p>
<p>問9 健康についての新聞記事やテレビ番組に関心がありますか ----- 1. はい 2. いいえ</p>
<p>問10 友人の家を訪ねていますか ----- 1. はい 2. いいえ</p>
<p>問11 家族や友人の相談にのっていますか ----- 1. はい 2. いいえ</p>
<p>問12 病人を見舞うことができますか ----- 1. はい 2. いいえ</p>
<p>問13 若い人に自分から話しかけることがありますか ----- 1. はい 2. いいえ</p>
<p>問14 家事全般ができていますか ----- 1. できている 2. できていない</p>

### 設問3 外出について

問1	週に1回以上は外出していますか	-----	1. はい	2. いいえ			
問2	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	-----	1. はい	2. いいえ			
問3	外出を控えていますか						
	1. はい	→	問3-1 外出を控えている理由は、次のどれですか（いくつでも）				
	2. いいえ		1. 病気 2. 障害(脳卒中の後遺症など) 3. 足腰などの痛み				
			4. トイレの心配(失禁など) 5. 耳の障害(聴こえの問題など)				
			6. 目の障害 7. 外での楽しみがない 8. 経済的に出られない				
			9. 交通手段がない 10. その他( )				
問4	買物、散歩で外出する頻度はどのくらいですか（それぞれ1つ）						
	A. 買物…	1. ほぼ毎日	2. 週4~5日	3. 週2~3日	4. 週1日	5. 週1日未満	6. 外出しない
	B. 散歩…	1. ほぼ毎日	2. 週4~5日	3. 週2~3日	4. 週1日	5. 週1日未満	6. 外出しない
問5	外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）						
	1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク	4. 自動車(自分で運転)	5. 自動車(人に乗せてもらう)		
	6. 電車	7. 路線バス	8. 病院や施設のバス	9. 車いす	10. 電動車いす(カート)		
	11. 歩行器・シルバーカー	12. タクシー	13. その他( )				

### 設問4 運動・転倒予防について

問1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	-----	1. はい	2. いいえ
問2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	-----	1. はい	2. いいえ
問3	15分位続けて歩いていますか	-----	1. はい	2. いいえ
問4	5m以上歩けますか	-----	1. はい	2. いいえ
問5	この1年間に転んだことがありますか	-----	1. はい	2. いいえ
問6	転倒に対する不安は大きいですか	-----	1. はい	2. いいえ
問7	背中が丸くなってきましたか	-----	1. はい	2. いいえ
問8	以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか	-----	1. はい	2. いいえ
問9	杖を使っていますか	-----	1. はい	2. いいえ
問10	家の中は、手すりを付けたり敷居を低くするなど、移動しやすいようにつくられていますか	-----	1. はい	2. いいえ

### 設問5 栄養・食事・口腔について

問1	6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか	-----	1. はい	2. いいえ
問2	身長 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> cm	体重 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> kg		
問3	食べる気力がなくなってきましたか	-----	1. はい	2. いいえ
問4	人と比較して食べるのが早いですか	-----	1. はい	2. いいえ
問5	人よりも食べる量が多いですか	-----	1. はい	2. いいえ
問6	甘いものをよく取りますか	-----	1. はい	2. いいえ
問7	汁もの(めん汁を含む)を残さず飲みますか	-----	1. はい	2. いいえ

問8	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	-----	1. はい	2. いいえ
問9	お茶や汁物等でむせることがありますか	-----	1. はい	2. いいえ
問10	口の渴きが気になりますか	-----	1. はい	2. いいえ
問11	歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか	---	1. はい	2. いいえ
問12	定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか	-----	1. はい	2. いいえ
問13	入れ歯を使用していますか			
	1. はい	→ 問13-1 噛み合わせは良いですか	1. はい	2. いいえ
	2. いいえ	問13-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか	1. はい	2. いいえ
問14	1日の食事の回数は何回ですか			
	1. 朝昼晩の3食	2. 朝晩の2食	3. 朝昼の2食	4. 昼晩の2食
	5. 1食	6. その他		
問15	食事を抜くことがありますか			
	1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある	4. ほとんどない
問16	自分一人ではなく、どなたかと食事をとる機会がありますか			
	1. 毎日ある	→ 問16-1 食事をとる人はどなたですか		
	2. 週に何度かある			
	3. 月に何度かある			
	4. 年に何度かある			
	5. ほとんどない			
		1. 家族	2. 近所の人や友人	3. デイサービスの仲間
		4. その他		
問17	たんぱく質（例：肉・魚・卵・豆腐・納豆など）をどの程度とっていますか。			
	1. 朝昼晩の3食	2. 朝晩の2食	3. 朝昼の2食	4. 昼晩の2食
	5. 1食	6. その他		

## 設問6 記憶について

問1	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか	-----	1. はい	2. いいえ
問2	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか			
	1. はい	→ 問2-1 携帯電話やスマートフォンを利用していますか		
	2. いいえ	1. 電話のみ利用	2. メール・電話で利用	3. 利用していない
問3	今日が何月何日かわからないときがありますか	-----	1. はい	2. いいえ
問4	5分前のことが思い出せますか	-----	1. はい	2. いいえ
問5	その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか			
	1. 困難なくできる	2. いくらか困難であるが、できる		
	3. 判断するときに、他人からの合図や見守りが必要	4. ほとんど判断できない		
問6	人に自分の考えをうまく伝えられますか			
	1. 伝えられる	2. いくらか困難であるが、伝えられる		
	3. あまり伝えられない	4. ほとんど伝えられない		

## 設問7 足のケアについて

問1	足や爪に水虫がありますか -----	1. はい	2. いいえ
問2	足の皮膚の炎症、又はむくみや変色がありますか -----	1. はい	2. いいえ
問3	爪の肥厚※・変形などがありますか ----- ※爪の肥厚…爪が圧迫されたりすることで分厚くなった状態のこと	1. はい	2. いいえ
問4	足の指の血流が悪い、又は機能障害などがありますか -----	1. はい	2. いいえ
問5	足の指・爪のケアを定期的に行っていますか -----	1. はい	2. いいえ
問6	適切な靴を履いているか、又はインソール(中敷)で適切に調整をしていますか -----	1. はい	2. いいえ

## 設問8 日常生活動作について

問1	食事は自分で食べられますか 1. できる 2. 一部介助(おかずを切ってもらうなど)があればできる 3. できない
問2	寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか 1. 受けない 2. 一部介助があればできる 3. 全面的な介助が必要
問3	座っていることができますか(畳、椅子どちらでも可) 1. できる 2. 背もたれなどの支えが必要 3. できない
問4	自分で洗面や歯磨きができますか 1. できる 2. 一部介助があればできる 3. できない
問5	自分でトイレができますか 1. できる 2. 一部介助(他人に支えてもらう)があればできる 3. できない
問6	自分で入浴ができますか 1. できる 2. 一部介助(他人に支えてもらう)があればできる 3. できない
問7	50m以上歩けますか 1. できる 2. 一部介助(他人に支えてもらう)があればできる 3. できない
問8	階段を昇り降りできますか 1. できる 2. 介助があればできる 3. できない
問9	自分で着替えができますか 1. できる 2. 介助があればできる 3. できない
問10	大便の失敗がありますか 1. ない 2. ときどきある 3. よくある
問11	尿もれや尿失禁がありますか 1. ない 2. ときどきある 3. よくある

## 設問9 社会参加について

- 問1 趣味はありますか ----- 1. はい 2. いいえ
- 問2 生きがいはありますか ----- 1. はい 2. いいえ
- 問3 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
- (1) ボランティアのグループ  
1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. していない
- (2) スポーツ関係のグループやクラブ  
1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. していない
- (3) 趣味関係のグループ  
1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. していない
- (4) 老人クラブ  
1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. していない
- (5) 町内会・自治会  
1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. していない
- (6) 学習・教養サークル  
1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. していない
- (7) その他の団体や会  
1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. していない
- 問4 以下のような活動（社会参加活動や仕事）をどのくらいの頻度でしていますか
- (1) 見守りが必要な高齢者を支援する活動  
1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. していない
- (2) 介護が必要な高齢者を支援する活動  
1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. していない
- (3) 子どもを育てている親を支援する活動  
1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. していない
- (4) 地域の生活環境の改善（美化）活動  
1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. していない
- (5) 収入のある仕事  
1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. していない
- 問5 あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。  
あてはまるすべてに○をしてください。
- (1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）  
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫  
5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない
- (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）  
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫  
5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない
- (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）  
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫  
5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない

(4) 反対に、看病や世話をしあける人(いくつでも)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫  
5. 近隣 6. 友人 7. その他( ) 8. そのような人はいない

問6 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください(いくつでも)

1. 町内会・自治会・老人クラブ 2. 社会福祉協議会・民生委員  
3. ケアマネジャー等(ヘルパー、デイサービス職員) 4. 医師・歯科医師・看護師  
5. 高齢者相談センター(地域包括支援センター)・市役所  
6. その他 7. そのような人はいない

問7 友人関係についておうかがいします。

(1) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

1. 週4回以上 2. 週2~3回 3. 週1回 4. 月1~3回 5. 年に数回 6. 会っていない

(2) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか  
同じ人には何度会っても1人と数えることとします。

1. 0人(いない) 2. 1~2人 3. 3~5人 4. 6~9人 5. 10人以上

(3) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

1. 近所・同じ地域の人 2. 幼なじみ 3. 学生時代の友人 4. 仕事での同僚・元同僚  
5. 趣味や関心が同じ友人 6. ボランティア等の活動での友人 7. その他 8. いない

問8 自分自身がいま孤立していると思いますか ----- 1. はい 2. いいえ

## 設問 10 健康について

問1 普段、ご自分で健康だと思いますか

1. とても健康 2. まあまあ健康 3. あまり健康でない 4. 健康でない

問2 過去1年間に健診(特定健診・がん検診など)を受けましたか

1. はい → 問2-1 次の健診結果をお教えてください。 空腹時血糖    mg/dl  
2. いいえ 収縮期(最高)血圧    mmHg 拡張期(最低)血圧    mmHg

問3 現在治療中、又は後遺症のある病気はありますか(いくつでも)

1. 高血圧 2. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 3. 心臓病 4. 糖尿病  
5. 高脂血症(脂質異常) 6. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)  
7. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 8. 腎臓・前立腺の病気  
9. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) 10. 外傷(転倒・骨折等) 11. がん(新生物)  
12. 血液・免疫の病気 13. うつ病 14. 認知症(アルツハイマー病等)  
15. パーキンソン病 16. 目の病気 17. 耳の病気 18. その他( ) 19. なし

問4 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか

1. 1種類 2. 2種類 3. 3種類 4. 4種類 5. 5種類以上 6. 飲んでいない

問5 現在、病院・医院(診療所、クリニック)で受診していますか

1. はい → 問5-1 その頻度は次のどれですか  
2. いいえ 1. 週1回以上 2. 月2~3回 3. 月1回程度  
4. 2ヶ月に1回程度 5. 3ヶ月に1回程度  
問5-2 通院に介助が必要ですか 1. はい 2. いいえ





## 設問 11 介護予防や健康づくりについて

問1 あなたは、介護予防や健康づくりに関心がありますか

1. ある
2. ない
3. 関心があり、既に取り組んでいる

問2 介護を必要とする状態にならないようにするために、取り組みたいことはありますか  
(いくつでも)

1. 足腰の衰えを予防するための取り組みをしてみたい
2. 口の機能向上や肺炎の予防のための取り組みをしてみたい
3. 栄養と体力の改善のための取り組みをしてみたい
4. 認知症予防のために脳機能を高める取り組みをしてみたい

## 設問 12 介護保険やボランティアなどについて

問1 現在介護保険サービスを利用していますか。

1. はい
2. いいえ

問2 あなたは、現在負担している介護保険料がいくらかご存知ですか

- |                     |   |                                   |
|---------------------|---|-----------------------------------|
| 1. <u>正確に知っている</u>  | → | 問2-1 あなたの保険料金額は、収入に対してどう思いますか     |
| 2. <u>おおよそ知っている</u> |   | 1. 高い 2. やや高い 3. 妥当 4. やや安い 5. 安い |
| 3. 知らない             |   |                                   |

問3 介護保険サービスと介護保険料の関係について、どのようにお考えですか

1. 介護保険サービスが充実するなら、保険料が高くてもやむをえない
2. 利用できる介護保険サービスの量・回数が少なくても、保険料が安いほうがよい
3. その他 ( )

問4 今後、介護、介助が必要になったときや、現在以上に在宅での生活が困難になったときに、どのような生活を望みますか

1. できる限り自宅で生活したい
2. 特別養護老人ホーム等の介護保険施設に入所したい
3. 有料老人ホームやサービス付き高齢者住宅等の高齢者向け住宅に入居したい
4. その他 ( )

問5 いまお住まいの地域に「高齢者相談センター（地域包括支援センター）」が設置されていることをご存知ですか

1. はい
2. いいえ

問6 以下の有償ボランティアそれぞれについて、利用したいと思いますか

- |                |          |              |            |
|----------------|----------|--------------|------------|
| (1) 買物 -----   | 1. 利用したい | 2. 将来的に利用したい | 3. 利用したくない |
| (2) 食事の支度 ---- | 1. 利用したい | 2. 将来的に利用したい | 3. 利用したくない |
| (3) 掃除 -----   | 1. 利用したい | 2. 将来的に利用したい | 3. 利用したくない |
| (4) 洗濯 -----   | 1. 利用したい | 2. 将来的に利用したい | 3. 利用したくない |
| (5) ゴミ出し ----- | 1. 利用したい | 2. 将来的に利用したい | 3. 利用したくない |
| (6) 庭木の手入れ等    | 1. 利用したい | 2. 将来的に利用したい | 3. 利用したくない |
| (7) その他 ( )    | ) を利用したい |              |            |



## Ⅱ 介護者アンケート調査



## Ⅱ 介護者アンケート調査

### 1 調査概要

#### (1) 調査目的

現在、介護をしている家族にアンケート調査を実施し、介護者のニーズを把握すること及び介護の実態を把握し、「新座市高齢者福祉計画・新座市介護保険事業計画」第6期計画策定の基礎資料とする。

#### (2) 調査対象

要介護（要支援）認定（申請中含む）を受けている方を介護している600世帯の介護者

<内訳>

単位：人

ア	新規申請者	50
イ	要支援者	130
ウ	要介護1・2	260
エ	要介護3～5	160
	合計	600

#### (3) 調査方法

対象者により分類

ア 新規申請者

介護保険課の窓口で、新規申請時に家族に記入してもらい、職員が補足

イ 要支援者

高齢者相談センターに調査依頼

ウ・エ 要介護者

居宅介護支援事業所に調査依頼

#### (4) 調査時期

平成26年1月7日～2月28日

#### (5) 調査項目

①介護者について

②介護について

③困りごとについて

#### (6) 回収状況

単位：人

調査対象者数	有効回収数	有効回収率(%)
600	476	79.3

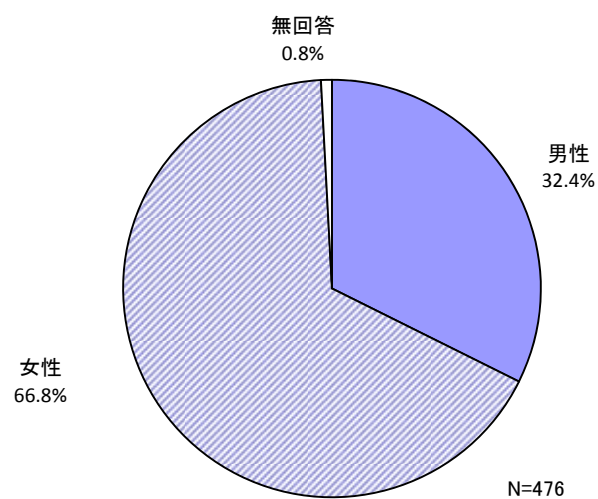
## 2 介護者について

### (1) 性別

介護者の性別をみると、全体の 66.8%が「女性」、32.4%が「男性」になっており、概ね 2 / 3 は女性が家族介護を担っていることがわかる。

図表 介護者の性別

問1 あなたの性別を教えてください



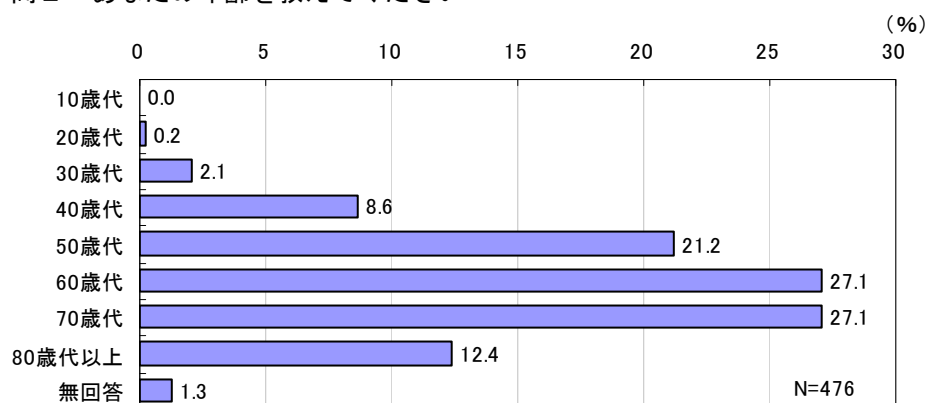
## (2) 年齢

介護者の年齢をみると、「60歳代」「70歳代」がそれぞれ全体の27.1%で最も多く、次いで「50歳代」(21.2%)、「80歳代以上」(12.4%)が続いている。家族介護のほぼ半数は高齢者が行っていることがわかる。

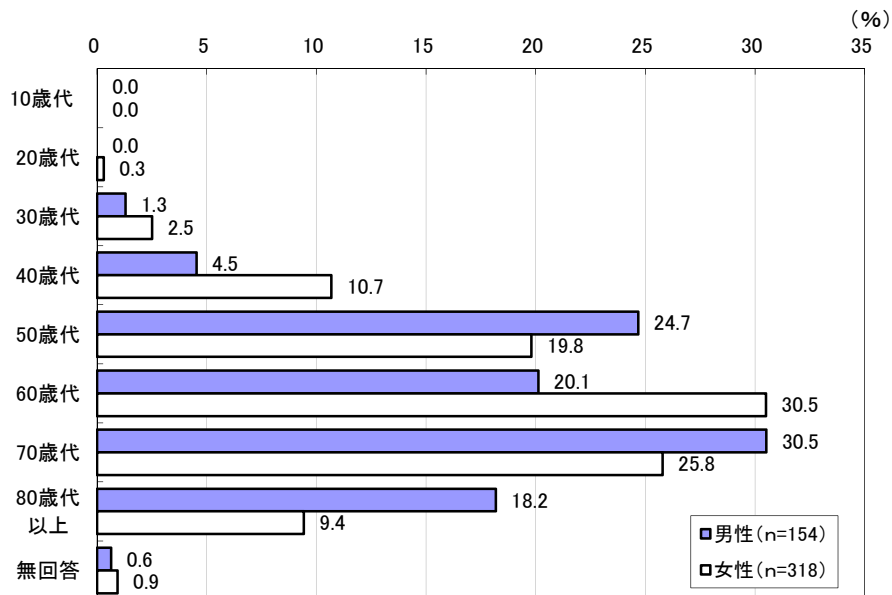
これを性別にみると、男性では「70歳代」が、女性では「60歳代」が最も多くなっている。

図表 介護者の年齢

問2 あなたの年齢を教えてください



図表 介護者の年齢-性別

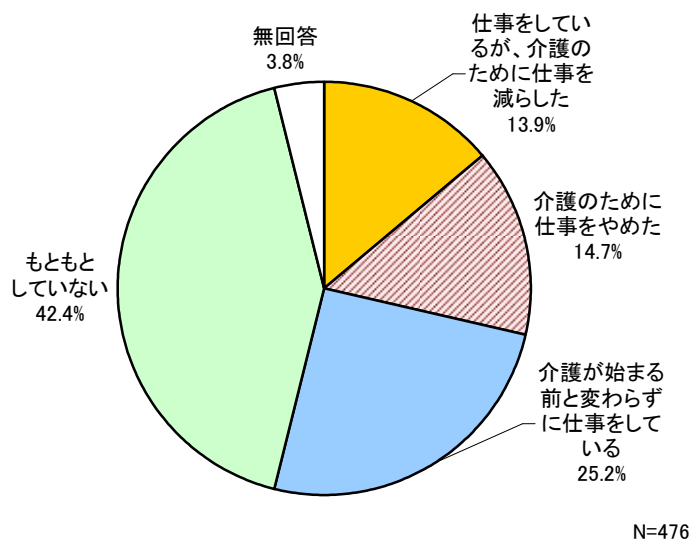


### (3) 仕事

介護者の仕事の状況を見ると、「もともとしていない」が42.4%で最も多く、次いで「介護が始まる前と変わらずに仕事をしている」(25.2%)、「介護のために仕事をやめた」(14.7%)、「仕事をしているが、介護のために仕事を減らした」(13.9%)が続いている。

図表 介護者の仕事

問3 あなたは仕事をしていますか

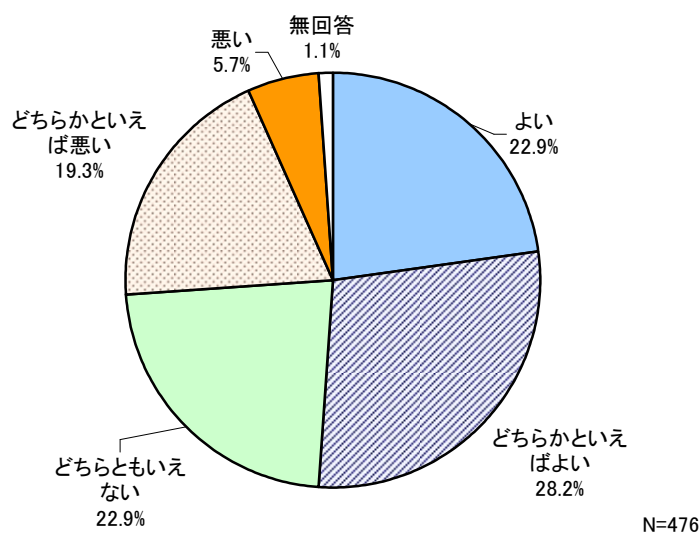


### (4) 体調

介護者の体調について聞くと、「どちらかといえばよい」が28.2%で最も多く、次いで「よい」「どちらともいえない」がそれぞれ22.9%で続いている。「(どちらかといえば)悪い」の回答は全体の25%にとどまっている。

図表 介護者の体調

問4 あなたの体調はいかがですか





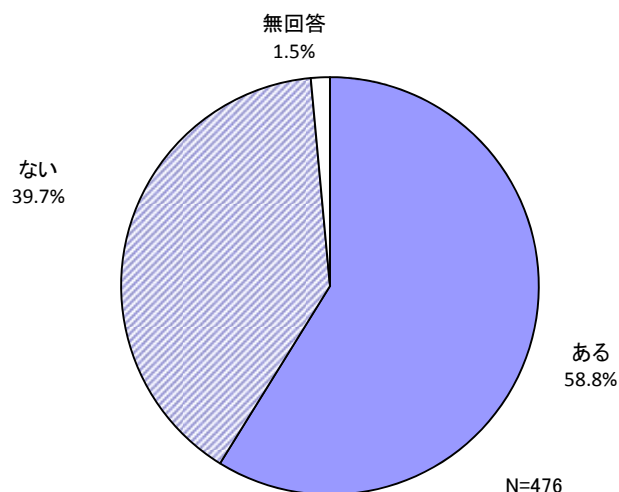
### (5) 持病

介護者に継続的に治療を要する持病があるかについて聞くと、「ある」との回答が 58.8% で過半数を占め、「ない」(39.7%) を上回っている。

介護者のほぼ半数が高齢者であることもあり、介護者が持病を治療しながら体調を維持していることがうかがえる。

図表 介護者の持病

問5 あなたに継続的に治療を要する持病はありますか



### (6) 要介護認定

介護者自身の要介護認定について聞くと、「受けていない(申請中)」との回答が 88.9% で最も多く、次いで「要支援1」(4.2%)、「要支援2」(1.9%)、「要介護1」(1.9%) が続いている。

要介護者が介護者になっている方が全体で 15 人 (3.2%) となっている。

図表 介護者の要介護認定

問6 あなた自身は要介護認定を受けていますか

選択肢	回答数	構成比
受けていない(申請中)	423	88.9%
要支援1	20	4.2%
要支援2	9	1.9%
要介護1	9	1.9%
要介護2	4	0.8%
要介護3	1	0.2%
要介護4	1	0.2%
要介護5	0	0.0%
無回答	9	1.9%
総数	476	100.0%

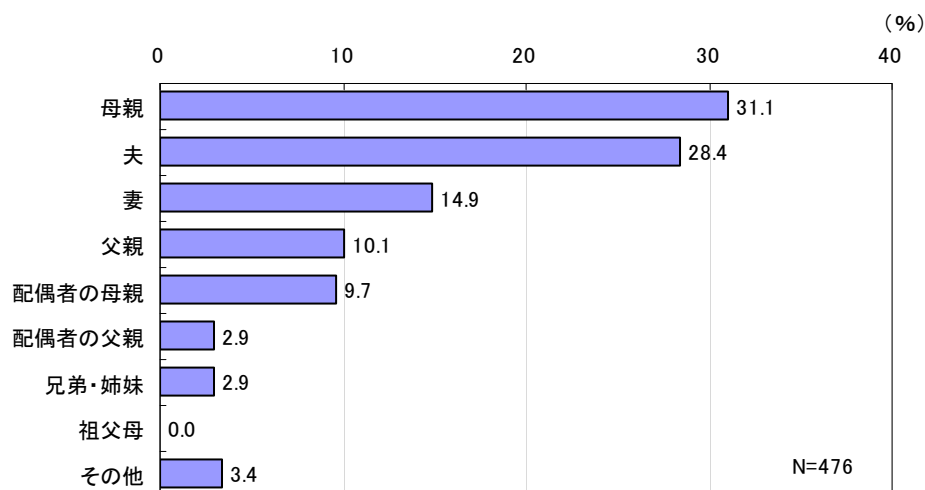
### 3 介護について

#### (1) 介護している者

介護者が誰を介護しているかについてみると、「母親」との回答が 31.1%で最も多く、次いで「夫」(28.4%)、「妻」(14.9%)、「父親」(10.1%)などが続いている。

図表 介護者が介護している者

問7 あなたは、どなたを介護していますか



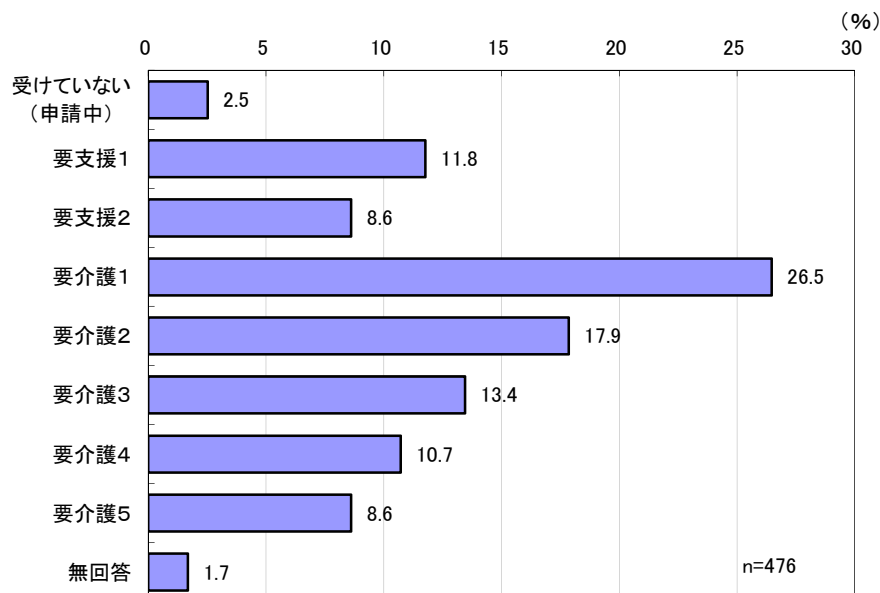
#### (2) 介護されている者の要介護度

介護者が介護している者の要介護度をみると、「要介護1」との回答が 26.5%で最も多く、次いで「要介護2」(17.9%)、「要介護3」(13.4%)、「要支援1」(11.8%)、「要介護4」(10.7%)、などが続いている。

介護者の3割は中重度者を介護していることがわかる。

図表 介護されている者の要介護度

問8 あなたが介護している方の要介護度を教えてください

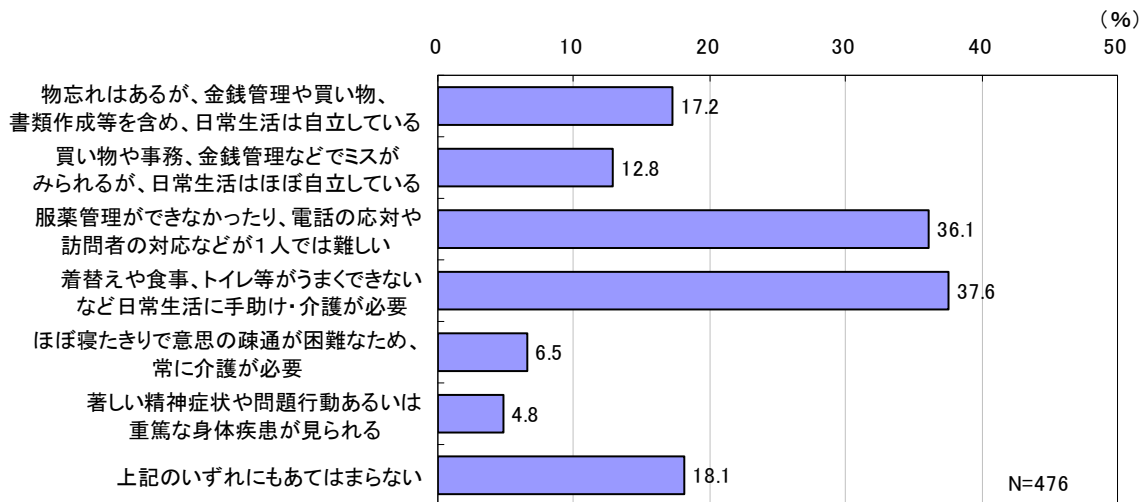


### (3) 介護されている者の認知症

介護されている者の認知症の状態について聞くと、「着替えや食事、トイレ等がうまくできないなど日常生活に手助け・介護が必要」（認知症高齢者の日常生活自立度でⅢ相当）との回答が37.6%で最も多く、次いで「服薬管理ができなかったり、電話の応対や訪問者の対応などが1人では難しい」（同じくⅡb相当）(36.1%)、「物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成等を含め、日常生活は自立している」（同じくⅠ相当）(17.2%)が続いている。

図表 介護されている者の認知症

問9 あなたが介護している方の認知症について、あてはまるものはありますか



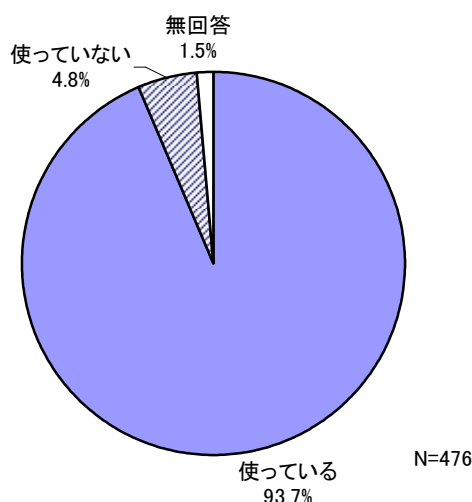
### (4) 介護サービスの利用

介護サービスを使っているかについては、回答者全体の93.7%が「使っている」との回答で、「使っていない」は4.8%にとどまっている。

「使っていない」方の内訳をみると、圏域では西部（6人）、東部第二（5人）が、要介護度では要支援1・2（それぞれ5人）と要介護1（4人）が多くなっている。

図表 介護サービスの利用状況

問10 介護サービスを使っていますか



【使っていない方の内訳】

圏域	人数	要介護度	人数
東部第一	2	申請中	5
東部第二	5	要支援1	5
西部	6	要支援2	5
南部	0	要介護1	4
北部第一	1	要介護2	1
北部第二	2	要介護3	1
不明	7	要介護4	2
計	23	要介護5	0
		計	23

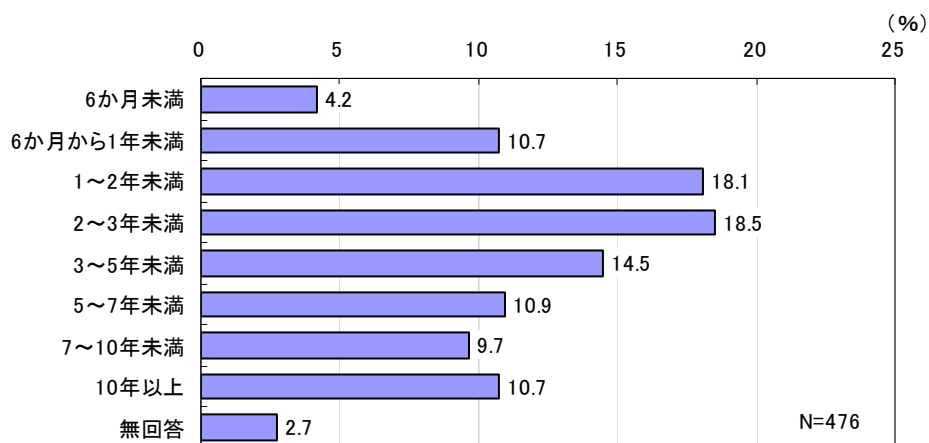
### (5) 介護期間

介護が始まってからの期間について聞くと、「2～3年未満」が18.5%で最も多く、次いで「1～2年未満」(18.1%)、「3～5年未満」(14.5%)、「5～7年未満」(10.9%)、「10年以上」(10.7%)、「6か月～1年未満」(10.7%)などが続いている。

3年以上が半数近くになっている。

図表 介護期間

問11 介護が始まってどのくらいたちますか

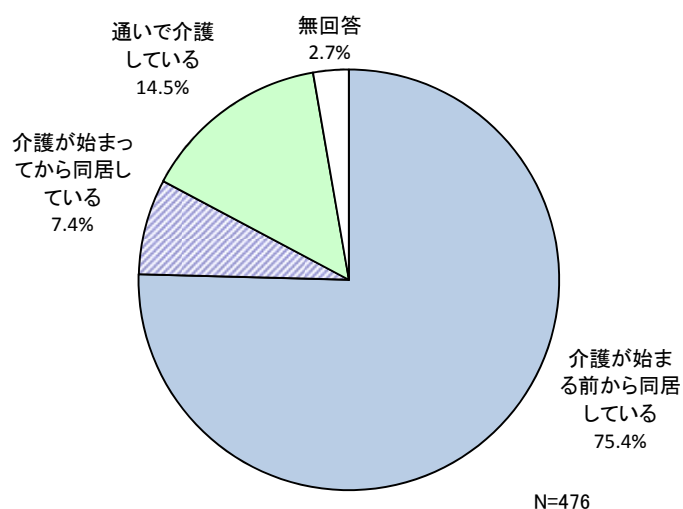


### (6) 同居・別居

同居して介護をしているかについては、回答者全体の75.4%が「介護が始まる前から同居している」との回答で、「介護が始まってから同居している」(7.4%)を合わせると、8割以上は同居して介護をしている。「通いで介護している」は14.5%にとどまっている。

図表 同居の有無

問12 あなたは同居して介護をしていますか。通いで介護をしていますか



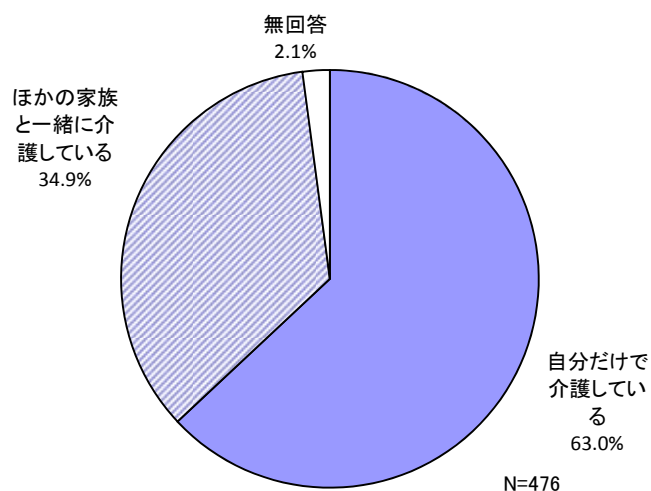
(7) 他の介護者

介護を自分だけでしているのか、他の家族も一緒に介護しているかについては、「自分だけで介護している」との回答が 63.0%で最も多く、「ほかの家族と一緒に介護している」は 34.9%にとどまっている。

「自分だけで介護している」と回答のあった方の内訳をみると、圏域では南部（17.3%）や北部第二（15.7%）が、要介護度では要介護1（23.3%）、要介護2（20.0%）が多くなっている。

図表 他の介護者の有無

問 13 自分だけで介護していますか、ほかの家族も一緒に介護していますか



【自分だけで介護している方の内訳】

圏域	人数	割合 (%)
東部第一	33	11.0
東部第二	31	10.3
西部	31	10.3
南部	52	17.3
北部第一	31	10.3
北部第二	47	15.7
不明	75	25.0
計	300	100.0

要介護度	人数	割合 (%)
申請中	8	2.7
要支援1	34	11.3
要支援2	32	10.7
要介護1	70	23.3
要介護2	60	20.0
要介護3	43	14.3
要介護4	27	9.0
要介護5	26	8.7
計	300	100.0

(8) 代わりの介護者

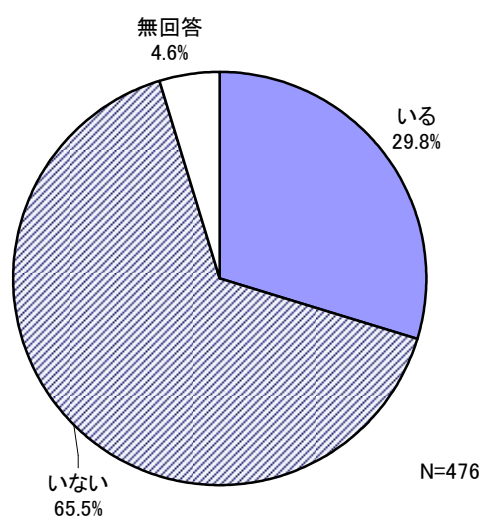
介護者が介護できなくなったときに代わりに介護を担える者がいるかについては、全体の65.5%が「いない」との回答で、「いる」(29.8%)との回答を大きく上回っている。

介護者も介護される者も介護者がいなくなるという不安を抱えている高齢者が多いことがうかがえる。

代わりの介護者が「いない」と回答のあった方の内訳をみると、圏域では南部(17.3%)や北部第二(16.3%)が、要介護度では要介護1(24.4%)、要介護2(19.9%)が多くなっている。

図表 代わりの介護者の有無

問 14 もしあなたが介護できなくなったとき、代わりに介護を担える方はいますか



【代わりの介護者がいない方の内訳】

圏域	人数	割合 (%)
東部第一	36	12.0
東部第二	27	9.0
西部	31	10.3
南部	52	17.3
北部第一	35	11.7
北部第二	49	16.3
不明	82	27.3
計	312	100.0

要介護度	人数	割合 (%)
申請中	6	1.9
要支援1	36	11.5
要支援2	28	9.0
要介護1	76	24.4
要介護2	62	19.9
要介護3	44	14.1
要介護4	31	9.9
要介護5	28	9.0
無回答	1	0.3
計	312	100.0

## 4 困りごとについて

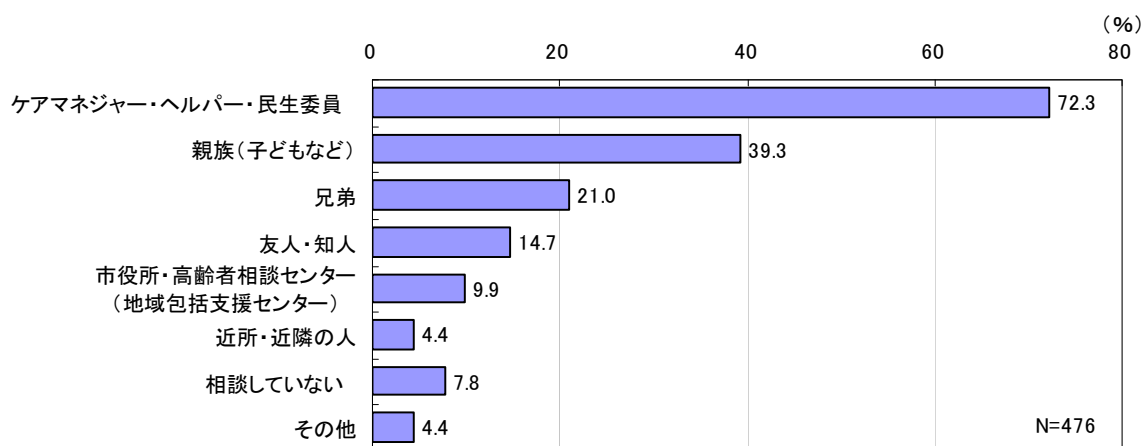
### (1) 困りごとの相談相手

介護の困りごとを誰に相談しているかについてみると、「ケアマネジャー・ヘルパー・民生委員」との回答が72.3%で最も多く、次いで「親族(子どもなど)」(39.3%)、「兄弟」(21.0%)、「友人・知人」(14.7%)などが続いている。

「市役所・高齢者相談センター(地域包括支援センター)」との回答も9.9%になっている。

図表 介護の困りごとの相談相手

問 15 介護による困りごとを誰に相談していますか(いくつでも)



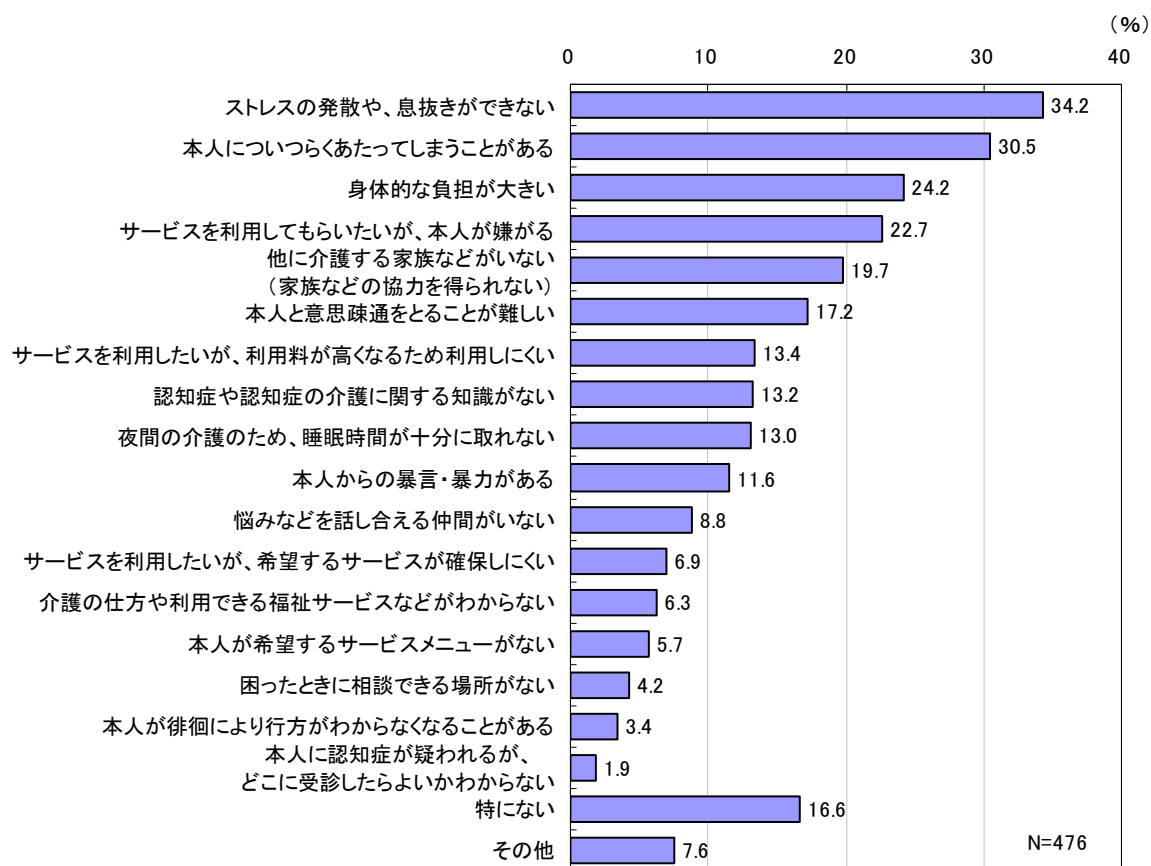
## (2) 困りごと

介護に関する困りごととしては、「ストレスの発散や、息抜きができない」との回答が34.2%で最も多く、次いで「本人についつらくあたってしまうことがある」(30.5%)「身体的な負担が大きい」(24.2%)、「サービスを利用してもらいたいが、本人が嫌がる」(22.7%)などが続いている。精神的な面での困りごとが多くなっていることがうかがえる。

「ストレスの発散や、息抜きができない」と回答のあった方の内訳をみると、圏域では北部第二(15.3%)や南部(13.5%)が、要介護度では要介護1(23.8%)、要介護2(23.2%)が多くなっている。

図表 介護に関する困りごと

問16 介護をしていて、どのようなことに困っていますか(いくつでも)



### 【ストレスの発散や、息抜きができない方の内訳】

圏域	人数	割合(%)
東部第一	10	6.1
東部第二	19	11.7
西部	21	12.9
南部	22	13.5
北部第一	18	11.0
北部第二	25	15.3
不明	48	29.4
計	163	100.0

要介護度	人数	割合(%)
申請中	6	3.7
要支援1	9	5.5
要支援2	11	6.7
要介護1	39	23.8
要介護2	38	23.2
要介護3	24	14.6
要介護4	19	11.6
要介護5	18	11.0
計	164	100.0

注：要介護度を複数回答している方がいるため、要介護度別の計と圏域別の計は一致しない。

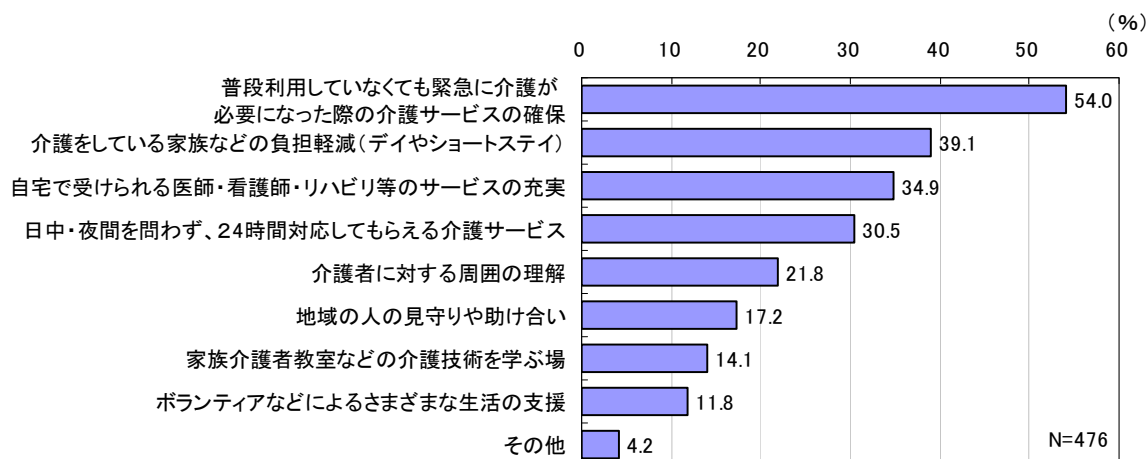


### (3) 介護者への支援

介護者への支援としてどのようなことが必要かについてみると、「普段利用していなくても緊急に介護が必要になった際の介護サービスの確保」との回答が54.0%で最も多く、次いで「介護をしている家族などの負担軽減（デイやショートステイ）」（39.1%）、「自宅で受けられる医師・看護師・リハビリ等のサービスの充実」（34.9%）、「日中・夜間を問わず、24時間対応してもらえる介護サービス」（30.5%）などが続いている。

図表 必要な介護者への支援

問 17 介護者への支援として、どのようなことが必要と考えますか（いくつでも）

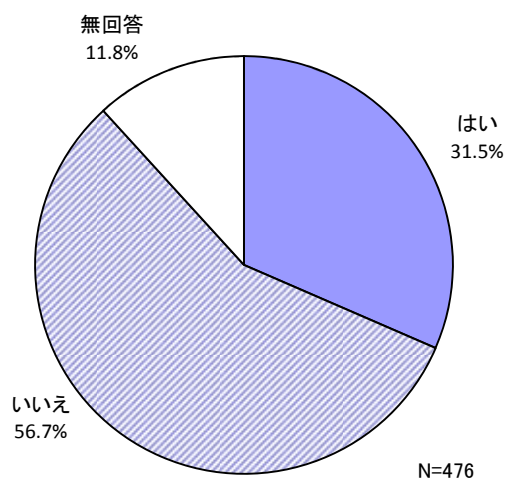


### (4) 交流の場への参加

介護者の交流の場があれば参加したいかについては、「いいえ」との回答が56.7%で、「はい」（31.5%）との回答を大きく上回っている。

図表 介護者の交流の場への参加意向

問 18 介護者の交流の場があれば参加したいですか



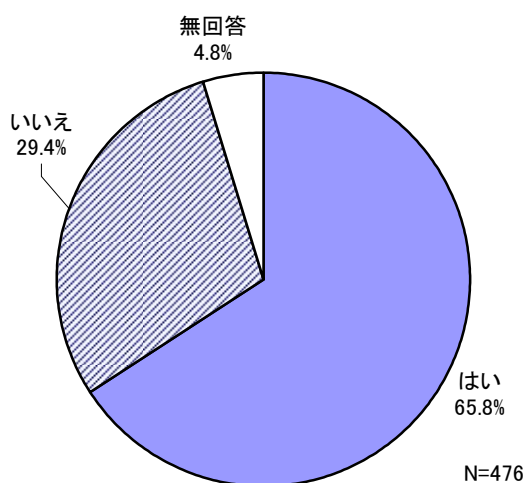
(5) 高齢者相談センター（地域包括支援センター）の認知度

高齢者相談センター（地域包括支援センター）を知っているかについては、「はい」との回答が65.8%で、「いいえ」（29.4%）との回答を大きく上回っている。高齢者相談センター（地域包括支援センター）の認知度が上がってきたことがうかがえる。

「いいえ」と回答した方の圏域別内訳をみると、北部第二（22.1%）と南部（19.3%）が多くなっている。

図表 高齢者相談センター（地域包括支援センター）の認知度

問 19 高齢者相談センター（地域包括支援センター）を知っていますか



【高齢者相談センターを知らない方の内訳】

圏域	人数	割合 (%)
東部第一	10	7.1
東部第二	10	7.1
西部	13	9.3
南部	27	19.3
北部第一	12	8.6
北部第二	31	22.1
不明	37	26.4
計	140	100.0

(6) 地域支え合いボランティアの認知度

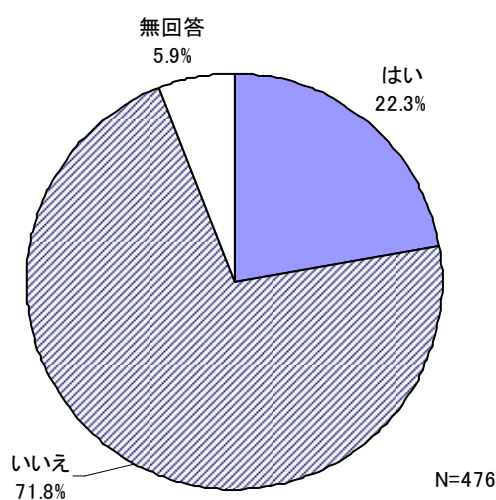
新座市で制度化されている地域支え合いボランティア（有償ボランティア）を知っているかについては、「いいえ」との回答が 71.8%で、「はい」（22.3%）との回答を大きく上回っている。

「いいえ」と回答した方の圏域別内訳をみると、南部（18.1%）、北部第二（15.8%）が多くなっている。

図表 地域支え合いボランティアの認知度

問 20 新座市には、誰もが住み慣れた地域で生活し続けていけるよう、支援が必要な高齢者や障がい者の小さな困りごとを地域の支え合いによって解決することを目的とした地域支え合いボランティア（有償ボランティア）制度があります。

地域支え合いボランティア（有償ボランティア）について知っていますか



【地域支え合いボランティアを知らない方の内訳】

圏域	人数	割合 (%)
東部第一	30	8.8
東部第二	27	7.9
西部	35	10.2
南部	62	18.1
北部第一	44	12.9
北部第二	54	15.8
不明	90	26.3
計	342	100.0

(7) 介護マークの認知度

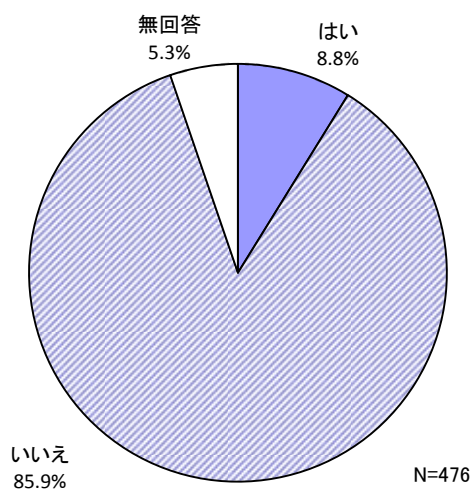
新座市で配布されている「介護マーク」を知っているかについては、「いいえ」との回答が85.9%で、「はい」(8.8%)との回答を大きく上回っている。

「いいえ」と回答した方の圏域別内訳をみると、北部第二(16.1%)や南部(15.9%)が多くなっている。

図表 介護マークの認知度

問 21 新座市では、介護する方が介護中であることを周囲に理解していただき、介護する方もされる方も安心して生活できるよう「介護マーク」を配布しています。

介護マークについて知っていますか



【介護マークを知らない方の内訳】

圏域	人数	割合 (%)
東部第一	40	9.8
東部第二	38	9.3
西部	43	10.5
南部	65	15.9
北部第一	50	12.2
北部第二	66	16.1
不明	107	26.2
計	409	100.0

## 5 自由記述

(順不同)

- 認知症で一人暮らし、横浜から月1回程度通っていたが、ようやく認定受けたのでケアマネとヘルパーさんに頼んでいる。被害妄想がひどく、サービスを拒否するのでほんとに困ってる。(男性、50歳代)
- 問16にも書きましたが、最終的にどこの病院に頼ったら良いのか非常に不安です。1つの病院で全ての診療科目を受診できれば良いのですが、病気の特異性、治療に対する方針からそうもいきません。通院もとても苦痛です。本人も病院のハシゴ状態なので、大変疲れると感じます。自宅近くの総合病院にかかりたくても持病の事を話すと、主治医へとと言われてしまう。家での介護も負担ですが、この病院の件(通院)が一番の負担であり不安です。お医者様同士で話をしていただけるのが一番だと思いますが、それはなかなか叶いません。各病院、患者との間でコーディネートしてくれる機関があるといいですね。(女性、80歳代)
- さして必要とも思えない道路のために、義母が通っていたデイケアが無くされてしまいました。お医者さんもいらして、よかったのに(近いし)。市民のことをちゃんと考えていない姿勢が透けてみえると思いました(デイサービスでは、車椅子で動くだけなので…)。(女性、60歳代)
- 今のところ認知症ではないのですが、(車いす、補装具)障がい者なので、この先、年を重ねた時に認知までなってしまうのが不安です。自分自身も家の事と両方出来るかなと年を重ねた上での不安が常にあります。(女性、60歳代)
- おむつ等の補助は受けていますが、タクシー補助券は受けていません。申請の仕方がわからない。利用したい。市の援助については感謝していますが、個々の実態をどの程度把握しているのか疑問です。市と各家庭の負担(特に金銭)が軽減できるよう、今後も家庭調査を継続して下さい。(男性、50歳代)
- ちょっと前までは…若い頃は体力もあったので、仕事をしながらの(父が生きていた時から、亡くなってからはもっと)介護はつらいです。事情があり今は独り暮らしをしていますが、自分の自由な時間がない。生活をする為には仕事をしないと収入がない。職場では介護者への理解などが無い。体験しないと分からない事だらけとは分っていますが、もう少し配慮が欲しいですね。(女性、40歳代)
- 母、認知症、8年前より在宅介護。父、2年前、胃がん手術、食事の介護。母の介護を重点において在宅介護をしています。ただ1人では難しいことが多く、父にも助けを求めているのですが、理解してもらえず悩んでいます。(女性、40歳代)
- 独身介護者は仕事・介護の両立をどうしても悩みます。経済的な問題です。暮らす為に働き、介護の比重が多くなると働くのが出来なくなるので。例えば、地元企業に要介護者をかかえている介護者を理解していただく努力をうながしていただきたいです。若い世代(20~30代)の介護者の交流場があれば、尚いいです。若い世代なりの悩みって必ずあります(周辺都市、自治体の主催で開催していただきたい)・社会福祉協議会の無料車イス貸出を1ヶ月無料でなく、2ヶ月・3ヶ月ぐらいの継続利用したい。(女性、30歳代)
- これから先、いつまで私自身も健康でいられるのか、生活が出来るのか、不安になります。(女性、60歳代)
- 4~5年程前から主人の物忘れが多くなり病院から認知症と言われ薬をいただき、のませてもらいました。その頃から私の心臓の苦しさがはじまりすぐ手術をしました。閉そく性心臓症と言われ、二度の入院で現在はペースメーカーを入れ、ステントで心臓血管をとめているので少し楽ですが、主人の認知は進むし、とてもとても大変だった時がありました。ケアマネさんのお力添えで、主人を今は主人の介護もなく、自分の病状だけに気をつけて生きています。心臓の苦しい時、主人の世話は大変な事で、毎夜死を考えていた事もあります。市の支援をお願いします。(女性、80歳代)
- 介護サービスや医薬品(医師の処方せんによる)以外にかかる費用の負担が大きい。(男性、60歳代)
- 介護する側の受け止める力が重要と痛感している。症状の進行(妻はレビー小体型)にこちらが動揺し、なんとか馴れて受止められると次の進行に動揺し…の繰り返しである。こちらが受け止めきれないと、妻に対しておこったり、「やってやってるのに」という気持ちになる。受け止める容量をキープするのに私の場合に有効なのは、(1)家族会(皆さんガンバッテられるなど支えられる)。(2)自分の時間をもつ(デイの時間にスポーツや趣味の勉強等)。(男性、70歳代)
- 自宅で介護する事は、自分でやって見て初めて大変だという事がわかりました。口ではなんとでも

- いう事は出来るが、実際は出来ない大変な仕事だと思いました。(女性、60歳代)
- 今デイサービスやショートステイを利用していますが、とても助かってはいますが、ショートステイに本人は大嫌いだと言って当日は困ってしまいます。それでも施設のヘルパーさんにいつも助けられて感謝しています。それでもショートステイの問題点は急に変更して利用が出来ないので、どうして良いかと悩むことばかりです。施設にその様な時に皆様は起らないのでしょうか？どうぞ施設にゲストルームみたいなものがあるといいんだなーなんて思いました。でもやはりビジネスでは難しいですね。どうか何か良い案がうまれます様に。(女性、70歳代)
  - 病気になった時、今行っている病院だと通常入院（短期）を断られる（前に入院した時に痴呆が進みあばれた為）。病気と痴呆が同時に起きた時にどのようにすればいいか、わかりません。(男性、50歳代)
  - まだ新座に来て4年くらいになります。なかなか近所付き合いがなく、外に出ても話すこともなく、スーパーに行ってもあいさつすることもなく、さみしく思います。友人にいつも、ぐちを聞いていただいています。話す元気があります。(女性、60歳代)
  - 最終的には、介護しきれなくなる可能性が考えられる為、特別養護老人ホームを入り易くしてもらいたい。(男性、50歳代)
  - 年収による介護サービスが、低所得と中所得の線引きのところだと、サービス料金が高くなり、介護サービスが受けられにくい。お金がないので！！(女性、70歳代)
  - 問18に参加したいと思いますが、1人残して参加は難しいと思います。(女性、80歳代)
  - 要支援2の私が要介護4の妻を介護すると云ふ事はすごくつらいものです。(男性、70歳代)
  - 病気になった、介護できなくなったら、不安。(女性、70歳代)
  - デイサービスの充実・利用者の趣味としていた事、手芸・書道等あるが、サービスとして行っていない所が多い（ほとんど）。以前利用をした事あるが、ごはん食べてじっとしているだけが現実。本人もつまらないと言うので利用を終める。「もっと出かけてみたいな」と楽しみが見つかる様なサービスをされる所がふえるといいと思います。家にひとりでいなくてすむ、外に出たくなるサービスがあると、と思っています。(女性、50歳代)
  - 介護マークがほしい。医師が見えた時、車に介護マーク使いたい。(女性、80歳代)
  - 言ったらきりが無い。自分がたおれたら、どうしようかと思えます。(性別不明、80歳代)
  - 介護支援の方はお願いすれば来てくれますが、高齢のためいつ自分が体調を崩すかと心配です。(女性、80歳代)
  - ショートステイの居住費と食費の軽減をしてほしい。気軽に利用できる金額にしてほしい（我が家は課税です）。(女性、60歳代)
  - 現在は特に利用したいサービスは無いので…。デイサービス等利用し、仕事の支障を少なくしたいが、本人難聴等にて行きたく無いと話す。(男性、60歳代)
  - 家族と同居の場合、生活援助が出来ない事に不満を持っている。(女性、50歳代)
  - ありすぎて面倒。(男性、40歳代)
  - 毎日同じ事のくりかえしなので、限られた時間の中でストレス解消できるようにしている。(女性、50歳代)
  - 高齢者の集り、話し合いの場等に参加させたいと思いますが、集り場所（公民館、ふれあいの家、集会所）に送迎を介護者がしなくてはいけないので、負担になる。介護者が仕事をしているとなかなか参加させる事が出来ない。気軽に参加出来る方法があれば嬉しいです。(女性、60歳代)
  - 私の場合、主人にあまり手がかかりません。脳内出血で倒れまして、もう9年になります。介護ではあまり大変な事はありますが、ただ私が家を空ける事が出来ません。買物に行く時には寝た時に買い物に行くようにしています。主人ももう82才ですので無理は出来ません。そのわりには、自分で出来る事は時間はかかりますが自分でやっております（右手、右足がマヒしています）。デイサービスがある事に感謝しております。(女性、70歳代)
  - 精神疾患のある介護人なのですが、自宅まで来てもらえる医師が居なく、現状の状態を伝え薬等を貰う時、時間も掛り非常に不便があります。訪問診療してもらえる精神科の医師が居て頂けたら良いと希望します。(女性、40歳代)
  - デイやショートステイを利用して頂いており、今の所は私自身も健康ですので介護も出来ていますが、もし私が病気になったらと思うと少し心配になります。(女性、60歳代)
  - 自分（介護者）が倒れた時、在宅生活は継続できるのか？どのようなサービスがあるのか知りたいと思っています。・デイサービスの提供時間延長して頂くと就労と介護と自分の時間（リフレッシュ）のバランスがとれて、認知症の在宅介護が充実するのではないかな～と思っています。他市で午前

7時～午後9時内で介護サービス提供の事業所さんがありますが、同様のデイが沢山出来ると良いなと思っています。(女性、50歳代)

- 介護が必要になったときに、市役所に電話したところ、すぐに地域包括支援センターに連絡していただき、対応していただいたので助かりました。家の中の手擦りの取り付け、ベッドの使用、週1度のデイサービスなどケアマネージャーさんに相談して実現しました。今後も自宅で介護しようと思っていますが不安もあります。応診してくださる医師はいらっしゃるのでしょうかとか、人見知りの激しい要介護者でもショートステイできるのでしょうかとか… (“おむつ券”のことは3か月ほど前に知り、利用させていただき助かっています。ただ本人はその呼び方に抵抗があるようで名称が変わるといいなと思いました。“介護用衛生用品”とか?) (女性、60歳代)
- 国にお願いすることだけでなく、自分達は何が出来るか考えて見ましたが、収入の少ない介護者も介護人の現状では限度が有り何も出来ません。ただただ現状維持で…。介護者、介護人を泣かさないう今後共お願いします。(男性、70歳代)
- ムダな調査に人と金を掛けるな。(男性、70歳代)
- そのものを良く知らないで…。(女性、70歳代)
- 今現在より、何年後が心配。常に将来が不安になり、よき理かい者が必要です。(女性、60歳代)
- 介護する側、される側の意識の持ち方のちがいについて思う所はある。(女性、40歳代)
- 年令がまだ若いせいか自分が元気なのであまり介護に付いてピンときませんが、自分が動けなくなった時の事を想像した時に深刻に少し考える時がある。(女性、60歳代)
- デイサービスを使用していますが、本人が居ると出来ない用事(掃除、自分の体の治療通い)をしていると、あっという間に帰って来る時間になってしまいます。ショートステイができれば夜だけでもホッと出来ます。(女性、70歳代)
- 7、8年前から認知で介護してはいますが、ディサービス・ショートを利用してはいましたが、どうにもならなくなりまして、現在認知専門の病院に入院中ですが、その後は施設を利用する事になると思いますので、今ケアマネージャーに紹介していただいておりますが、生活保の為保証人の件でいろいろと問題になります。今後は特に私も年ですのでいつどうなるかわかりませんのでとても心配です。その件もケアマネージャーに相談しております。子供もいなく私と二人暮らしですので今後心配です。(女性、70歳代)
- 24年1月3日から認知症になり、もう介護につかれた。(男性、80歳代)
- 介護認定の申請を機に、地域包括支援センターとつながりが出来た事は心強く思い感謝して居ります。(女性、60歳代)
- 介護マークの利用。男性が女性をつれて旅行する際、トイレを使用する際、身障者共用トイレが使えない場合、介護マークを携行して活用している。私は男性用トイレをよく利用するが、人がいる場合、一言介護していることを添えるとスムーズに利用できて大変助かっている。(男性、80歳代)
- ディサービスやショートステイを利用し、介護者としては自分の時間がもてるなど助かっています。若年性認知症の場合、体力的には普通の人とかわりませんので、高齢者と一緒に行う体操、ゲームなどでは物足りないように思われます。個人個人のやりたい趣味などがディサービス、ショートステイの中でできると良いと思います。人手のかかることなので現状では無理かとも思います。(男性、60歳代)
- 要介護の申請の訪問などは(土)(日)に対応できる様をお願いしたい。仕事をしていると普段の日は休みが取れない。市役所の方も対応を考えてほしい。相談センターに相談するにしても(土)(日)以外はむずかしい。(女性、50歳代)
- 介護をして本人が体の具合が悪くなり救急をもとめた時に、病院の受け取り方が悪いことに不安を感じます。男手もなく女二人暮らしなど、まして運転もできません。そんな時、病人をかかえている我れわれを国も病院ももっと手厚いものの考え方が出来ないものなのではないのでしょうか? (女性、60歳代)
- 介護を始めて日が浅いので、今のところ特にこれと言った事は無い。(男性、70歳代)
- 高次脳機能障害の(高齢者)を対象した集まりがあれば参加したい。(男性、80歳代)
- 親がいつでもにこやかであるようにと思い願って動いているものの、失禁などこちらの都合で忙しくしている時にはつい無愛想になってしまう。態度もあきらかに相手を傷つけてしまっている。自分の心が自分の思い描くどおりにいかないとき、浮き沈みが激しい。(女性、50歳代)
- 考えた事もない事が起きたので、今迄の不勉強を痛感させられました。最初に感じたのは公的なサービスセンターの少なさが判りました。介護5で大変。市より応援頂きたくありがたく思っています。でも、サービス利用料は大変だと思っております。今後共お世話になりますが、よろしくお願ひ申し上げます。(男性、70歳代)

- 身体が不自由なので、本人にとってこうした方が良いのでは？と思い色々提案しても素直に聞き入れてもらえず、機嫌が悪くなってしまったりして、中々難しい事が多々あり、留守中など本人一人で居ると心配です（転倒など）。(女性、40歳代)
- 今の所、主人も前向きに努力しています。現状維持でこの先も頑張って生活出来たらいいなあと思っています。今まで友達と気軽に約束出来てでかけられたけど、でかけられない（1泊旅行とか）ちょっとストレスがたまる時があります。主人が転倒して寝たきりにならない様、介護がんばります。(女性、70歳代)
- まだ介護を受けてないのでわかりません。(男性、60歳代)
- 買物の宅配サービスなど、ヘルパーさん以外に地域のサービスが充実できると良いと思います。(女性、40歳代)
- 通院への交通費が大変です。(女性、70歳代)
- 本人の希望である家での介護を出来るだけ続けられる様に、自分の健康を気を付けています。(女性、60歳代)
- 往診に対応してくれれば有難い。(男性、70歳代)
- 両者とも高齢で、急に調子が悪くなった時に本人では程度がわからないので、救急車を依頼する前に連絡できる機関が出来れば安心しますけど。(男性、80歳代)
- 自分の体力が落ちてくることの不安が大きいです。市でサポートして頂ければ助かります。(女性、40歳代)
- 今の所、足・腰が弱っているので、当人が動く時など、ころばないか心配で気を使う。(男性、70歳代)
- 介護者に対する周囲の理解不足。特に主人、主人の兄弟。(女性、60歳代)
- 介護サービスのお陰で介護される当事者も気兼ねする事なく生活でき、又介護者の心身の負担を軽減でき、感謝しております。(女性、60歳代)
- ヘルパーさん等々の質の向上、夜間の介護者を増す。(女性、60歳代)
- 今のところ、特に問題はありますが、何をどのように利用したら良いのか、申請の方法等について、もっと理解しやすい手段があればと思う点が多々あります。(女性、50歳代)
- 1、娘（46才）の介護となりますが、両親共に高齢になり体調不良も出たり、突然の病気発生時などの際、娘等の施設利用の必要がある。2、8年前に発症した脳溢血の後遺症のうち、高次脳機能障害が強く有り、同じことを何度も何度も話されて対応にかなり苦慮することが多く、こちらの体調の悪い時には、相当なストレスとなる。(男性、70歳代)
- 体の不自由さがこれ以上悪くならない事を思っているが、近い将来、自分達の高齢化と共に不安が身体的、経済的に大きくなりつつある。(男性、60歳代)
- 十分に介護サービスを受けられています。「このままずっとお願いできれば」と思います。(女性、50歳代)
- 家の中では動ける本人も、外に1人で出ることができないので、送り迎えをしていただけるデイサービスが非常にありがたいです。要支援のうちにそれ以上悪くならないように、自立を支えていただけることが本人の自信にもつながり、元気に過ごせる素になると思います。家族にとっても、それはとても助かります。要支援へのサービスを今後ともよろしくお願いします。(女性、50歳代)
- 大切な人を介護するわけですが、自分も大切な存在だということを忘れてはいけません。けっして犠牲的な気持ちでは、毎日が続かないと思います。自分の時間を持って介護にあたる事がさわる人の幸になる事も有ると思います。ただ、それがうまくいかないのが介護です。まずは「大丈夫？」と問いかけてくれる人がいる社会が大切だと思います。(女性、50歳代)
- 本人（女性）は、美容院（行きつけだった店）へ行きたがっているが、店の段差等、付きそいが1人では無理だったので、最近はいろいろ試みたが、デイサービスで来てくれた方が、他店に行くよりは、本人は納得して帰って来ているように感じています。只、デイサービスの方でも、試みているだけで、定着していないので、介護者側の体調が悪かったり、休みがとれなかったりで思うようには行けていないです。(女性、40歳代)
- ほとんど経験するぐらい長い介護人生です。学んだ事は自分も行く道（介護される時）で、介護してくれる人に感謝しながら役立てばいいですね。いろいろ御世話になりありがとうございます。(女性、60歳代)
- 病院に近い有料老人ホームに母を入れています。病院の付き添い、送り迎えもやってもらい助かっています。今後、寝たきりになった時どうするか、私達娘は遠方に住んでいます。(女性、50歳代)
- ケアマネージャーさんに良くして頂いているので助かります。(男性、60歳代)



- 認知症の対応がわからない。(男性、60 歳代)
- 被介護者は居住型老人ホーム居るので、訪問医療ヘルパーさんによる介護等受けられているので助かっている。一応24時間見守ってもらっているので安心。(男性、70 歳代)
- 介護者の交流会に前出た事がありましたが、皆様自分の親の介護の人ばかりでした。ちょっと目線がちがってました。デイサービスに行ってもらってた事があったのですが、時間が短すぎて、お掃除と洗たくが終るとすぐ帰って来るので休めませんでした。もう少し長時間お願いしたいと思いました。(女性、60 歳代)
- 特養の値段が高くて入ろうにも考えてしまいます。(女性、50 歳代)
- 体力的な問題は全くないのですが、精神的なものを抱えてしまいます。仕事をしているので、ずっと一緒に時間を過ごすわけではないのですが、どうしても家では動かなくなるので(母が)、やる気を出させるのがとても大変で、どうしてもイライラしてしまいます。母が出来ないことはやりますが、甘えられることは受けたくないです。(女性、40 歳代)
- 問17-2と同じような事かもしれませんが、急用の時など預かって下さる場所とか見ていて下さる方があれば良いと思っています。(女性、60 歳代)
- 私が出来るうちは自分でやりたいと思っています。(女性、70 歳代)
- 認知症のせいだと思うのですが、世話をしている中々理解してもらえない時があり苦労しています。ケンカも時々です。精神的にまいる事も多いです。最近ショートステイに参加してくれているので少々助かっています。本人の所得も多くないので、料金(使用料金)がもう少し安くなると良いのですが、私共も年金ぐらしなので…。(女性、70 歳代)
- この辺りは一人暮らしのお年寄りも多いようなので、もう少し生活、体調が安定できたら、ボランティアで(ご近所の助け合い感覚)お手伝いできたらいいなと思っています。(女性、40 歳代)
- デイサービスやショートステイに参加してもらって、たまに息ぬきや旅行etcに行きたいです。(女性、50 歳代)
- 安定した介護が出来るようにしたい。(女性、70 歳代)
- 新座市は福祉に対するサービスが弱いと思う。これからの高齢化社会に向けて、住みやすい街作りとして医療・福祉にいち早く力をいれる政策をとり入れてほしい。世間から注目され、新座市に住みたいという人が増えれば市の財政も安定するのでは。新座市は都心に近く、便利なうえ土地も安いのもったいない。(女性、40 歳代)
- 義父の負担が大きい。義母がもう少し自分でできる事をふやすための手助けが必要かもしれません。(女性、40 歳代)
- 介護は大変。(男性、70 歳代)
- 普段はデイやショートを利用して頂いているが、風邪や病気(特にインフルエンザ等)になった時、デイ等に行かぬ、その期間の仕事に支障がある。こういった状況をサポートして頂けると助かる。(女性、50 歳代)
- 家で介護するのが難しくなった時、経済的に有料老人ホームなどは無理な場合が心配です。(女性、40 歳代)
- 現在は介護度が軽くなり、現状のサービスで充分助けて頂いていますが、介護度が重くなった時の精神的、身体的負担を考えると、その時の対応に少々不安があります。(女性、50 歳代)
- 今を最善に介護していく気持ちですが、積極的に地域の制度を知り、地域の支えもお願いしていく事ができる方向性がある事がわかり、少し安心に思います。(女性、60 歳代)
- 介護をしている義母の認知症が確実に進行してきており、今までなかった困難な事が増えて、この先不安がある。でも可能な限り、家族の中での生活を続けさせてあげたいと考えている。訪問医療、デイサービス、ショートステイを有難く利用しています。オムツやパット代に7,000~8,000円/月必要となり、汚れものの洗剤やその他、出費は多くなりました。が、仕方がないことと考へ、子供に返っていく母と暮しています。(女性、60 歳代)
- 夫の認知症が進み体力的、精神的限界が来た時に、すぐ安い費用で入院出来る老人ホームがあれば良いのですが、広告を(老人ホーム)見るととても費用が高く将来どうなるかととても不安です。今の生活水準が下がるのではと、早く認知症の治る薬が開発される事を国に希望します。(女性、60 歳代)
- もっと介護サービスをお願いしたいと思うのですが、単位数が越えてしまうので少し減らしています。本当に必要と思う人には、ある程度の「のびしろ」があると良いかと思っています。使用しない方がいる分、単位を使いたい人に回していただけたらと思います。(女性、50 歳代)
- 介護している私も87才と高齢で、同居の家族(働いている)の手伝いもあるが、身体的に大変に

- なっている。毎日のことなので！（女性、80歳代）
- 介護にかかる経済的負担が少しでも軽くなればよいと思います。（男性、50歳代）
  - 夫の認知症の介護をしている者です。アルツ・ハイマーと診断され、物忘れが多かったです。現在も使った物を置き忘れ、とにかく探し物ばかりしています。今は地理的感覚が無く、一人では散歩に行けません。又、赤坊がいたがどうしたか、父母は何をしているか（20年前に死亡）、家の中に中国人、他の日本人がいたのにどうしたかと毎日の様に聞いてきます。時たまですが、訳の分からない事を云って自分の主張を通し頑固になってしまいます。幻覚、妄想等はどの様に対応したら良いのでしょうか。普通に話をする時も有り、私忘れちゃったと云いますと、お年のせいですよ、と少し救われます。ですが、これからどうなって行くのか不安です。（女性、70歳代）
  - 夫婦二人きりの家族で子供がいない。夫は癌で体の数ヶ所に転移して、人工肛門をつけている。入退院をくり返している。在宅に戻った時は身の廻りのことは自分でやるが、気持はいつもイライラしていて当りちらしている。夫がいなくなったら自分一人でどうしようとも考える。
  - 年に数回、粗相をすることはあるが、今のところ身体的介護はないので介護をする身にとっては助かっている。けれども、耳が遠いこともあるが、理解力に乏しいのと、自分の考えている事と違うことに対しては聞く耳をもたない所があり、いつも怒ったような話しぶり、行動等に常に顔色をうかがっているのが、精神的苦痛にストレスを感じる。（女性、50歳代）
  - 年末年始、尿、便禁で大変な思いをしました。普段、契約しているヘルパーステーションは、曜日、時間での対応なので、それとは別に急に手助けが必要な時に単発で対応して来れるサービスがあると助かります。（女性、70歳代）
  - おむつを捨てる袋を配布してほしい。介護用品ににおい取り袋、消臭剤配合があるので。（男性、30歳代）
  - 現在は健康で介護に負担はありませんが、これから高齢者になる。お互いに心身共心配です。（女性、60歳代）
  - 老々介護です。介護する人、介護される人、どちらもつらいですね。介護される人、大変辛い事かと思えます。これからも出来る限り頑張っていこうと思います。（女性、70歳代）
  - 新座市は充実していることがありがたいです。（男性、70歳代）
  - 重度の寝たきりで要介護5となり、在宅生活も5月で2年になります。病院から退院して、経かん栄養、吸引、オムツの取りかえ等、果して介護出来るか不安でしたが、娘も一緒に手伝ってくれ、毎日のように看護師、ヘルパーさん等入って頂き、皆様に助けられ今日まで来ました。ケアマネージャーさんのおかげで、希望していた言語リハビリを去年の8月から又、デーサービスにも12月から行かれるようになりました。現在のデーサービスで主人の為看護師を増員して下さいたり、吸引吸入器まで用意して下さい本当に感謝しております。ディーサービスの利用によって刺激を受け、以前より表情や反応が良くなり、回復の方向に向うことを期待しております。（女性、70歳代）
  - 介護保険のお世話になるとは夢にも思いませんでした。主人が入院して退院する時、いろいろ手続きをし、初めて知りました。今ではケアマネージャーさん、訪問看護師さんに心配事を相談したり、雑談したりで、楽しい時間を過しております。食べる物に注意して介護に頑張っています。（女性、60歳代）
  - 老々介護はとても大変な事です。テレビでは仕事を止めた息子さんが、父親の認知症の介護に疲れて、殺してしまった事件がありました。私も血圧、糖尿病、尿失禁、認知症に悩む主人の介護で気が休まる事がありません。そんな時は病気だからと自分に云い聞かせて、頑張っています。主人は週3回ディサービスでお世話になり、私は趣味やウォーキング等をして、ストレスを解消しています。又、本当に困った時はケアマネさんにお力をお借りすることも度々あります。今後、病状が進んだ場合、出来れば特別養護老人施設に入所させていただきたいと思います。（女性、70歳代）
  - 妻の介護は夫として当然の責任であり、市・県から有難い支援を頂いている事を感謝致しています。病院の診察や投薬等の支援、本当に助かっています。でも当人の体調は一步一步と悪くなっています。夜中に起こされる事がしばしばある。玄関に人が居る、ベットの横に人が居る等々軽い認知症だと思うが進行している。ベット廻りやトイレ等本人のみで行動出来る様に工夫しているが、私の介護が出来なくなる時が来ると思う其の時の為の心の準備（要）。（男性、80歳代）
  - 災害や緊急時での連絡や、避難等について、介護者が自宅で1人の時の事、サービス内容の拡大、充実をもっと幅広くして欲しい。金銭面の援助、道路、駅、公共の場等の足の不自由な人等への使いやすい様な整備をして欲しい。介護タクシーの充実、内容（利用者の拡大、料金）、各種手続き（市役所等の）を簡素化や郵便、電話等でできる様にして欲しい。（女性、40歳代）
  - 介護マークをつけると悪い人にねらわれる可能性が大きいので、よくないと思う。（女性、40歳代）

- 直前のことを覚えていない、次週の予定や医療機関などの予約日は覚えていない。従って日々のことを把握しておく必要で負担にもなる。(男性、80歳代)
- 介護する中で、自分が体調悪い時、食事のことなど。(女性、60歳代)
- 月に一度ケアマネジャーさんの訪問がありますが、本人同席なので、排泄に関する話がしにくい。(女性、40歳代)
- 問題が起こる度に自分達で出来ることの最善をえらんで対処してきましたが、認知症進行と共にあらたな問題が起こるかと思えます。それがどんな問題が起きてくるのか解らないところが不安です。(女性、70歳代)
- 夫は、近くの施設に入所できると良いのですが、なかなか無理で、実質、自分一人で介護できる状況にないので、有料の施設で面倒をみてもらっています。それで父や母の方に顔を出すことができず、しかも収入以上に支出が多く、仕事を続けていかないとそれも無理になり、年齢的にも仕事ができなくなりそうなのが不安です。やっと両親がヘルパーさんを頼んだり、いろいろサービスも利用させていただいて、二人で何とか生活しているので、顔を出し、おかずを届けたりするだけで今はなんとかこなしていますが、他に頼ることができないので、自分がしっかりしていかないとダメだなあと思っています。子ども達も頼んでおくと、休みに顔を出したり手助けもしてくれますが、仕事で忙しく大変です。でも話はいろいろ聞いてくれるので助かっています。今は私が具合が悪くなるわけにはいきません。(女性、60歳代)
- 心配はたくさんあるが、今のところはなんとか対応している。先行きの不安はあるが、なるようになるかと気持ちをきりかえています。(女性、70歳代)
- 現在一番希望しているのは、日常生活動作のできる事を維持しつつ、できれば末長く自宅で暮らせるようにしていきたい。その為にもこれから介護サービス等を利用することも検討したいと思えます。昨年3月から、要介護の主人と高齢の母親との3人暮らしが始まり、それぞれとどの様に向き合っていけば良いか等、模索中です。心地良く暮していく為にはとても難しい課題です。(女性、60歳代)
- 夜間の介護(排泄の介助・着替えなど)が必要になり、だんだん対応が難しくなっていた。(女性、年代不明)
- 住いが他市なので知らない事多いです。(男性、40歳代)
- 入院中はどうなるか心配していたが、退院後は思ったより元気になって良かった。オムツ給付の制度が利用できるのも助かります。(男性、80歳代)
- 時々限界を感じている。ついヒステリックになって悲鳴をあげてしまう。手足が辛い。自己流で介助しているので、他の人(他の家族や介護職)がどうやって介助をやっているのか知りたい。(女性、70歳代)
- 別にない。満足している。病気がおちついてきているので、楽になっている。(男性、70歳代)
- 自分ががんばれるうちは、辛抱強くやっています。「仕方ない」というあきらめの気持ちもありますが、みんなの助けもあるので何とかやれています。かつて車があったが今はないので、受診に家族の手伝いがなくて困ってしまいます。(男性、80歳代)
- まわりからは幸せそうに見えるけど、辛いことも多い。外にも出たいがお金がない。夫はやさしくて頼りになるので、私も助かっている。病気になる前は頑固だったが、今はやさしくなった。(女性、70歳代)
- 90才をすぎた母ですが、最低限の事は自分でやってくれます。ただ私は自由に出て歩く事が出来ません。少しずつストレスがたまって来て、母のそばにいる事が負担になって来ます。週一回のデーターサービスもいきたがりません。他の事ではあまり気になりませんがこのストレスはつらいです。(女性、60歳代)
- 現在、介護に関してご担当いただいている病院や在宅介護支援センターの方々には支援いただき、何とかこなしているといった状況です。(男性、50歳代)
- 認知があって中々理解してもらえない事や自分で出来る所は声かけして、少しでもお手伝いしてもらっている。本人の出来ない所は手伝いをしています。(女性、50歳代)
- 介護者の交流の場に行きたくても遠い場所が目が不自由なので行けない。・高齢者世帯です。ゴミ当番が回ってくると夜も眠れません。又朝カゴを片づけたりするのが辛いです。介護に直接関係はないが、他市で市が掃除後片づけをしてくれるところがあると聞いたが、何か良い方法はないか。(女性、50歳代)
- 本人が理解しないで何度も話し、同じ事の繰り返し、こちらも年令を考えて分かっているつもりが続き、ストレスになる。少しでも本人の為にマイナスになっているのかと悩む事もしばしばです。

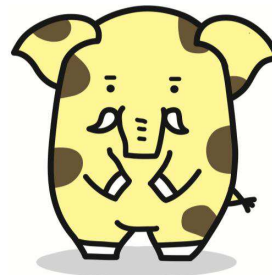
介護センターもそれぞれの性格、行動に合わせた所をさがすのが大事なと思います。(女性、60歳代)

- 介護者における悩みや問題は実際高齢者と同じ時間を過ごしたり、介護する経験をしなないとなかなか周囲には理解してもらえないことだと思います。目には見えない時間や精神的な拘束など家族や親族が理解しようとする積極的な意思を希望します。他、介護してもらおう高齢者の方々も素直な気持ちで介護者とかかわってもらえることが毎日の介護をスムーズに行なえる大事な点だと思います。(女性、50歳代)

## 参考資料 調査票

事業所記入欄

- |                               |                               |
|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 東部第一 | <input type="checkbox"/> 南部   |
| <input type="checkbox"/> 東部第二 | <input type="checkbox"/> 北部第一 |
| <input type="checkbox"/> 西部   | <input type="checkbox"/> 北部第二 |



### 新座市日常生活圏域ニーズ調査

# 介護者アンケート調査のお願い

～介護をされている方の声を聞かせてください～

日頃から、市政にご協力いただきありがとうございます。

新座市では、第6期の新座市高齢者福祉計画・新座市介護保険事業計画を策定する上での基礎資料とすることを目的に、在宅で介護されている介護者の皆様の生活の様子や、ニーズをお聞きするアンケート調査を実施することにいたしました。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、何卒よろしく願いいたします。

平成26年1月 新座市

#### 記入上の注意

- 1 この調査は、介護をしている介護者の方を対象としていますので、介護者の方がご記入くださいますよう、お願いいたします。
- 2 回答が「その他」に当てはまる場合は、( ) 内に内容を具体的にご記入ください。
- 3 アンケート記載後、指定の封筒に入れて、担当ケアマネジャーにお渡しください。
- 4 回答いただいた内容は全て統計的に処理し、個人の方が特定されることは一切ございません。無記名方式ですので、ありのままをお答えください。
- 5 ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

#### 【問合せ先】

新座市健康増進部長寿支援課  
介護保険課

電話048-477-1111

内線1419・1444・1441

質問の該当する答えの番号に○印をつけてください。

## 設問 1 あなたについて

問1 あなたの性別を教えてください 1. 男性 2. 女性
問2 あなたの年齢を教えてください 1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳代以上
問3 あなたは仕事をしていますか 1. 仕事をしているが、介護のために仕事を減らした 2. 介護のために仕事をやめた 3. 介護が始まる前と変わらずに仕事をしている 4. もともとしていない
問4 あなたの体調はいかがですか 1. よい 2. どちらかといえばよい 3. どちらともいえない 4. どちらかといえば悪い 5. 悪い
問5 あなたに継続的に治療を要する持病はありますか 1. ある 2. ない
問6 あなた自身は要介護認定を受けていますか 1. 受けていない（申請中） 2. 要支援1 3. 要支援2 4. 要介護1 5. 要介護2 6. 要介護3 7. 要介護4 8. 要介護5

## 設問 2 介護について

問7 あなたは、どなたを介護していますか 1. 夫 2. 妻 3. 父親 4. 母親 5. 配偶者の父親 6. 配偶者の母親 7. 兄弟・姉妹 8. 祖父母 9. その他（ ）
問8 あなたが介護している方の要介護度を教えてください 1. 受けていない（申請中） 2. 要支援1 3. 要支援2 4. 要介護1 5. 要介護2 6. 要介護3 7. 要介護4 8. 要介護5
問9 あなたが介護している方の認知症について、あてはまるものはありますか 1. 物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成等を含め、日常生活は自立している 2. 買い物や事務、金銭管理などでミスがみられるが、日常生活はほぼ自立している 3. 服薬管理ができなかったり、電話の応対や訪問者の対応などが1人では難しい 4. 着替えや食事、トイレ等がうまくできないなど日常生活に手助け・介護が必要 5. ほぼ寝たきりで意思の疎通が困難なため、常に介護が必要 6. 著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られる 7. 上記1～6のいずれにもあてはまらない

<p>問10 介護サービスを使っていますか</p> <p>1. 使っている 2. 使っていない</p>
<p>問11 介護が始まってどのくらいたちますか</p> <p>1. 6か月未満 2. 6か月から1年未満 3. 1～2年未満 4. 2～3年未満 5. 3～5年未満 6. 5～7年未満 7. 7～10年未満 8. 10年以上</p>
<p>問12 あなたは同居して介護をしていますか。通いで介護をしていますか</p> <p>1. 介護が始まる前から同居している 2. 介護が始まってから同居している 3. 通いで介護している</p>
<p>問13 自分だけで介護していますか、ほかの家族も一緒に介護していますか</p> <p>1. 自分だけで介護している 2.ほかの家族と一緒に介護している</p>
<p>問14 もしあなたが介護できなくなったとき、代わりに介護を担える方はいますか</p> <p>1. いる 2. いない</p>
<p>問15 介護による困りごとを誰に相談していますか（いくつでも）</p> <p>1. 兄弟 2. 親族（子どもなど） 3. 友人・知人 4. 近所・近隣の人 5. ケアマネジャー・ヘルパー・民生委員 6. 市役所・高齢者相談センター（地域包括支援センター） 7. 相談していない 8. その他（ ）</p>
<p>問16 介護をしていて、どのようなことに困っていますか（いくつでも）</p> <p>1. 介護の仕方や利用できる福祉サービスなどがわからない 2. サービスを利用してもらいたいが、本人が嫌がる 3. サービスを利用したいが、利用料が高くなるため利用しにくい 4. サービスを利用したいが、希望するサービスが確保しにくい 5. 本人が希望するサービスメニューがない 6. 身体的な負担が大きい 7. ストレスの発散や、息抜きができない 8. 本人についつらくあたってしまうことがある 9. 夜間の介護のため、睡眠時間が十分に取れない 10. 認知症や認知症の介護に関する知識がない 11. 本人が徘徊により行方がわからなくなることがある 12. 本人と意思疎通をとることが難しい 13. 本人からの暴言・暴力がある 14. 本人に認知症が疑われるが、どこに受診したらよいかわからない 15. 困ったときに相談できる場所がない 16. 悩みなどを話し合える仲間がいない 17. 他に介護する家族などがいない（家族などの協力を得られない） 18. 特にない 19. その他（ ）</p>





---

新座市日常生活圏域ニーズ調査  
調査結果報告書

平成26年3月

---

発行 新座市

編集 新座市健康増進部長寿支援課

〒352-8623 埼玉県新座市野火止一丁目1番1号

TEL 048-477-1111

FAX 048-482-5882

E-mail: choju@city.niiza.lg.jp

---